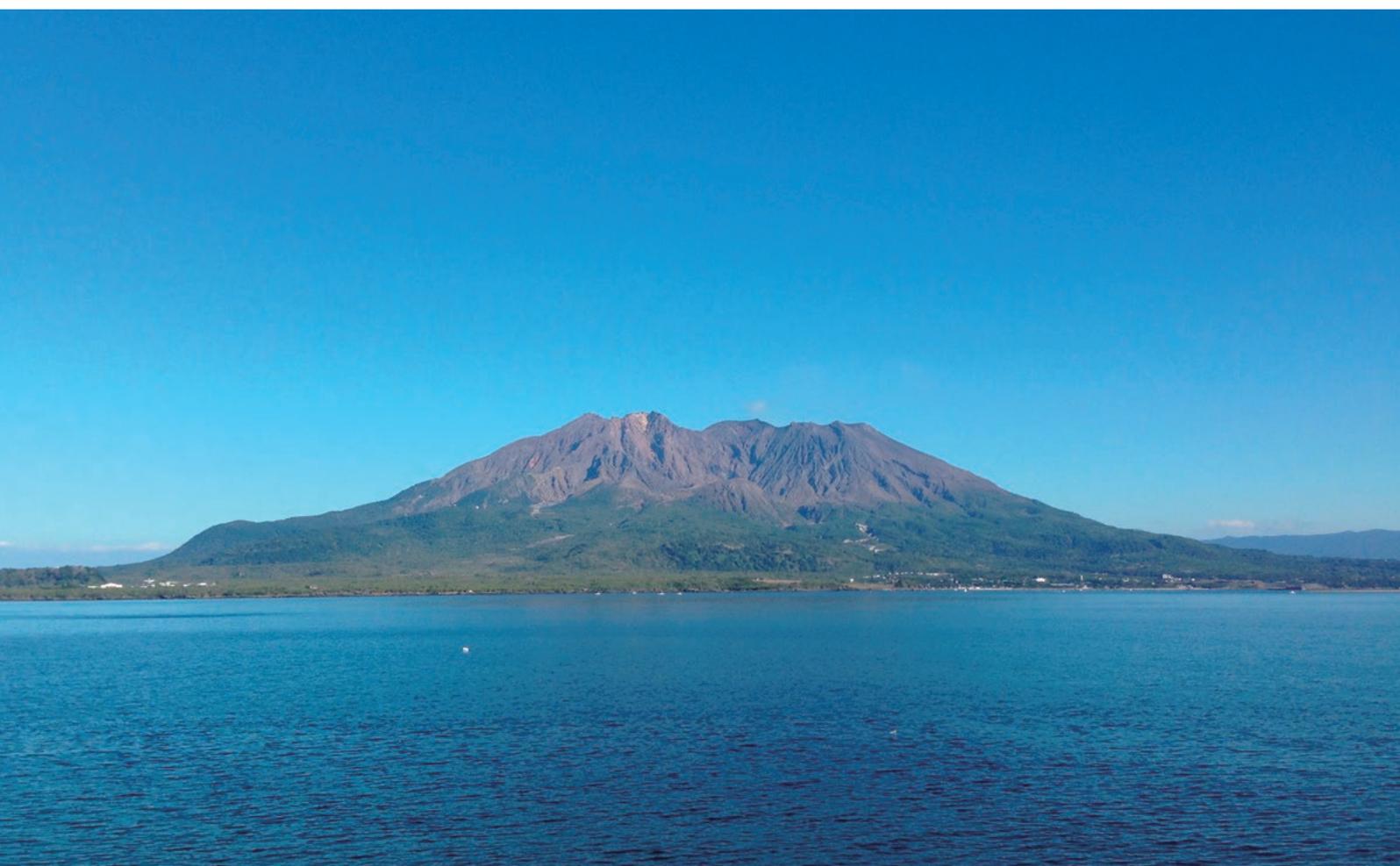


公益財団法人慈愛会 年報

第⑧号

2023年度



医療の原点は、慈愛にあり。

母が子を慈しみ育てる心、愛を持って病める人の苦しみを除く。
慈しみ、愛する心、その素朴で純粋な気持ちが慈愛会の医療理念です。

患者様を肉親と思い医療の達人（プロフェッショナル）を目指します。

同時に

全職員の物心両面の幸せを追求します。

公益財団法人慈愛会は「医療理念」を実践するために
5つの項目を掲げて質の向上を図っています。

1. 医療を通して地域社会へ貢献します。
2. 良心的な高度医療を提供します。
3. 心に届く慈愛の看護を実践します。
4. 快適な医療環境を提供します。
5. 働きがいのある職場環境を目指します。

目次

巻頭言

公益財団法人慈愛会 理事長 今村英仁	2
公益財団法人慈愛会 会長 納光弘	3

総括

今村総合病院	5
いづろ今村病院	7
谷山病院	8
奄美病院	8
徳之島病院	9
介護老人保健施設 愛と結の街	9
慈愛会在宅支援部	10
鹿児島中央看護専門学校	10
慈愛会クリニック	11
七波クリニック	11
高麗町クリニック	12
かごしまオハナクリニック	12

概要

法人・病院施設概要	13
病院施設別職員数	18
職種別常勤換算人員表	19

病院施設指標

今村総合病院	20
いづろ今村病院	27
谷山病院	35
奄美病院	41
徳之島病院	46
介護老人保健施設 愛と結の街	50
慈愛会在宅支援部	54
高麗町クリニック	55
慈愛会クリニック	56
七波クリニック	57
かごしまオハナクリニック	57
鹿児島中央看護専門学校	58

法人業績一覧

論文	60
学会発表	70

第3回慈愛会学会学術集会	84
研究会・講演会	88
受章・受賞	101
マスメディア	103
公的研究	106

医師育成への取り組み

初期研修プログラム「錦江湾プログラム」	107
慈愛会専門研修プログラム	108

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

看護部門	110
リハビリテーション部門	132
薬剤部門	151
画像診断/放射線治療部門	159
臨床検査部門	165
栄養管理部門	170
ソーシャルワーカー部門(JSW)	175
臨床工学部門(CE)	188
総務人事部門	190
医療情報室 慈愛会総合情報システム(J-TIS)	195
教育開発センター	197

一年のあゆみ

1. 慈愛会の新型コロナ対応	215
2. 新型コロナウイルス感染症陽性患者(入院)、 診療・検査医療機関(発熱外来)の受け入れ、 ワクチン接種(個別接種、職域・集団接種) への対応	217
3. 地域医療機関支援等コロナ対応にかかる人材 派遣	218
4. 能登半島地震被災地支援にかかる人材派遣	218
5. 慈愛会各施設の一年のあゆみ	219

編集後記

◎ 巻頭言



公益財団法人慈愛会
理事長 今村 英仁

2023年新型コロナが2類相当から5類に変更した後、世間はほとんど新型コロナ禍などなかったかのように平時に戻ったにもかかわらず、医療・介護・福祉の世界では変わらずクラスターの発生を認め、平時と有事の両方に対応しなければならない1年となりました。

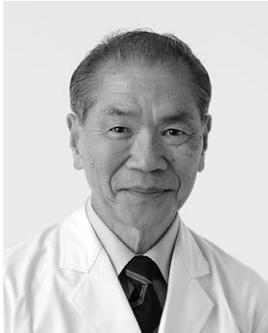
多くの医療機関が、ポストコロナの国民の受療行動の変化による患者の落ち込み、一方でコロナ対応が求められるにも関わらずコロナ補助金の終了、追い打ちをかける物価高騰による経費の増大、加えてスタッフの枯渇化、その結果、これまで経験したことがない業績の落ち込みを経験しています。

そのような中で、当法人は全体を見渡すと非常に善戦したと言わざるを得ません。

第8号となる今回の年報を見ると、今までと同様、事業所によっては昨年以上に業績を伸ばしたところも見受けられます。2023年度の目標は「平時と有事の双方に対応できるようになる」でしたが、及第点レベルに達していると考えます。

2024年度はトリプル改定の年と言われるように様々な制度改定・報酬改定が行われます。2024年度が真の勝負の年になると考えます。2023年度に整備した基盤をもとに2024年度の勝負に臨み、勝ち抜いてもらいたいと願っています。

◎ 巻頭言



公益財団法人慈愛会
会長 納 光弘

今年も新型コロナウイルスが猛威をふるい、多くの病院でクラスターが発生し、その他の施設やクリニックでも新型コロナウイルス感染症の多大の影響を受けた年でした。そういう中でも、皆が一丸となって、これを乗り越えることができたことは、評価に値すると言えるでしょう。

コロナ禍の制約のなかでも、病院見学の学生が県内のみならず、県外の大学からも多数来てくれて、今村総合病院の初期臨床研修プログラム・錦江湾プログラムでは今年も10人の定員がフルマッチとなったことも、今村総合病院の底力を示すものと言えるでしょう。なお、来年度は12人の定員となることも決まっています。

本年度は今村英仁理事長が日本医師会常任理事に就任されたことに伴う体制の強化として、帆北修一今村総合病院名誉院長が理事長補佐に就任され、理事長と連携して、慈愛会の各施設と連絡を取り、また、鹿児島大学の教授や医局とも連絡を取り、これが多大の成果に繋がりました。

また、慈愛会の理事の一人である星北斗先生が参議院議員として活躍され、星先生と今村理事長の連携プレーが政府の医療政策にも影響を与えつつあることも特筆に値することと思います。

今年も今村理事長のリーダーシップのもとで、皆の力を結集して、慈愛会の発展に向け頑張らしましょう！

総括

今村総合病院

院長 常盤 光弘



年報では我々が歩んできた道とその経過、結果を振り返ることによって当院の今後進んでいく方向性を考え、未来を創造していくことが大切です。

私なりに2023年度を振り返ってみます。年度替わりに先立つ2023年1月当初は2022年秋に突入した新型コロナウイルス感染症第8波の真っただ中にありました。鹿児島県でも1月5日には5,200人超の感染者が確認され、全国でも2月22日には過去最多の1日114人の死亡が確認されています。このような中ではありましたが1月26日には日本政府が2023年5月8日をもって今回の疫病を感染症法の2類相当から5類へ変更するとの決定がなされています。このような2023年の船出でありましたので、いづろ今村病院も今村総合病院もクラスターに悩まされながらの病院運営継続を余儀なくされました。当院のコロナへの対応に関しては第9波到来かといわれ始めた2023年7月に大きく舵を切ることとなりました。コロナ病棟を7月10日に7階東病棟に変更し20床の感染病棟として運用開始しました。この時点では病院全体での病床利用率も高く7東はもちろんのこと、他の病棟を運営するスタッフにも各科の先生方にも多大な負担をかけてしまったことを改めてお詫び申し上げたいと思います。7月の下旬からはコロナの入院患者さんの治療を総合内科だけでなく多くの内科系の先生方に担当していただきました。おかげさまで8月4日からは7東を25床の感染病棟として運用できました。そして新型コロナウイルス感染症に対する世間の対応も考え方も大きく変貌

する中で第9波が収束を迎えたと感じられる10月にすべての急性期病棟を通常の運用に戻すことができ、総病床数428床というフル規格での病院運営が開始されました。それ以降はコロナに対してはそれぞれの病棟において病床単位でコホートし入院治療にあたることとなり、現在に至ります。まだまだ新型コロナウイルス感染症が完全に終息したわけではありませんが2020年以降の約4年間に渡る全職員の献身的な努力とその忍耐力に感服するとともに最大限の感謝の意を表したいと思います。

上記のように感染症への対応に苦勞しながらも2023年から2024年にかけて様々なことに挑んできました。その一つに、垂水市との包括連携協定に基づく慈愛会垂水サテライトクリニック開院に向けての準備です。いよいよ2024年5月7日にそのオープン初日を迎えることとなりますが、これまでの間に対面やZoomでの垂水市尾脇市長様や職員の方々との協議を重ね人員の確保や実際の運用課題、ハード面での整備を念入りに解決してきました。当院産婦人科の先生方、事務方の職員も本当に大変な作業だったと思います。順調な運用開始を祈念するとともに関係された皆様に感謝申し上げます。

また、地域とのつながりということで考えますと、コロナの影響で開催ができていなかった「かもいけ健康まつり」も2023年10月21日に4年ぶりに行うことができました。開催においては当院職員だけでなく、鴨池校区コミュニティ協議会の皆様や垂水市の皆様方に多大なるご協力をいただき成功裏に終えることができました。

地域の医療機関など関係先との連携強化も通年で行ってきました。消防救急隊とのカンファレンス・懇親会も2023年7月20日と12月5日に開催し、情報共有を図るとともに職員同士の顔の見える関係の構築にも繋がっています。また地域の医療機関や介護関連施設との連携強化のために地域連携の集いも再開しました。2023年10月27日には鹿児島市医師会紫南支部の先生方を中心にご参加いただきました。また、2024年2月9日には郡元地区の先生方や介護関連の皆様方を中心にご参加いただいております。これらのカンファレンスや連携の会・懇親会はこれまでと違って、今村総合病院職員による、いわゆる手作りの会であったことが大きな特徴です。慈愛会が所有するかごしまオハナビル3階の会場を使用して40から50名程度の少人数参加型として当院職員による情報提供とおもてなしを基本のコンセプトとして実施しています。ご参加いただいた外部の方々からはおおむね良好な反応やアンケート結果をいただき、このような会をこれからも継続していく考えです。

2024年は1月1日に発生した能登半島地震で幕開けしてしまいましたが、当院では1月18日に医師1名を含む計4名の職員を現地へJMATとして派遣することになりました。鹿児島県からのJMATとして第1陣となりました。現地での活躍を期待するとともに我々の同志をいまだ危険を伴う災害現場に派遣することに大きな不安を抱えながらの壮行会を執り行ったのが昨日のように思い返されます。翌週の1月23日に帰ってきた4名の職員の疲労が見える表情の中にも、やり遂げたという達成感を垣間見たときには、皆、安堵感を覚えたことと思います。本当にご苦労様でした、またありがとうございましたと改めて申し上げたいと思います。

これまで述べたように約1,000名の職員にこれだけの献身的な努力をしていただきながら2023年の上半期の運営状況は、芳しいものではありませんでした。下半期は職員の皆さんのさらなる工夫と貢献によってほぼ予算を達成することができましたが、上半期の落ち込み分をまでを補うことはかなわず、通年でみると予算を達成

するに至らなかったことが残念でなりません。再びこのような事態に陥らないために、これからも様々なことに創造的にチャレンジしていく必要があります。すでに決定事項として予算が組まれ2024年度内に開始予定の事業としては、ガンナイフ治療開始が挙げられます。2025年の2月に実装される予定となっています。この事業に関しても多くの方々のご協力とご理解が必要となっています。またクラウドファンディングによる資金調達の計画が進行中です。当院として初めての試みですのでスタッフの皆さんの柔軟な発想で計画が達成できると信じています。さらに2023年度を通して当院の手術待機患者数が200名以上という状況でした。患者様のニーズに、より迅速にこたえるために手術室の充実が必要です。そのためには手術室の増設やスタッフの確保、麻酔科医師の確保が必要となりますが、2024年度中に手術室増設を目指し、もちろん継続して人員の確保にも鋭意努力していきたいと考えています。人材確保に関する何らかの情報がございましたら是非とも我々にご提供いただきたいところです。

最後に、2023年4月7日、13年余にわたって当院スポーツ整形外科を率い、同科の発展に深くご尽力いただいた濱里雄次郎先生が逝去されました。改めましてご冥福をお祈り申し上げますとともに、先生の功績に対して敬意を表したいと思います。

2024年4月

いづろ今村病院

院長 長野 真二郎



2023年4月より院長を拝命いたしました。今年度は、前任の常盤光弘院長の敷かれた路線を歩きながら手探りで病院作りを始めた一年となりました。

本年度も、在宅療養支援病院としての役割の確立と機能拡充に向けて取り組みました。病床運営においては数度の新型コロナウイルス感染症によるクラスター発生とその対応に追われましたが、各部署協力して乗り越えられたと思います。一方で、病床利用目標（平均106人/月、92%）には遠く及びませんでした。一般病床では高稼働を維持しましたが、地域包括ケア病棟では他医療機関との競合の中、なかなか稼働が上がらず、地域包括ケア病棟の運用課題解決に向けた多職種連携プロジェクトの開始や慈愛会関係医療機関との連携強化・構築に取り組んだ1年となりました。今村総合病院とは常盤統括院長主導のもと、連携室合同会議を継続し、合同で地域連携推進に取り組みました。

在宅医療分野では、4月からかごしまオハナクリニックとの機能強化（連携）型在宅療養支援病院を取得し、高麗町クリニックも含めた在宅療養支援グループ（ホメカジ）を立ち上げ、在宅医療の質向上に向けた取り組みが開始されました。

次に、病院機能の再編と機能強化として、2024年の健康管理センター移転に向けてプロジェクトを組成し、各部署の調整、人間ドック診療体制の構築も行いました。

2024年度からは医師の働き方改革が始まります。A水準内（時間外労働960時間/年）で医師の時間外労働となるように医師への啓発や労働時間管理の仕組みの整備、タスクシフトに向けても会議を行いながら他職種との連携を深めました。

その他、医療DXへの取り組みとして、音声入力の検討など行いましたが、課題もあり実装には至りませんでした。ICTの活用による業務効率化に向けた取り組みは、次年度以降も継続課題です。

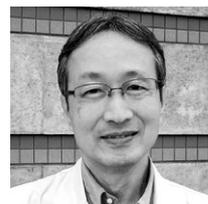
第三者評価としては、8月に一般・地域包括ケア病棟の病院機能評価3rdG: Ver3.0の受審、2月に人間ドック健診施設機能評価を受審しました。認定を受けることももちろん大切ですが、準備にかけた職員の熱意と努力が一番の成果であったと感じています。

事業収支は、予算は達成できなかったものの減価償却前利益で黒字となり、賞与を満額支給することができました。

また、今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したこともあり、職員のレベルアップと離職率の低下を目標として多くの研修を開催できましたが、離職者数を減らすことができず、人材確保・育成といった面では厳しい1年となりました。

谷山病院

名誉院長 福迫 剛



2023年度の谷山病院は、新型コロナの影響からの回復の一年でした。病床利用率は暫く低下したままでしたが、年度末に向けてじわじわと回復し、90%台に戻りました。

2023年度も、精神科救急の地域拠点病院として時間外を168件（内120件入院）受け入れたり、認知症疾患医療センターとしてかかりつけ医や地域包括支援センターと連携を図ったり、結核を合併した精神障害者を4名受け入れたり、社会復帰施設と連携して長期入院患者さんの地域移行・地域定着を支援したりと、いつものように頑張りました。職員全員が患者さんのため、慈愛会のために、一生懸命働きました。

私、2000年1月に廣田豊先生から院長のバトンを受け取り、24年間走ってきましたが、2024年4月に福田恭哉先生に院長のバトンを受け渡しました。2024年度は、新しい体制で谷山病院がさらに発展するものと期待しています。脚力の弱った私もワークライフバランスを大切にしつつ、ゆっくり走ろうと思っています。

奄美病院

管理者 納 光弘



新型コロナウイルス感染症が2023年5月に5類感染症に移行されました。医療の現場では未だ緊張感が続いていますが、これまで張り詰めた環境下でも日々の業務に励まれた職員の皆さんに改めて感謝したいと思います。ありがとうございました。

さて、2023年度は「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムへの貢献」を病院目標に掲げました。人材育成や地域貢献活動を事業計画に設定し、グループホームと障害者向け賃貸住宅を備えた複合施設の整備、デイナイトケアの移転、老朽化した保育園施設の移転を計画し、働きやすい職場環境づくりを目指しましたが、昨今の物価高騰（建築資材の高騰等）によりプロジェクトが遅れており次年度の課題として残りました。

そのような中、当院の運営において病床利用率は計画目標の92.1%を下回って82.9%にとどまりました。慢性的なマンパワー不足も要因の一つとなっておりますが、次年度は医師採用の目処が立ちました。入退院のバランスを考え、断らない体制を前提とした各部署連携による病床管理に努めて参ります。

また、本年度計画したオーダーリングシステムの機能拡張は、職員の協力のもと、無事に12月稼働となり、業務改善、職員の負担軽減に繋がりました。

次年度、奄美病院は開設65周年を迎えます。奄美病院グループにとって節目の年にあたり、前述の複合施設整備、デイナイトケアと保育園施設の移転、の各事業を着実に進め、次世代に向けての環境を整えつつ、グループ一丸となって精神科医療福祉活動に勤しんでまいります。

徳之島病院

院長 末満 純一



皆さん毎日ご苦労さんです。私は長らく離島精神科病院の院長として病院運営に努めて参りましたが、厳しい状況が続いており、医師や看護師の不足、そして患者さんの減少など、多岐にわたる課題に直面してきました。これらの要因が重なり、経営的に長期に及ぶ赤字が続いております。

しかし、この厳しい状況の中でも、私達は患者さんのために最善を尽くしてきました。限られた資源の中で最高のケアを提供するために努力してきました。また、地域との連携強化や地域社会への貢献にも努め、地域の健康と福祉に寄与する事を目指してきました。

私達は、これまでの経験と知識を活かし、より持続可能な方策を模索し、人材確保や経営戦略の見直し、さらなる地域との協力強化など、新たな取り組みを進めていく必要があると感じる一年でした。

徳之島病院は、患者さんや地域の皆様からの信頼をいただきながら、より良い未来に向けて前進していきます。これからも慈愛会の一員として歩んでまいります。2024年度に向けて更なるご支援を賜りますようお願いいたします。思えば一番厳しい一年でした。来年度は“花は咲かずとも、蕾ぐらいは芽吹いて欲しい”です。

介護老人保健施設 愛と結の街

前施設長 野村 秀洋



本年度は第3次マスタープランの計画方針である「人生100年時代」「2040年問題」を見据え地域とともに歩むことが出来る組織の確立に向け、地域のニーズに応えられる高齢者施設として試行錯誤を繰り返した1年でした。

新型コロナウイルス感染症が2023年5月に5類感染症に移行されたとはいえ、高齢者施設での感染拡大は重大な影響が懸念されるため細心の注意をはらって施設運営してきましたが、12月・1月とクラスター化してしまいご入所者・ご家族にご心配をおかけしました。

業績につきましては老健の入所利用率はコロナ災禍の影響もあり年間平均90.4%でした。在宅復帰・在宅療養支援機能に対する評価は1年を通して70ポイント以上を維持し超強化型老健としての評価を継続しています。通所リハビリ利用率は短時間・1日型のハイブリッドの運用が地域でも定着し、年間平均63.4%と前年度を大幅に上回る結果となりました。

また11月には初めての試みとして『介護マルシェ』を開催、愛と結の街グループ各事業所のそれぞれの特性を活かした催しを行った結果、地域の多くの方々にお越しいただき、慈愛会・愛結ファンを増やすことに繋がりました。

今後もグループ全施設が地域の皆様から信頼され、選ばれる存在となる事が出来ますよう職員一丸となって歩みを進めて参ります。

慈愛会在宅支援部

部長 中藺 明子



2023年度は、在宅支援部として安心して住み慣れた家で過ごせるよう取り組んだ一年でした。具体的には、看護師特定行為研修を修了した看護師によるろう孔管理の実践、作業療法士の在宅リハビリ訪問、病院・在宅医とのさらなる連携強化を行うことができ、在宅における専門性を発揮することができました。

2024年度は、初めて新卒看護師を受け入れ育成することとなります。お互い不安もありますが、「共に育つ（共育）環境づくり」を行っていき、1年後のお互いの成長を楽しみにしたいと思います。

今後、法人内外との連携強化により地域から選ばれる訪問看護ステーションとなるよう努力を重ねていきたいと思っています。

鹿児島中央看護専門学校

校長 今村 英仁



副校長 久徳 美鈴

鹿児島中央看護専門学校では、本年度も3つの重点事業に取り組みました。地域社会のニーズに対応できる看護実践力の高い看護師の育成に向け、新旧カリキュラムの確実な実施、学生が主体的・能動的に学ぶ教育活動の推進、実習施設との連携強化等を継続しました。中でも本校の強みとする臨地実習の新ルーブリック評価の作成と活用、学生と共に行う授業評価の取り組みの継続、臨床看護師とのシミュレーション学習や看護技術習得支援等は学生の実践力を育む機会となり教育活動は深化してきました。

また、学生支援においては、学生確保活動、放送大学との併修支援、国家試験対策支援、ICT推進等に継続的に取り組みました。中でも教職員の教育の心を具現化した教職員の倫理行動指針の作成は、学生一人ひとりに寄り添う教育風土の醸成につながってきました。

本年度の教育活動の成果は、県内就業率95.5%を含め、退学率0.7%、卒業率98%、国家試験合格率97.6%、卒業時到達評価(4.0基準)3.53であり、過去最高値で旧カリキュラムを終えることができました。地域医療を支える人材輩出等地域への貢献度は高く本校の強みとなっております。

しかし、本年度は高校生減少に加え、看護教育の大学化の流れの影響を受け、学生確保に苦慮しました。2024年度は、更なる教育の質の向上を目指すこと、広報等にも力を入れて参ります。

慈愛会クリニック

院長 今村 尚子



2023年度の患者数は月平均880名に対して、871名で目標には達しませんでした。しかし、透析予防に関する指導を行った患者の中でHbA1cとクレアチニン・eGFRの改善または維持が認められたものの割合は、それぞれ80%、77%と昨年より高くなりました。医師・看護師・管理栄養士の指導の成果だと思います。また、昨年に引き続きコロナワクチンとインフルエンザワクチンも行いました。今年も糖尿病川柳の募集をし、いづろ今村病院広報誌「にじ」へ掲載しました。来年度は、診療報酬改定の面で厳しい年度になりますが根気強い指導を変えずに患者を支えていきます。

七波クリニック

院長 鮫島 久子



令和5年は1カ月平均患者数1,126名（1日平均46名）で、前年とほぼ同様でした。新型コロナウイルスワクチン接種、インフルエンザワクチンを合わせ、年に3回の接種を行いました。以前のような重症化症例も減っているため、11月に糖尿病教室を行いました。参加者7名と小規模で内容もまだまだでしたので、反省点をふまえて今年度も開催を予定しております。令和6年は診療報酬改定があり、多職種による療養指導、診療を求められております。診察終了ごとに患者さんからの同意書を得るなど一人当たりの診察時間が増える可能性あり、事務スタッフと話し合いながら診療の流れを工夫したいと思います。

高麗町クリニック

院長 木原 浩一



2023年度の高麗町クリニックは、2年連続で院長が交代した混乱も収まり、訪問診療契約患者数が109名に増加しました。外来および訪問診療による報酬、ならびに訪問リハビリによる診療報酬を合わせて、前年度比で増収に転じました。事業収益も2023年度予算値に対して+1.1%を達成し、収益額も1億円を超えることができました。法人内外からの患者紹介を頂いたお陰であり、職員一同感謝申し上げる次第です。昨年度途中から血液生化学検査の発注先を外注から今村総合病院へ移行し、慈愛会の中で病診連携を図る基盤を強化して参りました。その結果、今村総合病院・いづろ今村病院との患者の皆様への受け渡しがスムーズに行えるようになりました。今後ともよろしくお願ひします。

かごしまオハナクリニック

院長 林 恒存



2023年度は①業務の標準化②デジタル化③人材育成を3つの柱に業務分担と効率化に取り組みました。2023年度は、4月に管理業務を統括する副看護師長に新たに着任いただいたおかげで、事務部門のリーダーと協働して業務改善を大きく進めることができました。

当院の業務は、かかりつけの方の外来診療と訪問診療のいずれも月単位の反復業務が多いため、業務手順を言語化し業務ごとにマニュアルを策定することによって分業、効率化そして属人化の軽減を図りました。以下が具体的な取り組みです。

- ・看護師1名が専任で行ってきた日々の管理業務を、全看護師による日替わりリーダー制にして、業務および責任の分担を図った。
- ・電話やFAXで行っていた在宅患者の情報共有を、SNSで行うように整備し、院外多職種との情報共有を強化した。
- ・1名のスタッフが毎月手作業で数日かけて作成していた360件の訪問スケジュールを、デジタル作成ソフトを導入し、短時間で自動作成できるようにした。
- ・在宅医療の法人内一体化の推進を目的に、いづろ今村病院と高麗町クリニックと月1回の事例検討、勉強会、情報共有を開始した。

なお人材育成については、前述のような標準化への様々な取り組みが結果として個人の成長に役立ったと考えています。2024年度は業務の質を高める様々な取り組みを通じてさらに人材の育成と発掘を推進したいと考えております。

業務実績については、新規の患者依頼は可能な限り全例受諾を原則に取り組み、外来・訪問診療件数、事業収益のいずれも前年度を上回ることができました。

2024年度も2023年度の取り組みを継承、発展させて「慈愛会のかかりつけ」機能を存分に発揮したいと思ひます。

概 要

公益財団法人慈愛会

主たる事務所 〒892-0822 鹿児島県鹿児島市泉町1番15号	理事長 今村 英仁 事業所 5病院 1介護老人保健施設 1看護師養成所 4診療所 (2024年4月 1診療所開設) 19併設事業所	職員数 2,380名(2024年3月1日現在) 総病床数 (2024年3月まで) 1,589床 (2024年4月から) 1,567床
従たる事務所 〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新町6番4号		

今村総合病院

管 理 者 常盤 光弘

所 在 地 〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新町11番23号

T E L 099-251-2221

病 床 数 428床(一般330床、回復50床、精神48床)

標榜診療科 内科、救急科(総合内科)、血液内科、糖尿病内科、腎臓内科、人工透析内科、脳神経内科、外科、消化器外科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、皮膚科、ペインクリニック内科、リハビリテーション科、眼科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、気管食道・耳鼻咽喉科、脳神経外科、整形外科、放射線科、精神科、病理診断科、麻酔科、小児科、産科、婦人科、歯科口腔外科、腫瘍内科、感染症内科、肝臓内科、膠原病・リウマチ内科(2023年6月増科)

指定医療機関等

- ・臨床研修病院
- ・救急告示病院
- ・生活保護法指定医療機関
- ・被爆者一般疾病医療機関
- ・労働者災害補償保険法指定医療機関
- ・公害健康被害補償法による医療機関
- ・障害者自立支援法による医療機関(更生医療・精神通院医療)【腎臓に関する医療、免疫に関する医療】
- ・特定疾患治療研究事業委託医療機関
- ・小児慢性特定疾患治療研究事業委託医療機関
- ・鹿児島県がん診療指定病院

学会等認定施設

- ・日本プライマリ・ケア連合学会認定新家庭医療後期研修プログラム
- ・日本透析医学会専門医制度認定施設
- ・日本血液学会認定専門研修認定施設
- ・日本HTLV-1学会登録医療機関
- ・日本消化器病学会専門医制度認定施設
- ・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本消化器外科学会専門医制度専門医修練施設
- ・日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設
- ・日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- ・日本ペインクリニック学会ペインクリニック専門医指定研修施設
- ・日本脳卒中学会専門医制度研修教育施設
- ・日本神経学会専門医制度教育施設
- ・日本リハビリテーション医学会研修施設
- ・日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
- ・日本皮膚科学会認定専門医研修施設
- ・日本精神神経学会精神科専門医研修施設
- ・日本臨床腫瘍学会認定研修施設(連携施設)
- ・日本輸血・細胞治療学会認定臨床輸血看護師制度指定研修施設
- ・日本輸血・細胞治療学会輸血機能評価認定制度(I&A制度)認証施設
- ・日本病理学会病理専門医制度研修登録施設
- ・日本臨床神経生理学会認定施設準教育施設(筋電図・神経伝導分野)
- ・日本腎臓学会研修施設
- ・日本臨床細胞学会認定施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・日本脳卒中学会認定一次脳卒中センター

概要

- ・日本腹部救急医学会腹部救急認定医・教育医制度認定施設
- ・日本外科感染症学会外科周術期感染管理教育施設
- ・日本造血・免疫細胞療法学会非血縁者間造血幹細胞移植認定診療科—認定カテゴリー1（血液内科）
- ・日本骨髓バンクならびに日本造血・免疫細胞療法学会非血縁者間骨髓採取認定施設
- ・日本内分泌学会内分泌代謝科専門医制度認定教育施設
- ・日本胆道学会認定指導医制度指導施設
- ・日本リウマチ学会教育施設
- ・日本大腸肛門病学会関連施設
- ・日本胃癌学会認定施設B

その他の認定施設

- ・公益財団法人日本医療機能評価機構認定病院（3rdG:Ver.2.0）
- ・痛風協力病院
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・消化器がん検診精密検査医療機関
- ・特定行為に係る看護師の研修制度指定研修機関
- ・日本診療放射線技師会医療被ばく低減施設
- ・日本診療放射線技師会臨床実習指導施設
- ・日本専門医機構専門医制度総合診療領域専門研修プログラム
- ・日本専門医機構専門医制度内科領域専門研修プログラム
- ・日本医学放射線学会（JRS）画像診断管理認定施設

いづろ今村病院

管 理 者 長野 真二郎

所 在 地 〒892-0824 鹿児島県鹿児島市堀江町17番1号

T E L 099-226-2600

病 床 数 115床（一般35床、地域包括ケア58床、緩和ケア22床）

標榜診療科 内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、血液内科、外科、消化器外科、婦人科、放射線科、眼科、緩和ケア内科、皮膚科、大腸・肛門外科（2023年6月閉科）

指定医療機関等

- ・厚生労働省協力型臨床研修指定病院
- ・開放型病院
- ・救急告示病院
- ・生活保護法指定医療機関
- ・被爆者一般疾病指定医療機関
- ・結核予防法指定医療機関
- ・特定疾患医療指定医療機関
- ・母体保護法指定医療機関
- ・母子保健法指定医療機関
- ・小児慢性特定疾患医療指定医療機関
- ・労働者災害補償保険法指定医療機関
- ・人間ドック指定病院
- ・健康保険法指定医療機関
- ・労働者災害補償保険法二次健診等給付指定医療機関
- ・各種健診（検診）・予防接種等受託医療機関

学会等認定施設

- ・日本糖尿病学会認定教育施設Ⅱ
- ・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
- ・日本大腸肛門病学会専門医修練施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本緩和医療学会認定研修施設
- ・日本総合健診医学会・日本人間ドック学会 人間ドック健診専門医研修施設

その他の認定施設

- ・公益財団法人日本医療機能評価機構認定病院（3rdG：Ver. 1.1）
- ・日本人間ドック学会 人間ドック健診施設機能評価認定（Ver. 3.0）
- ・全日本病病院協会日帰り人間ドック実施指定施設
- ・鹿児島県救急災害医療情報システム参加登録病院

通所リハビリテーション ウェルネスじあい

所 在 地 〒892-0824 鹿児島県鹿児島市堀江町17番1号

T E L 099-226-5206

指定訪問リハビリテーション ウェルネスじあい

所 在 地 〒892-0824 鹿児島県鹿児島市堀江町17番1号

T E L 099-226-2600

指定居宅介護支援事業所 ウェルネスじあい

所 在 地 〒892-0824 鹿児島県鹿児島市堀江町17番1号

T E L 099-226-5207

概要

谷山病院

管 理 者 (2024年3月まで) 福迫 剛
(2024年4月から) 福田 恭哉
所 在 地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番1号
T E L 099-269-4111
病 床 数 392床
標榜診療科 精神科

認定・指定

- ・公益財団法人日本医療機能評価機構認定施設 (3rdG: Ver.2.0)
- ・生活保護法指定医療機関
- ・身体障害者福祉法による医療機関
- ・被爆者一般疾病医療機関 (原爆被爆者援護法)
- ・難病医療費助成指定医療機関
- ・結核指定医療機関
- ・結核患者収容モデル事業 (A2病棟5床)
- ・肝炎治療特別促進事業
- ・自立支援医療機関 (精神通院医療)
- ・精神保健福祉法第19条の8に基づく病院 (10床)
- ・精神保健福祉法応急入院指定病院
- ・医療観察法指定通院医療機関
- ・鹿児島県指定認知症疾患医療センター
- ・協力型臨床研修病院 (医師臨床研修制度)
- ・精神科専門医制度認定研修施設 (日本精神神経学会)
- ・精神科救急地域拠点病院 (鹿児島県)
- ・災害時支援中心病院 (日本精神科病院協会)
- ・精神科認定看護師教育課程 実習施設 (日本精神科看護協会)
- ・DPAT登録病院 (鹿児島県)
- ・労働者災害補償保険法指定医療機関

就労支援センター ステップ

所 在 地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番1号
T E L 099-260-5810

地域活動支援センター ひだまり

所 在 地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番1号
T E L 099-260-5865

グループホーム しらゆりの郷

所 在 地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町6番1号
T E L 099-266-3214

奄美病院

管 理 者 納 光弘
所 在 地 〒894-0044 鹿児島県奄美市名瀬浜里町170番地
T E L 0997-53-1200
病 床 数 (2024年3月まで) 348床
(2024年4月から) 326床
標榜診療科 精神科

認定・指定

- ・公益財団法人日本医療機能評価機構認定施設 (3rdG: Ver.2.0)
- ・生活保護法指定医療機関
- ・原爆被爆者医療法一般疾病医療取扱病院
- ・臨床研修医制度臨床研修病院 (協力型)
- ・自立支援医療機関 (精神通院医療)
- ・精神保健福祉法第19条の8に基づく病院 (10床)
- ・医療観察法にかかる指定通院医療機関
- ・鹿児島県指定認知症疾患医療センター

訪問看護ステーション イルカ
指定特定相談支援事業所 あゆみ

所 在 地 〒894-0044 鹿児島県奄美市名瀬浜里町171番1号
T E L 0997-57-6750 (イルカ)
0997-57-6633 (あゆみ)

概要

指定障害福祉サービス事業所 あらいぐま

所在地 〒894-0046 鹿児島県奄美市名瀬小宿佐仁金久2838
TEL 0997-54-8911

グループホーム ひまわり

所在地 〒894-0046 鹿児島県奄美市名瀬小宿砂田2879番1号
TEL 0997-54-8787

徳之島病院

管理者 末満 純一

所在地 〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津5190番地

TEL 0997-83-0275

病床数 206床

標榜診療科 精神科

認定・指定

- ・公益財団法人日本医療機能評価機構認定病院（3rdG：Ver.2.0）
- ・精神保健福祉法第19条の8（指定病床数8床）
- ・生活保護法指定医療機関
- ・医療観察法指定通院医療機関
- ・自立支援医療機関（精神通院医療）

グループホーム うんばた

所在地 〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津5201番1号
TEL 0997-83-2840

訪問看護ステーション わたりどり

（2023年7月1日開設）

所在地 〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津5190
徳之島病院旧棟2F
TEL 070-5535-3317

介護老人保健施設 愛と結の街

施設長（2024年3月まで）野村 秀洋（いづろ今村病院 名誉院長）
（2024年4月から）海江田 一也

所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番3号
TEL 099-260-6060
入所定員数 100床

指定居宅介護支援センター 愛と結の街
ヘルパーステーション 結の街

所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町9番1号
TEL 099-267-6818（居宅）
099-267-0177（ヘルパー）

グループホーム 愛と結の街
デイサービスセンター あしたの風（認知症対応型）

所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町9番28号
TEL 099-267-0533（グループホーム）
099-263-6630（あしたの風）

デイサービス はなぶさ
（通常規模型通所介護事業所）

所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番3号
TEL 099-284-5663

住宅型有料老人ホーム あいゆいの家

所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町9番1号
TEL 099-260-6060

概要

慈愛会在宅支援部

笹貫訪問看護ステーション 愛の街

所在地 〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町9番1号
TEL 099-210-0150

慈愛会クリニック

管理者 今村 尚子
標榜診療科 内科, 糖尿病内科

所在地 〒892-0822 鹿児島県鹿児島市泉町1番15号1F
TEL 099-239-0588

七波クリニック

管理者 鮫島 久子
標榜診療科 内科

所在地 〒890-0067 鹿児島県鹿児島市真砂本町51番1号
ニシムタスカイマーケット鴨池内テナント
TEL 099-284-0610

高麗町クリニック

管理者 木原 浩一
標榜診療科 内科
・在宅療養支援診療所

所在地 〒890-0051 鹿児島県鹿児島市高麗町39番11号
TEL 099-812-7712

かごしまオハナクリニック

管理者 林 恒存
標榜診療科 内科

所在地 〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新町6番4号
TEL 099-263-8787

鹿児島中央看護専門学校

校長 今村 英仁

3年課程看護科
定員 1学年40名

所在地 〒892-0822 鹿児島県鹿児島市泉町12番7号
TEL 099-227-5330

病院施設別職員数 2024年3月1日現在 () は非常勤・パート

	医師		看護部		診療支援部		事務員		その他職員		合計：実働
今村総合病院	114	(61)	439	(26)	241	(10)	108	(20)	20	(15)	1054
七波クリニック	1	(5)	4	(4)	1	(1)	5	(2)			23
かごしまオハナクリニック	2		5				6				13
いづろ今村病院	23	(33)	135	(10)	60	(9)	43	(10)	2		325
慈愛会クリニック	1	(3)	2	(3)	1		4				14
谷山病院	11	(20)	162	(6)	62	(9)	20	(1)	3		294
就労支援センターステップ			1		10		2				13
地域活動支援センターひだまり			3		8				(1)		12
グループホームしらゆりの郷			3	(1)	4		2				10
奄美病院	4	(7)	118	(11)	35	(16)	15		9	(1)	216
指定特定相談支援事業所あゆみ			1		3						4
訪問看護ステーションイルカ			9				1				10
グループホーム ひまわり			3								3
指定障害福祉サービス事業所 あらいぐま			11	(1)	1		1				14
徳之島病院	3	(6)	47	(7)	31	(3)	7	(1)	10	(3)	118
グループホームうんばた			2				1				3
訪問看護ステーションわたりどり			4	(3)			1				8
介護老人保健施設愛と結の街	1	(3)	45.5	(11)	22.8	(6)	5		2	(5)	101.3
居宅介護支援センター愛と結の街			5.2				2				7.2
グループホーム愛と結の街			13	(2)							15
ヘルパーステーション結の街			5	(8)							13
デイサービスあしたの風			5	(1)							6
デイサービスはなぶさ			4.5	(6)							10.5
住宅型有料老人ホーム あいゆいの家				(4)							4
在宅支援部 笹貫訪問看護ステーション愛の街			14	(1)	3		1				19
高麗町クリニック	1	(1)	4		2		3			(1)	12
鹿児島中央看護専門学校							4	(1)	12	(3)	20
法人事業本部	3		5				28	(2)			38
合 計	164	(139)	1050.2	(105)	484.8	(54)	259	(37)	58	(29)	2380

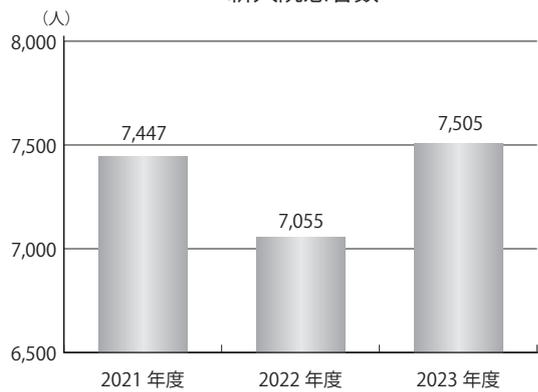
職種別常勤換算人員表（年度推移：人）

	職 種	2021 年度	2022 年度	2023 年度
1	医 師	188.8	193.4	192.5
2	歯 科 医 師	1.6	1.6	1.3
	診 療 部	190.4	195.2	193.8
3	保 健 師	5.9	6.9	7.1
4	助 産 師	11.1	11.3	10.7
5	看 護 師	827.4	802.5	782.6
6	専 任 教 員	23.2	11.7	13.0
7	准 看 護 師	46.7	40.9	39.1
8	看 護 助 手	122.9	112.2	103.0
9	介 護 福 祉 士	169.7	171.2	167.4
10	介 護 支 援 専 門 員	9.8	8.0	7.1
11	ケ ア ワ ー カ ー	0.0	0.0	0.0
12	ヘルパー	2.3	2.4	2.4
13	歯 科 衛 生 士	2.2	2.2	2.4
	看 護 部	1221.1	1169.2	1134.7
14	薬 剤 師	47.4	46.1	44.3
15	薬 剤 師 助 手	13.7	12.3	12.8
16	診 療 放 射 線 技 師	29.4	31.4	31.6
17	臨 床 検 査 技 師	39.7	39.4	43.8
18	臨 床 検 査 助 手	2.0	2.0	2.6
19	臨 床 心 理 士	6.7	3.3	2.0
20	臨 床 心 理 技 術 者	0.0	0.0	0.0
21	公 認 心 理 師	1.0	4.0	4.2
22	理 学 療 法 士	66.7	69.9	72.2
23	作 業 療 法 士	53.6	58.8	59.3
24	言 語 聴 覚 士	20.1	20.4	20.5
25	音 楽 療 法 士	0.4	0.5	0.3
26	リハビリ助手	4.6	5.7	6.0
27	臨 床 工 学 技 士	21.3	19.7	20.9
28	内 視 鏡 検 査 士	3.3	3.7	3.6
29	視 能 訓 練 士	3.0	4.0	3.6
30	管 理 栄 養 士	27.1	29.0	27.7
31	栄 養 士	15.0	12.6	13.4
32	調 理 師	61.1	55.9	52.7
33	調 理 員	26.5	28.5	28.7
34	社 会 福 祉 士	14.9	15.6	15.7
35	精 神 保 健 福 祉 士	48.2	45.8	43.8
36	精 神 保 健 福 祉 士 助 手	0.0	0.4	1.8
37	そ の 他	0.3	0.0	1.5
	診 療 支 援 部	505.5	509.1	512.9
38	事 務 員	244.5	251.1	255.8
39	診 療 情 報 管 理 士	12.3	12.0	11.7
40	シ ス テ ム エ ン ジ ニ ア	5.0	5.0	5.0
41	売 店	5.0	5.0	5.0
42	施 設 係	33.3	33.0	32.7
43	保 育 士	16.9	18.0	19.1
44	保 育 士 助 手	8.6	8.7	7.9
45	ピ ア サ ポ ー タ ー	0.8	0.1	0.3
46	そ の 他	0.3	0.0	1.5
	事 務 部	326.4	332.9	337.5
	合 計	2243.6	2206.3	2178.9

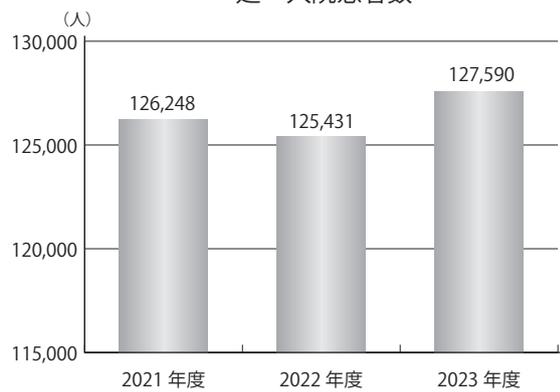
病院施設指標

今村総合病院

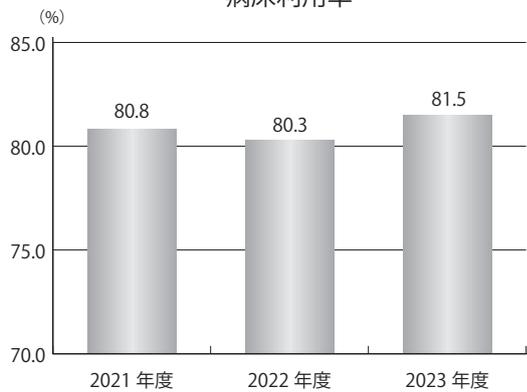
新入院患者数



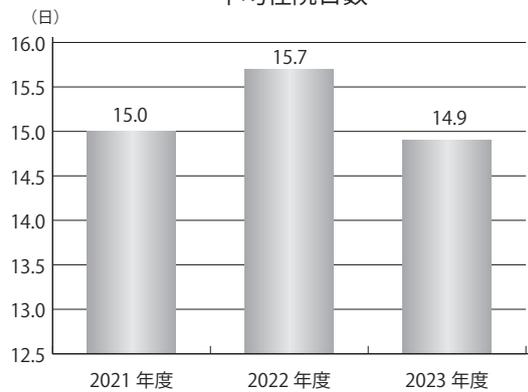
延べ入院患者数



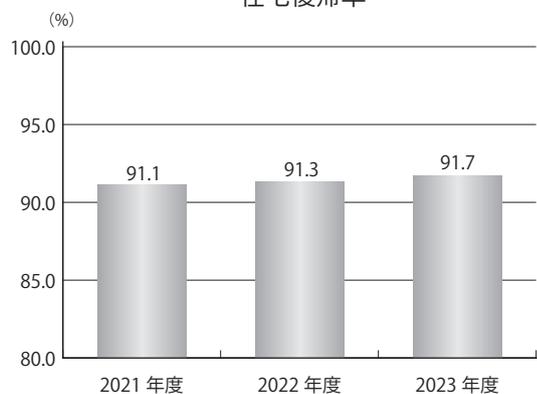
病床利用率



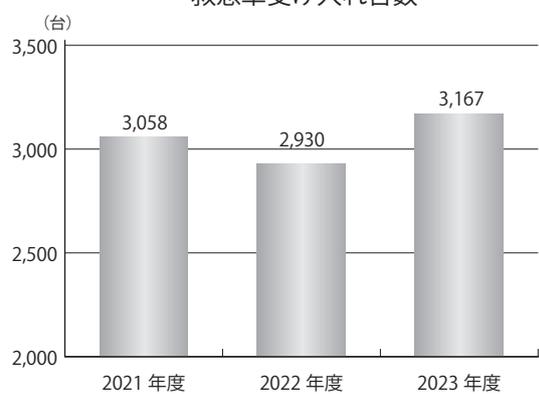
平均在院日数

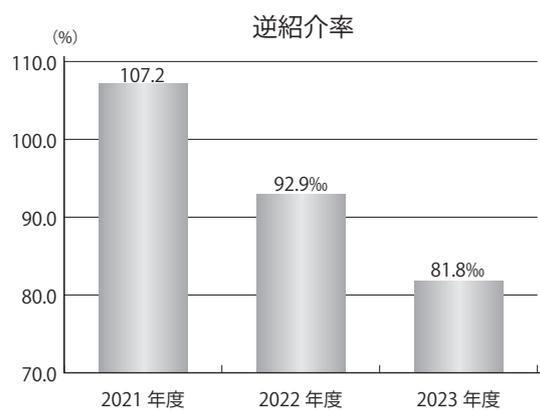
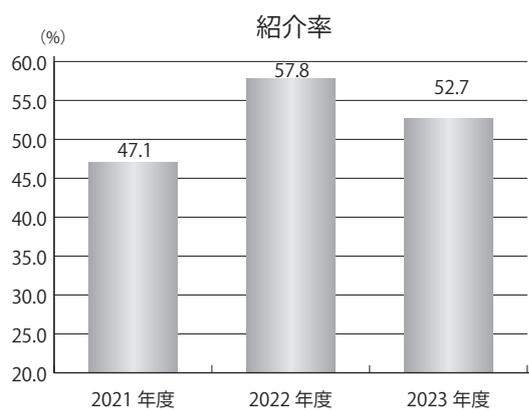
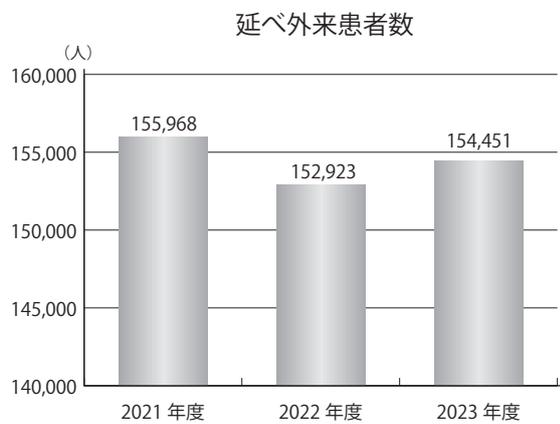
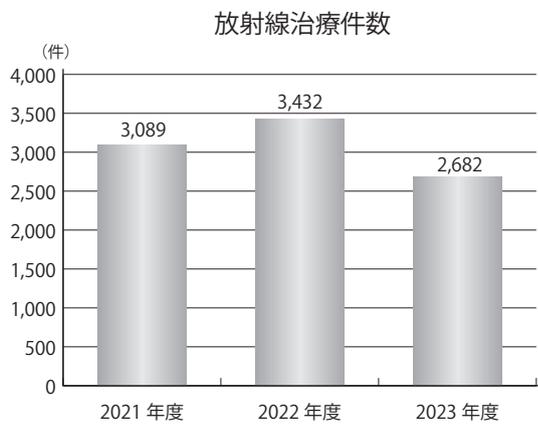
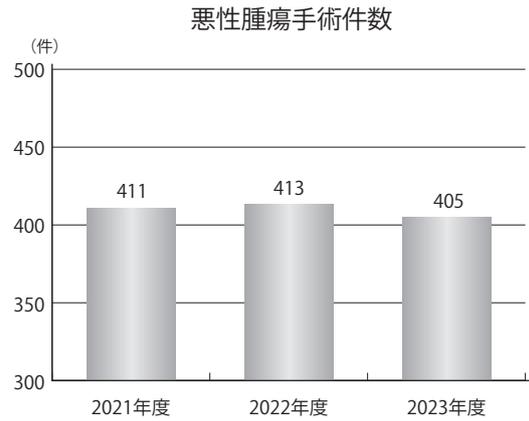


在宅復帰率



救急車受け入れ台数

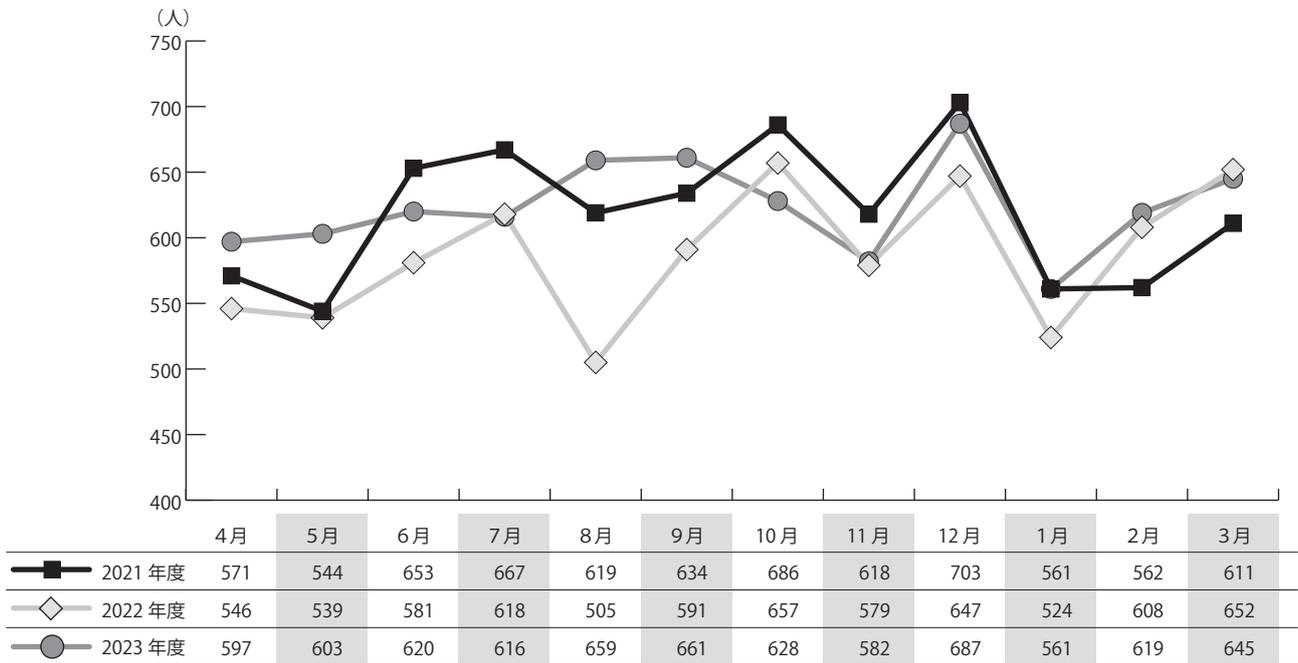




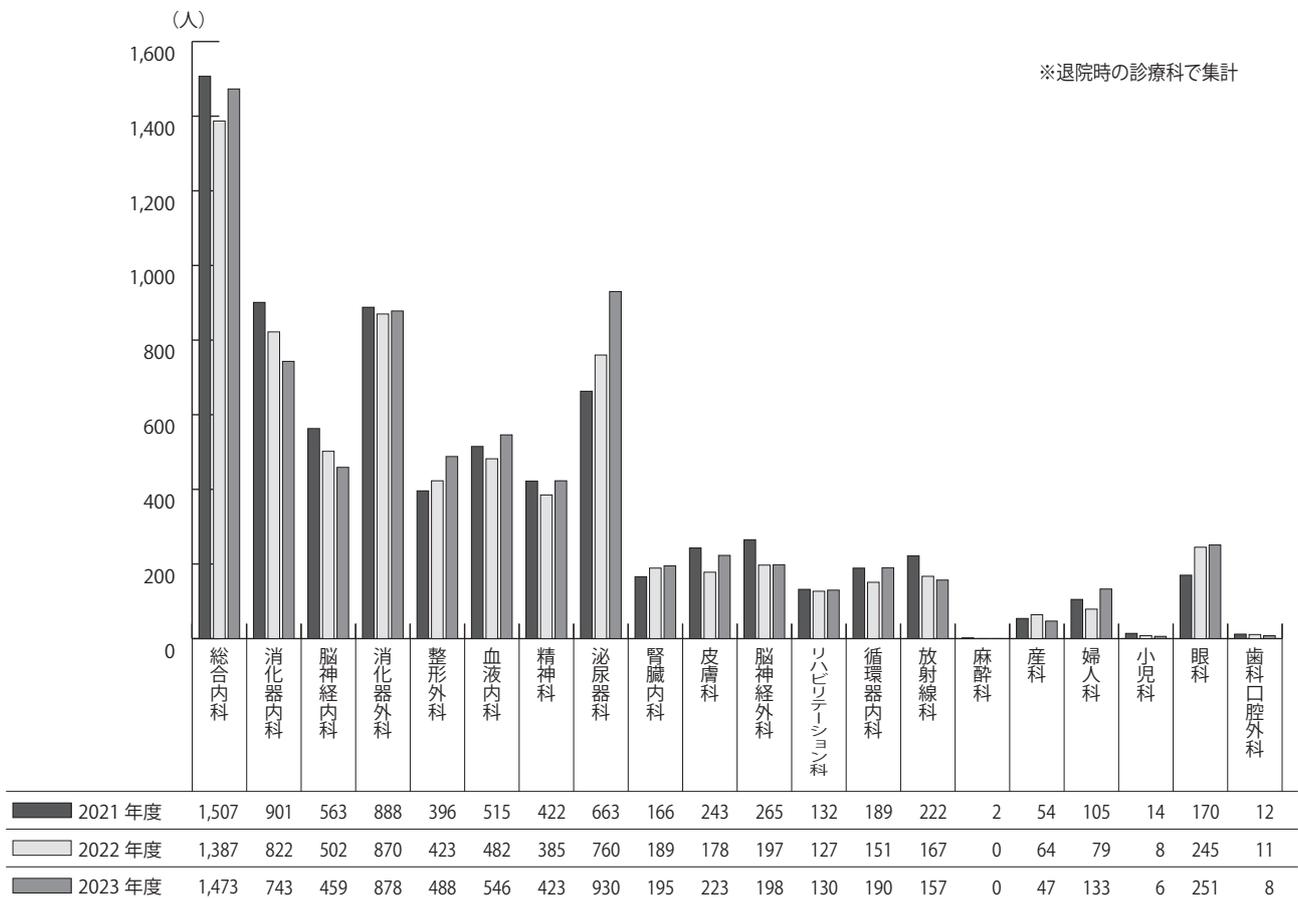
※2022年診療報酬改定により逆紹介率の計算式変更、2022年度以降の単位は‰（パーミル）

患者動向

年度別月別退院患者数

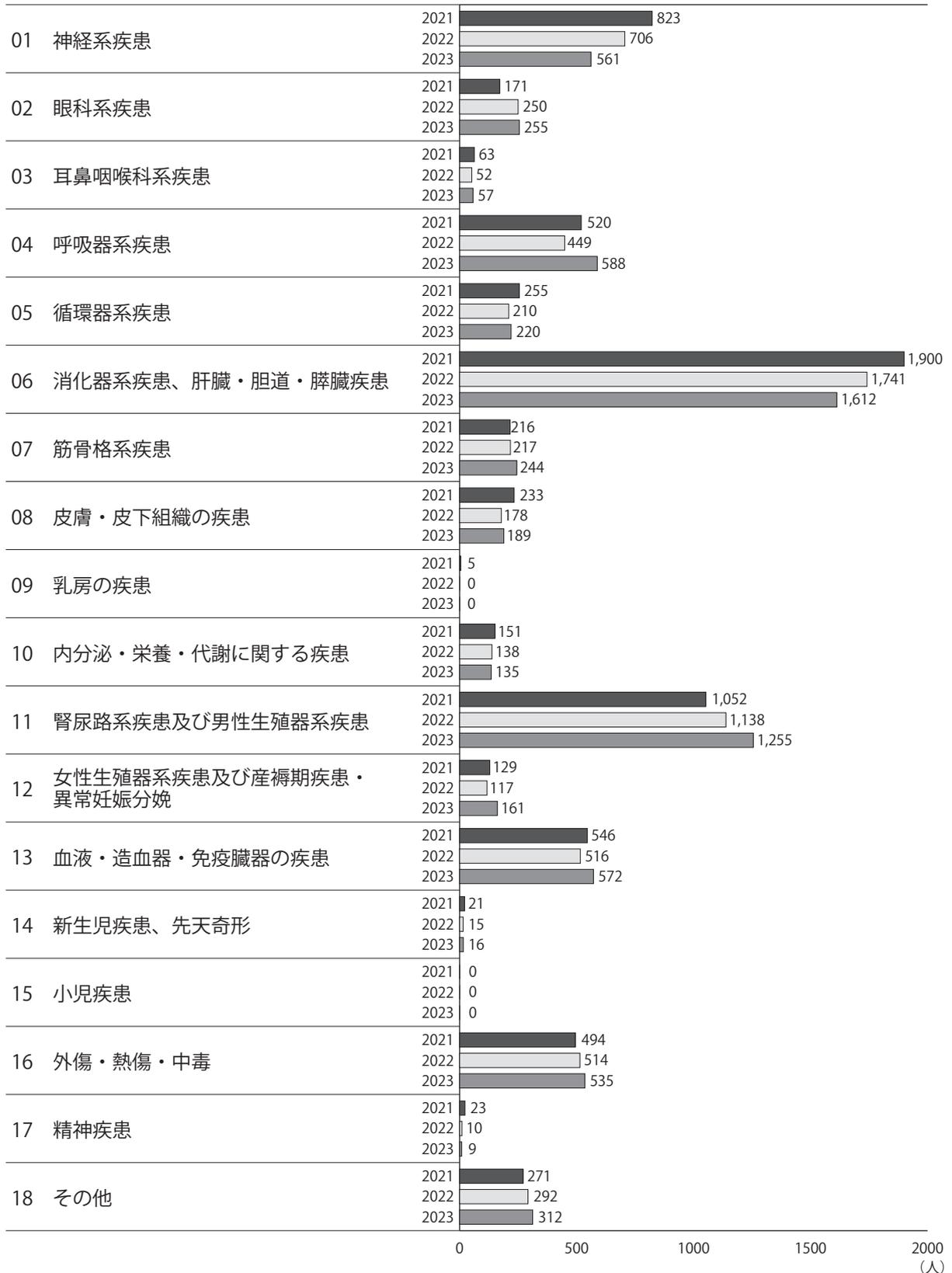


年度別診療科別退院患者数



DPC 統計 (MDC、ICD)

年度別MDC別退院患者数



ICD-10 大分類による診療科別統計 (2021年度)
2021年4月～2022年3月までの退院患者

大分類	総合 内科	腎臓 内科	血液 内科	消化器 内科	脳神経 外科	泌尿 器科	皮膚科	放射 線科	脳神経 内科	リハビ リテー ション 科	整形 外科	循環器 内科	消化器 外科	精神科	産科	婦人科	小児科	麻酔科	眼科	歯科口 腔外科	計
1 感染症および寄生虫症 (A00-B99)	112	4	17	18	0	0	43	8	3	0	0	0	10	6	0	2	1	0	0	0	224
2 新生物 (C00-D48)	36	6	443	269	10	192	69	160	2	1	2	2	379	48	0	71	0	0	0	0	1,690
3 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 (D50-D89)	21	1	24	3	0	0	1	2	0	1	0	3	3	7	0	1	0	0	0	0	67
4 内分泌、栄養および代謝疾患 (E00-E90)	73	7	2	3	2	0	0	1	4	0	0	2	11	17	0	2	6	0	0	0	130
5 精神および行動の障害 (F00-F99)	17	0	0	0	1	0	0	0	5	0	0	0	0	107	0	1	1	0	0	0	132
6 神経系の疾患 (G00-G99)	41	1	0	0	32	0	0	0	84	1	0	3	0	18	0	0	0	2	0	0	182
7 眼および付属器の疾患 (H00-H59)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0	169	0	193
8 耳および乳様突起の疾患 (H60-H95)	5	0	0	0	5	0	0	0	23	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	34
9 循環器系の疾患 (I00-I99)	61	16	0	4	101	0	0	17	417	102	0	160	0	22	0	0	0	0	0	0	900
10 呼吸器系の疾患 (J00-J99)	412	5	12	5	2	0	0	11	5	7	0	7	1	39	0	0	0	0	0	0	506
11 消化器系の疾患 (K00-K93)	76	1	3	546	2	1	0	18	1	3	0	0	450	56	0	0	0	0	0	9	1,166
12 皮膚および皮下組織の疾患 (L00-L99)	42	3	0	0	0	1	114	0	0	0	0	0	1	10	0	0	0	0	0	2	173
13 筋骨格系および結合組織の疾患 (M00-M99)	135	4	0	0	1	0	6	1	3	4	55	1	1	13	0	0	0	0	0	0	224
14 腎尿路生殖器系の疾患 (N00-N99)	228	107	4	3	1	439	1	1	3	0	0	6	7	33	0	23	0	0	0	0	856
15 妊娠、分娩および産じょく (O00-O99)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43	2	0	0	0	0	46
16 産産期に発生した病態 (P00-P96)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	4	0	0	0	11
17 先天奇形、変形および染色体異常 (Q00-Q99)	0	2	0	1	2	2	1	0	0	0	0	0	2	0	0	1	2	0	0	0	13
18 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R00-R99)	33	0	0	36	2	14	1	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	90
19 損傷、中毒およびその他の外因の影響 (S00-T98)	57	9	4	13	104	14	7	2	11	13	308	5	8	22	0	2	0	0	1	1	581
20 傷病および死亡の外因 (V01-Y98)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21 健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用 (Z00-Z99)	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	31	0	13	0	4	0	0	0	0	0	54
22 原因不明の新たな疾患の暫定分類 (U00-U49) 抗菌薬及び抗腫瘍薬への耐性 (U82-U85)	157	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	157
計	1,507	166	515	901	265	663	243	222	563	132	396	189	888	422	54	105	14	2	170	12	7,429

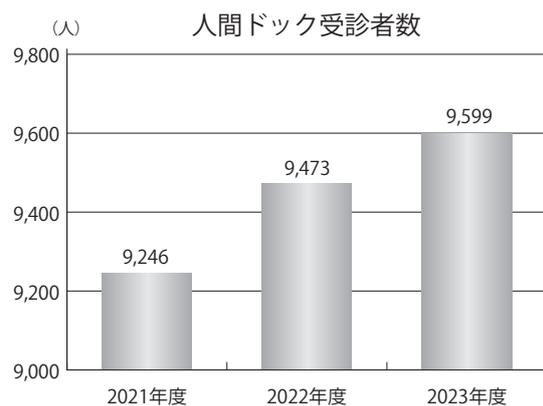
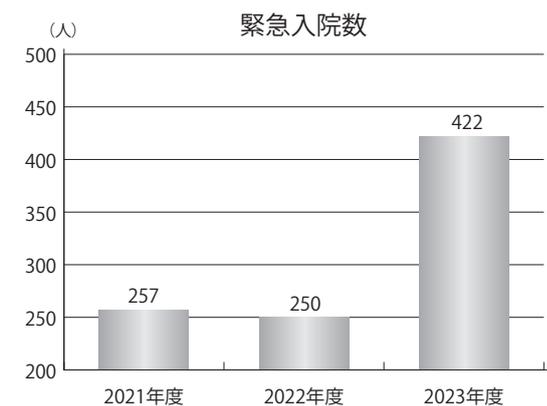
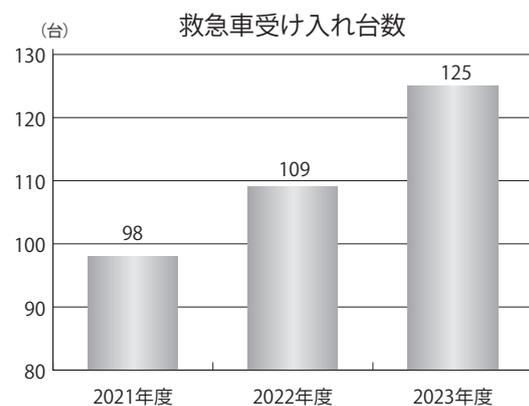
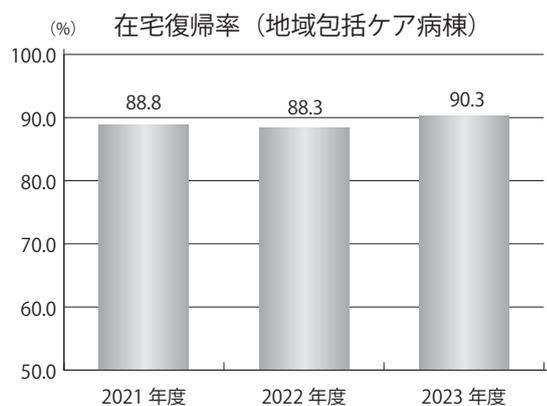
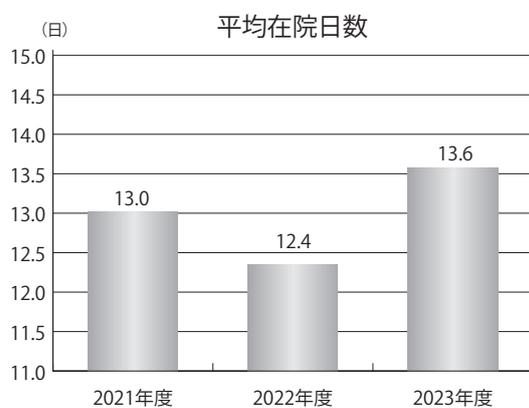
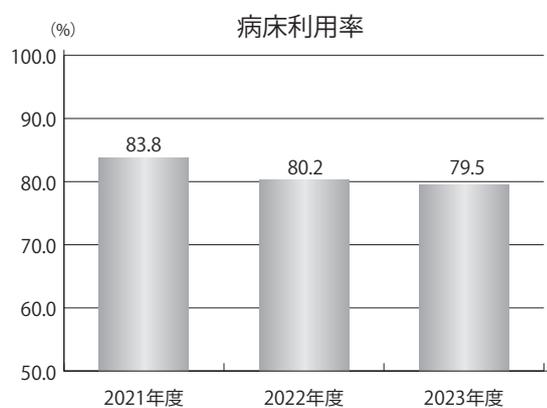
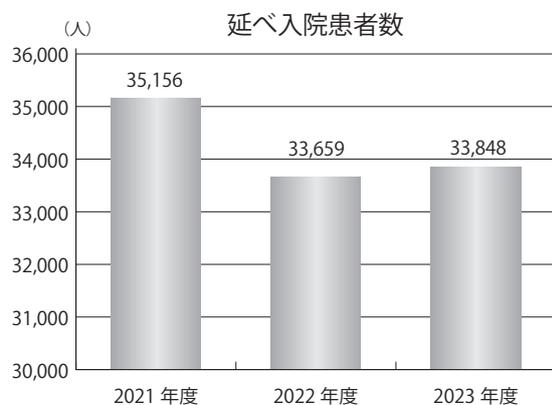
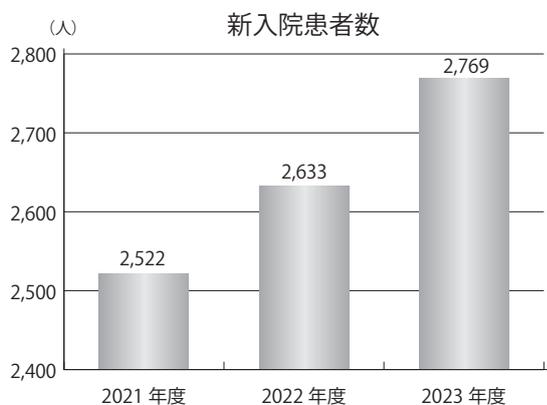
ICD-10 大分類による診療科別統計 (2022年度)
2022年4月～2023年3月までの退院患者

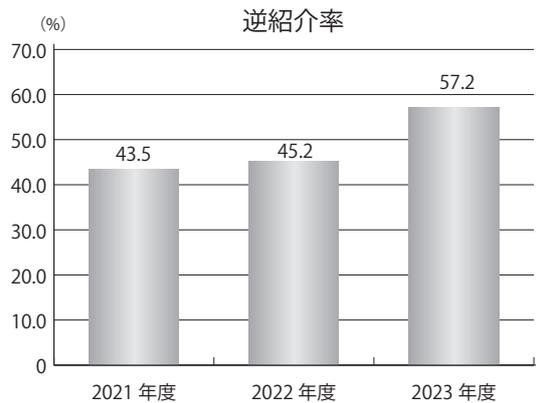
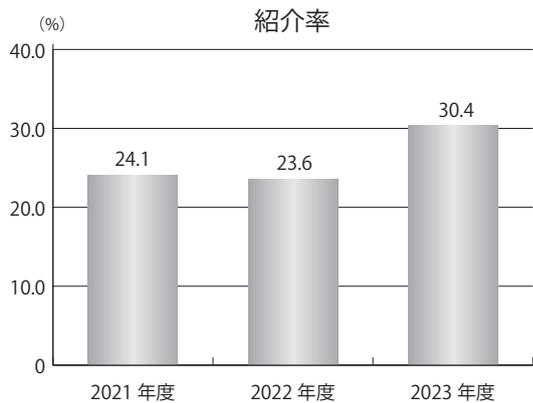
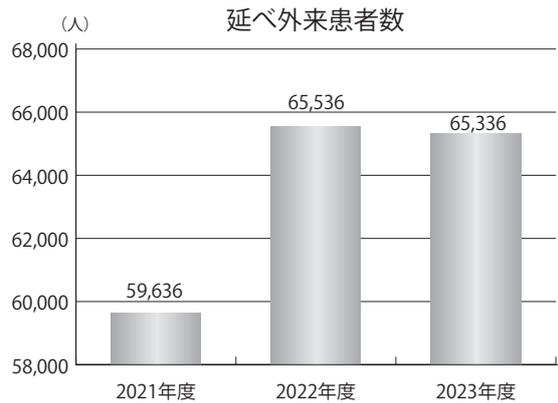
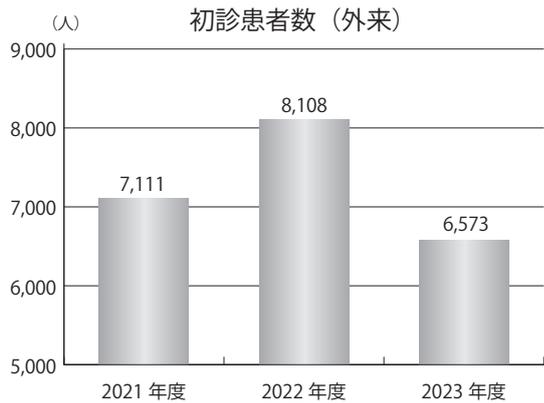
大分類	総合 内科	腎臓 内科	血液 内科	消化器 内科	脳神経 外科	泌尿 器科	皮膚科	放射 線科	脳神経 内科	リハビ リテー ション 科	整形 外科	循環器 内科	消化器 外科	精神科	産科	婦人科	小児科	眼科	歯科口 腔外科	計
1 感染症および寄生虫症 (A00-B99)	100	1	9	10	0	0	35	2	3	0	0	2	3	8	0	1	2	0	0	176
2 新生物 (C00-D48)	33	1	399	255	9	212	57	130	1	4	4	2	354	31	0	56	0	0	0	1,548
3 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 (D50-D89)	26	1	25	2	0	0	2	0	0	0	0	1	3	5	0	2	0	0	0	67
4 内分泌、栄養および代謝疾患 (E00-E90)	71	5	1	0	1	1	0	0	9	0	0	1	16	11	0	1	1	0	0	118
5 精神および行動の障害 (F00-F99)	8	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	140	0	0	0	0	0	150
6 神経系の疾患 (G00-G99)	49	0	1	5	23	0	1	0	71	2	0	2	0	6	0	0	0	0	0	160
7 眼および付属器の疾患 (H00-H59)	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	30	0	0	0	243	0	276
8 耳および乳様突起の疾患 (H60-H95)	5	0	1	0	2	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25
9 循環器系の疾患 (I00-I99)	57	12	2	6	72	0	2	10	385	98	0	133	2	21	0	0	0	0	0	800
10 呼吸器系の疾患 (J00-J99)	363	7	11	4	0	3	0	4	1	2	0	5	7	32	0	0	0	0	1	440
11 消化器系の疾患 (K00-K93)	70	2	4	493	0	3	0	17	0	1	0	0	434	52	1	0	1	0	5	1,083
12 皮膚および皮下組織の疾患 (L00-L99)	43	1	1	0	0	2	77	0	0	0	0	0	4	12	0	0	1	0	5	146
13 筋骨格系および結合組織の疾患 (M00-M99)	125	3	0	1	1	1	3	0	2	7	63	0	1	8	0	0	1	0	0	216
14 腎尿路生殖器系の疾患 (N00-N99)	208	139	2	1	0	502	1	0	4	2	0	1	7	24	0	15	0	0	0	906
15 妊娠、分娩および産じょく (O00-O99)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46	2	0	0	0	48
16 産産期に発生した病態 (P00-P96)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	2	0	0	9
17 先天奇形、変形および染色体異常 (Q00-Q99)	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	6
18 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R00-R99)	11	0	0	28	0	25	0	2	1	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	72
19 損傷、中毒およびその他の外因の影響 (S00-T98)	46	4	6	14	88	11	0	2	5	9	332	2	9	5	0	2	0	2	0	537
20 傷病および死亡の外因 (V01-Y98)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21 健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用 (Z00-Z99)	1	0	6	0	0	0	0	0	0	0	24	0	25	0	5	0	0	0	0	61
22 原因不明の新たな疾患の暫定分類 (U00-U49) 抗真菌薬及び抗腫瘍薬への耐性 (U82-U85)	171	12	14	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	203
計	1,387	189	482	822	197	760	178	167	502	127	423	151	870	385	64	79	8	245	11	7,047

ICD-10 大分類による診療科別統計 (2023年度)
2023年4月～2024年3月までの退院患者

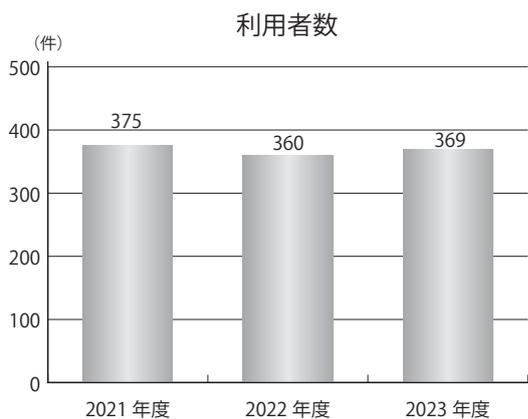
大分類	総合 内科	腎臓 内科	血液 内科	消化器 内科	脳神経 外科	泌尿 器科	皮膚科	放射 線科	脳神経 内科	リハビ リテー ション 科	整形 外科	循環器 内科	消化器 外科	精神科	産科	婦人科	小児科	眼科	歯科口 腔外科	計
1 感染症および寄生虫症 (A00-B99)	122	5	20	10	1	4	45	4	0	0	0	2	5	2	0	1	1	0	0	222
2 新生物 (C00-D48)	32	2	430	175	12	272	84	106	0	4	2	0	314	41	0	93	0	0	0	1,567
3 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 (D50-D89)	26	3	30	1	0	1	1	1	0	0	0	1	3	3	0	0	0	0	0	70
4 内分泌、栄養および代謝疾患 (E00-E90)	72	3	3	1	0	0	0	0	4	0	0	3	12	11	0	0	4	0	0	113
5 精神および行動の障害 (F00-F99)	9	0	0	11	0	0	0	0	2	0	0	0	0	109	0	0	0	0	0	131
6 神経系の疾患 (G00-G99)	23	0	1	10	24	1	0	0	60	1	0	3	0	5	0	0	0	0	0	128
7 眼および付属器の疾患 (H00-H59)	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	28	0	0	0	250	0	284
8 耳および乳様突起の疾患 (H60-H95)	3	0	1	0	1	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
9 循環器系の疾患 (I00-I99)	52	9	5	14	83	2	2	12	337	102	0	149	0	18	0	0	0	0	0	785
10 呼吸器系の疾患 (J00-J99)	498	14	25	5	0	3	1	9	6	3	0	8	4	43	0	0	1	1	1	622
11 消化器系の疾患 (K00-K93)	80	2	4	474	0	2	0	17	0	1	0	1	494	84	0	0	0	0	6	1,165
12 皮膚および皮下組織の疾患 (L00-L99)	39	0	0	0	0	3	86	0	0	0	0	0	1	9	0	0	0	0	0	138
13 筋骨格系および結合組織の疾患 (M00-M99)	156	5	1	4	0	0	2	1	3	4	76	1	3	7	0	0	0	0	0	263
14 腎尿路生殖器系の疾患 (N00-N99)	202	123	1	3	0	603	0	0	3	1	0	1	5	43	0	38	0	0	0	1,023
15 妊娠、分娩および産じょく (O00-O99)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38	1	0	0	0	39
16 産産期に発生した病態 (P00-P96)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	9
17 先天奇形、変形および染色体異常 (Q00-Q99)	0	0	0	0	1	2	0	1	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	8
18 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R00-R99)	16	0	2	7	0	20	0	3	1	0	0	0	6	1	0	0	0	0	0	56
19 損傷、中毒およびその他の外因の影響 (S00-T98)	38	8	0	11	76	15	1	2	10	12	376	2	15	15	0	0	0	0	1	582
20 傷病および死亡の外因 (V01-Y98)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21 健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用 (Z00-Z99)	0	0	11	1	0	0	0	0	0	0	34	0	12	0	0	0	0	0	0	58
22 原因不明の新たな疾患の暫定分類 (U00-U49) 抗真菌薬及び抗腫瘍薬への耐性 (U82-U85)	100	21	12	16	0	2	1	1	16	1	0	17	3	4	0	0	0	0	0	194
計	1,473	195	546	743	198	930	223	157	459	130	488	190	878	423	47	133	6	251	8	7,478

いづろ今村病院





指定居宅介護支援事業所 ウェルネスじあい



【2023年度総括】

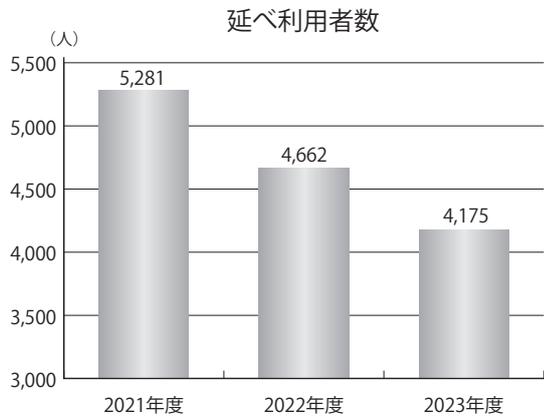
〈目標達成度〉

担当者件数目標33件/月に対し、34件/月と目標値を上回っています。実績に関しては、30件/月に対して、30.7件/月とほぼ計画通りでした。今年度はターミナル利用者12件を担当し過去最高の担当者数でした。担当利用者の高齢化が進み、ターミナル利用者は体調を見ながらの在宅生活であるため入退院の機会も多く、入院時連携加算目標24件/年に対し実績は31件/年に上り、退院時連携加算目標、実績それぞれ9件/年でした。

〈総括〉

担当利用者の高齢化が進む中、老々介護や身体状況の変化により在宅生活の継続が困難な状況があります。在宅療養支援病院内の居宅介護支援事業所の役割を意識し、在宅医療・介護支援機能の強化のために今後も支援を続けていきます。

通所リハビリテーション ウェルネスじあい



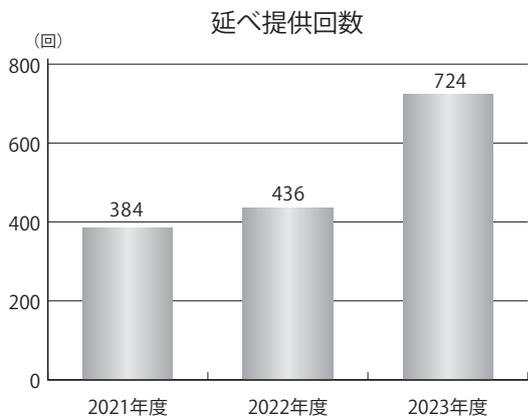
【2023年度総括】

2023年度延べ利用者数は4,175人（月平均新規利用0.7人、月平均利用割合72.6%）、収益28,930,739円と計画未達成。利用者への体験利用を年に5件実施し、そのうち3件が実際の利用となりました。

〈総括〉

計画未達成については通所リハ場所移転に伴い定員を減員したことが大きく影響していました。また新規利用者獲得枠が減少したため、体験利用者も前年度21件から5件へと減少しました。2024年度は介護報酬改定があるため減算とならない体制を構築していきたいと思えます。

指定訪問リハビリテーション ウェルネスじあい



【2023年度総括】

〈目標達成度〉

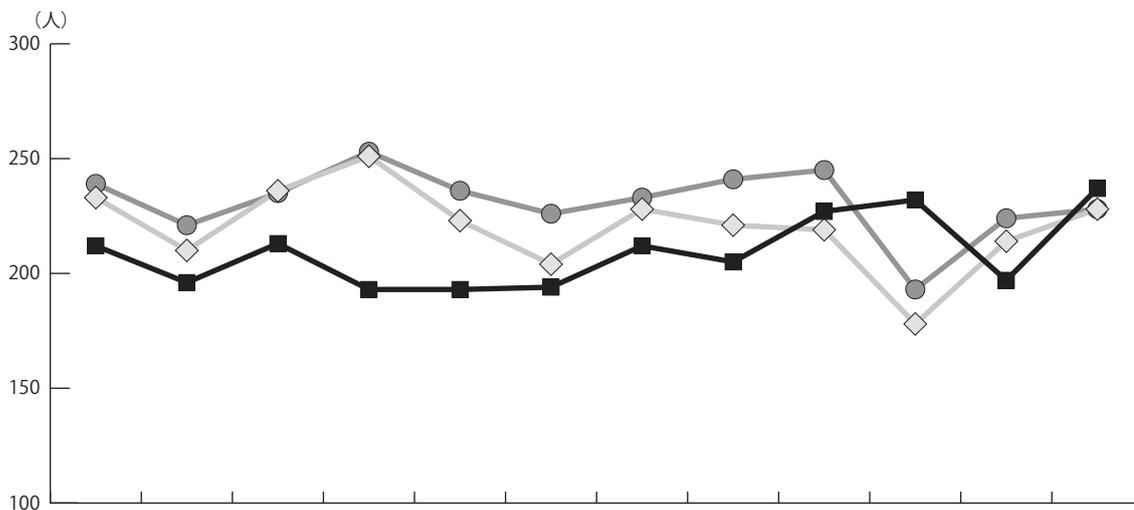
2023年度は延べ提供回数724回で、前年度（436回）を大きく上回り目標を達成しました。

〈総括〉

対象者は主に当院退院後の患者様、もしくは当院かかりつけ外来の患者様です。訪問リハの依頼、相談はコンスタントに頂いていますが、人員の問題でお断りすることが多い現状です。今後も、前年比増を目標に可能な限り受け入れ、困難な場合は、慈愛会をはじめとする他の訪問リハ事業所等をご紹介することとし、スムーズな対応ができるよう日頃から他訪問リハ事業所との連携に努めていきます。

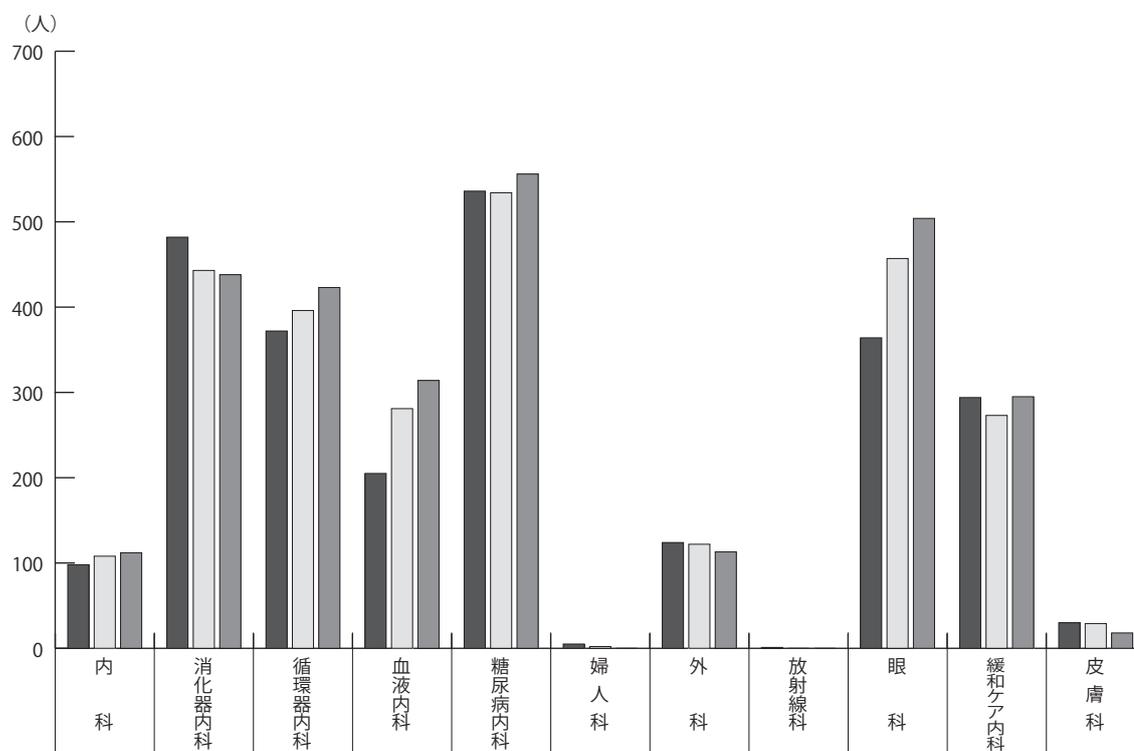
患者動向

年度別月別退院患者数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年度	212	196	213	193	193	194	212	205	227	232	197	237
2022年度	233	210	236	251	223	204	228	221	219	178	214	228
2023年度	239	221	235	253	236	226	233	241	245	193	224	228

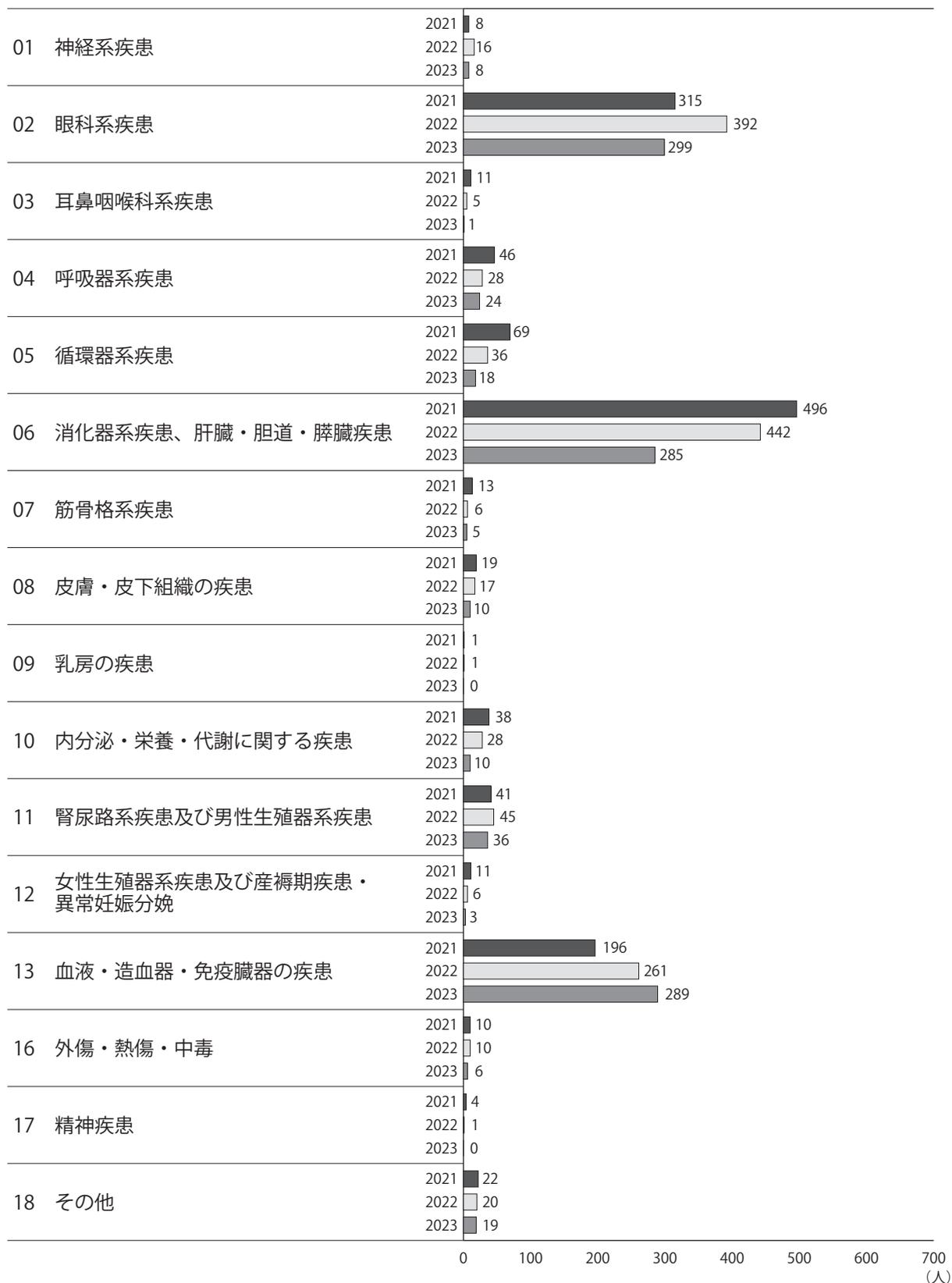
年度別診療科別退院患者数



診療科	2021年度	2022年度	2023年度
内科	98	108	112
消化器内科	482	443	438
循環器内科	372	396	423
血液内科	205	281	314
糖尿病内科	536	534	556
婦人科	5	2	0
外科	124	122	113
放射線科	1	0	0
眼科	364	457	504
緩和ケア内科	294	273	295
皮膚科	30	29	18

DPC 統計 (MDC、ICD)

年度別MDC別退院患者数



ICD-10 大分類による診療科別統計 (2021年度)
2021年4月～2022年3月までの退院患者

大分類		内科	消化器 内科	血液 内科	糖尿病 内科	外科	婦人科	放射線 科	循環器 内科	緩和 ケア 内科	眼科	皮膚科	計
1	感染症および寄生虫症 A00-B99	4	17	5	2	1			3			8	40
2	新生物 C00-D48	16	161	171	1	47	5		10	255	1	5	672
3	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 D50-D89	4	6	18	1							1	30
4	内分泌、栄養および代謝疾患 E00-E90	2	2		500	3			2				509
5	精神および行動の障害 F00-F99	15	1			3			7				26
6	神経系の疾患 G00-G99	5			2				4				11
7	眼および付属器の疾患 H00-H59				5				207		362		574
8	耳および乳様突起の疾患 H60-H95	3			2				1				6
9	循環器系の疾患 I00-I99	5	2		4	4			110	1	1		127
10	呼吸器系の疾患 J00-J99	15	1	6	4	2			11	1			40
11	消化器系の疾患 K00-K93	3	280	1	3	55			3	1			346
12	皮膚および皮下組織の疾患 L00-L99	1			5	2			1			15	24
13	筋骨格系および結合組織の疾患 M00-M99	9	2		2	1			8	5			27
14	腎尿路生殖器系の疾患 N00-N99	7	1	1	5				1	32			47
15	妊娠、分娩および産褥 O00-O99												
16	周産期に発生した病態 P00-P96												
17	先天奇形、変形および染色体異常 Q00-Q99												
18	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの R00-R99												
19	損傷、中毒およびその他の外因の影響 S00-T98	9	10	2		6		1	4				32
20	傷病および死亡の外因 V01-Y98												
21	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用 Z00-Z99												
計		98	483	204	536	124	5	1	372	295	364	29	2,511

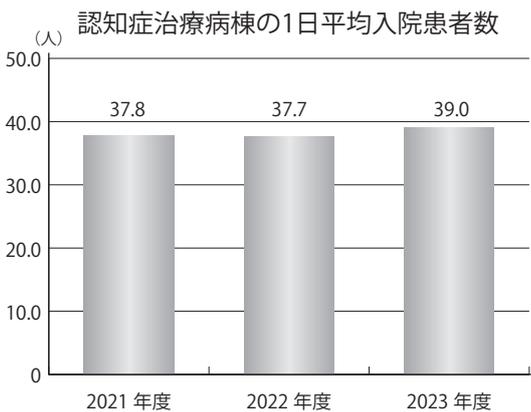
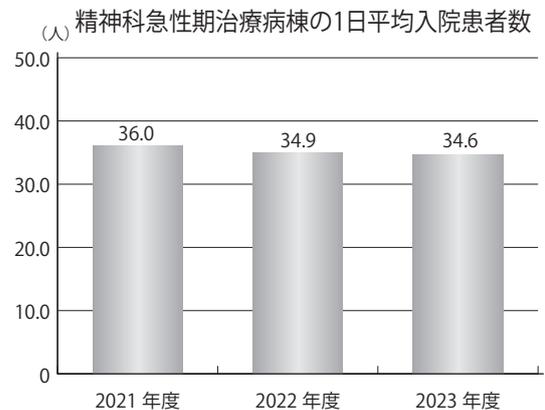
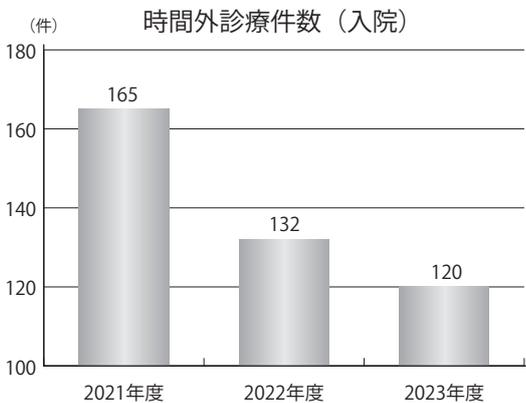
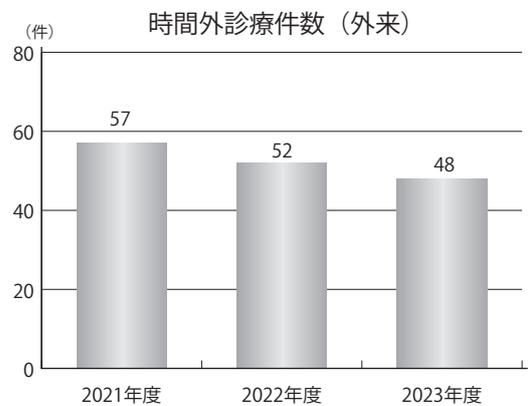
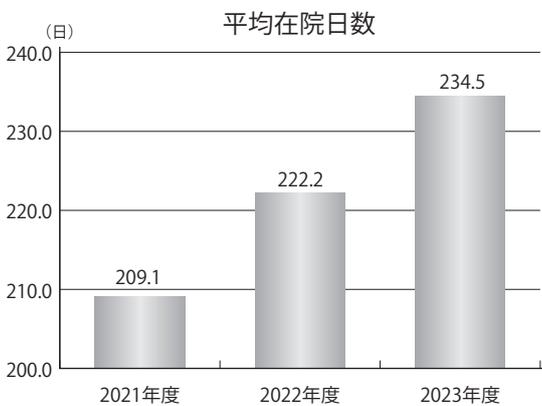
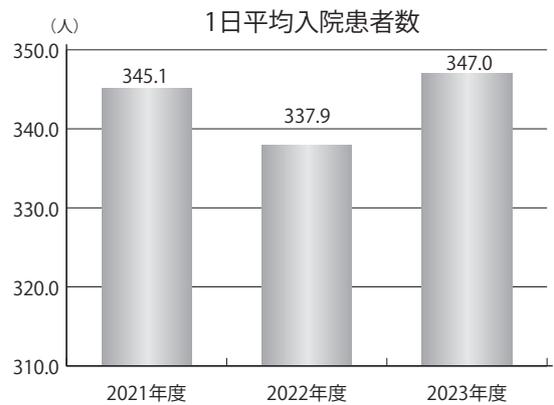
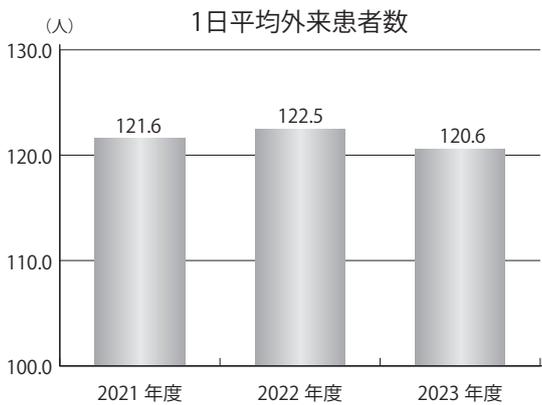
ICD-10 大分類による診療科別統計 (2022年度)
2022年4月～2023年3月までの退院患者

大分類		内科	消化器 内科	血液 内科	糖尿病 内科	外科	婦人科	循環器 内科	緩和 ケア 内科	眼科	皮膚科	計
1	感染症および寄生虫症 A00-B99	2	15	5		5		2	1		7	37
2	新生物 C00-D48	5	136	248	3	49	1	8	236		3	689
3	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 D50-D89	9	1	19	1			1				31
4	内分泌、栄養および代謝疾患 E00-E90	10	11	1	505	1		2				530
5	精神および行動の障害 F00-F99	15				4		5				24
6	神経系の疾患 G00-G99	4	4		3	2		6				19
7	眼および付属器の疾患 H00-H59	2	1		1			229		454		687
8	耳および乳様突起の疾患 H60-H95	2	1					1				4
9	循環器系の疾患 I00-I99	12	13		3	3		81	1			113
10	呼吸器系の疾患 J00-J99	15	3	6	2	5		10	1			42
11	消化器系の疾患 K00-K93	3	242	1	1	45		6				298
12	皮膚および皮下組織の疾患 L00-L99	2			2	2		6			17	29
13	筋骨格系および結合組織の疾患 M00-M99	11	1		3	2		21	3			41
14	腎尿路生殖器系の疾患 N00-N99	12	7	1	8	1	1	7	29			66
15	妊娠、分娩および産褥 O00-O99				1							1
19	損傷、中毒およびその他の外因の影響 S00-T98	4	7		1	3		10	1	3	2	31
22	特殊目的用コード U00-U99		1					1	1			3
計		108	443	281	534	122	2	396	273	457	29	2,645

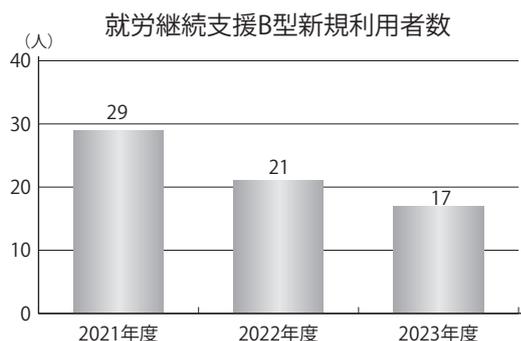
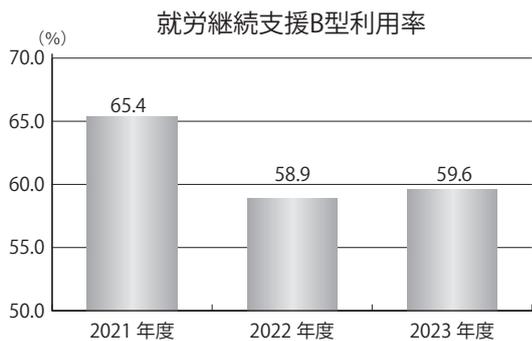
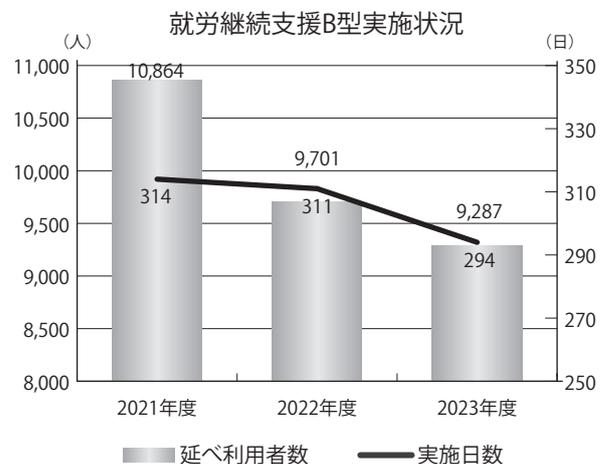
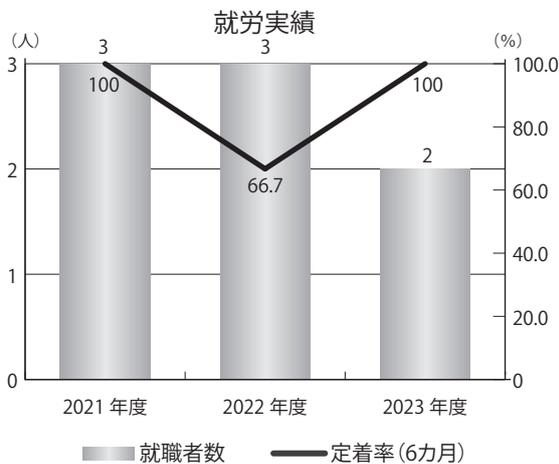
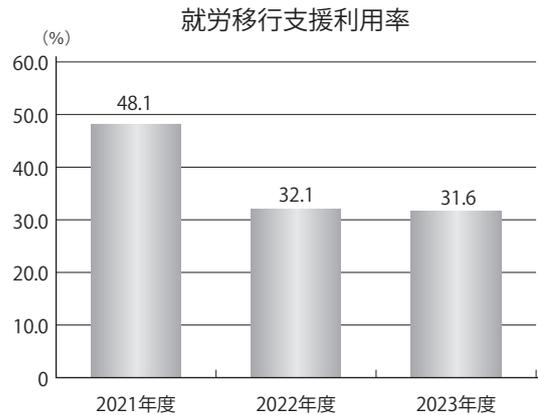
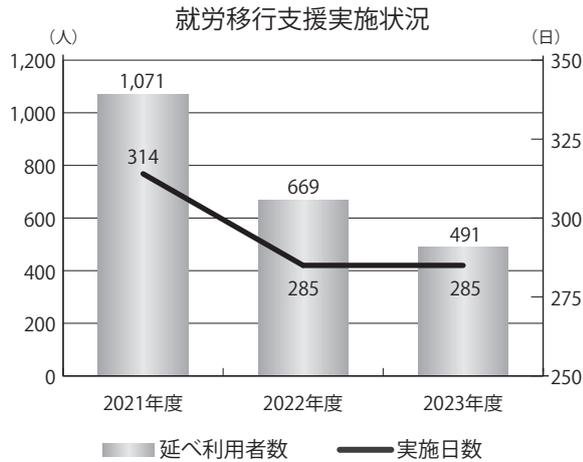
ICD-10 大分類による診療科別統計 (2023年度)
2023年4月～2024年3月までの退院患者

大分類	内科	消化器 内科	血液 内科	糖尿病 内科	外科	婦人科	循環器 内科	緩和 ケア 内科	眼科	皮膚科	計
1 感染症および寄生虫症 A00-B99	2	13	6	4	2		3			2	32
2 新生物 C00-D48	8	150	281	5	46		8	254		1	753
3 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 D50-D89	6	7	15				3				31
4 内分泌、栄養および代謝疾患 E00-E90	8	3		512	1		9		2		535
5 精神および行動の障害 F00-F99	10	2		3	2		3	1			21
6 神経系の疾患 G00-G99	4	7		1	1		4	1			18
7 眼および付属器の疾患 H00-H59	1	1		1			251		500		754
8 耳および乳様突起の疾患 H60-H95	4	1					3				8
9 循環器系の疾患 I00-I99	15	9		4	11		74	1			114
10 呼吸器系の疾患 J00-J99	15	4	8	6	8		18	3			62
11 消化器系の疾患 K00-K93	2	226		2	25		4	1			260
12 皮膚および皮下組織の疾患 L00-L99	2		1	5			3	1		13	25
13 筋骨格系および結合組織の疾患 M00-M99	17	3			9		26	1			56
14 腎尿路生殖器系の疾患 N00-N99	10	1	2	10	2		5	33			63
15 妊娠、分娩および産褥 O00-O99											
19 損傷、中毒およびその他の外因の影響 S00-T98	5	11	1		6		8		1	2	34
22 特殊目的用コード U00-U99	3			3			1				7
計	112	438	314	556	113	0	423	296	503	18	2,773

谷山病院



就労支援センター ステップ



【2023年度総括】

〈目標達成度〉

就労移行支援事業

1. 就職者数4名以上、更に定着率100%
⇒就職者数2名(達成率50%) 定着率100%(達成率95%)
2. B型からの形態変更4名以上⇒B型からの形態変更2名(達成率50%)
3. 就労支援スキルの向上
4. ケース会議の充実
⇒3. 4. 優先度の高い個別支援ミーティングを日々実施しスキルの向上と支援の充実を図りました。

就労継続支援B型事業

1. 1日平均40名以上⇒1日平均利用31.6名(達成率79%)
2. 月平均工賃21,000円以上⇒月平均工賃19,870円以上(達成率88.7%)
3. 稼働率80%を維持⇒稼働率59.6%(達成率74.5%)
4. 移行への形態変更4名以上⇒移行への形態変更2名(達成率50%)
5. ケース会議の充実⇒個別支援ミーティングを適時実施

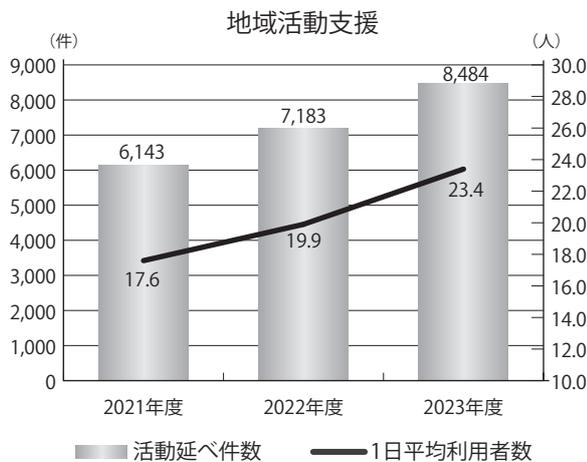
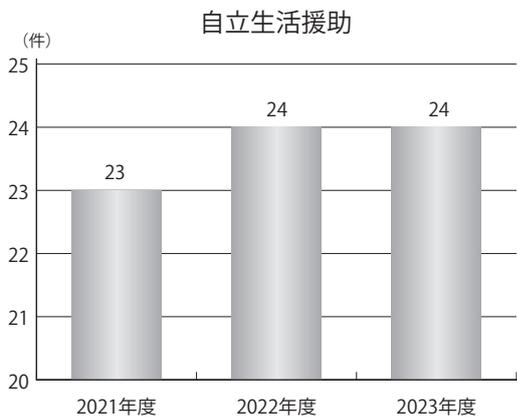
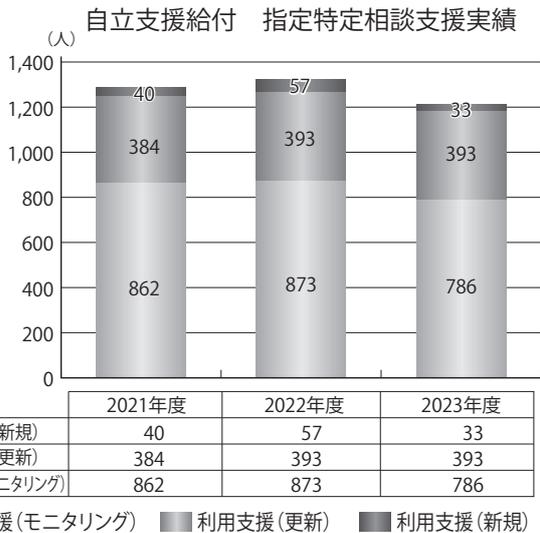
〈総括〉

事業報酬・作業収支ともに黒字に転換。コロナ禍を過ぎ積極的な活動に効果がありました。一過性のものでなく恒久的に増収増益が見込まれるように作業項目と職員配置を見直し体制を改善していきます。事業所として引き続き優先度の高い利用者の個別支援ミーティングを実施し利用者の満足度を高め、且つ、職員の支援スキル向上に努めます。

就労移行支援事業はここ数年、登録者が少ない状況が続いています。今後、就労移行の事業を継続するか、B型に選択集中するか、次年度始まる就労選択事業を見極め就労支援センターステップとしての将来像をつくっていきます。

就労継続支援B型事業は、人材面での安定に苦慮する部分が多かったものの、日々の個別支援ミーティングで、困難な事例に対応する職員の悩みや苦しみを共有し全員で支援していく風土が醸成できています。また、新規の支援困難な利用者に対しても職員の支援の統一化が図られ円滑な導入ができています。

地域活動支援センター ひだまり



【2023年度総括】

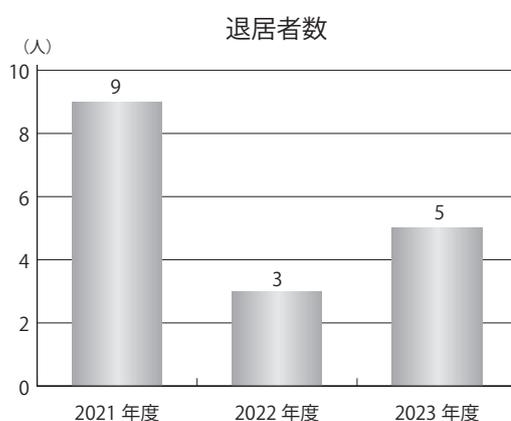
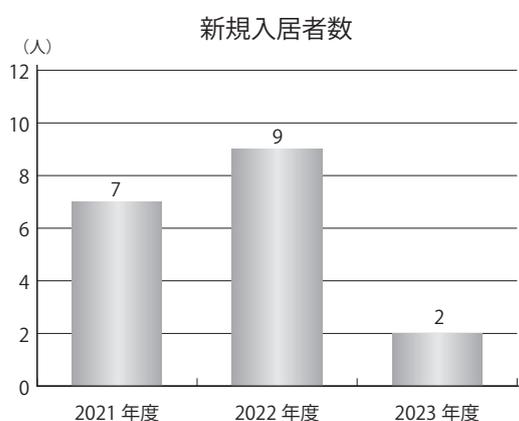
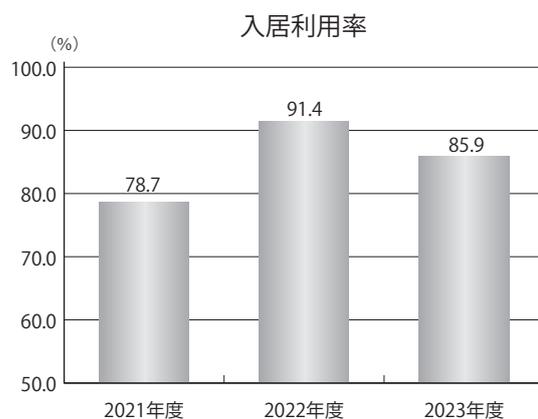
〈目標達成度〉

1. 地域活動支援センター事業の一日平均利用者数は23.4件(年間平均)とコロナ禍以降久しぶりに目標達成。
2. 指定特定相談支援事業における基本報酬は月平均約101件と、わずかに目標クリア。しかし年々実績が減少傾向。
3. 指定一般相談支援事業は2名利用者がおり、実績増加。自立生活援助は毎月利用者がある状況であったが実績に変化なし。

〈総括〉

地域活動支援センター事業の広報活動強化(ウェブサイトのリアルタイム更新と内容の工夫、広報誌の充実)により、ウェブサイトを見たという方から利用についての問い合わせや見学、比較的若年層の新規登録者が増えています。コロナによる行動制限が解除されたことでサークル活動の充実、イベント再開ができ、平均利用者数が増加しました。また、介護保険関係との連携強化目的で長寿安心相談センター本部訪問を実施。指定特定相談支援事業は年々実績が減少していますが、次年度はシステム変更により事務作業が効率化されることで、今後は新規対応も増えていくのではと思われます。

グループホーム しらゆりの郷



【2023年度総括】

〈目標達成度〉

1. 平均利用者数27.5名 (目標28.9名)
2. 稼働率85.9% (目標91.1%)
3. サテライト型住居 3部屋を維持 (目標3部屋)

〈総括〉

事業活動収入は昨年度より約2,800千円の減収。要因としては、月毎の入院者の合計が46名/年いたことで、稼働人数が前年度比500名程下がり、その分が大きく影響したと思われます。

年間通して入院者が多く症状悪化や不穏状態、入居者間のトラブル等に対応することが多い1年間でした。その分、支援の在り方について協議する場面も多く、支援力という意味では全体の底上げに繋がったのではないかと思います。

3 精神科病院（谷山・奄美・徳之島）との人事交流者数（延べ人数）

		2023 年									2024 年			計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
谷山→徳之島	精神保健福祉士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	作業療法士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	看護師	1	3	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	9
谷山→奄美	薬剤師	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1	5

認定看護師養成コース修了、臨床実習指導者養成人数

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
認定看護師	0	0	2
臨床実習指導者	0	2	1

630 調査（在院患者の疾患別割合と退院患者の退院先）

a. 6月30日現在の在院患者数

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
F 00 アルツハイマー病型認知症	20	20	25
F 01 血管性認知症	4	1	5
F 02-09 上記以外の症状性を含む器質性精神障害	33	36	33
F 1 F 10 アルコール使用による精神及び行動の障害	13	11	11
F 1 覚せい剤による精神及び行動の障害	0	0	0
F 1 アルコール、覚せい剤を除く精神作用物類使用による精神及び行動の障害	0	0	0
F 2 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	218	220	209
F 3 気分（感情）障害	34	34	26
F 4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	16	17	17
F 5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	1	2	2
F 6 成人のパーソナリティ及び行動の障害	1	1	1
F 7 精神遅滞〔知的障害〕	4	7	6
F 8 心理的発達の障害	2	2	4
F 9 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	0	0	0
てんかん（F 0 に属さないものを計上する）	0	0	0
その他	1	0	0
計	347	351	339

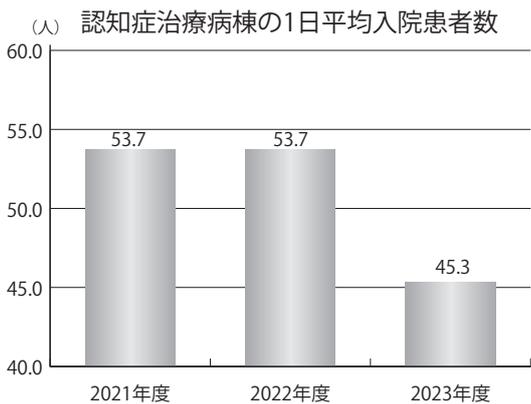
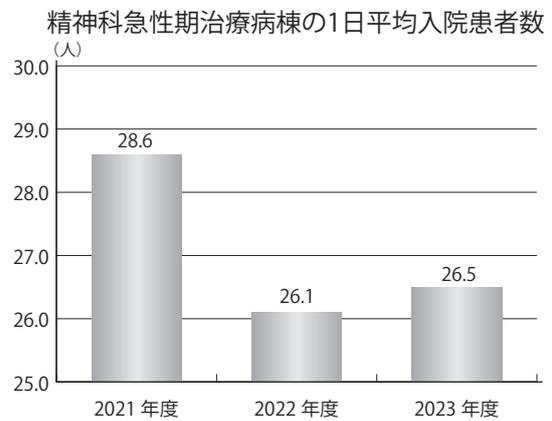
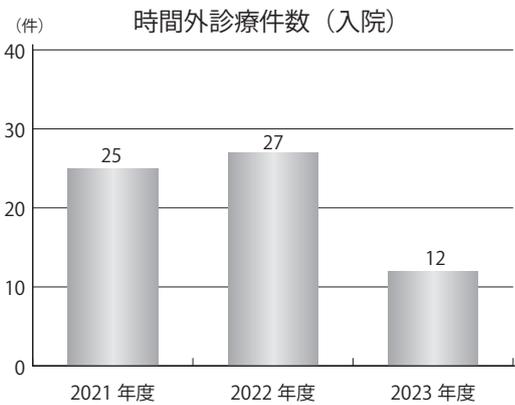
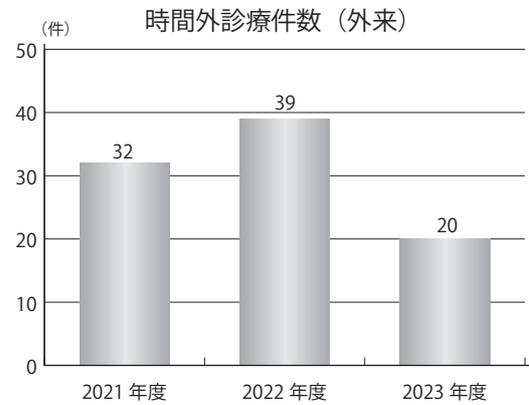
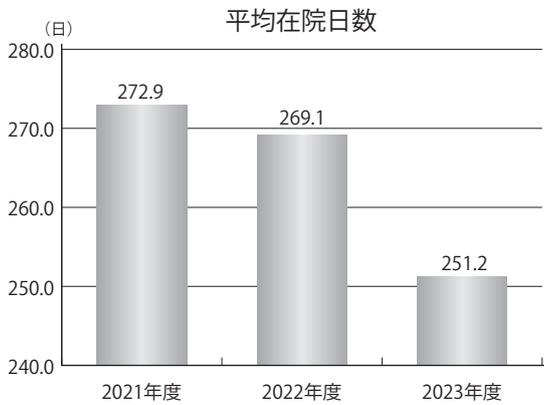
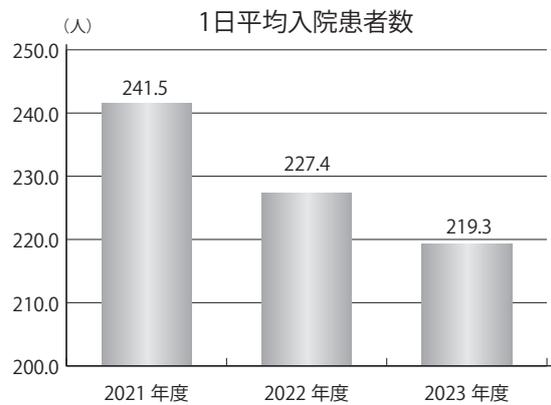
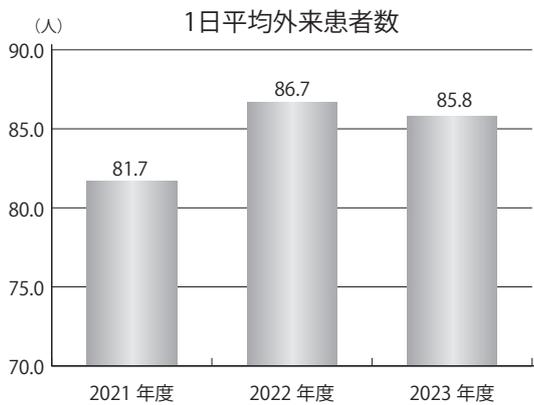
b. 6 月中に退院した患者の退院先

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
家庭復帰等	27	26	30
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	2	10	7
高齢者福祉施設	5	14	5
転院・院内転科	9	8	5
死亡	2	1	0
その他			
計	45	59	47

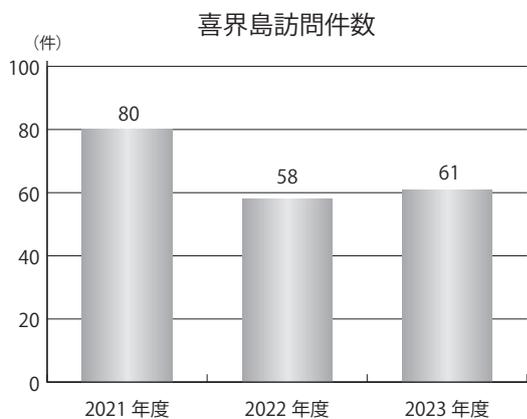
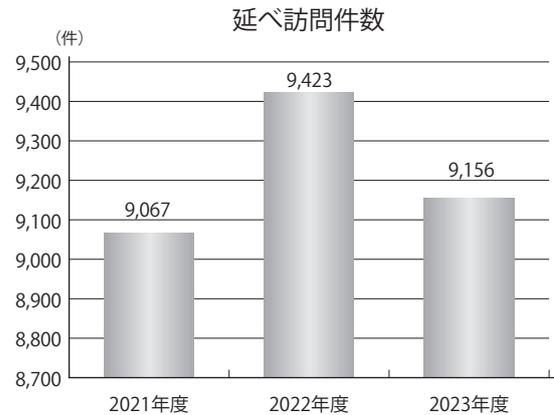
630 調査（1 年前の 6 月中に入院した患者の 1 年後の残存率）

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
入院患者数（前年の 6 月中）	42	57	57
↓			
〔退院先〕			
家庭復帰等	21	22	34
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	4	5	7
転院・院内転科	5	5	7
死亡	1	1	1
計	39	33	49
↓			
残留患者数（当該年の 6 月末）	11	9	8

奄美病院



訪問看護ステーション イルカ



【2023年度総括】

〈目標達成度〉

1. 新規利用者獲得：目標値 月平均3名 年間36名

⇒ 実績 45名 目標達成

2. 月平均訪問件数：目標値800件以上

⇒ 実績763件 達成度95.37%

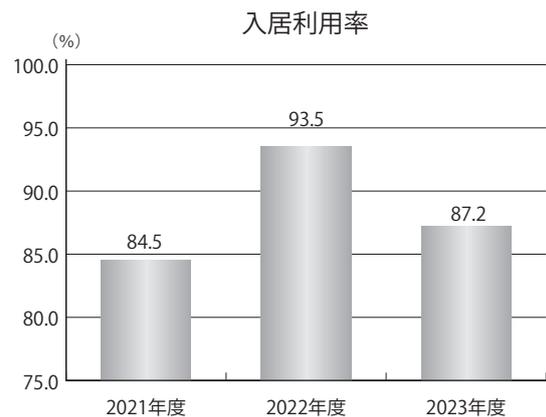
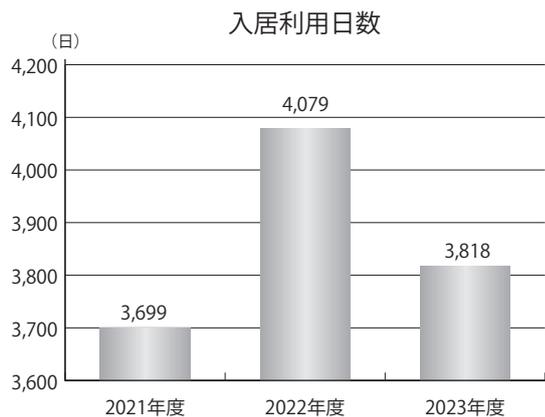
3. 退院時共同支援加算：目標値 10件⇒ 実績31件 目標達成
新規：カンファレンス加算12件

人事異動、介護休暇も含め訪問件数は目標値より下回ったものの、加算についてカンファレンスで周知、下半期新たな加算を取得できました。退院時カンファレンスに参加し退院時共同支援加算も大幅に達成できました。

〈総括〉

カンファレンスで喜界島訪問看護について意見交換、喜界島の風土について分析。役場へのプレゼンテーションを行う資料を作成し2024年2月保健師、看護師への説明を実施。また、担当医師へ報告し指示書の依頼。2024年5月から喜界島訪問看護の回数を増やし離島支援に力を入れていきたい。

グループホーム ひまわり



【2023年度総括】

〈目標達成度〉

- ・入居率91%の目標に対し、入居者の病状悪化や他グループホームへの転居等が重なり前年度比6.3%減少
- ・入居率の動向に伴い入居利用日数も前年度比261日減

〈総括〉

2023年度は入居率減少となり目標達成には至りませんでした。重点目標としている笑顔を大切に自立に向けた援助に力を入れ一人でも多く自立に近づけるよう援助してまいります。併せて、入居率91%を目指し今後も安心して生活ができる環境を提供してまいります。

指定障害福祉サービス事業所 あらいぐま



【2023年度総括】

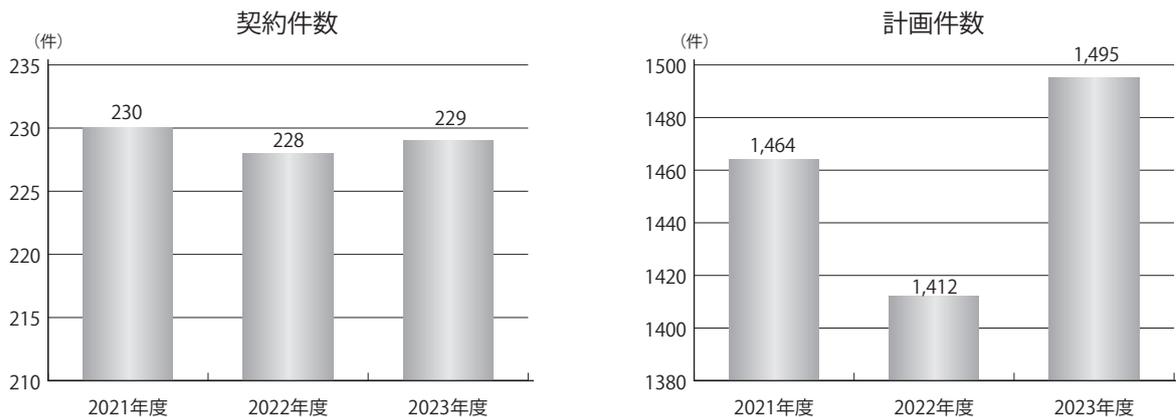
〈目標達成度〉
 ・1日平均利用者数 目標：50名、実績：46.1名
 目標未達ながらも、前年度比104%の実績。参加者総数は前年度比103%
 ・事業収入 目標：80,000,000円 実績：83,813,220円
 目標達成。平均利用者の増加により、事業収入が増加。
 新規利用者の獲得と利用定着が奏功しました。

〈総括〉
 新規利用者の獲得と利用者工賃向上の2点について重点的に取り組みました。

1. 補助金の申請と導入により海洋プラスチックのアップサイクルを利用者の作業として導入することができました。それに伴い、アクセサリーブランド「issue」を作り、販売を開始。若い障害者に対して提案し、新規利用者の獲得につながっています。
2. 新たな作業による収益、既存の作業の収益UPにとりくみ、作業収益が増加しました。それに伴い、利用者に対し、皆勤手当の導入と評価に基づいた時給UPを行い、平均工賃の向上を達成できました。

2024年度は、1と2を継続して内容の充実を図っていき、より良い支援を提供することを目指していきます。

指定特定相談支援事業所 あゆみ



【2023年度総括】

〈目標達成度〉
 ・新規依頼数は前年度比増加するも、職員不足の影響で受け入れができずに断ったケースあり。それでも前年度比 +1 名となる 19 名の新規受け入れを達成。一方で死亡や転居、長期入院によるサービス終了者も多数出たため、最終の契約件数は目標に1名届かず。
 ・計画件数は月平均 120 件の目標に対し、月平均 124.6 件の実績。利用者の臨時的な課題の抽出に適宜対応し件数を増やすことができています。

〈総括〉
 2023年度は職員不足の影響で職員一人当たりの業務量が増え、新規利用者の受け入れ数を増やすことが難しい状況でした。その中でも職員各々が、細かな報酬算定条件を把握し加算を積み重ねることで請求額を上げられるよう意識して取り組むことができました。2024年度は引き続き地域に貢献できるように体制を整えます。他の事業所と協働体制を組むことで請求算定を上げることが可能であるため、2024年度中の開始を考えています。

3 精神科病院（谷山・奄美・徳之島）及びいづろ今村病院との人事交流者数（延べ人数）

		2023 年									2024 年			計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
奄美→徳之島	看護師	2	3	2	2	2	1	2	4	3	2	2	0	25
谷山→奄美	精神保健福祉士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	作業療法士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	薬剤師	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1	5

認定看護師養成コース修了、臨床実習指導者養成人数

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
認定看護師	0	1	0

無医地区への医師派遣回数（へき地医療支援）

2021 年度	2022 年度	2023 年度
20	11	10

630 調査（在院患者の疾患別割合と退院患者の退院先）

a. 6月30日現在の在院患者数

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
F 00 アルツハイマー病型認知症	25	19	25
F 01 血管性認知症	15	19	11
F 02-09 上記以外の症状性を含む器質性精神障害	22	11	15
F 1 F 10 アルコール使用による精神及び行動の障害	14	11	11
F 1 覚せい剤による精神及び行動の障害	1	0	0
F 1 アルコール、覚せい剤を除く精神作用物類使用による精神及び行動の障害	1	0	1
F 2 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	142	141	125
F 3 気分（感情）障害	13	15	12
F 4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	2	2	4
F 5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	0	0	1
F 6 成人のパーソナリティ及び行動の障害	1	1	1
F 7 精神遅滞〔知的障害〕	4	3	3
F 8 心理的発達の障害	0	0	0
F 9 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	1	0	0
てんかん（F 0 に属さないものを計上する）	0	0	1
その他	1	14	3
計	242	236	213

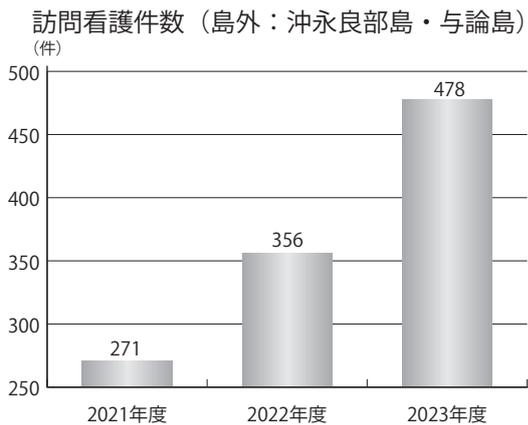
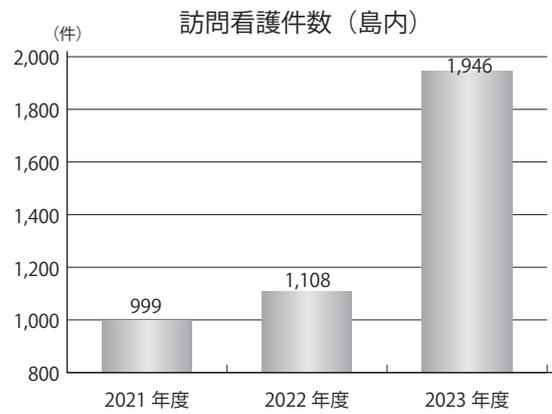
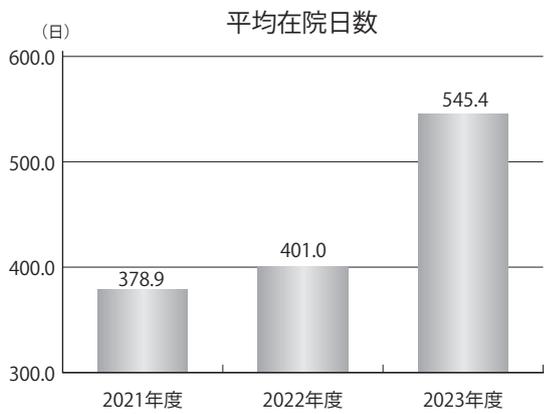
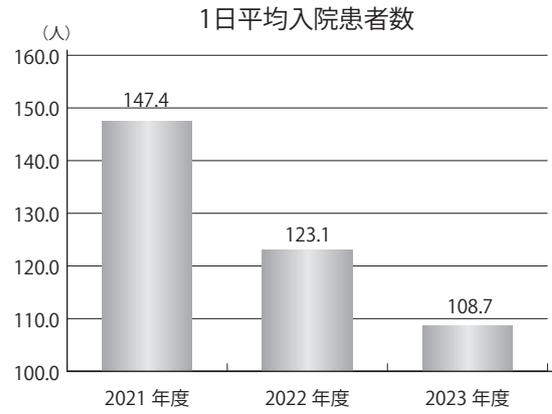
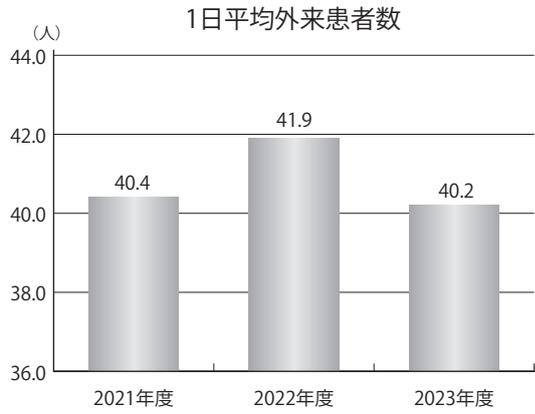
b. 6 月中に退院した患者の退院先

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
家庭復帰等	20	8	20
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	5	2	2
高齢者福祉施設	0	0	6
転院・院内転科	7	10	4
死亡	0	0	0
その他	0	0	0
計	32	20	32

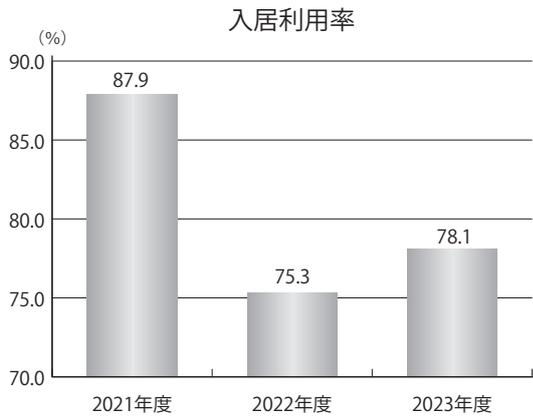
630 調査 (1 年前の 6 月中に入院した患者の 1 年後の残存率)

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
入院患者数 (前年の 6 月中)	33	34	21
↓			
〔退院先〕			
家庭復帰等	18	22	11
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	7	4	4
転院・院内転科	5	1	0
死亡	0	1	0
計	30	27	15
↓			
残留患者数 (当該年の 6 月末)	3	6	6

徳之島病院



グループホーム うんばた



【2023年度総括】

〈目標達成度〉

2023年度の目標として11名の入所を目指しましたが現状維持の10名にとどまりました。病院自体の入院患者数の減少、また患者の高齢化等もあり退院に結びつかない、他のグループホームや他施設に行くことが困難、といったケースが影響していると思われます。病院からの入所は3名にとどまり、他施設への移動も3名と、プラスマイナスゼロでした。

〈総括〉

入居者の自立に向けて、きめ細やかな個別支援（社会復帰促進の取り組み）に力を入れました。入退所後の総合的な支援、健康管理、日常生活における生活支援、社会復帰促進（一人暮らしへ向けた支援）を取り組み目標に掲げ、2024年度は最低でも利用率91.7%（11室）確保を目指します。

訪問看護ステーション わたりどり（2023年7月開所）

【2023年度総括】

〈目標達成度〉

1. 月平均訪問件数：目標値160件以上 ⇒ 7月からの実績218件 達成
2. 月平均登録者数：目標値100件以上 ⇒ 7月からの実績102件 達成
3. 訪問看護ステーション開設に向けてのスタッフの育成
⇒ 准看護師、プラチナナース含め訪問看護ラダーⅡを取得 達成

〈総括〉

月平均訪問件数が目標値を上回った要因は、沖永良部島の月の訪問回数を増やしたこと、スタッフのアセスメント能力が向上し利用者の状態によつて的確に訪問回数を増やしたことだと考えます。看護職員の異動で人員体制が変わりますが、目標の月平均訪問210件を達成するために、各スタッフの訪問看護実務能力の向上と業務改善に取り組みます。

3 精神科病院（谷山・奄美・徳之島）との人事交流者数（延べ人数）

		2023 年									2024 年			計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
谷山→徳之島	精神保健福祉士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	作業療法士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	看護師	1	3	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	9
奄美→徳之島	看護師	2	3	2	2	2	1	2	4	3	2	2	0	25

無医地区への医師派遣回数（へき地医療支援）

2021 年度	2022 年度	2023 年度
10	9	3

630 調査（在院患者の疾患別割合と退院患者の退院先）

a. 6月30日現在の在院患者数

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
F 00 アルツハイマー病型認知症	0	1	0
F 01 血管性認知症	0	0	0
F 02-09 上記以外の症状性を含む器質性精神障害	7	7	3
F 1 F 10 アルコール使用による精神及び行動の障害	1	2	2
F 1 覚せい剤による精神及び行動の障害	0	0	0
F 1 アルコール、覚せい剤を除く精神作用物類使用による精神及び行動の障害	0	0	0
F 2 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	137	116	102
F 3 気分（感情）障害	5	2	3
F 4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	0	0	0
F 5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	0	0	1
F 6 成人のパーソナリティ及び行動の障害	0	0	0
F 7 精神遅滞〔知的障害〕	1	1	1
F 8 心理的発達の障害	0	0	0
F 9 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	1	0	1
てんかん（F 0 に属さないものを計上する）	1	1	1
その他	2	0	1
計	155	130	115

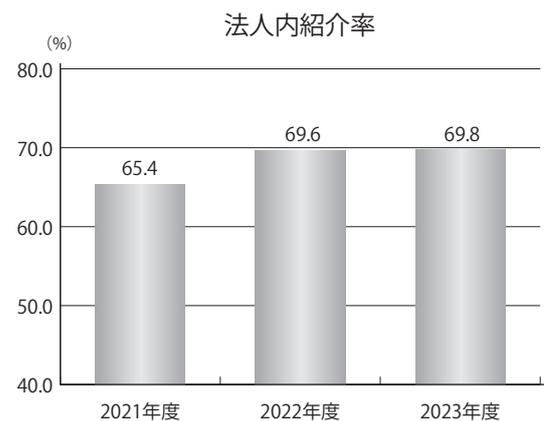
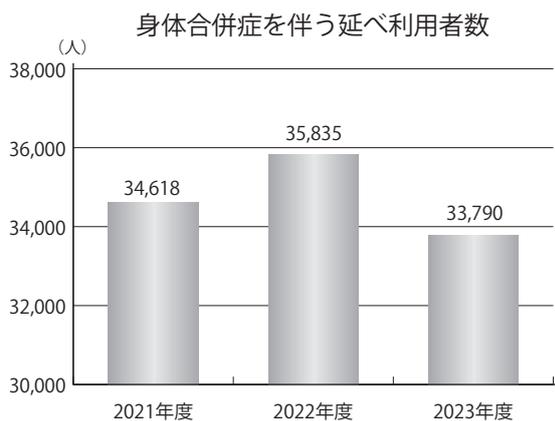
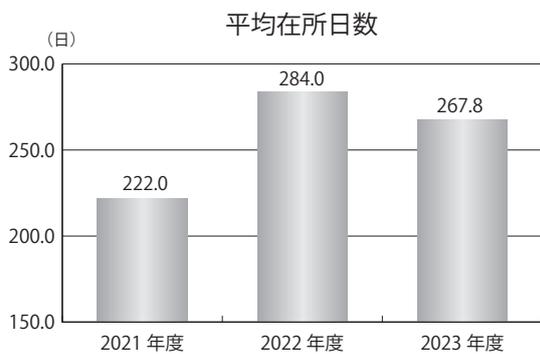
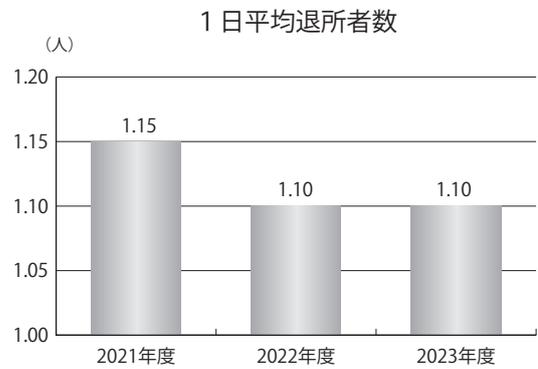
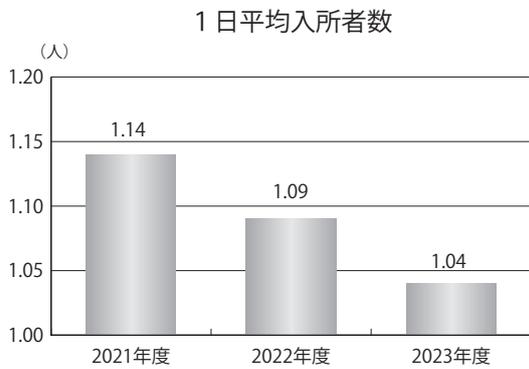
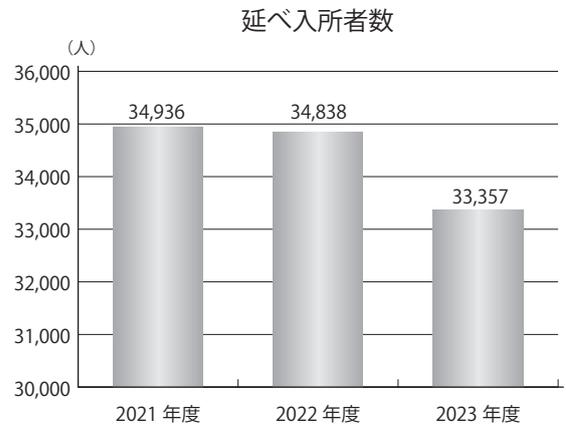
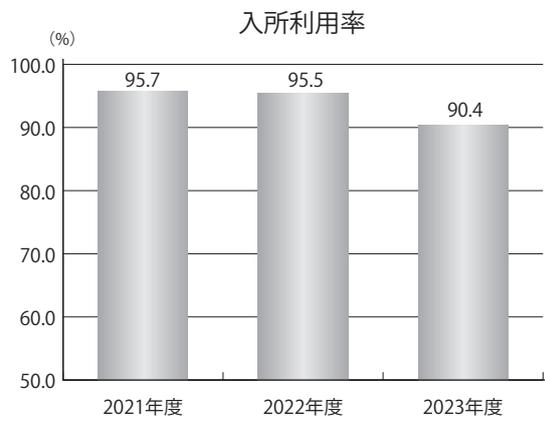
b. 6 月中に退院した患者の退院先

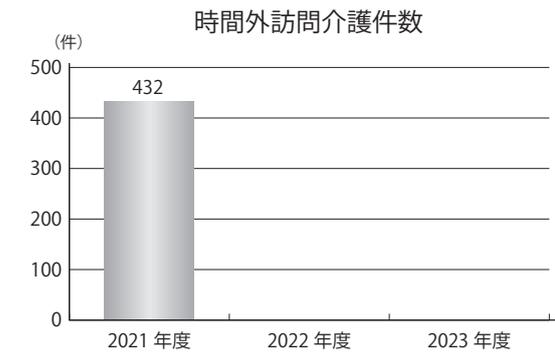
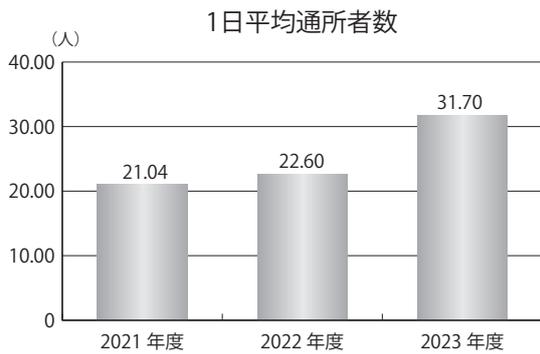
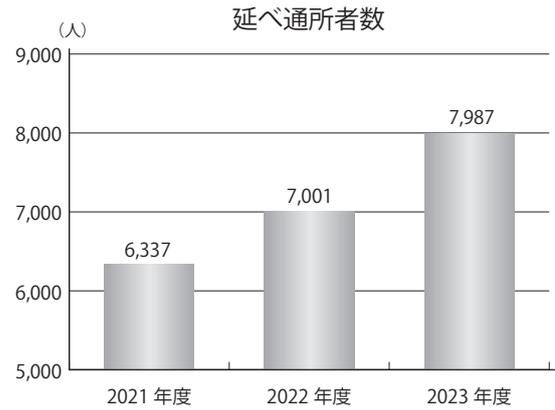
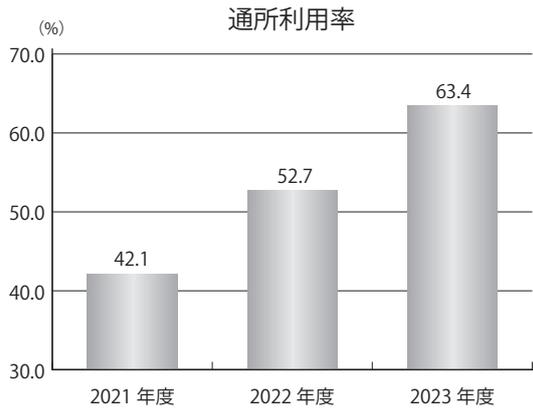
	2021 年度	2022 年度	2023 年度
家庭復帰等	3	3	2
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	2	1	0
高齢者福祉施設	1	0	0
転院・院内転科	3	4	2
死亡	1	0	0
その他	0	0	0
計	10	8	4

630 調査（1 年前の 6 月中に入院した患者の 1 年後の残存率）

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
入院患者数（前年の 6 月中）	6	4	4
↓			
〔退院先〕			
家庭復帰等	1	2	2
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	0	0	0
転院・院内転科	3	1	2
死亡	1	0	0
計	5	3	4
↓			
残留患者数（当該年の 6 月末）	1	1	0

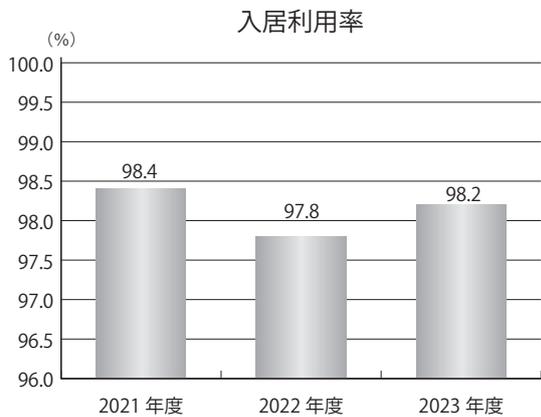
介護老人保健施設 愛と結の街





※2022・2023年度は実績なし

グループホーム 愛と結の街



【2023年度総括】

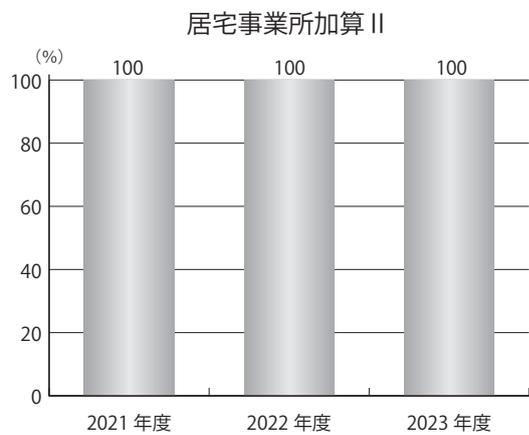
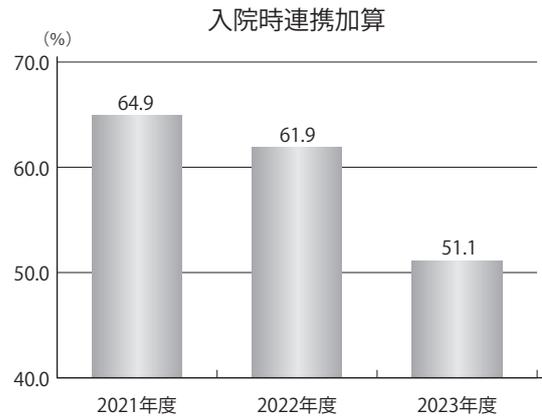
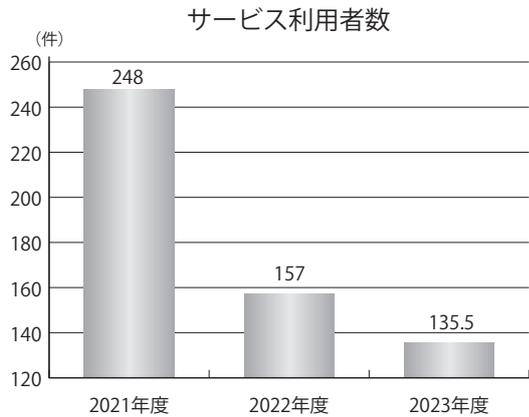
〈目標達成度〉

利用率目標98.4%に対し実績97.4%。入院（肺炎など延べ6名）は昨年度より少なかったものの、入院の長期化などが大きく影響。看取りは3名。年々、医療ニーズや介護量が増え重度化してきており、今後さらに予防的視点と多職種との連携が重要となります。2023年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行となり外部の集合研修も増えつつある中で、参加者が3名にとどまったため、ケアの質の向上のためにも2024年度は積極的に研修に参加したい。

〈総括〉

窓越し面会から居室での直接面会（人数・時間制限あり）を再開することができました。遠方で会えない家族などは、今後もZoomでの面会を継続します。また、地域の方々と一緒に防火訓練などにも取り組みました。今後も地域と共に、ご利用者一人ひとりの安心・安全な生活を支える事業所を目指していきます。

指定居宅介護支援センター 愛と結の街



【2023年度総括】

〈目標達成度〉

居宅担当件数目標 月平均140件以上⇒平均135件

医療機関との連携による入院時連携加算算定目標 平均70%以上⇒平均56.6%

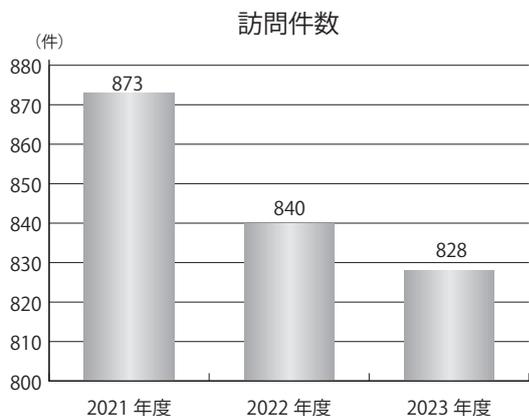
いずれも目標達成には至らず。

職員の変動の予測や受け入れ態勢が構築できず、同法人内の病院や地域包括支援センターからの相談に積極的に応じることができませんでした。

〈総括〉

前年度からケアマネジャーが少ない中での事業所運営で、下半期に新しく職員が加わりましたが、その直後に退職者が出てしまい、事業所体制が不安定な状況でした。今後はしっかりと事業所体制や新規相談受け入れ態勢を構築し、地域から選ばれる居宅支援事業所を目指し、医療及び介護の必要なサービスが切れ目なく提供されるケアマネジメントができるよう邁進します。

ヘルパーステーション 結の街



【2023年度総括】

〈目標達成度〉

月900件の目標数値を月平均828件と達成できず。

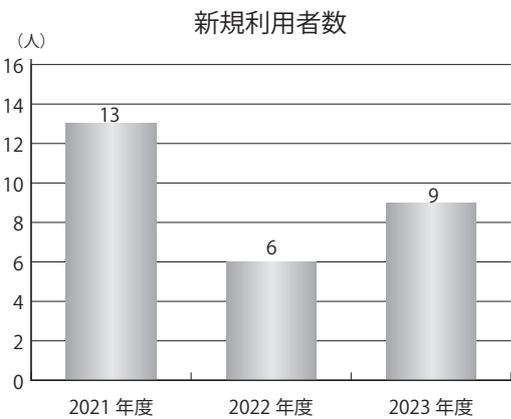
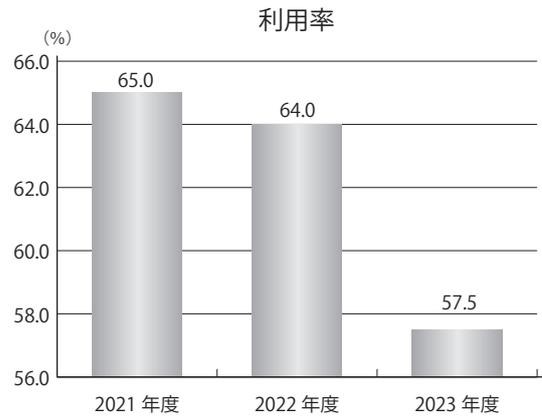
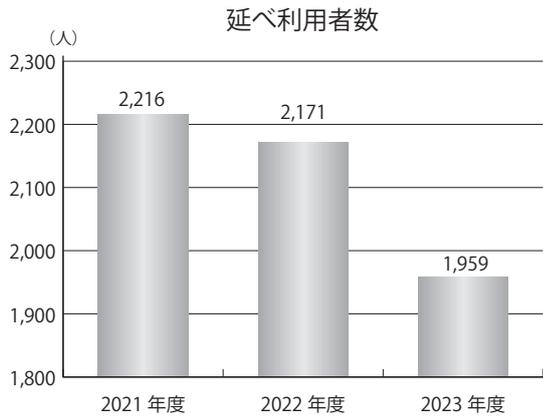
身体介護月200件以上の目標に対し月平均185件、新規利用者月2名以上獲得の目標も1.75人と目標に至らず。

新規依頼はあるものの人員不足や登録ヘルパーの高齢化に伴うマンパワー不足にて件数の増加は難しい状況。

〈総括〉

2023年度は、重度訪問介護の拡充により、在宅で重度の方でも安心して暮らせるための支援の幅が広がりましたが、長時間の支援になり、人員の確保に苦慮することが多くなりました。今後ますます柔軟な支援体制の構築が必要になる訪問介護の現場で、業務の効率化、新たな人材確保に努めながら、ご利用者一人ひとりの生活の支えになれる事業所を目指していきます。

デイサービスセンター あしたの風

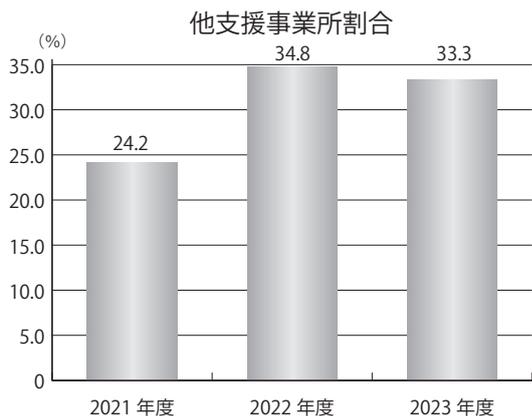
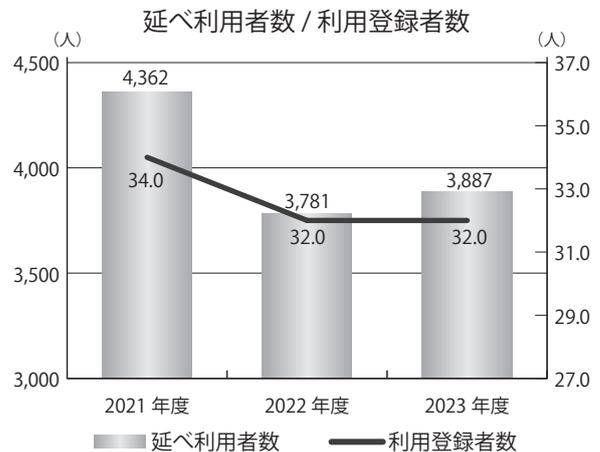
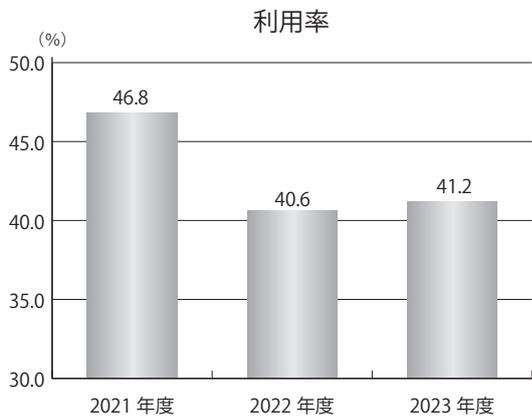


【2023年度総括】

〈目標達成度〉
 年間平均利用率70%、新規利用者獲得数15名を目指しましたが、年間平均利用率は57.5%、新規利用者獲得数9名と大きく下回る結果となり目標を達成できませんでした。新型コロナウイルス感染症の影響や、利用に繋がっても入院や入所により利用中止となるケースが続いたことが要因と考えられます。

〈総括〉
 機能訓練指導員を中心にスタッフ全員で、利用者のBPSDの緩和とともに心身機能の維持に取り組みました。特に認知機能については個別のプログラムを実践し、MMSEで効果を可視化し機能維持を図ることができました。新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、認知症カフェや家族交流会も再開できました。家族の介護の困りごとの相談対応、介護負担の軽減を図り、利用者が安心できる環境を提供し、BPSDの緩和と心身機能維持に注力していきます。

デイサービス はなぶさ

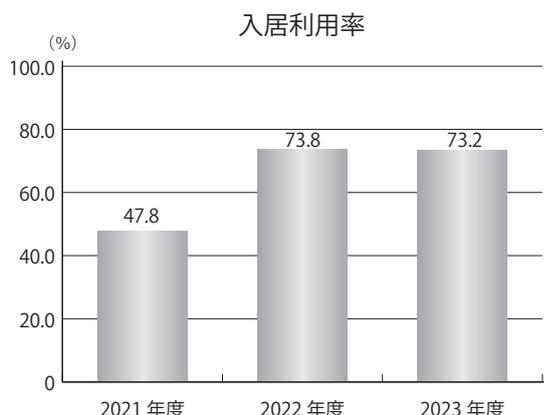


【2023年度総括】

〈目標達成度〉
 年間平均稼働率（7～8h換算）60%、登録利用者数50名の目標に対し、年間平均利用率41.5%、利用登録人数は要介護30.5名、要支援1.6名の実績となり、目標を大きく下回りました。他支援率が3.2%と低水準だったことが大きな要因と考えられます。キャンセル数も昨年を大きく上回りました。

〈総括〉
 体操やクラブ活動等に関して、利用者の満足度調査等は概ね良い結果となり、食事も高評価が得られました。2024年度は他支援事業所と周辺地域の方々に、はなぶさの知名度を上げられるように営業活動に注力していきたい（他支援事業所の割合：目標5%以上）。

住宅型有料老人ホーム あいゆいの家



【2023年度総括】

〈目標達成度〉

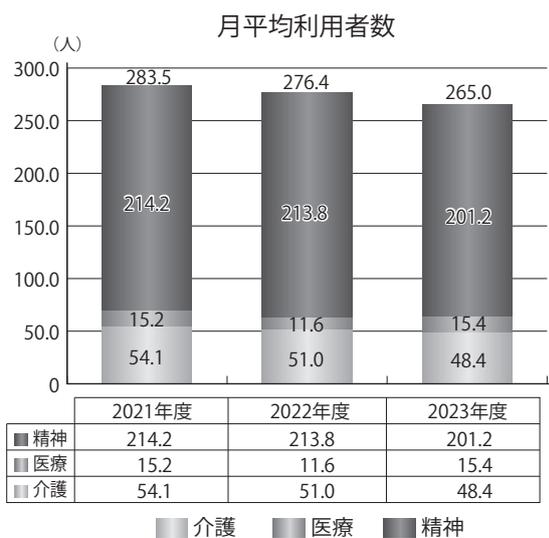
老健施設等と連携を図り、年間平均入居者8名を目標に入居調整を行い、暫くは8名を維持しましたが、入院やあいゆいの家での生活の継続が難しくなり他事業所に移るケースも見られ、年間入居率は73.1%に留まり、目標達成には至りませんでした。

〈総括〉

世話人と入居者の関係は良好で、家庭での生活のようなアットホームな雰囲気が入居者の満足度も高い状況でした。食堂の共有スペースでは入居者同士が自然と集い交流が多く図れていました。毎週木曜日に定期訪問する移動販売の買い物サポート等も実施しました。今後も安定的な入居者確保やニーズに応じてサービス内容調整等柔軟に対応し、老健施設以外の入居者も増えるように営業活動にも尽力していきたい。

慈愛会在宅支援部

笹貫訪問看護ステーション 愛の街



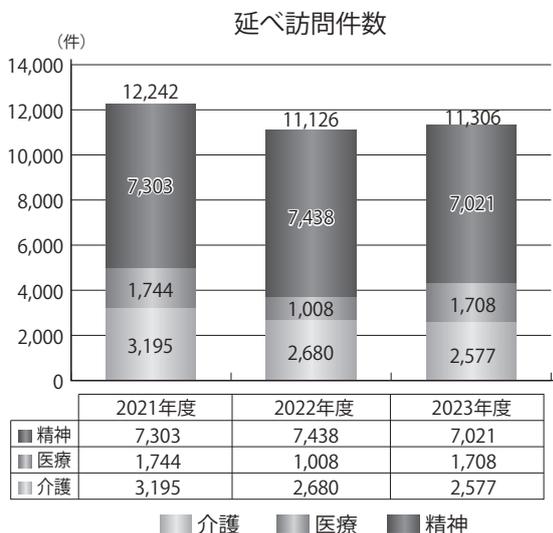
【2023年度総括】

〈目標達成度〉

- ・年間訪問看護件数目標12,000件に対して11,306件の実績。94.2%の達成率となりましたが、前年度より222件増加しました。
- ・精神の利用者で再入院した後、入院が長期化する利用者が増加。

〈総括〉

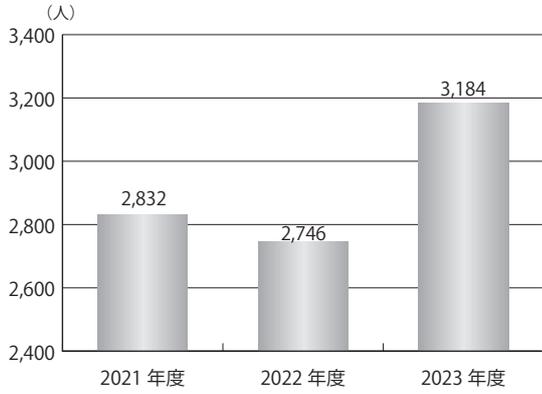
- ・自身の感染対策を重点に気を付け、利用者への訪問を実施。
- ・特定看護師育成と支援。
- ・働き甲斐のある職場環境づくりとして、有給休暇消化率平均53.9%の達成。



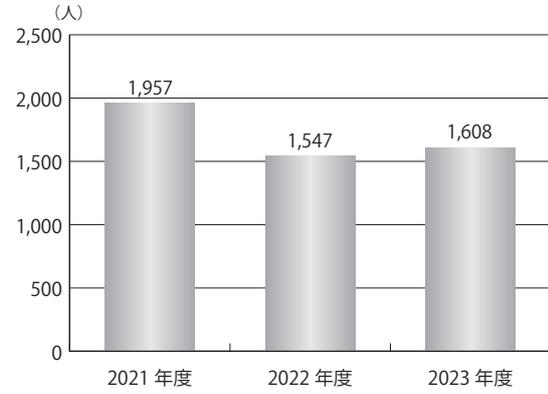
※一般の訪問看護のうち医療保険利用の訪問看護を「医療」、介護保険利用の訪問看護を「介護」として集計。

高麗町クリニック

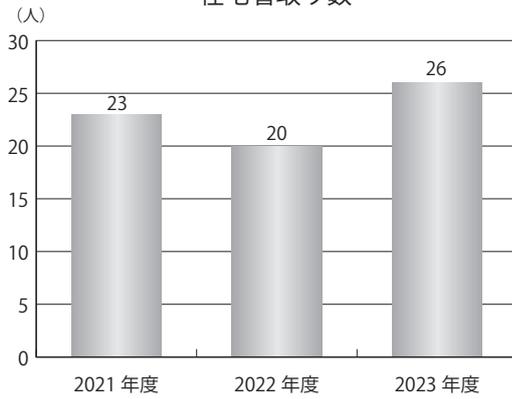
訪問診療延べ患者数



訪問リハ延べ患者数

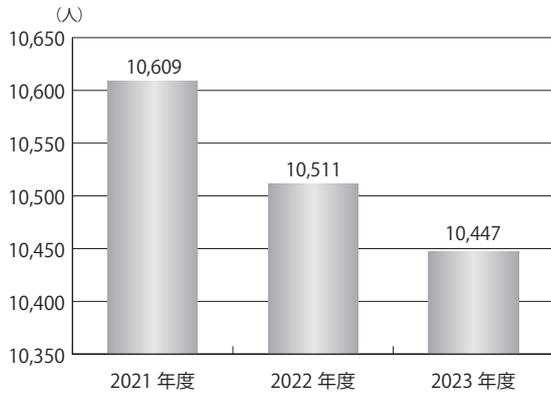


在宅看取り数

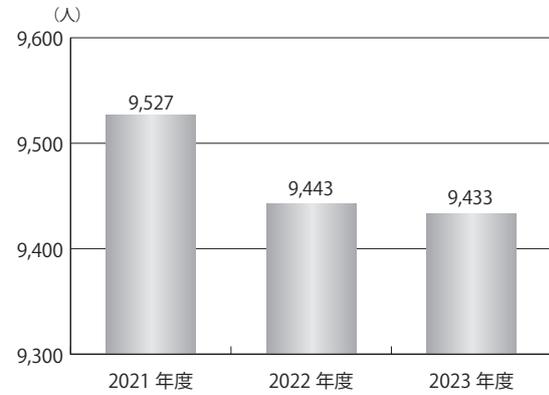


慈愛会クリニック

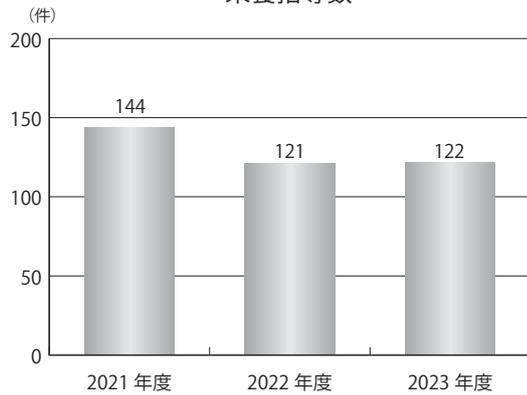
外来患者数



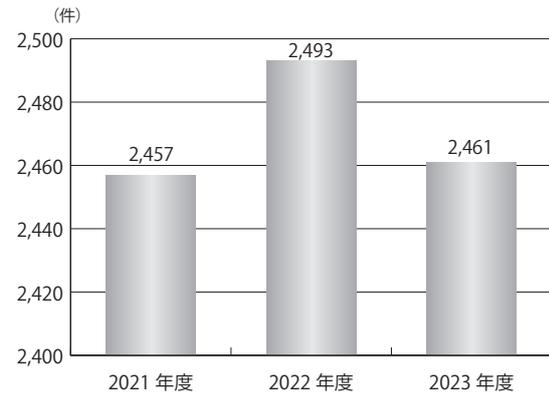
糖尿病患者延べ数



栄養指導数

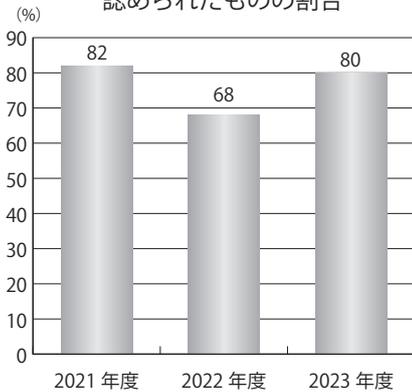


透析予防に関する指導数

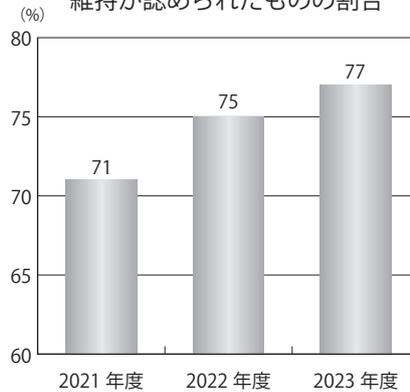


上記の透析予防に関する指導を行った患者における割合

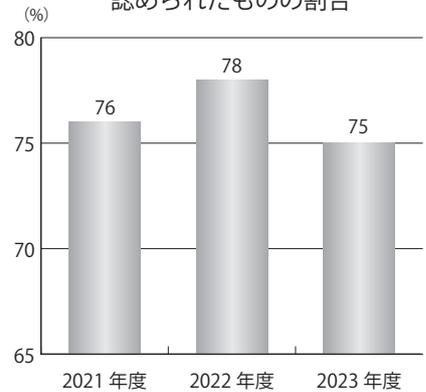
HbA1cの改善または維持が認められたものの割合



クレアチニン・eGFRの改善または維持が認められたものの割合

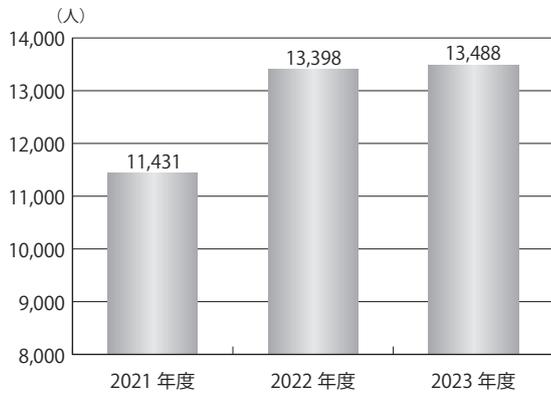


血圧の改善または維持が認められたものの割合

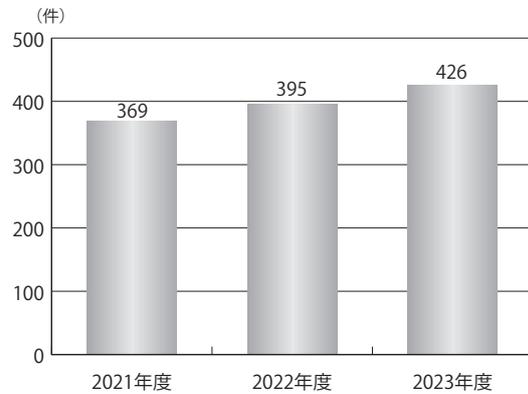


七波クリニック

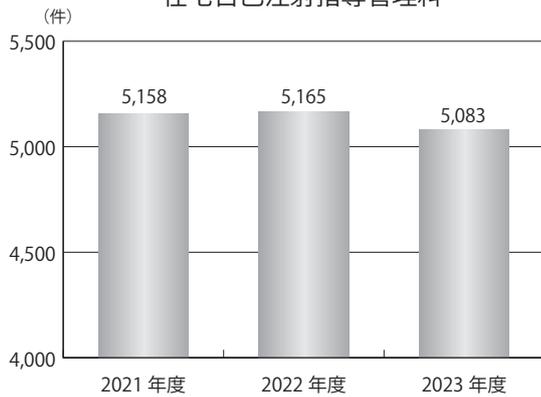
延べ外来患者数



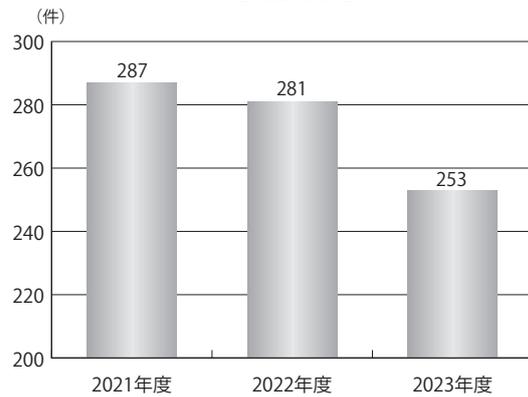
個別栄養食事指導件数



在宅自己注射指導管理料

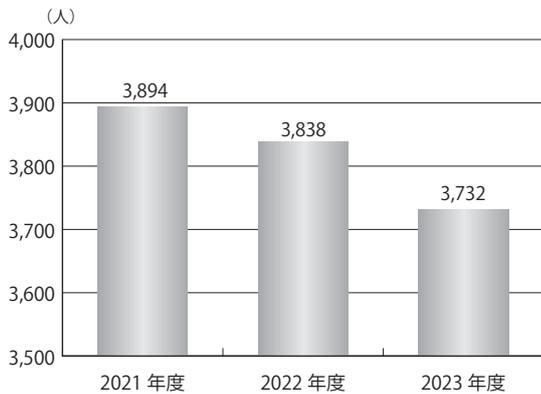


特定健診実施数

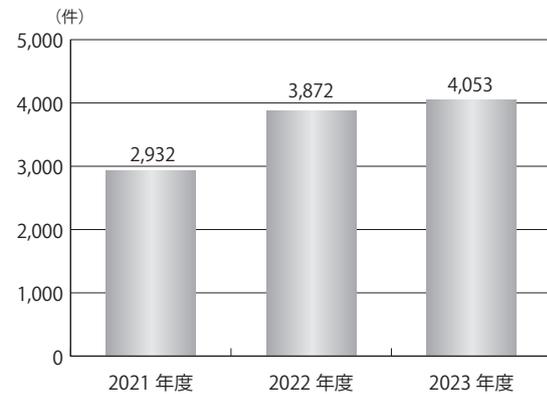


かごしまオハナクリニック

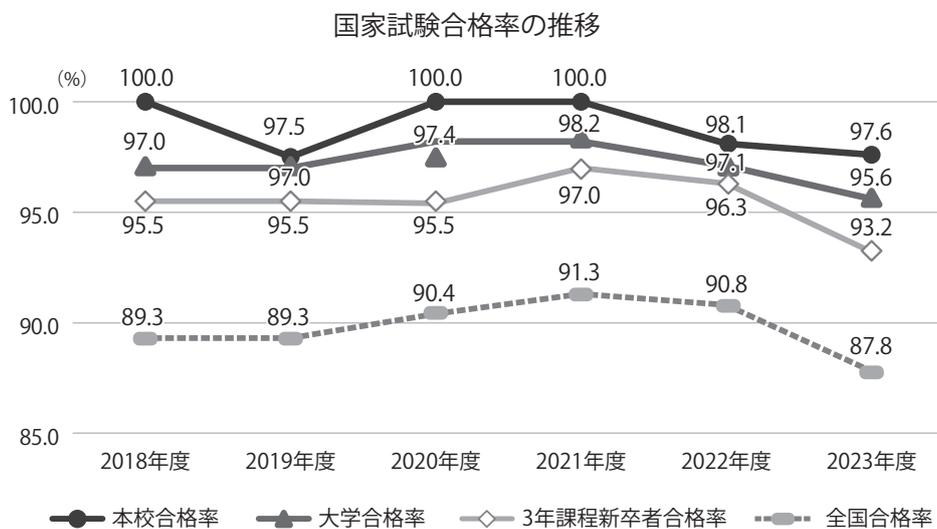
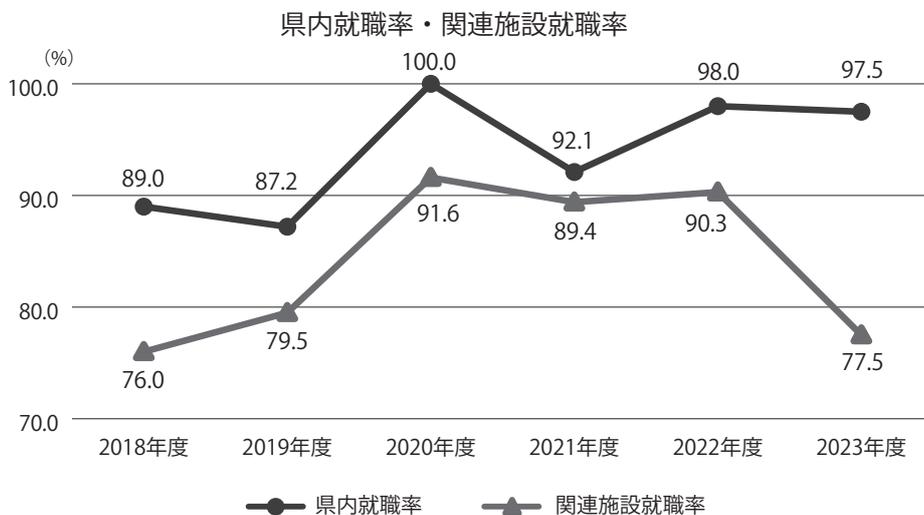
延べ外来患者数



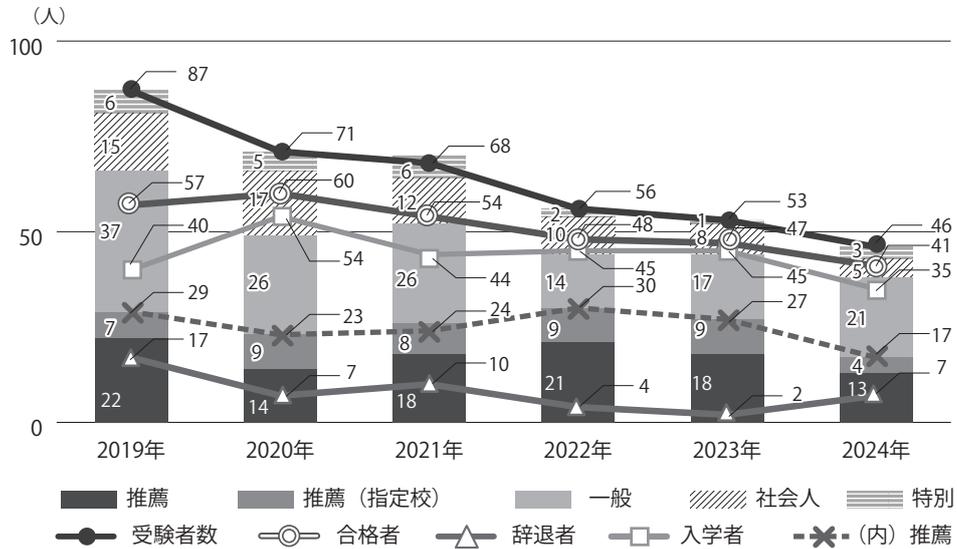
訪問診療件数



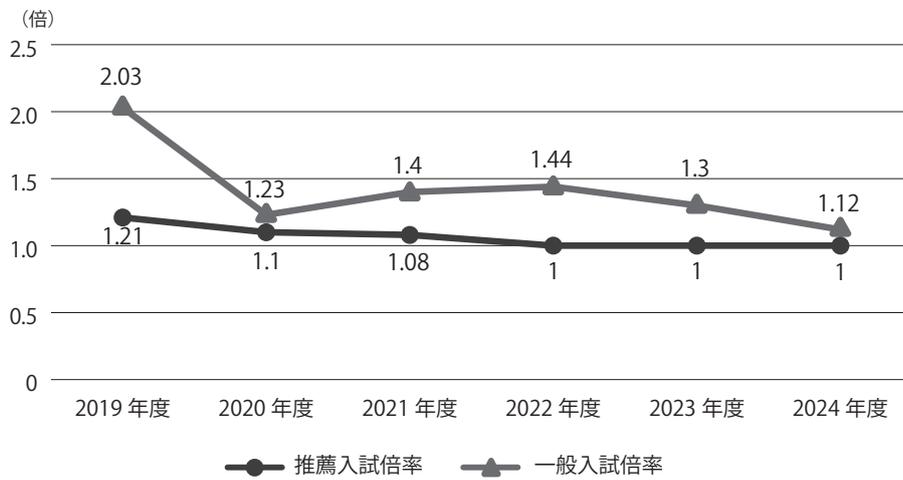
鹿児島中央看護専門学校



受験者数・合格者数・辞退者数推移



入学選考試験倍率の推移



法人業績一覧

【論文（論文・著書）】

血液内科

今村総合病院

<欧文>

1. Tokunaga M, Nakano N, Fuji S, Wake A, Utsunomiya A, Ito A, Eto T, Kawakita T, Mori Y, Moriuchi Y, Suehiro Y, Miyazaki Y, Uchida N, Sawayama Y, Ishitsuka K, Kanda J, Kimura T, Ichinohe T, Atsuta Y, Fukuda T, Yoshimitsu M, Kato K : Cord blood is a suitable donor source of allogeneic hematopoietic cell transplantation for adult T-cell leukemia-lymphoma : a nationwide retrospective study. *Bone Marrow Transplant* 64(4) : 865-873, 2023 (Apr), doi : 10.1038/s41409-023-01919-3
2. Ito Y, Ozawa H, Eto T, Miyamoto T, Kamimura T, Ogawa R, Uchida N, Wake A, Fujisaki T, Ohno Y, Takase K, Okumura H, Takamatsu Y, Kawano N, Akashi K, Nagafuji K : IKZF1plus alterations are not associated with outcomes in Philadelphia-positive acute lymphoblastic leukemia patients enrolled in the FBMTG ALL/MRD2008 trial. *Eur J Haematol*, 111(1) : 103-112, 2023 (Jul), doi : 10.1111/ejh.13972
3. Nakano N, Nakasone H, Fuji S, Shinohara A, Suzuki R, Utsunomiya A, Eto T, Morishima S, Ikegame K, Kakinoki Y, Matsuoka K, Mori Y, Suehiro Y, Uchida N, Ito A, Doki N, Ozawa Y, Kanda J, Kanda Y, Fukuda T, Atsuta Y, Ogata M : Outcomes in human T-cell leukemia virus type I carriers after hematopoietic stem cell transplantation for diseases other than adult T cell leukemia/ lymphoma : a Japanese national survey. *Lancet Reg Health West Pac*, 2023 (Sep), doi : 10.1016/j.lanwpc.2023.100902

<欧文><共著>

1. Owatari S, Tokunaga M, Nakamura D, Uozumi K, Sagara Y, Nakamura H, Haraguchi K, Nakano N, Yoshimitsu M, Ito Y, Utsunomiya A, Otsuka M, Hanada S, Iwanaga M, Ishitsuka K : A decrease in newly diagnosed patients with adult T-cell leukemia/lymphoma in Kagoshima, a highly endemic area of HTLV-1 in southwestern Japan. *Leuk Lymphoma* 64(4) : 865-873, 2023 (Apr), doi : 10.1080/10428194.2023.2173524
2. Nakashima M, Utsunomiya A, Watanabe T, Horie R, Uchimaru K : The oncogenic driving force of CD30 signaling-induced chromosomal instability in adult T-cell leukemia/lymphoma. *Cancer Sci* 114(4) : 1556-1568, 2023 (Apr)
3. Hiramatsu H, Nosaka K, Kusumoto S, Nakano N, Choi I, Yoshimitsu M, Imaizumi Y, Hidaka M, Sasaki H, Makiyama J, Ohtsuka E, Jo T, Ogata M, Ito A, Yonekura K, Tatetsu H, Kato T, Kawakita T, Suehiro Y, Ishitsuka K, Iida S, Matsutani T, Nishikawa H, Utsunomiya A, Ueda R, Ishida T. Landscape of immunoglobulin heavy chain γ gene class switch recombination in patients with adult T-cell leukemia-lymphoma. *Haematologica* 108(4) : 1173-1178, 2023 (Apr), doi : 10.3324/haematol.2022.281435
4. Arai A, Yoshimitsu M, Otsuka M, Ito Y, Miyazono T, Nakano N, Obama K, Nakashima H, Hanada S, Owatari S, Nakamura D, Tokunaga M, Kamada Y, Utsunomiya A, Haraguchi K, Hayashida M, Fujino S, Odawara J, Tabuchi T, Suzuki S, Hamada H, Kawamoto Y, Uchida Y, Hachiman M, Ishitsuka K : Identification of putative noncanonical driver mutations in patients with essential thrombocythemia. *Eur J Haematol* 110(6) : 639-647, 2023 (Jun), doi : 10.1111/ejh.13945

5. Fuji S, Inoue Y, Makiyama J, Nakano N, Ito A, Kawakita T, Suehiro Y, Itonaga H, Sawayama Y, Mori Y, Uchida N, Morishima S, Onizuka M, Ishitsuka K, Fukuda T, Atsuta Y, Yoshimitsu M : The clinical benefit of acute GVHD depends on the age at transplantation in patients with adult T-cell leukemia-lymphoma on behalf of the ATL Working Group of the Transplantation and Cellular Therapy. *Bone Marrow Transplant* 58(6) : 729-731, 2023 (Jun)
6. Yamasaki S, Mizuno S, Iwasaki M, Seo S, Uchida N, Shigesaburo M, Nakano N, Ishiwata K, Uehara Y, Eto T, Takase K, Kawakita T, Tanaka M, Sawa M, Katayama Y, Nawa Y, Makoto O, Ichinohe T, Atsuta Y, Kanda J, Yanada M : Efficacy and safety of allogeneic hematopoietic cell transplantation in acute myeloid leukemia patients aged > 65 years with unfavorable cytogenetics. *Ann Hematol* 102(6) : 1549-1559, 2023 (Jun), doi : 10.1007/s00277-023-05243-0
7. Kameda T, Kataoka K, Kamiunten A, Hidaka M, Miyoshi H, Nakano N, Nosaka K, Yoshimitsu M, Yasunaga JI, Kogure Y, Shide K, Miyahara M, Sakamoto T, Akizuki K, Hidaka T, Kubuki Y, Koya J, Kawano N, Yamashita K, Kawano H, Toyama T, Maeda K, Marutsuka K, Imaizumi Y, Kato K, Sugio T, Tokunaga M, Tashiro Y, Takaori-Kondo A, Miyazaki Y, Akashi K, Ishitsuka K, Matsuoka M, Ohshima K, Watanabe T, Kitanaka A, Utsunomiya A, Ogawa S, Shimoda K : Integrated genetic and clinical prognostic factors for aggressive adult T-cell leukemia/lymphoma. *Haematologica* 108(8) : 2178-2191, 2023 (Aug), doi : 10.3324/haematol.2022.281510
8. Inoue Y, Morishima S, Kato K, Ito A, Nakano N, Kuriyama T, Kawakita T, Mori Y, Suehiro Y, Itonaga H, Miyazaki Y, Imada K, Tomori S, Kanda J, Ichinohe T, Atsuta Y, Fukuda T, Yoshimitsu M : ATL Working Group of the Japanese Society for Transplantation and Cellular Therapy : Impact of HLA-mismatched unrelated transplantation in patients with adult T-cell leukemia/lymphoma. *Bone Marrow Transplant* 58(9) : 980-990, 2023 (Sep), doi : 10.1038/s41409-023-02002-7
9. Mori Y, Uchida N, Wake A, Miyawaki K, Eto T, Nakamura T, Iwasaki H, Ito Y, Tanimoto K, Katayama Y, Imamura Y, Takahashi T, Fujisaki T, Kamimura T, Choi I, Ishitsuka K, Yoshimoto G, Ogawa R, Sugita J, Takamatsu Y, Tanimoto K, Hidaka T, Miyamoto T, Akashi K, Nagafuji K : Impact of a third dose of anti-SARS-CoV-2 vaccine in hematopoietic cell transplant recipients : A Japanese multicenter observational study. *Vaccine* 41(47) : 6899-6903, 2023 (Nov), doi : 10.1016/j.vaccine.2023.08.066
10. Yamada A, Yasunaga JI, Liang L, Zhang W, Sunagawa J, Nakaoka S, Iwami S, Kogure Y, Ito Y, Kataoka K, Nakagawa M, Iwanaga M, Utsunomiya A, Koh KR, Watanabe T, Nosaka K, Matsuoka M. Anti-HTLV-1 immunity combined with proviral load as predictive biomarkers for adult T-cell leukemia-lymphoma. *Cancer Sci* 115(1) : 310-320, 2023 (Nov)
11. Kuramitsu M, Momose H, Uchida Y, Ishitsuka K, Kubota R, Tokunaga M, Utsunomiya A, Umekita K, Hashikura Y, Nosaka K, Koh K-R, Nakamura H, Sagara Y, Sobata R, Satake M, Nagata K, Hasegawa Y, Sasaki D, Hasegawa H, Sato T, Yamano Y, Hiraga K, Tezuka K, Ikebe E, Matsuoka S, Okuma K, Watanabe T, Miura K, Hamaguchi I : Performance evaluation of Espline HTLV-I/II, a newly developed rapid immunochromatographic antibody test for different diagnostic situations. *Microbiol Spectr* 11(6) : e0207823, 2023 (Dec), doi : 10.1128/spectrum.02078-23
12. Hiramatsu H, Yokomori R, Shengyi L, Tanaka N, Mori S, Kiyotani K, Gotoh O, Kusumoto S, Nakano N, Suehiro Y, Ito A, Choi I, Ohtsuka E, Hidaka M, Nosaka K, Yoshimitsu M, Imaizumi Y, Iida S, Utsunomiya A, Noda T, Nishikawa H, Ueda R, Sanda T, Ishida T : Clinical landscape of TP73 structural variants in ATL patients. *Leukemia* 37(12) : 2502-2506, 2023 (Dec), doi : 10.1038/s41375-023-02059-9
13. Kameda T, Utsunomiya A, Otsuka N, Kubuki Y, Uchida T, Shide K, Kamiunten A, Nakano N, Tokunaga M,

- Miyazono T, Ito Y, Yonekura K, Kawakita T, Akizuki K, Tahira Y, Karasawa M, Hidaka T, Konagata A, Taniguchi N, Nagatomo Y, Kogo F, Shimizu K, Ueno H, Ishizaki J, Takahashi N, Ikei Y, Hidaka M, Yamaguchi H, Shimoda K : Impaired humoral immunity following COVID-19 vaccination in HTLV-1 carriers. *BMC Infect Dis* 24(1) : 96, 2024 (Jan)
14. Konuma T, Harada K, Shinohara A, Uchida N, Shingai N, Ito A, Ozawa Y, Tanaka M, Sawa M, Onizuka M, Katayama Y, Hiramoto N, Nakano N, Kimura T, Kanda Y, Fukuda T, Atsuta Y, Nakasone H, Kanda J. Association of individual comorbidities with outcomes in allogeneic hematopoietic cell transplantation from unrelated adult donors versus unrelated cord blood : A study on behalf of the Donor/Source and Transplant Complications Working Groups of the Japanese Society for Transplantation and Cellular Therapy. *Am J Hematol* 99(2) : 263-273, 2024 (Feb)
15. Kurita N, Imahashi N, Chiba S, Tanaka M, Kobayashi H, Uchida N, Kuriyama T, Anzai N, Nawa Y, Nakano N, Ara T, Onizuka M, Katsuoka Y, Koi S, Kimura T, Ichinohe T, Atsuta Y, Kanda J ; Donor/Source Working Group of the Japanese Society for Transplantation and Cellular Therapy : Comparison of fludarabine-based conditioning regimens in adult cord blood transplantation for myeloid malignancy : A retrospective, registry-based study. *Am J Hematol* 99(2) : 236-244, 2024 (Feb)
16. Sakatoku K, Murata M, Shimazu Y, Uchida N, Yoshihara S, Uehara Y, Takahashi S, Kobayashi H, Tanaka H, Nakano N, Ishimaru F, Ichinohe T, Atsuta Y, Nagamura-Inoue T, Nakamae H : Comparison of haploidentical transplantation and single cord blood transplantation for myelofibrosis. *Bone Marrow Transplant* : Online ahead of print, 2024 (Feb), doi : 10.1038/s41409-024-02244-z
17. Takizawa J, Suzuki R, Izutsu K, Kiguchi T, Asaoku H, Saburi Y, Masunari T, Utsunomiya A, Takeuchi K, Nakamura N, Ohshima K, Gruber M, Jäger U, Aoki S, Suzumiya J. Characteristics of chronic lymphocytic leukemia in Japan : Comprehensive analysis of the CLLRSG-01 study. *Int J Hematol* : Online ahead of print, 2024 (Mar)
18. Onozawa M, Kusumoto S, Najima Y, Hashimoto H, Okada K, Tamaki M, Tanaka M, Sato T, Takahashi T, Hatano K, Onodera K, Moriuchi Y, Yakushijin K, Kanda J, Nagafuji K, Ogata M, Nakano N, Tamori A, Mizokami M : Outcomes of Cessation of Nucleos(t)ide Analog Administration on Hepatitis B Virus Reactivation after Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation : A Nationwide Retrospective Study. *Transplant Cell Ther* 30(3) : 330.e1-330.e8, 2024 (Mar)

<和文>

1. 宇都宮與, 米倉健太郎, 石塚賢治, 畠清彦, 塚崎邦弘 : 再発または難治性成人 T 細胞白血病・リンパ腫に対する治療選択—エピジェネティック異常を標的とする経口 HDAC 阻害薬ツシジノスタット. *血液内科*, 86(3) : 443-454, 2023
2. 宇都宮與 : 慈愛会における血液内科～歴史と現在・未来～. *かごしま慈愛会ジャーナル* 第 2 巻 : 3-11, 2023
3. 中野伸亮, 高塚祥芝, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 小田原淳, 藤野聡司, 竹内昇吾, 福山美智子, 牧野桃子, 垣添有佳, 武清孝弘, 池田清夏, 宇都宮與, 伊藤能清 : 当院における臍帯血移植の試み. *かごしま慈愛会ジャーナル* 第 2 巻 : 31-37, 2023
4. 宇都宮與 : HTLV-1 と ATL について～歴史と最近の話題～. *日本臨床皮膚科医会雑誌* 40(2) : 110-116, 2023

<和文><共著>

1. 古川良尚, 大木浩, 宮下幸一郎, 野村秀洋, 大塚眞紀, 砂原伸彦, 時村洋, 宮園卓宜, 高山千史, 田畑千穂子, 川上保浩, 大小田修司, 竹原哲彦 : 鹿児島県離島における輸血医療の現状と課題. *日本輸血細胞治療学会誌* 69(3) : 418-426, 2023

<著書>

1. 宇都宮 興：教えて！HTLV-1 のことシリーズ1 「教えて！先生 ATL（成人 T 細胞白血病）のこと」. スマイルリボン（編）南方新社, 2023
2. 宇都宮 興：成人 T 細胞白血病・リンパ腫. 今日の治療指針 2023 年—私はこう治療している. 医学書院, pp678-680, 2023
3. 中野 伸亮：成人 T 細胞白血病 / リンパ腫. 領域別症候群シリーズ No29 血液症候群（第 3 版）IV リンパ系の腫瘍悪性リンパ腫と類縁疾患. 日本臨牀社, pp344-349, 2024

臨床研究センター

今村総合病院

<欧文><共著>

1. Nakashima M, Utsunomiya A, Watanabe T, Horie R, Uchimaru K : The oncogenic driving force of CD30 signaling-induced chromosomal instability in adult T-cell leukemia/lymphoma. *Cancer Sci* 114(4) : 1556-1568, 2023 (Apr). doi : 10.1111/cas.15706
2. Kameda T, Utsunomiya A, Kubuki Y, Uchida T, Shide K, Kamiunten A, Nakano N, Tokunaga M, Miyazono T, Ito Y, Yonekura K, Kawakita T, Akizuki K, Tahira Y, Karasawa M, Hidaka T, Konagata A, Taniguchi N, Nagatomo Y, Kogo F, Shimizu K, Ueno H, Ishizaki J, Takahashi N, Ikei Y, Hidaka M, Yamaguchi H, Shimoda K : Impaired humoral immunity following COVID-19 vaccination in HTLV-1 carriers. *BMC Infect Dis* 24(1) : 96, 2024 (Jan). doi : 10.1186/s12879-024-09001-z

<著書>

1. 宇都宮 興：教えて！HTLV-1 のことシリーズ1 教えて！先生 ATL（成人 T 細胞白血病）のこと. スマイルリボン（編）南方新社, 2023
2. 宇都宮 興：成人 T 細胞白血病・リンパ腫. 今日の治療指針 2023 年—私はこう治療している. 医学書院, pp678-680, 2023

外科・消化器外科

今村総合病院

<欧文><共著>

1. Nakashima T, Arigami T, Uenosono Y, Matsushita D, Shimanosono M, Tsuruda Y, Sasaki K, Baba K, Kurahara H, Ohtsuka T : Clinical significance of intraperitoneal paclitaxel combined with systemic chemotherapy for gastric cancer with peritoneal metastasis. *Int J Clin Oncol* 28(10) : 1371-1377, 2023. doi : 10.1007/s10147-023-02384-0
2. Satake S, Arigami T, Matsushita D, Okubo K, Shimanosono M, Sasaki K, Tsuruda Y, Tanabe K, Mori S, Yanagita S, Uenosono Y, Nakajo A, Ohtsuka T : Clinical Significance of Eligibility Criteria Determined by the SPIRITS Trial in Patients with Advanced Gastric Cancer. *Oncology* 101(1) : 45647, 2023. doi : 10.1159/000527114

<和文>

1. 保坂 優斗, 馬場 研二, 吉野 春一郎, 平野 拓郎, 上之園 芳一, 帆北 修一 : Persistent descending mesocolon を伴う左

側大腸癌に対する腹腔鏡下大腸切除術の手術成績. 鹿児島県臨床外科学会誌 34 : 45388, 2023

2. 金城多架良, 田辺寛, 上原光平, 飯尾俊也, 保坂優斗, 帆北修一, 上之園芳一 : 帝王切開・卵管結紮術後に発症した子宮広間膜ヘルニアの1例. 鹿児島市医報 63(2) : 72-73, 2024

泌尿器科

今村総合病院

<欧文><共著>

1. Miyamoto T, Miyake M, Nakahama T, Nishimura N, Onishi K, Iida K, Yonemori M, Enokida H, Nakagawa M, Matsumoto H, Matsuyama H, Matsushita Y, Miyake H, Fujii T, Shimada K, Baba S, Kinjyo M, Shimokama T, Okumura K, Fujimoto K : Validation of the risk stratification newly defined in the Japanese Urological Association guidelines 2019 for non-muscle invasive bladder cancer: A multi-institutional collaborative study. *Int J Urol* 30(5) : 473-481, 2023(May)
2. Yoshino H, Yokoyama S, Tamai M, Okamura S, Iizasa S, Sakaguchi T, Osako Y, Inoguchi S, Matsushita R, Yamada Y, Nakagawa M, Tatarano S, Tanimoto A, Enokida H : Characterization and treatment of gemcitabine- and cisplatin-resistant bladder cancer cells with a pan-RAS inhibitor. *FEBS Open Bio* 13(6) : 1056-1066, 2023 (Jun)

<和文><共著>

1. 井手迫俊彦, 田中征治, 山口孝則, 郭義胤, 野口満, 大塚泰史, 三股浩光, 酒井英樹, 上村敏雄, 此元隆雄, 中川昌之, 宮里実 : 小児間欠性水腎症に対する手術時期に関する検討. *西日本泌尿器科* 85(4) : 190-195, 2023

皮膚科

今村総合病院

<欧文>

1. Yonekura K, Tsuruta N, Miyagi T, Koike Y, Higashi Y, Nakahara T, Ohata C, Kaneko S, Yamaguchi M, Saito K, Yanase T, Imafuku S : Prevalence of human T-lymphotropic virus type I in patients with psoriasis and its effect on treatment choice: A multicenter observational study. *J Dermatol Sci* : 110(3) : 103-106, 2023

<欧文><共著>

1. Miyagaki T, Inoue N, Kamijo H, Boki H, Takahashi-Shishido N, Suga H, Shimauchi T, Kiyohara E, Hirai Y, Yonekura K, Takeuchi K, Sugaya M : Prognostic factors for primary cutaneous anaplastic large-cell lymphoma : a multicentre retrospective study from Japan. *Br J Dermatol* 189(5) : 612-620, 2023;
2. Ohata C, Anezaki H, Kaneko S, Okazaki F, Ito K, Matsuzaka Y, Kikuchi S, Koike Y, Murota H, Miyagi T, Takahashi K, Sugita K, Hashimoto A, Nakahara T, Morizane S, Ohyama B, Saruwatari H, Yanase T, Yoshida Y, Yonekura K, Higashi Y, Hatano Y, Saito K, Katayama E, Yamane M, Yamazaki F, Tsuruta N, Imafuku S : Clinical characteristics of patients with psoriasis with family history : A multicenter observational study. *J Dermatol* 50(6) : 746-752, 2023
3. Yanase T, Tsuruta N, Yamaguchi K, Ohata C, Ohyama B, Katayama E, Sugita K, Kuwashiro M, Hashimoto A, Yonekura K, Higashi Y, Murota H, Koike Y, Matsuzaka Y, Kikuchi S, Hatano Y, Saito K, Takahashi K, Miyagi T, Kaneko S, Ota M, Harada K, Morizane S, Ikeda K, Furue M, Nakahara T, Okazaki F, Sasaki N,

- Okada E, Yoshida Y, Ito K, Imafuku S : Survival rates of systemic interventions for psoriasis in the Western Japan Psoriasis Registry : A multicenter retrospective study. *J Dermatol* 50(6) : 753-765, 2023
4. Ohata C, Anezaki H, Kaneko S, Okazaki F, Ito K, Matsuzaka Y, Kikuchi S, Koike Y, Murota H, Miyagi T, Takahashi K, Sugita K, Hashimoto A, Nakahara T, Morizane S, Ohyama B, Saruwatari H, Yanase T, Yoshida Y, Yonekura K, Higashi Y, Hatano Y, Saito K, Katayama E, Yamane M, Yamazaki F, Tsuruta N, Imafuku S : Clinical characteristics of patients with psoriasis with family history : A multicenter observational study. *J Dermatol* 50(6) : 746-752, 2023
5. Hiramatsu H, Nosaka K, Kusumoto S, Nakano N, Choi I, Yoshimitsu M, Imaizumi Y, Hidaka M, Sasaki H, Makiyama J, Ohtsuka E, Jo T, Ogata M, Ito A, Yonekura K, Tatetsu H, Kato T, Kawakita T, Suehiro Y, Ishitsuka K, Iida S, Matsutani T, Nishikawa H, Utsunomiya A, Ueda R, Ishida T : Landscape of immunoglobulin heavy chain γ gene class switch recombination in patients with adult T-cell leukemia-lymphoma. *Haematologica* 108(4) : 1173-1178, 2023
6. Izutsu K, Makita S, Nosaka K, Yoshimitsu M, Utsunomiya A, Kusumoto S, Morishima S, Tsukasaki K, Kawamata T, Ono T, Rai S, Katsuya H, Ishikawa J, Yamada H, Kato K, Tachibana M, Kakurai Y, Adachi N, Tobinai K, Yonekura K, Ishitsuka K : An open-label, single-arm phase 2 trial of valemestostat for relapsed or refractory adult T-cell leukemia/lymphoma. *Blood* 141(10) : 1159-1168, 2023
7. Homma Y, Yonekura K, Tashiro Y, Ninomiya K, Kanekura T : Dupilumab aggravates Sézary syndrome : The importance of accurate pathological diagnosis. *J Cutan Immunol Allergy* 6 : 186-188, 2023
8. Kameda T, Utsunomiya A, Otsuka N, Kubuki Y, Uchida T, Shide K, Kamiunten A, Nakano N, Tokunaga M, Miyazono T, Ito Y, Yonekura K, Kawakita T, Akizuki K, Tahira Y, Karasawa M, Hidaka T, Konagata A, Taniguchi N, Nagatomo Y, Kogo F, Shimizu K, Ueno H, Ishizaki J, Takahashi N, Ikei Y, Hidaka M, Yamaguchi H, Shimoda K : Impaired humoral immunity following COVID-19 vaccination in HTLV-1 carriers. *BMC Infect Dis* 24(1) : 96, 2024

<和文>

1. 武田浩一郎, 玉井真理子, 佐藤浩子, 米倉健太郎, 本間葉子, 阿戸学 : 【神経症状を伴う皮膚病～重要な合併症を見逃さない～】多菌型ハンセン病. *皮膚病診療* 45(12) : 1074-1078, 2023
2. 米倉健太郎 : 鹿児島県における病院勤務医の現状. *日本臨床皮膚科医会雑誌* 40(4) : 537-539, 2023
3. 宇都宮與, 米倉健太郎, 石塚賢治, 畠清彦, 塚崎邦弘 : 再発または難治性成人 T 細胞白血病・リンパ腫に対する治療選択 エピジェネティック異常を標的とする経口 HDAC 阻害薬ツシジノスタット. *血液内科* 86(3) : 443-454, 2023
4. 米倉健太郎 : 【皮膚疾患とウイルス】ATL の診断と治療. *皮膚科* 3(3) : 312-319, 2023

<著書>

1. 米倉健太郎 : 節外リンパ腫の臓器別特徴に基づく診断と治療 皮膚リンパ腫. *日本臨牀* (0047-1852)81 巻増刊号 3 【新リンパ腫学 - 基礎・臨床の最新動向 -】. 日本臨牀社, pp398-406, 2023
2. 米倉健太郎 : 20. 皮膚科疾患 紅皮症 (剥脱性皮膚炎). *今日の治療指針 2024*. 医学書院, pp1281, 2024

病理診断科

今村総合病院

<欧文><共著>

1. Kameda T, Kataoka K, Kamiunten A, Hidaka M, Miyoshi H, Nakano N, Nosaka K, Yoshimitsu M, Yasunaga JI, Kogure Y, Shide K, Miyahara M, Sakamoto T, Akizuki K, Hidaka T, Kubuki Y, Koya J, Kawano N, Yamashita K, Kawano H, Toyama T, Maeda K, Marutsuka K, Imaizumi Y, Kato K, Sugio T, Tokunaga M, Tashiro Y, Takaori-Kondo A, Miyazaki Y, Akashi K, Ishitsuka K, Matsuoka M, Ohshima K, Watanabe T, Kitanaka A, Utsunomiya A, Ogawa S, Shimoda K : Integrated genetic and clinical prognostic factors for aggressive adult T-cell leukemia/lymphoma. *Haematologica* : Online ahead of print, 2023 (Aug), doi : 10.3324
2. Homma Y, Yonekura K, Tashiro Y, Ninomiya K, Kanekura T : Dupilumab aggravates Sézary syndrome : The importance of accurate pathological diagnosis. *J Cutan Immunol Allergy* 6 : 186-188, 2023

輸血管理部

今村総合病院

<和文><共著>

1. 古川良尚, 大木浩, 宮下幸一郎, 野村秀洋, 大塚真紀, 砂原伸彦, 時村洋, 宮園卓宜, 大塚真紀, 高山千史, 田畑千穂子, 川上保浩, 大小田修司, 竹原哲彦 : 鹿児島県離島における輸血医療の現状と課題. *日本輸血細胞治療学会誌* 69(3) : 418-426, 2023

脳神経内科

今村総合病院

<和文>

1. 浜田恭輔, 町田明理, 牧野隆太郎, 森拓馬, 山下ひとみ, 有水琢朗, 谷口歩, 濱田陸三, 神田直昭 : 内頸動脈無形成を合併した後交通動脈閉塞症例に対し機械的血栓回収療法を施行した1例. *脳卒中* : Online ahead of print, 2024. doi : 10.3995/jstroke.11164

循環器内科

今村総合病院

<和文>

1. 樋渡沙和子, 肥後建樹郎, 松本紀明, 吉村あきの, 大石充 : 維持透析患者においてその後のドライウエイト減量を予測する因子の検討 (血液学的検査と心エコー検査指標との比較検討). *心臓* 56(3) : 273-280, 2024

小児科

今村総合病院

<欧文><共著>

1. Abe Y, Urakami T, Suzuki J, Morita S, Araki M, Mizota M, Sasaki G, Mori J, Tatematsu T, Mine Y, Yoshida K, Kikuchi T : Nighttime hypoglycemia in Japanese children with type1 diabetes mellitus treated with

multiple daily injection insulin therapy. Endocr J 70(7) : 677-685, 2023

スポーツ整形外科

今村総合病院

<和文>

1. 福島佳織, 前園恵慈, 上蘭直弘, 海江田英泰: 柔道選手に生じたハムストリング肉離れ(総腱断裂)に対して観血的治療を施行した1例. 鹿児島市医報 62(10) : 19-22, 2023

<著書>

1. 海江田英泰: Cuff tear arthropathy に対するリバーstype人工肩関節置換術. 変形性関節症の診断と治療—保存的治療から再生医療まで. 南江堂, pp561-568, 2023

救急・総合内科

今村総合病院

<著書>

1. 西垂水和隆: <初診外来> 3 全身倦怠感, 5 頭痛, 7 腹痛, 13 しびれ, 14 その他の神経学的症状, 28 よくある眼・耳・口のトラブル <継続外来/検診異常への対応> 1 高血圧, 15 貧血. ジェネラリストのための内科外来マニュアル 第3版. 医学書院, pp68-81, 100-117, 142-163, 256-283, 284-303, 488-501, 502-519, 736-749, 2023
2. 西垂水和隆: 本日の内科外来 改定第2版. 南江堂, 2023
3. 市來征仁, 伊藤加菜絵, 大塚暢, 畠中成己: 一見典型的・一見複雑を解きほぐす病歴と身体所見で捉え直す消化器疾患の診かた. 金芳堂, 2023
4. 西垂水和隆, 市來征仁, 上原悠也, 畠中成己, 加倉健太郎, 田中友樹, 大塚暢, 中村大悟, 石川そでみ: medicina (メディチーナ) 2024年2月号特集 今どきの手技を見直し, 医療処置でのトラブルを防ぐ 経験値ごとの気をつけるべき合併症や工夫. 医学書院, 2024
5. 西垂水和隆: 臨床推論のススメ方 全国GIMカンファで話題を集めた24症例. 南江堂, 2024

精神科

今村総合病院

<著書>

1. 江口政治: 今村総合病院における精神科リエゾンチームの取り組み. 鹿児島精神科病院協会, 2024

かごしまオハナクリニック

<著書>

1. 林恒存: 入院中に生じたADL低下. 月刊レジデントノート 11月号「病棟でもう迷わない! 高齢者によくある症候の診かた」. 羊土社, pp2144-2150, 2023
2. 林恒存: 尿道カテーテル入ったと思うんだけど…尿が出ずに血が出てきた!. medicina (メディチーナ) 2024年2月号 特集 今どきの手技を見直し, 医療処置でのトラブルを防ぐ—経験値ごとの気をつけるべき合併症や工夫.

医学書院, pp324-329, 2024

3. 横山大輔：経鼻胃管（NGT）. *medicina*（メディチーナ）2024年2月号 特集 今どきの手技を見直し，医療処置でのトラブルを防ぐ－経験値ごとの気をつけるべき合併症や工夫. 医学書院, pp318-323, 2024
4. 横山大輔：倒れた 症例 25. 一見非典型・一見複雑を解きほぐす 病歴と身体所見で捉え直す消化器疾患の診かた. 金芳堂, pp97-101, 2024

以上、診療部

看護部

今村総合病院

<著書>

1. 中村倫丈：高流量鼻カニューラ（HFNC）－使いどき、やめどき…大袈裟なネーザルカニューレ？. 特集 今どきの手技を見直し、医療処置でのトラブルを防ぐ－経験値ごとの気をつけるべき合併症や工夫. *medicina*, pp249-255, 2024
2. 福留由香利：ストーマ装具交換－かぶれの軟膏処方，ほんとにOK？－. 特集 今どきの手技を見直し、医療処置でのトラブルを防ぐ－経験値ごとの気をつけるべき合併症や工夫. *medicina*, pp344-349, 2024

谷山病院

<著書>

1. 内田宏貴：看護師の特定行為. *精神医療* 第12号. エム・シー・ミュージズ, pp75-80, 2024

リハビリテーション部

今村総合病院 理学療法士（一般総合）

<欧文>

1. Takekiyo T, Morishita S: Effect of rehabilitation in patients undergoing hematopoietic stem cell transplantation. *Fukushima J. Med. Sci.* 69(2): 73-83, 2023. <https://doi.org/10.5387/fms.2022-33>

<和文>

1. 武清孝弘, 市川雄大, 木口大輔, 中村和司, 田仲勝一, 青木卓也, 名和由一郎：造血幹細胞移植における運動療法の意義と実際. *日本造血・免疫細胞療法学会雑誌* 13(1): 21-32, 2024. <https://doi.org/10.7889/tct-23-008>

今村総合病院 理学療法士（スポーツ整形）

<和文>

1. 白尾泰宏：運動器理学療法におけるクリニカルリーズニング. *理学療法ジャーナル* 57 (9): 1033-1037, 2023

谷山病院 作業療法士

<和文>

1. 東泊由紀：精神科デイケアにおける“プレデイケア”の効果～デイケア導入期に必要なこと～. *かごしま慈愛会ジャーナル* 2: 63-66, 2023

画像診療 / 放射線治療部

今村総合病院

<著書>

1. 馬場隆行：Cアーム業務に携わる為の10個のころえ ～行かないなんてもったいない。すべてはそこにある。暖かくして座ってその時に備えよう～. 映像情報 Medical. 産業開発機構株式会社, pp14-22, 2024
2. 馬場隆行：戦略的高精度X線撮影の補正具クロックポジションスケール -クロックポジションスケールの全貌を見逃すな-. INNERVISION 第39巻 第3号. 株式会社インナービジョン, pp80-83, 2024

事務部

今村総合病院 事務部

<和文>

1. 有島尚亮：病院の事業譲渡の留意点—地域医療構想調整会議における制度内容の認否. 病院 82(5) : 412-417, 2023

【学会発表】

血液内科

今村総合病院

<国際>

1. Utsunomiya A, Kusumoto S, Choi I, Yoshimitsu M, Shimokawa M, Suehiro Y, Hidaka T, Nosaka K, Sasaki H, Rai S, Owatari S, Koh K, Hidaka M, Kato T, Jo T, Moriuchi Y, Ogata M, Otsuka E, Suzushima H, Ito S, Yoshida S, Ito A, Nakamura D, Tokunaga M, Sekine M, Sakamoto Y, Inagaki H, Ishida T, Ishitsuka K : A phase 2 trial of CHOP with anti-CCR4 antibody mogamulizumab for elderly patients with CCR4-positive adult T-cell leukemia/lymphoma. 17th International Conference on Malignant Lymphoma, Lugano, Switzerland, 13-17 June, 2023

<国際><共同演者>

1. Takizawa J, Suzuki R, Izutsu K, Utsunomiya A, Takeuchi K, Nakamura N, Ohshima K, Aoki S, Suzumiya J : Significance of sIL-2R and LD in predicting time to first treatment in Japanese CLL patients with early asymptomatic disease. International Workshop On CLL™, Boston, 6-9 October, 2023

<国内>

1. 宮園卓宜, 中島彩乃, 藤山裕輝, 小林果蓮, 牧野桃子, 兼石知香, 久保友恵, 中野伸亮, 伊藤能清, 宇都宮與, 帆北修一 : 当院におけるヒト骨髄由来間葉系幹細胞テムセルHS注の使用経験. 第71回日本輸血・細胞治療学会学術総会, 2023年5月10-13日, 千葉
2. 宇都宮與, 亀田拓郎, 大塚伸昭, 中野伸亮, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 伊藤能清, 米倉健太郎, 日高道弘, 河北敏郎, 幣光太郎, 田平優貴, 秋月溪一, 上運天綾子, 唐澤賢祥, 池田涼馬, 松本健吾, 日高智徳, 石崎淳三, 高橋尚也, 池井義彦, 久富木庸子, 下田和哉 : HTLV-1キャリアにおけるCOVID-19ワクチン接種後の体液性免疫応答の低下. 第85回日本血液学会学術集会, 2023年10月15日, 東京
3. 宮園卓宜, 藤野聡司, 小田原淳, 中野伸亮, 徳永雅仁, 米倉健太郎, 田代幸恵, 伊藤能清, 宇都宮與 : 当院における再発難治性びまん大細胞B細胞性リンパ腫に対するPolaBR療法の使用経験. 第85回日本血液学会学術集会, 2023年10月13日, 東京
4. 徳永雅仁, 米倉健太郎, 齋藤啓太, 藤野聡司, 小田原淳, 中野伸亮, 宮園卓宜, 田代幸恵, 宇都宮與, 伊藤能清 : 成人T細胞白血病/リンパ腫におけるツシジノスタットの有効性と安全性. 第85回日本血液学会学術集会, 2023年10月14日, 東京
5. 徳永雅仁, 米倉健太郎, 齋藤啓太, 藤野聡司, 小田原淳, 中野伸亮, 宮園卓宜, 田代幸恵, 宇都宮與, 伊藤能清 : 成人T細胞白血病/リンパ腫におけるツズジノスタットの有効性と安全性. 第9回日本HTLV-1学会学術集会, 2023年11月12日, 京都
6. 宮園卓宜, 藤野聡司, 小田原淳, 中野伸亮, 徳永雅仁, 米倉健太郎, 田代幸恵, 伊藤能清, 宇都宮與 : 成人T細胞白血病(ATL)に対してさい帯血移植施行後にCOVID-19を併発した1例. 第9回日本HTLV-1学会学術集会, 2023年11月12日, 京都
7. 小田原淳, 齋藤啓太, 中野伸亮, 徳永雅仁, 藤野聡司, 宮園卓宜, 宇都宮與, 伊藤能清 : VEN/AZA療法後の同種造血幹細胞移植の有効性と安全性の検証. 第46回日本造血・免疫細胞療学会学術総会, 2024年3月22日, 東京
8. 藤野聡司, 吉森みゆき, 松山淳史, 大山利栄, 佐々木謙介, 小田原淳, 中野伸亮, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 齋藤啓太, 米倉健太郎, 宇都宮與, 伊藤能清 : 今村総合病院におけるチキサゲビマブ/シルガビマブ投与患者の後方視的検討. 第46回日本造血・免疫細胞療学会学術総会, 2024年3月22日, 東京
9. 齋藤啓太, 小田原淳, 藤野聡司, 中野伸亮, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 宇都宮與, 伊藤能清 : 同種造血幹細胞移植にお

けるボサコナゾールの有用性と安全性の後方視的解析. 第46回日本造血・免疫細胞療法学会総会, 2024年3月23日, 東京

10. 宮園卓宜, 藤野聡司, 小田原淳, 中野伸亮, 徳永雅仁, 田代幸恵, 宇都宮與, 伊藤能清: 当院におけるヒト骨髄由来間葉系幹細胞テムセル HS 注の使用経験. 第46回日本造血・免疫細胞療法学会総会, 2024年3月23日, 東京

<国内><共同演者>

1. 5. Kannagi M, Hasegawa A, Murata M, Nakajima S, Satake A, Ito T, Utsunomiya A, Fujisawa J, Okuma K, Akari H: Preclinical evidence for an anti-ATL immunotherapy using short-term cultured autologous PBMC as a vaccine. 第82回日本癌学会学術総会, 2023年9月21-23日, 横浜
2. 楠本茂, 崔日承, 吉満誠, 下川元継, 宇都宮與, 末廣陽子, 日高智徳, 野坂生郷, 佐々木秀法, 頼晋也, 田村志宜, 大渡五月, 高起良, 日高道弘, 加藤丈晴, 城達郎, 森内幸美, 緒方正男, 大塚英一, 鈴島仁, 伊藤薫樹, 吉田真一郎, 伊藤旭, 中村大輔, 徳永雅仁, 関根雅明, 坂本祐真, 稲垣宏, 石田高司, 石塚賢治: 高齢者成人 T 細胞白血病リンパ腫に対するモガムリズマブ併用 CHOP-14 療法: 多施設共同第2相試験. 第85回日本血液学会学術集会, 2023年10月14日, 東京
3. 坂本祐真, 石田高司, 正木彩子, 村瀬貴幸, 大塚英一, 竹下盛重, 武藤礼治, 崔日承, 岩崎浩己, 伊藤旭, 楠本茂, 中野伸亮, 徳永雅仁, 米倉健太郎, 田代幸恵, 末廣陽子, 飯田真介, 宇都宮與, 上田龍三, 稲垣宏: 成人 T 細胞白血病 / リンパ腫における NOTCH1 および FBXW7 遺伝子異常. 第85回日本血液学会学術集会, 2023年10月14日, 東京
4. 森田真梨, 進藤岳郎, 清水正和, 稲富雄一, 村野愛, 森嶋章代, 諫田淳也, 高橋めい子, 辻村太郎, 加藤光次, 田中秀則, 中野伸亮, 衛藤徹也, 宮崎泰彦, 今田和典, 末廣陽子, 河北敏郎, 一戸辰夫, 福田隆浩, 鬼塚真仁, 熱田由子, 松田文彦, 高折晃史: 成人 T 細胞白血病に対する非血縁者間骨髄移植後の再発と KIR アレルの相関性解析. 第85回日本血液学会学術集会, 2023年10月15日, 東京
5. 山田麻美, 安永純一郎, 梁礼涵, 張文怡, 砂川純也, 中岡慎治, 岩見真吾, 木暮泰寛, 伊藤勇太, 片岡圭亮, 中川正法, 岩永正子, 宇都宮與, 高起良, 渡邊俊樹, 野坂生郷, 松岡雅雄: HTLV-1 関連疾患発症リスク判定における Gag 免疫応答の意義. 第9回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2023年11月11日, 京都
6. 森田真梨, 進藤岳郎, 川口修治, 諫田淳也, 加藤光次, 中野伸亮, 衛藤徹也, 宮崎泰彦, 今田和典, 一戸辰夫, 福田隆浩, 鬼塚真仁, 松田文彦, 高折晃史: ATL に対する非血縁骨髄移植後の再発は KIR3DL1 educated ドナーで抑制される. 第9回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2023年11月11日, 京都
7. 菅田謙治, ジェックヤン タン, 高鳥光徳, ベラル ホサイン, サムイル ラジブ, オムニア レダ, 徳永雅仁, 野村隼也, 増田曜章, 中島誠, 佐藤知雄, 植田光晴, 宇都宮與, 山野嘉久, 佐藤賢文: HLA-A24 拘束性の異なる Tax エピトープを認識する特異的 TCR の解析. 第9回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2023年11月11日, 京都
8. 王宇, 沖田瑞帆, 緒方正男, 萩原朔太郎, 安井寛, 内丸薫, 高起良, 宇都宮與, 渡邊俊樹, 山野嘉久, 伊波英克: Identification and validation of the novel ATL biomarkers. 第9回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2023年11月11日, 京都
9. 中野和民, 田部亜季, 佐藤知雄, 鴨居功樹, 宇都宮與, LloydEinsiedel, 渡邊俊樹: HTLV-1 type-a と type-c のウイルス特性と病原性の違いに関する研究: ウイルス学的比較解析の試み. 第9回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2023年11月11日, 京都
10. 高鳥光徳, 菅田謙治, Benjy Tan Jek Yang, 崎浜秀悟, 矢野浩夢, 菰原義弘, 田中勇悦, 宇都宮與, 福島卓也, 加留部謙之輔, 佐藤賢文: リンパ腫型 ATLL における組織特異的な病態と腫瘍内不均一性の検討. 第9回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2023年11月11日, 京都
11. 新村光輝, 菅田謙治, Wajihah Sakhor, 松尾美沙希, 高鳥光徳, 徳永雅仁, 宇都宮與, 佐藤賢文: ATL 患者末梢血のシングルセルマルチオーム解析による HTLV-1 遺伝子発現動態および制御メカニズム解析. 第9回日本

HTLV-1 学会学術集会, 2023 年 11 月 12 日, 京都

12. 垣添有佳, 米倉健太郎, 牧野桃子, 宮園卓宜, 徳永雅仁, 中野伸亮, 小田原淳, 藤野聡司, 伊藤能清, 宇都宮與 : ATL 患者の治験参加に対するリクルートへの CRC の役割. 第 9 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2023 年 11 月 12 日, 京都
13. 糸永英弘, 福島卓也, 加藤光次, 村主啓行, 中野伸亮, 福田隆浩, 河北敏郎, 加藤丈晴, 森康雄, 森島聡子, 末廣陽子, 衛藤徹也, 澤山靖, 鬼塚真仁, 一戸辰夫, 熱田由子, 吉満誠, 藤重夫 : 成人 T 細胞白血病・リンパ腫に対する HLA 一致血縁ドナーからの同種移植における骨髓血と末梢血幹細胞の比較. 第 46 回日本造血・免疫細胞療法学会総会, 2024 年 3 月 22 日, 東京
14. 山崎聡, 水野昌平, 岩崎惇, 瀬尾幸子, 内田直之, 宮腰重三郎, 中野伸亮, 石綿一哉, 上原康史, 衛藤徹也, 高瀬謙, 河北敏郎, 田中正嗣, 澤正史, 片山雄太, 名和由一郎, 鬼塚真仁, 一戸辰夫, 熱田由子, 諫田淳也, 柳田正光 : 高齢者 AML に対する同種造血幹細胞移植 : 移植ソースに関する検討. 第 46 回日本造血・免疫細胞療法学会総会, 2024 年 3 月 22 日, 東京
15. 武清孝弘, 堂園浩一朗, 岡村敏之, 中島徳久, 奈良聡一郎, 吉田一成, 堂園充代, 小田原淳, 藤野聡司, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 中野伸亮, 伊藤能清, 宇都宮與 : 同種造血幹細胞移植患者の SF-36 における身体機能スコアの経時的変化. 第 46 回日本造血・免疫細胞療法学会総会, 2024 年 3 月 23 日, 東京
16. 萩原千聖, 飯田ひかり, 大田夏鈴, 永池結菜, 深川友里, 上山りえ, 牧野桃子, 中野伸亮, 伊藤能清 : 同種移植患者における移植前後のイメージ相違調査. 第 46 回日本造血・免疫細胞療法学会総会, 2024 年 3 月 22 日, 東京

臨床研究センター

今村総合病院

<国際>

1. Utsunomiya A, Kusumoto S, Choi I, Yoshimitsu M, Shimokawa M, Suehiro Y, Hidaka T, Nosaka K, Sasaki H, Rai S, Owatari S, Koh K, Hidaka M, Kato T, Jo T, Moriuchi Y, Ogata M, Otsuka E, Suzushima H, Ito S, Yoshida S, Ito A, Nakamura D, Tokunaga M, Sekine M, Sakamoto Y, Inagaki H, Ishida T, Ishitsuka K : A phase 2 trial of CHOP with anti-CCR4 antibody mogamulizumab for elderly patients with CCR4-positive adult T-cell leukemia/lymphoma. 17th International Conference on Malignant Lymphoma, Lugano, Switzerland, 13-17 June, 2023

<国内>

1. Utsunomiya A : Progress in the treatment of adult T-cell leukemia/lymphoma. 7th Tsurui Lymphoma Workshop, Kushiro, Japan, 24th February, 2023 (English)
2. 宇都宮與, 亀田拓郎, 大塚伸昭, 中野伸亮, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 伊藤能清, 米倉健太郎, 日高道弘, 河北敏郎, 幣光太郎, 田平優貴, 秋月溪一, 上運天綾子, 唐澤賢祥, 池田涼馬, 松本健吾, 日高智徳, 石崎淳三, 高橋尚也, 池井義彦, 久富木庸子, 下田和哉 : HTLV-1 キャリアにおける COVID-19 ワクチン接種後の体液性免疫応答の低下. 第 85 回日本血液学会学術集会, 2023 年 10 月 15 日, 東京
3. 垣添有佳, 米倉健太郎, 牧野桃子, 宮園卓宜, 徳永雅仁, 中野伸亮, 小田原淳, 藤野聡司, 伊藤能清, 宇都宮與 : ATL 患者の治験参加に対するリクルートへの CRC の役割. 第 9 回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2023 年 11 月 12 日, 京都

外科・消化器外科

今村総合病院

<国内>

1. 矢野雅己, 保坂優斗, 吉野春一郎, 飯尾俊也, 金城多架良, 庄亮真, 田辺寛, 平野拓郎, 田代幸恵, 二之宮謙次郎, 馬場研二, 上之園芳一, 帆北修一: 術前に動静脈奇形との鑑別が困難であった膿瘍形成性小腸 GIST の 1 例. 第 121 回日本消化器病学会九州支部例会, 2023 年 5 月 12 日, 福岡
2. 吉野春一郎, 保坂優斗, 平野拓郎, 馬場研二, 二之宮謙次郎, 田代幸恵, 上之園芳一, 帆北修一: 急性虫垂炎に対する虫垂切除後に goblet cell adenocarcinoma の診断に至った 2 例. 第 48 回日本外科系連合学会学術集会, 2023 年 6 月 8 日, 横浜 (Web)
3. 保坂優斗, 伊地知徹也, 大井秀之, 佐竹霜一, 田上聖徳, 山崎洋一, 川崎洋太, 又木雄弘, 蔵原弘, 大塚隆生: IPMN の進展に腫瘍内細菌叢が関与しているか?. 第 78 回日本消化器外科学会総会, 2023 年 7 月 12 日, 函館 (Web)
4. 田辺寛, 庄亮真, 金城多架良, 飯尾俊也, 保坂優斗, 帆北修一, 上之園芳一: 大腸憩室炎に対する手術治療成績～Hinchey 分類別の検討～. 第 48 回日本大腸肛門病学会九州地方会, 2023 年 7 月 29 日, 鹿児島
5. 庄亮真, 飯尾俊也, 金城多架良, 保坂優斗, 田辺寛, 帆北修一, 上之園芳一: press-through-package (PTP) シート誤飲による小腸微小穿孔に対して腹腔鏡下手術が有用であった 1 例. 第 48 回日本大腸肛門病学会九州地方会, 2023 年 7 月 29 日, 鹿児島
6. 金城多架良, 田辺寛, 上原光平, 飯尾俊也, 保坂優斗, 帆北修一, 上之園芳一: 帝王切開・卵管結紮術後に発症した子宮広間膜ヘルニアの 1 例. 鹿児島市外科医会秋季例会, 2023 年 11 月 9 日, 鹿児島
7. 岩田淳志, 保坂優斗, 吉野春一郎, 飯尾俊也, 庄亮真, 金城多架良, 平野拓郎, 田代幸恵, 二之宮謙次郎, 田辺寛, 馬場研二, 上之園芳一, 帆北修一: 穿孔性直腸癌の診断で化学療法後に切除し得た直腸 MiNEN の 1 例. 第 85 回日本臨床外科学会総会, 2023 年 11 月 17 日, 倉敷
8. 田辺寛, 上原光平, 金城多架良, 飯尾俊也, 保坂優斗, 帆北修一, 上之園芳一: 大腸憩室炎に対する三期的手術の検討. 第 37 回日本内視鏡外科学会総会, 2023 年 12 月 9 日, 横浜
9. 松本愛子, 田辺寛, 庄亮真, 金城多架良, 飯尾俊也, 保坂優斗, 瀧川譲治, 帆北修一, 上之園芳一, 大塚隆生: リンパ節腫大を伴った成人特発性腸重積症の 1 例. 第 37 回日本内視鏡外科学会総会, 2023 年 12 月 9 日, 横浜
10. 金城多架良, 保坂優斗, 上原光平, 飯尾俊也, 田辺寛, 帆北修一, 上之園芳一: 悪性腫瘍との鑑別を要した腸閉塞を伴う下行結腸憩室炎の 1 例. 第 36 回日本外科感染症学会総会学術集会, 2023 年 12 月 15 日, 北九州
11. 田辺寛, 上原光平, 金城多架良, 飯尾俊也, 保坂優斗, 帆北修一, 上之園芳一: 当院における高齢者の早期大腸癌切除例の検討. 第 100 回大腸癌研究会学術集会, 2024 年 1 月 25 日, 東京
12. 飯尾俊也, 上之園芳一, 庄亮真, 金城多架良, 保坂優斗, 田辺寛, 瀧川譲治, 田代幸恵, 有上貴明, 帆北修一, 大塚隆生: MSI-high 胃癌に対して Pembrolizumab を使用した 5 例の治療経験. 第 96 回日本胃癌学会総会, 2024 年 2 月 29 日, 京都
13. 益満和人, 保坂優斗, 金城多架良, 上原光平, 飯尾俊也, 田辺寛, 瀧川譲治, 帆北修一, 上之園芳一: 閉鎖孔内の腹膜嵌入嚢胞によって閉鎖神経障害をきたした 1 例. 第 60 回九州外科学会, 2024 年 3 月 8 日, 大分
14. 上前晃平, 保坂優斗, 金城多架良, 上原光平, 飯尾俊也, 田辺寛, 帆北修一, 上之園芳一: 抗凝固療法中に発症した胆嚢破裂を伴う出血性胆嚢炎の 1 例. 第 60 回九州外科学会, 2024 年 3 月 8 日, 大分
15. 保坂優斗, 田辺寛, 上原光平, 金城多架良, 飯尾俊也, 瀧川譲治, 帆北修一, 上之園芳一: 外科専攻医による腹腔鏡下胆嚢摘出術の手術成績と学習曲線に関する検討. 第 87 回鹿児島県臨床外科学会総会・医学会, 2024 年 3 月 16 日, 鹿児島
16. 上原光平, 保坂優斗, 金城多架良, 飯尾俊也, 田辺寛, 瀧川譲治, 帆北修一, 上之園芳一: 胃結腸静脈幹に回結腸静脈が流入する血管破格を伴った上行結腸癌の 1 例. 第 87 回鹿児島県臨床外科学会総会・医学会, 2024 年 3 月 16 日, 鹿児島

皮膚科

今村総合病院

<国内>

1. 米倉健太郎, 玉井真理子, 佐藤浩子, 武田浩一郎, 二之宮謙次郎, 田代幸恵: 皮膚原発 $\gamma \delta$ T 細胞リンパ腫の1例. 第193回日本皮膚科学会鹿児島地方会, 2023年4月9日, 鹿児島
2. 佐藤浩子, 玉井真理子, 武田浩一郎, 米倉健太郎: テーピング法、コットンパッド法にペディグラスを併用した陥入爪の治療. 第193回日本皮膚科学会鹿児島地方会, 2023年4月9日, 鹿児島
3. 米倉健太郎: 成人T細胞白血病リンパ腫の新規治療. 第122回日本皮膚科学会総会 教育講演 56-4, 2023年6月4日, 横浜
4. 米倉健太郎: 皮膚科における ATL 診療とハイヤスタ錠の使用経験. 第39回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 ランチョンセミナー4, 2023年8月4日, 名古屋
5. 米倉健太郎, 二之宮謙次郎, 田代幸恵: 筋肉内腫瘍を呈した菌状息肉症. 第39回日本皮膚悪性腫瘍学会, 2023年8月5日, 名古屋
6. 米倉健太郎, 武田浩一郎, 玉井真理子, 佐藤浩子: スペソリマブが著効した高齢者の汎発性膿疱性乾癬の1例. 第38回日本乾癬学会学術大会, 2023年8月26日, 東京
7. 米倉健太郎: 当科における掌蹠膿疱症に対するグセルクマブの使用経験と HTLV-1 キャリアの乾癬治療. 日本皮膚科学会第238回熊本地方会 スポンサーセミナーII, 2023年9月3日, 熊本
8. 米倉健太郎: ATL の多彩な臨床像と治療の最新情報. 第75回日本皮膚科学会西部支部学術大会 スポンサーディンポジウム, 2023年9月16日, 宜野湾
9. 米倉健太郎: 再発・難治性 ATL の治療 - 皮膚腫瘍医の観点から -. 第85回日本血液学会学術集会 モーニングセミナー 2-11, 2023年10月14日, 東京
10. 米倉健太郎: 皮膚病変主体の ATL に対する治療～indolent ATL および全身療法後の皮膚再発について～. 第9回日本 HTLV-1 学会学術集会 スポンサーディンポジウム, 2023年11月10日, 京都
11. 米倉健太郎, 武田浩一郎, 玉井真理子, 佐藤浩子, 二之宮謙次郎, 田代幸恵: 筋肉内腫瘍を呈した菌状息肉症. 第195回日本皮膚科学会鹿児島地方会, 2023年12月3日, 鹿児島
12. 武田浩一郎, 玉井真理子, 佐藤浩子, 米倉健太郎, 二之宮謙次郎, 田代幸恵: Sweat Gland Carcinoma with Neuroendocrine Differentiation (SCAND) の1例. 第195回日本皮膚科学会鹿児島地方会, 2023年12月3日, 鹿児島
13. 米倉健太郎, 武田浩一郎, 玉井真理子, 佐藤浩子: スペソリマブが奏効した高齢者の汎発性膿疱性乾癬の1例. 第196回日本皮膚科学会鹿児島地方会, 2024年3月30日, 鹿児島
14. 武田浩一郎, 玉井真理子, 佐藤浩子, 米倉健太郎, 隈本亨: 梅毒の1例. 第196回日本皮膚科学会鹿児島地方会, 2024年3月30日, 鹿児島

病理診断科

今村総合病院

<国内><共同演者>

1. 米倉健太郎, 玉井真理子, 佐藤浩子, 武田浩一郎, 二之宮謙次郎, 田代幸恵: 皮膚原発 $\gamma \delta$ T 細胞リンパ腫の1例. 第193回日本皮膚科学会鹿児島地方会, 2023年4月9日, 鹿児島
2. 吉野春一郎, 保坂優斗, 平野拓郎, 馬場研二, 二之宮謙次郎, 田代幸恵, 上之園芳一, 帆北修一: 急性虫垂炎に対する虫垂切除後に goblet cell adenocarcinoma の診断に至った2例. 第48回日本外科系連合学会学術集会, 2023年6月8日, 横浜 (Web)
3. 米倉健太郎, 二之宮謙次郎, 田代幸恵: 筋肉内腫瘍を呈した菌状息肉症. 第39回日本皮膚悪性腫瘍学会, 2023年8

月5日, 名古屋

4. 宮園卓宜, 藤野聡司, 小田原淳, 中野伸亮, 徳永雅仁, 米倉健太郎, 田代幸恵, 伊藤能清, 宇都宮與: 当院における再発難治性びまん大細胞B細胞性リンパ腫に対する PolaBR 療法の使用経験. 第85回日本血液学会学術集会, 2023年10月13-15日, 東京
5. 徳永雅仁, 米倉健太郎, 齋藤啓太, 藤野聡司, 小田原淳, 中野伸亮, 宮園卓宜, 田代幸恵, 宇都宮與, 伊藤能清: 成人T細胞白血病/リンパ腫におけるツシジノスタットの有効性と安全性. 第85回日本血液学会学術集会, 2023年10月13-15日, 東京
6. 坂本祐真, 石田高司, 正木彩子, 村瀬貴幸, 大塚英一, 竹下盛重, 武藤礼治, 崔日承, 岩崎浩己, 伊藤旭, 楠本茂, 中野伸亮, 徳永雅仁, 米倉健太郎, 田代幸恵, 末廣陽子, 飯田真介, 宇都宮與, 上田龍三, 稲垣宏: 成人T細胞白血病/リンパ腫における NOTCH1 および FBXW7 遺伝子異常. 第85回日本血液学会学術集会, 2023年10月13-15日, 東京
7. 徳永雅仁, 米倉健太郎, 齋藤啓太, 藤野聡司, 小田原淳, 中野伸亮, 宮園卓宜, 田代幸恵, 宇都宮與, 伊藤能清: 成人T細胞白血病/リンパ腫におけるツシジノスタットの有効性と安全性. 第9回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2023年11月10-12日, 京都
8. 宮園卓宜, 藤野聡司, 小田原淳, 中野伸亮, 徳永雅仁, 米倉健太郎, 田代幸恵, 伊藤能清, 宇都宮與: 成人T細胞白血病(ATL)に対してさい帯血移植施行後に COVID-19 を併発した1例. 第9回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2023年11月10-12日, 京都
9. 米倉健太郎, 武田浩一郎, 玉井真理子, 佐藤浩子, 二之宮謙次郎, 田代幸恵: 筋肉内腫瘍を呈した菌状息肉症. 第195回日本皮膚科学会鹿児島地方会, 2023年12月3日, 鹿児島
10. 武田浩一郎, 玉井真理子, 佐藤浩子, 米倉健太郎, 二之宮謙次郎, 田代幸恵: Sweat Gland Carcinoma with Neuroendocrine Differentiation (SCAND) の1例. 第195回日本皮膚科学会鹿児島地方会, 2023年12月3日, 鹿児島
11. 宮園卓宜, 藤野聡司, 小田原淳, 中野伸亮, 徳永雅仁, 田代幸恵, 宇都宮與, 伊藤能清: 当院におけるヒト骨髄由来間葉系幹細胞テムセル HS 注の使用経験. 第46回日本造血・免疫細胞療法学会総会, 2024年3月21-23日, 東京

輸血管理部

今村総合病院

<国内>

1. 宮園卓宜, 中島彩乃, 藤山裕輝, 新屋果蓮, 牧野桃子, 兼石知香, 久保友恵, 中野伸亮, 伊藤能清, 宇都宮與, 帆北修一: 当院におけるヒト骨髄由来間葉系幹細胞テムセル HS 注の使用経験. 第71回日本輸血・細胞治療学会学術総会, 2023年5月12日, 千葉
2. 宮園卓宜, 藤野聡司, 小田原淳, 中野伸亮, 徳永雅仁, 米倉健太郎, 田代幸恵, 伊藤能清, 宇都宮與: 成人T細胞白血病(ATL)に対してさい帯血移植施行後に COVID-19 を併発した1例. 第9回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2023年11月12日, 京都
3. 井上彩乃, 宮園卓宜, 藤山裕輝, 久保友恵, 松山淳史, 小林果蓮, 牧野桃子, 兼石知香, 中野伸亮, 伊藤能清, 宇都宮與, 帆北修一: 抗 CD38 抗体治療症例の当院における管理体制構築について(5年間の取り組み). 日本輸血・細胞治療学会九州支部会 第70回総会・第91回例会, 2023年11月25日, 鹿児島
4. 兼石知香, 宮園卓宜, 小林果蓮, 牧野桃子, 井上彩乃, 藤山裕輝, 中野伸亮, 伊藤能清, 宇都宮與, 帆北修一: 適正で安全な外来輸血業務の構築について ~「輸血覚え書き」を用いて~. 日本輸血・細胞治療学会九州支部会 第70回総会・第91回例会, 2023年11月25日, 鹿児島
5. 宮園卓宜, 藤野聡司, 小田原淳, 中野伸亮, 徳永雅仁, 米倉健太郎, 田代幸恵, 宇都宮與, 伊藤能清: 当院におい

る未治療びまん大細胞 B 細胞性リンパ腫 (DLBCL) に対する Pola-R-CHP 療法の使用経験. 第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会, 2024 年 2 月 22 日, 名古屋

6. 小田原淳, 斎藤啓太, 中野伸亮, 徳永雅仁, 藤野聡司, 宮園卓宜, 宇都宮與, 伊藤能清: VEN/AZA 療法後の同種造血幹細胞移植の有効性と安全性の検証. 第 46 回日本造血・免疫細胞療学会総会, 2024 年 3 月 22 日, 東京
7. 宮園卓宜, 藤野聡司, 小田原淳, 中野伸亮, 徳永雅仁, 田代幸恵, 宇都宮與, 伊藤能清: 当院におけるヒト骨髄由来間葉系幹細胞テムセル HS 注の使用経験. 第 46 回日本造血・免疫細胞療学会総会, 2024 年 3 月 23 日, 東京

糖尿病内科

いづろ今村病院

<国内>

1. 上久保定一郎: 抗 VEGF 抗体薬眼内注射が DKD 患者腎予後に与える影響. 第 66 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2023 年 5 月 11-13 日, 鹿児島
2. 和田華菜子: 自己注射困難な高齢者 2 型糖尿病患者での特効型インスリン隔日投与と GLP-1 受容体作動薬併用の有効性. 第 66 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2023 年 5 月 11-13 日, 鹿児島
3. 新中須敦: 2 型糖尿病合併脂質異常症患者におけるペマフィブラートの肝酵素に対する効果 (PARADISE in Kagoshima study) (第 2 報). 第 66 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2023 年 5 月 11-13 日, 鹿児島
4. 時岡玲子: 糖尿病性胃無力症評価におけるアセトアミノフェン負荷試験とフェルドマンテストの比較. 第 66 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2023 年 5 月 11-13 日, 鹿児島
5. 田川理笑: 糖尿病性胃無力症評価におけるアセトアミノフェン負荷試験とフェルドマンテストの比較. 第 66 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2023 年 5 月 11-13 日, 鹿児島
6. 鎌田哲郎: 今だからこそ考える糖尿病地域連携～変容する時代や社会に対応する～ 鹿児島市域糖尿病医療連携体制 9 年の歩み. 第 66 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2023 年 5 月 11-13 日, 鹿児島
7. 仮屋毅彦, 新中須敦, 和田華菜子, 末永正敏, 田川理笑, 大重聡彦, 上久保定一郎, 鎌田哲郎: 二次性ヘモクロマトーシスによる糖尿病の 1 例. 第 61 回日本糖尿病学会九州地方会, 2023 年 12 月 1-2 日, 熊本
8. 末永正敏, 新中須敦, 仮屋毅彦, 和田華菜子, 田川理笑, 大重聡彦, 上久保定一郎, 鎌田哲郎: PDL1 投与後に DKA と無痛性甲状腺炎を来した緩徐進行 1 型糖尿病の一例. 第 61 回日本糖尿病学会九州地方会, 2023 年 12 月 1-2 日, 熊本

脳神経内科

今村総合病院

<国内>

1. 中山万莉, 山下ひとみ, 久保純平, 浜田恭輔, 有水琢朗, 神田直昭: 救急外来でのベッドサイドエコーで腕頭動脈に可動性プラークが指摘された右脳梗塞の 1 例. 第 344 回日本内科学会九州地方会, 2024 年 1 月 27 日, 福岡 (Web)
2. 久保純平: Duroathy に伴う脳表ヘモジデリン沈着症の 1 例. 第 243 回日本神経学会九州地方会, 2024 年 3 月 2 日, 福岡 (Web)

循環器内科

今村総合病院

<国内>

1. 肥後建樹郎, 伊比隆輔, 立志公史郎, 鮫島光平, 大石充: 透析患者の心血管死予防における β 遮断薬に関する考察:

- 冠動脈 CT 時のランジオロール投与に対する反応性の比較に関する検討. 第 59 回日本循環器病予防学会学術集会, 2023 年 6 月 3-4 日, 鹿児島
- 伊比隆輔, 肥後建樹郎, 立志公史郎, 鮫島光平, 大石充: COVID-19 感染後に小腸出血と肺塞栓症・深部静脈血栓症を併発し治療に難渋した抗リン脂質抗体症候群の 1 例. 第 134 回日本循環器学会九州地方会, 2023 年 6 月 24 日, 熊本
 - 肥後建樹郎, 伊比隆輔, 立志公史郎, 川畑孟子, 大石充: 肺塞栓に対する抗凝固療法中に無症候性前立腺出血を来した一例. 第 342 回日本内科学会九州地方会, 2023 年 8 月 5 日, 佐賀
 - 立志公史郎, 肥後建樹郎, 伊比隆輔, 川畑孟子, 大石充: MRA の効果を可視化し得た OptiVol® 搭載ペースメーカー移植後の高齢心不全患者の一例. 第 71 回日本心臓病学会学術集会, 2023 年 9 月 8-10 日, 東京
 - 肥後建樹郎, 伊比隆輔, 立志公史郎, 川畑孟子, 大石充: 穿通性粥状硬化性潰瘍に Intramural Hematoma を合併した一例. 第 135 回日本循環器学会九州地方会, 2023 年 12 月 2 日, 福岡

消化器内科

今村総合病院

<国内>

- 山口天慶, 軸屋賢一, 那須雄一郎, 堀剛, 坪内博仁, 井戸章雄: S 状結腸腹膜垂による絞扼性イレウスの一例. 第 121 回日本消化器病学会九州支部例会, 2023 年 5 月 12 日, 福岡
- 寺田芳寛, 藤野悠介, 坂江貴弘, 嵩山敏男: Pembrolizumab が奏功している MSI-High 切除不能肝内胆管癌の 1 例. 第 121 回日本消化器病学会九州支部例会, 2023 年 5 月 12 日, 福岡
- 軸屋賢一, 那須雄一郎, 堀剛, 坪内博仁, 井戸章雄: 大腸 ESD における RDI 併用の有用性について. 第 115 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会, 2023 年 5 月 13 日, 福岡
- 山口天慶, 橋口正史, 玉井努, 堀剛, 坪内博仁, 井戸章雄: 多発性骨髄腫による高アンモニア血症をきたした C 型肝硬変の 1 例. 第 59 回日本肝臓学会総会, 2023 年 6 月 15 日, 奈良

スポーツ整形外科

今村総合病院

<国際>

- Kaieda H: Factors affecting clinical results of re-tear cases after arthroscopic repair of large and massive rotator cuff tears. ISAKOS CONGRESS 2023, 19th June 2023, City of Boston, USA

<国内>

- 上藪直弘: ACL 断裂に合併した PLC 損傷症例の経験. 第 72 回鹿児島整形外科集談会, 2023 年 4 月 15 日, 鹿児島
- 前園恵慈, 上藪直弘, 海江田英泰, 福島佳織: 小侵襲 BTB グラフト採取法 (KOH BTB Harvester) による ACL 再建術における膝蓋骨採取部の骨形成状態と膝前方症状の検討. 第 1 回日本スポーツ整形外科学会, 2023 年 6 月 29 日 -7 月 1 日, 広島
- 海江田英泰: Outcomes of Reverse Shoulder Arthroplasty. 第 50 回日本肩関節学会学術集会, 2023 年 10 月 13 日, 東京
- 上藪直弘: 高位脛骨骨切り術中に急性動脈閉塞を生じた一例. 第 73 回鹿児島整形外科集談会, 2023 年 11 月 11 日, 鹿児島
- 前園恵慈: 足舟状骨疲労骨折の骨折部位・骨折型と無血管領域との関係についての検討. 第 34 回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2023 年 11 月 11-12 日, 横浜

救急・総合内科

今村総合病院

<国内>

1. 白石大瑛, 永山宗太郎, 西村時紘, 畠中成己, 市來征仁, 西垂水和隆: インフルエンザ後の肺炎球菌性膿胸にも関わらず漏出性胸水であった非代償性肝硬変の1例. 第341回日本内科学会九州地方会, 2023年5月27日, 北九州(Web)
2. 鶴本亜衣, 尾ノ上祐大, 上原悠也, 伊藤加菜絵, 大塚暢, 市來征仁, 西垂水和隆: 側頭部・眼瞼浮腫を呈した巨細胞性動脈炎の1例. 第341回日本内科学会九州地方会, 2023年5月27日, 北九州(Web)
3. 加倉健太郎, 高橋佑輔, 田中幸介, 古川龍太郎, 松坂俊, 宮崎万友子, 細川智美, 柏木秀行: 胆管細胞癌に対して他県で化学療法を受け継続困難となり、離島での在宅導入にむけ調整を開始したが間に合わず逝去された1例. 日本緩和医療学会 第5回九州支部学術大会, 2023年11月3日, 鹿児島
4. 石川そでみ, 加倉健太郎, 伊藤加菜絵, 市來征仁, 西垂水和隆: サイトメガロウイルス初感染を契機に発症したCogan 症候群の1例. 第344回日本内科学会九州地方会, 2024年1月27日, 福岡

小児科

今村総合病院

<国内>

1. 徳永美菜子, 関祐子, 堀口達史, 三浦希和子, 柿本令奈, 森田智, 溝田美智代, 蘇原映誠, 内田信一: 低カリウム血症と濃厚な高血圧の家歴から Liddle 症候群の診断に至った親子例. 第65回日本内分泌学会学術集会, 2023年6月1日, 名古屋(Web)
2. 徳永美菜子, 溝田美智代: プロスマブを開始した X 連鎖性低リン血症性くる病の同胞例. 第183回日本小児科学会鹿児島地方会, 2023年10月15日, 鹿児島
3. 徳永美菜子, 溝田美智代: burosumab を開始した X 連鎖性低リン血症性くる病の同胞例 - 乳児期治療開始の必要性の検討も含めて -. 第56回日本小児内分泌学会学術集会, 2023年10月19日, 埼玉

<国内><共同演者>

1. 鎌田哲郎, 郡山暢之, 堀之内秀治, 加治屋昌子, 橋口恭博, 溝田美智代, 上山教夫, 江川伸一郎, 大勝秀樹, 出口尚寿, 西尾善彦: 鹿児島市域糖尿病医療連携体制9年の歩み. 第66回日本糖尿病学会学術集会, 2023年5月11日, 鹿児島
2. 神村未来, 関祐子, 柿本令奈, 堀口達史, 三浦希和子, 徳永美菜子, 森田智, 岡元康裕: 尿路結石を合併した小児 Cushing 病. 第56回日本小児内分泌学会学術集会, 2023年10月19日, 埼玉
3. 阿部裕樹, 浦上達彦, 鈴木潤一, 森田智, 荒木まり子, 溝田美智代, 佐々木悟郎, 森潤, 立松寿, 峯佑介, 吉田圭, 菊池透: 日本人小児1型糖尿病におけるインスリン頻回注射法による夜間低血糖の検討. 第56回日本小児内分泌学会学術集会, 2023年10月19日, 埼玉

眼科

今村総合病院

<国際>

1. Doi N, Mizushima Y, Yonekura K, Ito K: Purtscher-like retinopathy in adult-onset Still's disease which caused acute and fatal brain edema. The 23rd Euretina Congress, 5-8 October 2023, Amsterdam, The Netherlands

脳神経外科

今村総合病院

<国内>

1. 渋谷望美：乳児期早期に縫合切除術とヘルメット治療を行った Apert 症候群の 1 例. 第 51 回日本小児神経外科学会, 2023 年 6 月 9-10 日, 宇都宮

歯科口腔外科

今村総合病院

<国内><共同演者>

1. 新田哲也, 坂元亮一, 山城康太, 平原成浩, 尾林莉咲, 西慶太郎, 上栗裕平, 上川善昭：誤飲した有鉤両側遊離端義歯を頸部外切開と内視鏡併用で摘出した 1 例. 第 77 回日本口腔科学会学術集会, 2023 年 5 月 13 日, 岡山

七波クリニック

<国内>

1. 上久保定一郎：抗 VEGF 抗体薬眼内注射が DKD 患者腎予後に与える影響. 第 66 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2023 年 5 月 11-13 日, 鹿児島

かごしまオハナクリニック

<国内><共同演者>

1. 藤原和成, 鋪野紀好, 宮澤麻子, 八寫駿, 横谷省治, 横山大輔, 渡部健, 今江章宏, 大塚勇輝, 金弘子, 菅野耀介：専攻医支援の共有と展開～特色あるグッドプラクティスを語る. 日本プライマリ・ケア連合学会第 14 回学術大会, 2023 年 5 月 12-14 日, 愛知
2. 鳥巢裕一, 横山大輔, 渡部なつき, 川口湧水, 金弘子, 本村和久：ポートフォリオフェスティバル. 日本プライマリ・ケア連合学会第 18 回九州支部総会・学術大会（ワークショップ）, 2024 年 1 月 20-21 日, 宮崎

以上 診療部

看護部

今村総合病院

<国内>

1. 有村美保, 柳田貴子：患者へ統一した看護を提供するための取り組み～クリニカルパスの有効的な活用を目指して～. 第 25 回日本医療マネジメント学会, 2023 年 6 月 22-24 日, 横浜
2. 中村倫丈：クリティカルケア領域における特定行為の実践報告. 第 19 回日本クリティカル看護学会学術集会, 2023 年 7 月 1-2 日, 東京
3. 越口晋伍, 中村倫丈：看護を語る会をとおして見えてきた ICU の看護観. 第 19 回日本クリティカル看護学会学術集会, 2023 年 7 月 1-2 日, 東京
4. 入佐つぐみ, 中村倫丈：ICU における人工呼吸患者に対する早期リハビリ. 第 19 回日本クリティカル看護学会学術

集会, 2023年7月1-2日, 東京

5. 松山日実子, 松山郁子: 臨床教員配置による効果～新人看護師の不安の軽減と離職低下の一助になりえたか～. 第54回日本看護学会学術集会, 2023年11月8-9日, 横浜
6. 渡邊喜美代, 大久保珠里: 透析センター内の防災への取り組み. 日本腎不全学会, 2023年11月18-19日, 仙台
7. 平川あゆみ: 院内迅速対応システムの活動効果. 第25回日本救急学会学術集会, 2023年11月24-25日, 長崎
8. 小林果蓮, 牧野桃子, 宮園卓宜: 外来における輸血手順マニュアル. 第70回日本輸血・細胞治療学会九州支部会, 2023年11月25日, 鹿児島
9. 上野志織, 嘉村早苗, 中村倫丈: 院内迅速対応システム (RRS) について. 第51回日本集中医療学会, 2024年3月13-16日, 札幌
10. 萩原千聖, 飯田ひかり, 大田夏鈴, 永池結菜, 深川友里, 上山りえ, 牧野桃子, 中野伸亮, 伊藤能清: 同種移植患者の移植に対するイメージの相違. 第46回日本造血・免疫細胞療法学会, 2024年3月22-23日, 東京

いづろ今村病院

<国内>

1. 林和宏, 徳田愛里, 新町夏来: 終末期まで化学療法を継続した造血器腫瘍疾患患者・家族の看護. 第38回日本がん看護学会学術集会, 2024年2月23-25日, 神戸

谷山病院

<国内>

1. 杉田真人: リソースナースによるコンサルテーションが看護師のMSE活用に与える効果. 第48回日本精神科看護学術集会, 2023年6月2-3日, 札幌
2. 葛和麻美, 福島愛, 池田直樹, 潮昌子: 診療報酬に関する精神科看護師の意識調査. 第48回日本精神科看護学術集会, 2023年6月2-3日, 札幌
3. 徳佳奈美, 葛和麻美, 福島愛: 新型コロナウイルス感染症患者の身体拘束と看護師の意識調査. 日本精神科看護協会鹿児島県支部看護研究発表会, 2023年10月14日, 鹿児島
4. 肥後俊美, 橋口めぐみ, 和田美希, 岡村理恵, 潮昌子: インシデントレポートの記載と看護職員の安全意識の関連についての調査 看護実践自己評価尺度を用いて. 日本精神科看護協会鹿児島県支部看護研究発表会, 2023年10月14日, 鹿児島
5. 五反田千佳: 精神科急性期病棟における退院支援実践力と今後の展望～精神科包括的退院支援評価尺度をもとにしたアンケート調査～. 鹿児島県看護研究学会, 2024年1月20日, 鹿児島
6. 池田あかり, 池田優佳, 河口綾香: 新型コロナウイルス感染症患者の看護を实践した精神科閉鎖病棟看護要員の思い～看護要員の思いを質的帰納的に分析した考察～. 鹿児島県看護研究学会, 2024年1月20日, 鹿児島

奄美病院

<国内>

1. 森山由香: 精神科デイケアの居場所としての役割とリハビリ支援について考える. 第30回日本精神科看護専門学術集会 in 埼玉県, 2023年11月22-23日, 埼玉
2. 愛甲宏良, 川内千賀子, 青木あゆみ, 平田恵美: 急性期病棟でのリハビリ計画を考えるー精神疾患をマンダラチャートで乗りこなす. 第30回日本精神科看護専門学術集会 in 埼玉県, 2023年11月22-23日, 埼玉

リハビリテーション部

今村総合病院 理学療法士（一般総合）

<国内>

1. 武清孝弘, 堂園浩一朗, 岡村敏之, 中島徳久, 奈良聡一郎, 吉田一成, 堂園充代, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 中野伸亮, 伊藤能清, 宇都宮興：同種造血幹細胞移植患者のSF-36における移植前身体機能スコアの特徴. 第6回日本がん・リンパ浮腫理学療法学会, 2023年10月14-15日, 福島
2. 宮島康輔, 宮ヶ原卓, 濱田大輔, 浜田香穂麗, 鉾之原希志, 吉田一成, 堂園浩一朗：外傷性脊髄損傷後、Overdose等でADL低下を繰り返し難渋したが歩行再獲得に至った症例. 第43回 回復期リハビリテーション病棟研究大会 in 熊本, 2024年3月8-9日, 熊本
3. 武清孝弘, 堂園浩一朗, 岡村敏之, 中島徳久, 奈良聡一郎, 吉田一成, 堂園充代, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 中野伸亮, 伊藤能清, 宇都宮興：同種造血幹細胞移植患者のSF-36における身体機能スコアの経時的変化. 第46回日本造血・免疫細胞療法学会総会, 2024年3月21-23日, 東京

今村総合病院 理学療法士（スポーツ整形）

<国内>

1. 岡弥津希, 吉田研吾, 轟原与織, 鮫島智志, 白尾泰宏, 濱里雄次郎：鏡視下腱板修復術後患者における術後1年の他動肩関節可動域に影響する因子の検討. 第11回日本運動器理学療法学会学術大会, 2023年10月15日, 福岡
2. 吉田研吾, 白尾泰宏, 福島佳織, 濱里雄次郎：当院における骨付き膝蓋腱を用いた膝前十字靭帯再建術後の膝筋力値～性別・年代別での比較～. 九州理学療法士学術大会 2023in 熊本, 2023年11月25日, 熊本
3. 吉田研吾, 白尾泰宏, 海江田英泰, 福島佳織：骨付き膝蓋腱と膝屈筋腱を用いた膝前十字靭帯再建術後における膝筋力値の比較～同性同年代間での検証～. 第35回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2023年12月9日, 福岡
4. 岡弥津希, 吉田研吾, 白尾泰宏, 福島佳織, 海江田英泰：腱板断裂患者における上腕二頭筋長頭腱病変の合併率と関節可動域・疼痛の関連について. 第37回鹿児島県理学療法士学会, 2024年2月23日, 鹿児島

いづろ今村病院 理学療法士

<国内>

1. 西洋樹, 森永恭子, 新中須敦, 鎌田哲郎：合併症、認知機能低下、運動機能低下により運動実践困難となった高齢2型糖尿病患者1例に対する徒手療法併用運動療法の効果と地域連携. 第9回日本糖尿病理学療法学会学術大会, 2023年9月16-17日, 名古屋

谷山病院 作業療法士

<国内>

1. 川井田翔悟, 東泊由紀, 松元咲絵, 岩吉雄太朗：事例を通して精神科デイケアにおける作業療法士の役割を再考する. 第57回日本作業療法学会, 2023年11月10日, 沖縄

今村総合病院 言語聴覚士

<国内>

1. 田中光, 丸岡由佳, 堂園浩一朗：重度嚥下障害患者に対する完全側臥位法での代償の有効性について. 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学術大会, 2023年9月3日, 横浜
2. 丸岡由佳, 田中光, 松元龍, 堂園浩一朗：脳卒中急性期における嚥下評価と呼吸器疾患の関連性. 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学術大会, 2023年9月3日, 横浜

薬剤部

今村総合病院

<国内>

1. 西元寺慧一, 橋本直美, 松山淳史, 鬼丸俊司: 転院時処方日数調整に対する薬剤師介入効果. 第7回鹿児島県病院薬剤師会学術大会, 2024年1月27日, 鹿児島

いづろ今村病院

<国内>

1. 東屋敷史織, 田原七海, 遠矢素子, 古澤夕紀子, 東條知子, 内山ゆかり, 神門孝典: 当院入院患者における週1回 GLP-1 受容体作動薬の使用状況および消化器症状の副作用発現に関する検討～薬剤適正使用への取り組みと課題～. 第7回鹿児島県病院薬剤師会学術大会, 2024年1月27日, 鹿児島 (Web)

谷山病院

<国内>

1. 長曾我部翔, 四本晶子, 染川考佑, 稲森志織, 森原亜希子, 永井未仁, 新村味穂子, 吉永浩之: 谷山病院精神一般病棟における抗パーキンソン薬 (抗コリン薬) の使用状況について. 第7回鹿児島県病院薬剤師会学術大会, 2024年1月27日, 鹿児島

診療放射線部

今村総合病院

<国際>

1. Ichiki M, Ozawa S, Makino T, Takayama D, Uchiyama N, Nishida H, Yonekura K, Dokiya T: Treatment planning evaluation for total skin irradiation using helical tomotherapy. American Association of Physicists in Medicine 65th Annual Meeting & Exhibition (AAPM2023), 23-27 July 2023, Houston, USA

<国内>

1. 蓑田辰則, 西田崇友, 水流彩友美, 小林晃也, 上川翔美, 馬場隆行: プロテクターの品質管理を行い被ばく低減に係る安全管理につなげる試み. 第3回慈愛会学会, 2023年7月1日, 鹿児島
2. 若松沙樹, 前田裕介: MRI 検査における入室前の安全確認への取り組み. 第3回慈愛会学会, 2023年7月1日, 鹿児島
3. Ichiki M, Ozawa S, Makino T, Takayama D, Megumi T: Evaluation of method for obtaining CT values when creating an Image value to density table using MVCT images. 第126回日本医学物理学会学術大会, 2023年9月15-17日, 広島
4. 馬場隆行: 角度計測テンプレートと補助具を活用した高精度手関節 TRUE LAT 撮影法. 第39回日本診療放射線技師学術大会, 2023年9月29日-10月1日, 熊本
5. 馬場隆行: 角度計測テンプレートと補助具を活用した高精度踵骨軸位撮影法. 第18回九州放射線医療技師学術大会, 2023年11月2-4日, 大分

臨床検査部

今村総合病院

<国内>

1. 井上彩乃, 藤山裕輝, 久保友恵: 抗 CD38 抗体治療症例の当院における管理体制構築について (5 年間の取り組み). 日本輸血・細胞治療学会九州支部会 第 70 回総会・第 91 回例会, 2023 年 11 月 25 日, 鹿児島

臨床工学部

今村総合病院

<国内>

1. 高岡大: ANCA 関連 RPGN に対し PE、CHDF を行った症例. 第 29 回日本アフェレシス学会九州地方会, 2023 年 4 月 16 日, 鹿児島
2. 川井田季睦: レオカーナ使用時の当院でのヘパリン使用量の報告. 第 68 回日本透析医学会学術集会, 2023 年 6 月 16-18 日, 神戸

管理栄養部

いづろ今村病院

<国内>

1. 中藪智美, 内田紗弥, 萬福有理, 藏元まどか, 下野真央, 濱崎静夏: 高齢者・フレイル患者の食事療法 ~多様性をうけとめ、寄り添う支援~. 第 61 回日本糖尿病学会九州地方会, 2023 年 12 月 1-2 日, 熊本

事務部

今村総合病院 事務部

<国内>

1. 鈴木大輔, 有島尚亮: 品質向上会議の実績報告とその効果について. 第 25 回日本医療マネジメント学会学術総会, 2023 年 6 月 23-24 日, 横浜

今村総合病院 診療情報管理室

<国内>

1. 前田雄介: 診療情報管理士キャリアラダーの構築. 第 49 回日本診療情報管理学会学術大会, 2023 年 9 月 14-15 日, 青森

今村総合病院 医師事務補助課

<国内>

1. 東雅美, 大迫真由美, 日高奈津美, 上栗明都: 共通マニュアル「虎の巻」創刊~ DA にとって最強の 1 冊~. 日本医師事務作業補助者研究会 第 12 回全国学術集会, 2023 年 10 月 20 日, 大阪

【第3回慈愛会学会学術集会】

2023年7月1日 鹿児島県市町村自治会館

(所属・氏名は抄録集に基づき掲載)

<第49回フローレンス・ナイチンゲール記章 受章記念>

今村節子先生のご功績

公益財団法人慈愛会 理事長室顧問 / 公益社団法人 教育・ヘルスケア振興節英会 理事 中重敬子

<パネルディスカッション>

地域医療構想における慈愛会在宅医療の今後の在り方について～オール慈愛会で取り組む在宅医療～

コーディネーター：今村総合病院 医師 佐藤浩子, 医療福祉相談部 精神保健福祉士 地頭所孝之

パネリスト：高麗町クリニック 医師 木原浩一, かごしまオハナクリニック 医師 林恒存, いづろ今村病院 理学療法士 土井敦, 今村総合病院 看護師 米澤美智代

<口演>

第Ⅰセッション [地域医療、医療経済、働き方改革]

1. 今村総合病院 薬剤師 西元寺慧一, 阿部竜也, 橋本直美, 松山淳史, 鬼丸俊司：転院時処方日数調整による病院負担軽減効果について *口演発表優秀賞
2. いづろ今村病院 医師 石橋和久, 事務員 秋廣定也, 大重里美, 診療放射線技師 脇田慎一, 看護師 今井朋子, 大垣美紀, 鍛冶屋美和子, 丸山さゆり, 田中ミドリ, 診療情報管理士 猿渡光, 社会福祉士 南尚江, 岡田美鈴, 内屋敷香織, 管理栄養士 中菌智美, 臨床検査技師 湯浅由合, 作業療法士 飯田真由美, 公認心理士 片山秀実：いづろ今村病院の地域連携戦略の変遷～急性期病院からケアミックス病院への転換～
3. 今村総合病院 看護師 西森識, 西方マリ子, 上山テルヨ, 医師 西垂水和隆：訪問診療における特定行為実践が及ぼす医師のタスクシフト / シェアへの影響
4. 今村総合病院 看護師 前田麻由美：内服薬ダブルチェックに関する業務削減への取り組み
5. 徳之島病院 看護師 永瀬千里, 三上正美：当院でのPNSの取り組み～協働に向けて～
6. 今村総合病院 事務員 男澤美和：医療機関へのカウンセラー採用による職員支援について～精神的支援による働き方改革への提言～

第Ⅱセッション [医療福祉の質、その他]

1. 今村総合病院 医師 坂優斗, 馬場研二, 吉野春一郎, 平野拓郎, 上之園芳一, 帆北修一：当院におけるロボット支援下直腸切除術導入の経験：助手の立場から *口演発表奨励賞
2. 今村総合病院 看護師 平川あゆみ, 小濱奈々, 中村倫丈, 医師 西村時紘, 西垂水和隆：院内死亡例から読み解く～Medical Emergency Teamの活動効果～ *今村節子賞
3. 今村総合病院 理学療法士 岡弥津希, 吉田研吾, 轟原与織, 鮫島智志, 白尾泰宏, 医師 濱里雄次郎：鏡視下腱板修復術後患者における術後1年までの他動肩関節可動域の推移について *口演発表奨励賞
4. 今村総合病院 看護師 武加奈子, 浜崎彩, 中村久美：rt-PA・血栓回収療法における時間短縮に向けた血栓回収チームの取り組み～看護師のrt-PA・血栓回収術に対する不安軽減に向けて～
5. いづろ今村病院 薬剤師 東屋敷史織, 東條知子, 古澤夕紀子, 遠矢素子, 木村理子, 田原七海, 内山ゆかり, 神門孝典：週1回GLP-1受容体作動薬の使用状況および消化器症状の副作用発現に関する検討～薬剤適正使用への取り組みと課題～
6. 今村総合病院 看護師 清藤樹乃, 南由希美, 石原愛梨, 上山りえ, 池田清夏, 医師 中野伸亮, 伊藤能清：同種

造血幹細胞移植後患者の復職状況の実態調査

第Ⅲセッション [医療福祉の質、その他]

1. いづろ今村病院 看護師 生川あゆみ, 今村円奈, 西徳子, 宮内智美, 宮田美穂, 有村智子: 上部消化管内視鏡検査時の鎮静剤使用の実際～健診者に鎮静が与える影響を探る～
2. 今村総合病院 看護師 馬場帆乃香, 永岩沙緒梨, 平田瑠佳, 横山優香, 平川あゆみ, 柏木美恵子, 福留由香利, 医師 西垂水和隆, 肥後健樹郎, 佐藤浩子: 急性期病棟におけるプロペト軟膏を使用したIAD(失禁関連皮膚炎)予防効果
3. 社会福祉法人慈愛会幼保連携型認定こども園 おひさまこども園 保育教諭 中川美恵子, 濱島百香, 若松幸夏: こども園に求められる子育て支援～地域へ広がる子育て支援をめざして～
4. 今村総合病院 臨床工学技士 木場菜月希, 井上元紀, 看護師 渡邊喜代美, 医師 竹之内聖三: 透析センターでの防災マニュアル改定～災害発生に備えた取り組みと今後の課題～
5. 今村総合病院 事務員 吉永聖子, 黒岩妃都美: 職員診療費の未収金回収に対する取り組み報告～職員への通知方法変更による生産性向上の事例から～
6. 今村総合病院 言語聴覚士 鮫島悠子, 理学療法士 園田拓史, 松元龍, 梶原良太, 浜田香穂麗, 作業療法士 黒肱知弘: 超少子・超高齢化社会の到来を見据えた採用広報の試み *口演発表奨励賞

第Ⅳセッション [医療福祉の質・人材育成]

1. 今村総合病院 看護師 小窪あゆみ, 嘉村早苗, 中村倫丈, 入佐つぐみ: 当院ICUにおける人工呼吸器患者に対する早期リハビリテーションの現状～質問紙調査により見えてきた課題～ *口演発表奨励賞
2. いづろ今村病院 保健師 水口理沙, 松下祥子, 中村好美, 角浩美, 若松美穂, 松崎美帆, 看護師 山下志緒莉, 榎本真智子, 有村智子: 当施設における要受診判定者の未受診の理由 *口演発表優秀賞
3. 社会福祉法人慈愛会きずな保育園 保育士 徳田弥生: 慈愛の保育の推進～3歳児の保育実践を通して～ *口演発表奨励賞
4. 今村総合病院 看護師 平川あゆみ, 酒井亜希, 大六野由樹, 松山郁子, 松山日実子: 新人看護師成長パス改良に関する報告 *口演発表最優秀賞
5. 鹿児島中央看護専門学校 専任教員 兼石彰: 指導者と協働で取り組むプロセスレコード検討会が指導者の指導観に与える影響 *口演発表優秀賞

<ポスター>

1. いづろ今村病院 看護師 新町夏来, 山内健大, 林和宏, 福盛貴子: 一般病棟における看護要員の口腔ケアに関する実態調査～セルフケア困難な臥床患者に対する口腔ケア～
2. 谷山病院 作業療法士 徳田真紀: いつまでも美味しく食事を食べるために～作業療法士による摂食嚥下機能への取り組み～
3. いづろ今村病院 管理栄養士 萬福有理, 中菌智美, 内田紗弥, 堀木まどか, 下野真央: 糖尿病教育入院～一症例を基にした栄養指導の取り組み～
4. 谷山病院 精神保健福祉士 宮竹敦史, 濱田凌, 清水一寿子, 有馬喜隆, 作業療法士 徳田真紀, 東泊由紀, 公認心理師 福留弘恵, 山之内孝博, 看護師 轟木幸一: アルコール・リハビリテーション・プログラム実施患者の予後～プログラム実施患者の断酒効果について、実態把握し考察する～
5. 徳之島病院 管理栄養士 清水崇, 栄養士 作元ゆかり: 飲酒量の減らない患者さんへの栄養指導
6. 谷山病院 薬剤師 稲森志織, 四本晶子, 染川考佑, 森原亜希子, 永井未仁, 長曾我部翔, 新村味穂子, 吉永浩之:

谷山病院薬剤部のクロザピン服用患者に対する取り組み

7. いづろ今村病院 介護福祉士 粟屋瞳, 神村美雪, 看護師 大宮司直美: オムツ交換の勉強会を開催して～オムツマイスターを活かした取り組み～
8. 谷山病院 看護師 永迫智子: 自律した看護補助者の組織化～看護補助者会の取り組み報告～
9. 今村総合病院 臨床検査技師 櫻井千鶴: 当院における肺拡散能力検査の現状と実態
10. いづろ今村病院 臨床検査技師 紺屋仁, 飯谷弘美, 上赤遼, 重留雅乃: 評価に適した体腔液の標本作製について
11. いづろ今村病院 視能訓練士 濱村高子, 岩田修子, 永井野侑貴, 小浜百合香: 間欠性外斜視の年齢的経時変化の検討～視能訓練士に求められること～
12. 社会福祉法人慈愛会きずな保育園 保育士 帖佐智子, 職員一同: 慈愛の保育の実践～全職員の実践～
13. 今村総合病院 事務員 大迫真由美, 日高奈津美, 上栗明郁, 東雅美: コミュニケーションツールの作成とその成果について～ウィズコロナ時代の新たな取り組み～ *ポスター発表奨励賞
14. いづろ今村病院 介護福祉士 谷山真基子, 鮫島優実, 大保さゆり: 緩和ケアの患者と家族に向けての取り組み～コロナ禍での取り組み～
15. 奄美病院 看護師 野田ナナミ: 医療接遇を学び安心・安全な医療環境へ～病棟の組織風土の改善につなげる～ *ポスター発表奨励賞
16. 谷山病院 精神保健福祉士 別府千尋, 医師 福田恭哉, 公認心理師 竹本慶子: 谷山病院認知症疾患センターの業務報告と今後の方針
17. 奄美病院 精神保健福祉士 森越志保, 医師 杉本東一: 離島の認知症疾患医療センターの現状と取り組みと課題
18. 徳之島病院 作業療法士 地村尚人: 対象の理解できる介入方法を模索して *ポスター発表奨励賞
19. 谷山病院 精神保健福祉士 有馬喜隆, 清水一寿子, 石堂奈央: 精神科デイケアにおける精神保健福祉士の役割について
20. 谷山病院 作業療法士 川井田翔悟, 東泊由紀: 地域生活支援の観点からデイケアでの作業療法について考える
21. 介護老人保健施設愛と結の街 作業療法士 村井真由美, 理学療法士 有菌大紀, 原田良二, 介護福祉士 安森潤子, 看護師 原口悦江: 通所リハビリテーションにおける生産性向上の取り組み～フロア業務と送迎の検討～ *特別賞
22. 通所リハビリテーションウェルネスじあい 作業療法士 小川大泉, いづろ今村病院 作業療法士 飯田真由美, 医師 常盤光弘: 通所リハビリテーション利用者へアンケートを実施して
23. 今村総合病院 看護師 前原海帆, 富田有美, 有川真央, 中村貴子: 術後訪問実施の定着に向けた取り組み～術後訪問用紙を用いて～
24. 今村総合病院 看護師 榊田優也, 越口晋伍, 嘉村早苗, 中村倫丈: 看護を語る会を通して見えてきた当院ICUの看護観
25. いづろ今村病院 看護師 山本綾香, 甲斐葉理, 林和宏, 福盛貴子, 介護福祉士 福盛夏美: 転倒転落アセスメントの視点の抽出～転倒予防カンファレンス導入に向けて～
26. いづろ今村病院 看護師 岩坪博子, 内大久保恵, 徳永真凜, 平石敬美: 緩和ケア病棟におけるプライマリナーズとしての意識調査～統一した基本的姿勢・認識への対策立案～
27. 今村総合病院 看護師 八木笑奈, 永福清香, 助産師 長野なつ子: A 病院女性看護師の月経前症候群 (PMS) のセルフケアと業務への影響の比較～リーフレットによるセルフケアの促進 (第一報) ～ *ポスター発表優秀賞
28. 今村総合病院 診療放射線技師 若松沙樹, 前田裕介: MRI 検査における入室前の安全確認への取り組み
29. 今村総合病院 診療放射線技師 蓑田辰則, 西田崇友, 水流彩友美, 小林晃也, 上川翔美, 馬場隆行: プロテクターの品質管理を行い被ばく低減に係る安全管理につなげる試み
30. いづろ今村病院 診療放射線技師 下田知佳, 徳永遥佳, 勝目綾那, 尾上弥生: 当院検診マンモグラフィの精検率から見えてきたこと～検診受診者数を増やすためには～

31. いづろ今村病院 事務員 赤尾美咲, 川路由茄, 今藺美保: 発熱外来における未収金へのアプローチ *ポスター発表優秀賞
32. 谷山病院 作業療法士 伊瀬知友梨: 個別 OT の準備を簡素化しよう~ QC 手法を用いた業務改善~
33. 就労支援センターステップ 作業療法士 内村ちひろ, 東上床ゆかり, 小澤孝典, 久保楓, 公認心理師 小川香織: 知的障害のある方への就労支援~できることに着目したオーダーメイドの支援で就職に結びついた一例~ *ポスター発表優秀賞
34. 慈愛会看護部長会 看護師 福長由美, 原口悦江, 中谷明実, 木佐貫涼子, 永迫智子, 中藺明子, 上原奈津美, 宮本陽子, 藪下和代: 働き方改革に対する取り組みの実際と課題 第2報~副看護師長の達成感・やりがい感につながるための支援~ *ポスター発表最優秀賞
35. 奄美病院 看護師 奥さつき: リーダー業務の負担軽減に向けた取り組み
36. 法人事業本部看護部支援室 看護師 竹迫智子, 木佐貫涼子, 事務員 坂元友美: 若手看護師の職務満足度と職業継続意志及び離職に対する関連要因の検討 *ポスター発表優秀賞
37. 谷山病院 看護師 潮昌子: 自らの力で実習環境を整えられる自律性の高い臨床指導者の育成
38. 奄美病院 看護師 上原匡史: 病棟看護師が抱く実習指導に関する意識調査~アンケート調査から検討する~
39. 法人事業本部教育開発センター 看護師 池田貴美子, 木佐貫涼子, 事務員 谷口将一: 管理者任用候補者選考制度における研修の目標達成度についての考察
40. 今村総合病院 管理栄養士 中村ひとみ, 小村葵, 西園夏帆, 小瀬美咲, 下村莉美, 柏木裕香, 七枝美香, 法人事業本部 事務員 高野正樹: 食種運用の見直しについて
41. 谷山病院 調理師 中原圭祐, 濱田岳志: 厨房の衛生環境の改善~厨房のメンテナンス作業の充実~ *ポスター発表奨励賞
42. いづろ今村病院 看護師 浜藺なな子, 廣瀬みつる, 屋田美結, 堤和江, 大宮司直美: 退院支援に向けた看護計画の定着をめざして~プライマリー看護師の実態調査~
43. 今村総合病院 作業療法士 濱田大輔, 新福友果子: 回復期における脳卒中重度片麻痺患者に対する自宅退院に向けた作業療法~「家に帰りたい」を実現するために~ *ポスター発表優秀賞
44. いづろ今村病院 診療放射線技師 脇田慎一, 医師 志村武, 今村総合病院 診療放射線技師 恵智徳: 地域医療連携サービスの使用実績報告
45. いづろ今村病院 作業療法士 飯田真由美: 在宅療養を支えるレスパイト入院の役割

【研究会・講演会】

血液内科

今村総合病院

1. 中野伸亮：ATLの治療. 令和5年5月二水会, 2023年5月17日, 都城
2. 宮園卓宜：心不全治療中にCOVID-19を併発した高齢CML. CML Expert Seminar in 九州・中国, 2023年5月22日, 鹿児島
3. 伊藤能清：Ph+ALL治療の進歩～FBMTG・JSCT ALL/MRD研究の変遷. Otsuka九州中四国Webセミナー～Ph+ALL治療のUP TO DATE～, 2023年7月14日, 鹿児島 (Web)
4. 中野伸亮：CMLの最新知見および血液専門クリニックの可能性. 都城地域連携血液講演会, 2023年9月7日, 都城
5. 伊藤能清：Ph+ALL治療の進歩～今後の課題. 第8回Otsuka造血細胞移植関連Webセミナー, 2023年9月12日, Web
6. 小田原淳：当院におけるFLT3阻害剤の使用経験. AML Web Seminar, 2023年9月20日, 鹿児島
7. 宮園卓宜, 牧野桃子：当院におけるAYA世代のがん・生殖医療について. がん・生殖医療に関するオンラインミーティングKAGOF-net, 2023年11月14日, 鹿児島 (Web)
8. 宇都宮興：南九州に多い成人T細胞白血病ってどんな病気. みやざき骨髄バンク推進連絡会議 設立20周年記念事業 医療講演会&想いをつなぐコンサート, 2023年11月19日, 都城
9. 宇都宮興：ATL治療開発と最新の話. 第2回湘南血液カンファレンス, 2023年12月1日, 神奈川
10. 宮園卓宜, 牧野桃子：当院におけるAYA世代のがん・生殖医療に関する現状. 2024年1月20日, 第8回鹿児島SCT研究会, 鹿児島
11. 宮園卓宜：血液製剤使用適正化の推進について. 第64回鹿児島県血液対策推進協議会, 2024年1月29日, 鹿児島
12. 宇都宮興：HTLV-1キャリアの方への対応. 岩手県HTLV-1医療従事者研修会, 2024年2月10日, 岩手
13. 伊藤能清：血液疾患診療の現在. 血液連携の会, 2024年2月16日, 奄美
14. 宇都宮興：南九州に多い成人T細胞白血病について. 骨髄バンク支援「命をつなぐ」コンサート つなげる～つなぐ～つながる 医療講演会, 2024年2月18日, 鹿児島
15. 中野伸亮：新規薬剤時代のATL治療、および血液専門クリニックの可能性. 大隅・諸県地区 リンパ腫セミナー, 2024年2月22日, 都城
16. 宇都宮興：ATL（成人T細胞白血病）のこと. 鹿児島県令和5年度HTLV-1対策講演会, 2024年2月25日, 鹿児島
17. 中野伸亮：多発性骨髄腫に関する話題、および血液専門クリニックの可能性. 都城血液疾患地域連携セミナー, 2024年2月29日, 都城
18. 中野伸亮：新規薬剤時代のATL治療、および血液専門クリニックの可能性. ATL×がん疼痛 Web seminar, 2024年3月2日, 厚木
19. 宮園卓宜：肝類洞閉塞症候群の治療について. MRを対象とした社内研修, 2024年3月7日, 鹿児島
20. 宇都宮興：高齢者が白血病と言われたら. 骨髄バンク支援「命をつなぐ」コンサート つなげる～つなぐ～つながる 医療講演会, 2024年3月20日, 鹿児島

<研究班会議発表>

1. 宮園卓宜：成人T細胞白血病・リンパ腫を対象としたウイルス抗原を標的とする樹状細胞ワクチン療法多施設共同非盲検無作為比較試験（第II相試験）症例検討. ATL-DC-101医師主導治験班会議, 2023年7月22日, 福岡
2. 宇都宮興：Pathogenesis and treatment in Japan「ATL」. Japan-Australia HTLV-1 research collaborations, 13th Feb 2024, Melbourne

臨床研究センター

今村総合病院

1. 宇都宮興：HTLV-1 キャリアの方への対応. 岩手県 HTLV-1 医療従事者研修会, 2024 年 2 月 10 日, 岩手
2. 宇都宮興：ATL (成人 T 細胞白血病) のこと. 鹿児島県令和 5 年度 HTLV-1 対策講演会, 2024 年 2 月 25 日, 鹿児島

外科・消化器外科

今村総合病院

1. 田辺寛：当院における大腸がん治療. 第 6 回消化器がん治療カンファレンス, 2023 年 10 月 11 日, 鹿児島

皮膚科

今村総合病院

1. 米倉健太郎：アトピー性皮膚炎内服治療の出口戦略. AD 治療講演会～出口戦略を見据えた新しいアトピー性皮膚炎治療の再考～, 2023 年 5 月 24 日, Web
2. 米倉健太郎：急性期 GPP 診療におけるスベピゴの適正使用に関して. GPP Web Seminar, 2023 年 6 月 7 日, 鹿児島 (Web)
3. 米倉健太郎：乾癬治療アップデート～Taltz のエビデンスと添加剤変更品の可能性～. Taltz Focus Week Web Conference, 2023 年 6 月 21 日, Web
4. 米倉健太郎：膿疱性乾癬治療を考える ～IL36 阻害の臨床的意義とは～. これからの膿疱性乾癬治療を考える会, 2023 年 6 月 28 日, Web
5. 米倉健太郎：乾癬治療の最新の話題 ～WJPR の研究から～. Abbvie Luncheon Seminar, 2023 年 7 月 6 日, Web
6. 米倉健太郎：当院における乾癬診療の実際 ～WJPR のデータも含めて～. UCB Psoriasis Web Seminar in 大分, 2023 年 7 月 21 日, 大分 (Web)
7. 米倉健太郎：当科における掌蹠膿疱症に対する IL-23p19 抗体製剤の使用経験. 炎症性皮膚疾患セミナー, 2023 年 7 月 26 日, Web
8. 米倉健太郎：CTCL 治療 up-to-date ～デニロイキン ジフチトクスを含めて～. 皮膚 T 細胞リンパ腫治療を考える会, 2023 年 9 月 11 日, 埼玉 (Web)
9. 米倉健太郎：ATL 治療の最新情報とハイスタの使用経験. Dermatologie T-Cell lymphoma conference @ kyushu, 2023 年 9 月 27 日, 鹿児島 (Web)
10. 米倉健太郎：当院における乾癬診療の実際 ～WJPR のデータも含めて～. UCB Psoriasis Web Seminar 鹿児島, 2023 年 9 月 28 日, 鹿児島 (Web)
11. 米倉健太郎：スベソリマブの使用で奏功した 1 例. 膿疱性乾癬治療セミナー in 鹿児島, 2023 年 10 月 11 日, Web
12. 米倉健太郎：私の乾癬治療 ～尋常性乾癬におけるドボベット® フォームの使用経験～. 鹿児島県皮膚科医部会学術集会, 2023 年 10 月 14 日, 鹿児島 (Web)
13. 米倉健太郎：Taltz が貢献できる患者像を再考する ～豊富なエビデンスから考えられるものとは?～. Taltz Focus Week Web Conference, 2023 年 10 月 19 日, Web
14. 米倉健太郎：GPP の診断の診断と治療 スベピゴ使用経験を含めて. 八代の膿疱性乾癬治療を考える会, 2023 年 11 月 7 日, 熊本
15. 米倉健太郎：皮膚 T 細胞リンパ腫の診断と治療の最新情報. 愛知県皮膚科医会例会, 2023 年 11 月 11 日, 名古屋
16. 米倉健太郎：アトピー性皮膚炎における新規全身治療薬の位置付け. 鹿児島県皮膚科医部会学術講演会, 2023 年 11

月 15 日, 鹿児島 (Web)

17. 米倉健太郎：アトピー性皮膚炎とリンパ腫について. LEO Dermatology WEB Seminar, 2023 年 11 月 20 日, 福岡 (Web)
18. 米倉健太郎：当院における乾癬の治療について ～皮膚科医の立場から～. Psoriatic Disease Web Seminar from Kagoshima, 2023 年 11 月 22 日, Web
19. 米倉健太郎：乾癬治療の変遷 ～生物学的製剤を中心に～. 広がる選択肢 ～これからの乾癬治療を考える～, 2023 年 11 月 29 日, 鹿児島 (Web)
20. 米倉健太郎：GPP の診断の診断と治療 スベビゴ使用経験を含めて. 佐世保の膿疱性治療を考える会, 2023 年 12 月 5 日, Web
21. 米倉健太郎：アトピー性皮膚炎とリンパ腫について. LEO Dermatology WEB Seminar, 2023 年 12 月 13 日, Web
22. 米倉健太郎：実臨床下における膿疱性乾癬治療. これからの膿疱性乾癬治療セミナー, 2023 年 12 月 14 日, 北九州
23. 米倉健太郎：長期管理を視野に入れた GPP 治療戦略. スベビゴ全国講演会 2024, 2024 年 2 月 10 日, 東京
24. 米倉健太郎：アトピー性皮膚炎治療の最新情報と外用療法. 第 21 回 臨床に「薬だつ」研修会, 2024 年 2 月 16 日, 鹿児島 (Web)
25. 米倉健太郎：膿疱性乾癬治療の新たな展望 ～スベビゴ治療経験をもとに～. これからの膿疱性乾癬治療を考える会, 2024 年 2 月 21 日, Web
26. 米倉健太郎：乾癬の治療と全身疾患 (Psoriatic Disease) としての病態について. チームで取り組む乾癬治療フォーラム, 2024 年 2 月 28 日, 鹿児島
27. 米倉健太郎：これからの膿疱性乾癬治療の展望. スペソリマブを用いた膿疱性乾癬治療の実際, 2024 年 3 月 22 日, Web
28. 米倉健太郎：アドトラザーザで治療している 1 例. LEO Dermatology Seminar, 2024 年 3 月 27 日, 福岡
29. 米倉健太郎：今村総合病院における乾癬治療～ HTLV-キャリアのデータを含めて. 第 5 回鹿児島皮膚腫瘍研究会, 2024 年 3 月 27 日, 鹿児島 (Web)

輸血管理部

今村総合病院

1. 藤山裕輝：第 1 回大島地区・輸血細胞治療部門研修会, 2023 年 11 月 18-19 日, 奄美
2. 宮園卓宜：血液製剤使用適正化の推進について. 第 64 回鹿児島県血液対策推進協議会, 2024 年 1 月 29 日, 鹿児島
3. 藤山裕輝：安全で適切な輸血業務を実施するための当院での取り組み～I & A 制度認証施設更新をふまえて、臨床検査技師の立場から～. 第 13 回令和 5 年度鹿児島県合同輸血療法懇話会, 2024 年 2 月 17 日, Web

糖尿病内科

いづろ今村病院

1. 鎌田哲郎：新しい糖尿病薬ツイミーグに期待すること～メトホルミンと似て非なる役割？～. Dual Seminar in ひむか (宮崎), 2023 年 4 月 7 日, 宮崎
2. 新中須敦：パネルディスカッション. 慢性疾患連携セミナー in 鹿児島, 2023 年 6 月 22 日, 鹿児島
3. 鎌田哲郎：糖尿病性腎症重症化予防の取り組み. 鹿児島市糖尿病性腎症重症化予防の取り組み かかりつけ医等と連携した保健指導について, 2023 年 8 月 21 日, 鹿児島
4. 新中須敦：変わりゆく糖尿病治療における SGLT-2 阻害薬の考え方. 大隅地区 web 学術講演会, 2023 年 8 月 29 日, Web

5. 鎌田哲郎：糖尿病治療標準化の試み～2023年度版SDMカスタマイズド鹿児島～. SDMカスタマイズド鹿児島 in 奄美, 2023年9月1日, 奄美
6. 新中須敦：高血糖入院症例におけるソリクア配合注の有用性. Sanofi Diabetes Nationwide Webinar, 2023年9月7日, 鹿児島
7. 鎌田哲郎：糖尿病臨床におけるメトホルミンの有用性と適正使用. 第378回始良地区薬剤師研修会, 2023年9月23日, 始良
8. 鎌田哲郎：糖尿病外来診療ワンポイントレッスン⑨ 蛋白質と食欲、SGLT2iの臨床、臍癌. 第10回糖尿病治療連携セミナー, 2023年9月26日, 鹿児島
9. 新中須敦：当院におけるインクレチン関連薬の活用方法. 第14回臨床に「薬だつ」研修会, 2023年9月27日, 鹿児島
10. 鎌田哲郎：進行網膜症患者における眼科・内科の連携（当院における症例）. 鹿児島県内科医会学術集会, 2023年10月18日, 鹿児島
11. 鎌田哲郎：糖尿病性腎臓病患者さんへの療養指導. 鹿児島市保健師勉強会, 2023年10月20日, 鹿児島
12. 鎌田哲郎：ラシ島抗体陽性の患者の取り扱い（SPIDDM）. 第29回鹿児島市域糖尿病治療連携体制講習会, 2023年11月21日, 鹿児島
13. 新中須敦：当院における糖尿病診療の取り組み. 急性期病院における糖尿病専門医の支援, 2023年12月6日, 鹿児島
14. 新中須敦：糖尿病合併高尿酸血症に対する病型分類に基づいた薬物治療について. 高尿酸血症セミナー in 鹿児島, 2023年12月8日, 鹿児島
15. 鎌田哲郎：合併症治療を視野に入れた糖尿病治療標準化～SDMカスタマイズド鹿児島～new version～. 2023年度国保ヘルスアップ支援事業 糖尿病重症化予防連携強化研修会, 2023年12月19日, 鹿児島
16. 新中須敦：今だから再考しよう DPP-4 阻害薬の立ち位置. 糖尿病トータルケアセミナー in 奄美, 2024年1月12日, 鹿児島
17. 鎌田哲郎：基幹病院からのメッセージ 糖尿病内科からの立場から. かかりつけ医向け情報交流会「病診連携パネルディスカッション」鹿児島市糖尿病性腎症重症化予防対策推進協議会, 2024年1月29日, 鹿児島
18. 鎌田哲郎：新しい糖尿病薬ツイミグに期待すること～メトホルミンと似て非なる役割～. Dual Seminar in 九州, 2024年1月30日, 鹿児島
19. 新中須敦：2型糖尿病の薬物療法アルゴリズムからみた血糖降下薬の考え方. 慈愛会薬業連携交流会, 2024年2月2日, 鹿児島
20. 新中須敦：当院における糖尿病診療の取り組みと糖尿病薬物治療. 糖尿病重症化予防のための研修会, 2024年2月4日, 鹿児島
21. 新中須敦：糖尿病治療におけるSGLT-2阻害薬の長所・短所. SGLT-2阻害薬について考える会, 2024年2月8日, 鹿児島
22. 鎌田哲郎：専門医が考える“かかりつけ医が困っている症例”への対応 その2. 第29回鹿児島市域糖尿病治療連携体制講習会, 2024年3月19日, 鹿児島

眼科

今村総合病院

1. 土居範仁, 水島由香：脳浮腫を引き起こした成人発症ステイル病患者でプルチェル網膜症様所見を呈した1例. 第278回鹿児島眼科集談会, 2023年9月16日, 鹿児島
2. 土居範仁：裂孔原性網膜剥離：歴史と治療法の変遷. 第280回鹿児島眼科集談会, 2024年2月10日, 鹿児島

3. 土居範仁：糖尿病網膜症に関する最新の話題. 第11回鹿児島糖尿病合併症例研究会, 2024年2月29日, 鹿児島(Web)

脳神経内科

今村総合病院

1. 浜田恭輔：JSNET 専門医試験体験記. 20th KVIC (Kagoshima neuroVascular Intervention Conference), 2023年4月7日, 鹿児島 (Web)
2. 有水琢朗：脂質異常症と脳卒中 脳卒中内科医の視点. KOWA Web Conference ～脳血管疾患患者における脂質治療戦略～, 2023年9月8日, 鹿児島 (Web)
3. 神田直昭：教えてドクター！あなたと家族のために知って得する！脳卒中予防. 生活習慣病重症化予防教室, 2023年10月25日, 鹿児島
4. 神田直昭：ガイドラインにおける抗血小板薬の位置付け. 脳卒中トータルケア Web セミナー, 2023年11月17日, 熊本 (Web)
5. 有水琢朗：脳神経内科からのてんかん診療アプローチ. 救急診療におけるてんかんを考える vol.2, 2024年3月4日, 鹿児島 (Web)
6. 神田直昭：ガイドラインにおける抗血小板薬の位置付け. 脳疾患トータルケア, 2024年3月28日, 鹿児島 (Web)

循環器内科

今村総合病院

1. 肥後建樹郎：慢性心不全薬物療法について. 循環器オンラインセミナー, 2023年5月15日, Web

救急・総合内科

今村総合病院

1. 伊藤加菜絵：当院における膠原病関連間質性肺障害の診療状況. CTD-ILD joint conference, 2023年4月15日, 福岡
2. 伊藤加菜絵：リウマチ内科から見た乾癬治療. PsA 診療 Web Seminar 鹿児島, 2023年7月6日, 鹿児島
3. 伊藤加菜絵：当院におけるサリルマブの使用経験. Echo Skill Up Webinar from 鹿児島, 2023年7月15日, 鹿児島
4. 伊藤加菜絵：発熱、関節痛、難治性皮疹で入院した症例. 第51回鹿児島膠原病研究会, 2023年7月20日, 鹿児島
5. 伊藤加菜絵：関節リウマチの最新治療について. RA × IBD の診療連携を考える会 in 鹿児島, 2023年9月13日, 鹿児島
6. 伊藤加菜絵：知っておきたい関節リウマチの最新治療－薬物療法から合併症管理. 第15回臨床に「薬だつ」研修会, 2023年10月3日, 鹿児島 (Web)
7. 伊藤加菜絵：リウマチにおける JAK 阻害薬の安全性. 鹿児島県リンヴォック適正使用委員会, 2023年11月17日, 鹿児島
8. 伊藤加菜絵：膠原病について正しく理解しよう－最新治療と日常生活の注意点について－. 伊佐市医療講演会, 2023年11月18日, 鹿児島県伊佐市
9. 伊藤加菜絵：当院における PsA 診療の実際. シムジア乾癬適応追加4周年記念講演会, 2023年11月20日, Web
10. 伊藤加菜絵：当院における乾癬の治療について～リウマチ内科医の立場から～. Psoriatic Disease Web Seminar from Kagoshima, 2023年11月22日, Web

11. 伊藤加菜絵：当院における関節リウマチ診療の実際. WEB Seminar RA Treatment for WoCBA 2023, 2023年12月19日, Web
12. 伊藤加菜絵：Filgotinibの使いどころ－使用経験からの考察－. 臨床医のためのRA治療戦略 in 鹿児島, 2024年2月9日, 鹿児島
13. 伊藤加菜絵：EGPA治療の現状と課題. EGPA Management Conference in 鹿児島, 2024年2月17日, 鹿児島
14. 伊藤加菜絵：乾癬性関節炎治療におけるIL17製剤の意義. ビンゼレックス適応追加記念講演会 皮膚科、リウマチ医から見た乾癬性関節炎治療戦略, 2024年3月27日, Web

小児科

今村総合病院

1. 溝田美智代：成長曲線・肥満曲線の活用－マニュアル活用方法と始良地区パイロットスタディについて－. 令和5年度第2回始良市養護教諭部会研修会, 2023年7月6日, 始良
2. 溝田美智代：成長曲線の作成と活用について. 令和5年度新規採用養護教諭研修第3回校外研修, 2023年10月25日, 鹿児島
3. 徳永美菜子, 溝田美智代：肝機能障害と高脂血症を契機に発見された萎縮性甲状腺炎の7歳女児. 第27回鹿児島小児内分泌研究会, 2023年11月11日, 鹿児島
4. 徳重沙樹, 関祐子, 徳永美菜子, 加藤嘉一, 柿元令奈, 森田智, 岡本康裕：当院で経験した小児頭蓋咽頭腫のまとめ. 第5回鹿児島下垂体疾患セミナー, 2024年2月9日, 鹿児島
5. 徳永美菜子：放ってはいけない！子どもの肥満とやせ. 第2回今村総合病院講演会, 2024年3月22日, 垂水

産科・婦人科

今村総合病院

1. 貴島佳子：女性のこころとからだの変化について～女性ホルモンの“ゆらぎ”を知り上手につきあおう～. 第2回 Petite ecole 女性のための小さな学校, 2023年6月25日, 垂水

スポーツ整形外科

今村総合病院

1. 上菌直弘：足関節捻挫. 第7回鹿児島骨折治療 starter seminar, 2023年7月15日, 鹿児島
2. 海江田英泰：筋前進術を用いたARCR. 第5回鹿児島肩研究会, 2024年3月30日, 鹿児島

緩和ケア内科

いづろ今村病院

1. 松下格司：全人的苦痛に対する緩和ケア. がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会（相良病院）, 2023年6月4日, 鹿児島相良病院
2. 松下格司：全人的苦痛に対する緩和ケア. がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会（霧島市立医師会医療センター）, 2023年11月12日, 霧島
3. 松下格司：e-learningの復習、振り返り. 全人的苦痛に対する緩和ケア. がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会（種子島医療センター）, 2023年11月23日, 西之表

4. 松下格司：療養場所の選択と地域連携. がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会（鹿児島大学病院），2024年2月10日，鹿児島

麻酔科・ペインクリニック内科

今村総合病院

1. 東美木子：令和5年度 今村総合病院 ICLS. 令和5年度 今村総合病院 ICLS, 2023年4月22日, 鹿児島 (Web)
2. 東美木子：令和5年度 今村総合病院 ACLS. 令和5年度 今村総合病院 ACLS, 2023年4月23日, 鹿児島 (Web)
3. 東美木子：令和5年度 今村総合病院 ICLS. 令和5年度 今村総合病院 ICLS, 2023年5月27日, 鹿児島 (Web)
4. 東美木子：令和5年度 今村総合病院 ICLS. 令和5年度 今村総合病院 ICLS, 2023年6月24日, 鹿児島 (Web)
5. 東美木子：令和5年度 今村総合病院 BLS. 令和5年度 今村総合病院 BLS, 2023年7月29日, 鹿児島 (Web)
6. 東美木子：令和5年度 今村総合病院 ICLS. 令和5年度 今村総合病院 ICLS, 2023年10月14日, 鹿児島 (Web)
7. 東美木子：令和5年度 今村総合病院 BLS. 令和5年度 今村総合病院 BLS, 2023年12月2日, 鹿児島 (Web)
8. 東美木子：令和5年度 今村総合病院 ICLS. 令和5年度 今村総合病院 ICLS, 2024年1月27日, 鹿児島 (Web)
9. 東美木子：令和5年度 今村総合病院 BLS. 令和5年度 今村総合病院 BLS, 2024年3月31日, 鹿児島 (Web)

七波クリニック

1. 有村愛子：糖尿病性神経障害の診療について. DiaMondSeminar in 鹿児島, 2023年11月9日, Web

かごしまオハナクリニック

1. 林恒存：認知症を理解する. 鹿児島市認知症介護教室, 2023年6月4日, 鹿児島
2. 林恒存：認知症を理解する. 鹿児島市認知症介護教室, 2023年9月2日, 鹿児島
3. 林恒存：総合診療体制の構築・在宅医療の実際. 慈愛会任用候補者研修, 2023年11月22日, 鹿児島
4. 横山大輔：多疾患併存 / マルモの診かた. KOPe 九州沖縄ポータルフォーラム勉強会, 2024年1月17日, Web
5. 林恒存：救急科講義「高齢者」. 鹿児島県消防学校 救急科講義, 2024年3月11日, 鹿児島

以上 診療部

看護部

今村総合病院

1. 中村倫丈：在宅におけるフィジカルアセスメント 入門編. 鹿児島県看護協会訪問看護師養成研修「入門コース」, 2023年6月16日, 鹿児島
2. 中村倫丈：在宅におけるフィジカルアセスメント 実践編. 公益社団法人日本訪問看護財団訪問看護eラーニングを活用した訪問看護師養成講習会, 2023年6月30日, 鹿児島
3. 中村倫丈：高齢者のフィジカルアセスメント. 高齢者権利擁護推進事業における看護実務者研修会, 2023年7月14日, 鹿児島
4. 吉森みゆき：5類移行後の新型コロナウイルス対策について. 令和5年度感染症対応実務研修会, 2023年7月21日, Web

5. 福元優一：私は変わる。看護連盟フレッシュナース研修会，2023年7月22日，鹿児島
6. 吉森みゆき：看看連携 これからの感染対策。看護協会鹿児島地区「看看連携 これからの感染対策」，2023年8月5日，鹿児島
7. 中谷明実：労務管理の基礎知識。看護協会認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修，2023年8月21日，鹿児島
8. 中村倫丈：フィジカルアセスメント研修。鹿児島県看護協会大島地区看護研修会，2023年9月16日，奄美
9. 浜辺恵里香：入退院支援における看護師の役割。鹿児島県看護協会 入退院支援（応用編），2023年10月13日，Web
10. 米澤美智代：褥瘡とスキントケア。看護協会教育研修会，2023年11月8日，鹿児島
11. 浜辺恵里香：退院支援から考える多職種協働。徳之島地区在宅医療・介護連携多職種合同研修会，2024年2月21日，徳之島
12. 中村倫丈：高齢者の特徴を踏まえた身体アセスメントとエンド・オブ・ライフケアを考える。鹿児島県老人保健施設協会 看護・介護部会研修，2024年1月10日，鹿児島（Web）

いづろ今村病院

1. 尾堂ゆかり：糖尿病の疾患と治療の理解。鹿児島県看護協会「糖尿病とともに生きる人々への看護」，2023年8月3日，鹿児島
2. 中窪尊子：いきいきと輝きながら看護する職場風土作り。鹿児島県看護協会「新任看護師長研修」，2023年9月13日，鹿児島（Web）
3. 尾堂ゆかり：糖尿病患者の療養を支えるフットケア。鹿児島県看護協会「糖尿病重症化予防（フットケア）研修」，2023年10月19日，鹿児島
4. 尾堂ゆかり：糖尿病重症化予防事例検討。令和5年度糖尿病重症化予防保健指導従事者研修，2024年2月14日，鹿児島（Web）

谷山病院

1. 杉田真人：メンタルヘルス研修・セルフケアについて。株式会社九州電算（企業研修），2023年9月25日，鹿児島
2. 有木攻：性被害・性加害に合わない為のよりよい人間関係について。鹿児島市教育委員会 / 鹿児島県看護協会 性に関する指導推進事業，2024年2月7日，鹿児島
3. 杉田真人：発達障害・特別な配慮の必要な看護師への対応。日本精神科看護協会鹿児島県支部研修，2024年2月17日，鹿児島（Web）
4. 内田宏貴：LAI チームの取り組み。鹿児島県精神科急性期 Skill Up Meeting ，2024年3月1日，鹿児島（Web）

愛と結の街

1. 川崎愛：生活支援～食事について～。鹿児島医療福祉専門学校介護福祉学科，2023年4月17・24日，5月1・8・22日，6月5・12・19・26日，7月3・10・19・25日，8月28日，9月4・11日，鹿児島
2. 原口悦江：老年看護学方法論Ⅱ。鹿児島中央看護専門学校3年課程，2023年6月23日，7月5・12・19日，9月28日，鹿児島
3. 木場田哲也：老年看護学方法論Ⅰ。鹿児島医療技術専門学校看護科，2023年9月6・13日，鹿児島
4. 今西由香：老年看護学方法論Ⅰ。鹿児島医療技術専門学校看護科，2023年9月20・27日，鹿児島
5. 川崎友義：チームマネジメント。鹿児島女子短期大学，2023年9月22・29日，10月6・13・20・27日，11月10日，12月1・8・15日，2024年1月12日，鹿児島
6. 川崎友義：高校生介護技能コンテスト審査員。鹿児島県立薩摩中央高等学校，2023年7月7日，鹿児島

7. 徳田めぐみ：「利用者同士の有意義な時間」～余暇時間の過ごし方について～. 第22回九州ブロック介護老人保健施設大会美ら沖繩, 2024年2月1日, 沖繩
8. 堀芳明：「人生録」～関わる人の気持ちを尊重する～. 第28回鹿児島県老人保健施設大会発表, 2024年2月13日, 鹿児島

リハビリテーション部

今村総合病院 理学療法士（一般総合）

1. 村山芳博：チーム医療の実践について. 鹿児島大学医学部保健学科（看護・理学・作業専攻）, 2023年6月28日, 鹿児島
2. 村山芳博：CVAの理学療法評価（OSCE）. 鹿児島大学医学部保健学科（理学療法専攻）, 2023年12月11日, 鹿児島

今村総合病院 理学療法士（スポーツ整形）

1. 轟原与織：サッカー コンディショニング&アスレティックリハビリテーション. 鹿児島県スポーツ協会鹿児島県アスレティックトレーナー協議会サポートトレーナー養成講習会Ⅱ期, 2023年4月23日, 鹿児島
2. 白尾泰宏：頸部・肩甲帯の触診と評価治療展開. 鹿児島県理学療法士協会 専門領域研究部運動器系研修会, 2023年6月11日, 鹿児島
3. 岡弥津希：フレイル予防教室. 宮路拓馬代議士講演会・フレイル予防体操教室, 2023年6月25日, 鹿児島
4. 轟原与織：かごしま国体高校野球大会コンディショニングサポートに向けて. 鹿児島県理学療法士協会スポーツ委員会研修会, 2023年8月27日, 鹿児島
5. 轟原与織：内科的疾患の応急処置（熱中症の対応）. 鹿児島県スポーツ協会鹿児島県アスレティックトレーナー協議会サポートトレーナー養成講習会Ⅲ期, 2023年8月27日, 鹿児島
6. 白尾泰宏：腰部・骨盤帯の触診と評価治療展開. 鹿児島県理学療法士協会 専門領域研究部運動器系研修会, 2023年10月1日, 鹿児島
7. 白尾泰宏：成長期に起こるスポーツ障害. 垂水中央中学校 体育授業, 2023年12月14日, 垂水
8. 吉田研吾：肩肘機能検査について. 鹿児島県理学療法士協会スポーツ委員会研修会, 2024年1月13-14日, 鹿児島
9. 轟原与織：かごしま国体におけるアスレティックトレーナー活動報告. 全国アスレティックトレーナー連絡会議, 2024年1月21日, 鹿児島（Web）
10. 白尾泰宏：野球で起こるスポーツ障害予防. 薩摩おいどんカップ実行委員会主催障害予防啓発教室, 2024年3月2日, 鹿児島
11. 轟原与織：県内理学療法士のスポーツ・障がい者スポーツへの関わりと取り組み. 鹿児島県理学療法士協会公開講座, 2024年3月6日, 鹿児島（Web）

いづろ今村病院 理学療法士

1. 土井敦：基本動作と生活環境. 鹿児島POS連絡協議会 訪問リハ研究会 実務者研修, 2023年9月30日, 鹿児島
2. 土井敦：看護介護職員向け動作介助研修会. 公益社団法人鹿児島県理学療法士協会 公開講座, 2023年10月22日, 鹿児島（Web）
3. 土井敦：介護技術習得に向けて現場で役立つ基礎的知識. 公益財団法人介護労働安定センター 介護実務者研修, 2023年10月25日, 鹿児島
4. 土井敦：運動学Ⅳ. 学校法人原田学園 作業療法学科2年後期授業, 2023年10月-2024年3月, 鹿児島（Web）
5. 西洋樹：ミニデイで行う運動の考え方と工夫. 薩摩川内市保健福祉部高齢・介護福祉課, 2023年12月5日, 薩摩

川内

6. 土井敦：福祉用具学. 学校法人神村学園 理学療法学科2年 特別講義, 2024年1月30日, 鹿児島
7. 土井敦：快適な住環境整備と介護. 鹿児島県歯科学院専門学校 介護職員初任者研修, 2024年2月26日, 鹿児島
8. 西賢一郎：姿勢と運動の呼吸への影響. 第13回呼吸療法セミナー, 2024年3月17日, Web

谷山病院 作業療法士

1. 川井田翔悟：作業療法における協業と後輩育成. 鹿児島県作業療法士協会現職者共通研修, 2023年11月5日, 鹿児島

愛と結の街 作業療法士

1. 村井真由美：介護現場の生産性向上の取組発表「生産性向上の取組～フロア業務と送迎を検討して～」. 第5回生産性向上ビギナーセミナー（九州・沖縄）, 2023年8月10日, 鹿児島（Web）
2. 宮田雅士：認知症について学びみんなで支えましょう. コープかごしま主催研修会, 2023年10月18日, 鹿児島
3. 宮田雅士：県内外で活躍するOTRの取組紹介. かごしま認知症OTネットワーク交流会, 2024年1月20日, 鹿児島

高麗町クリニック 理学療法士

1. 西村允宏, 永田祥吾：過去5年における訪問リハビリ利用者の動向～記録を分析して今後の展望を考える. 第12回リハビリテーション合同活動発表会, 2023年11月25日, 鹿児島

薬剤部

今村総合病院

1. 橋本直美：薬薬連携の取り組みについて. 消化器がん化学療法セミナー, 2023年10月14日, 鹿児島（Web）

いづろ今村病院

1. 神門孝典：糖尿病療養指導における薬剤師の関わり. 第3回薬薬連携推進のための研修会, 2023年6月16日, 鹿児島（Web）
2. 東屋敷史織：当院における薬剤師とIBD患者さまとのかかわり. 大隅地区IBD医療連携の会, 2023年9月29日, 鹿児島
3. 東條知子：糖尿病治療での薬剤師の関わり. 第8回慈愛会薬薬連携交流会, 2024年2月2日, 鹿児島（Web）

谷山病院

1. 染川考佑, 四本晶子, 稲森志織, 森原亜希子, 永井未仁, 長曾我部翔, 新村味穂子, 吉永浩之：谷山病院における双極性障害に対する薬剤使用状況. 第268回鹿児島県病院薬剤師会研修会, 第37回精神科薬物療法講習会, 2023年11月11日, Web
2. 染川考佑：再発再燃予防の重要性とLAI適応患者像. 第2回鹿児島精神科急性期 Skill Up Meeting, 2024年3月1日, 鹿児島

画像診断 / 放射線治療部

今村総合病院

1. 馬場隆行：次世代高精度 X 線撮影法のすべて。鹿児島県診療放射線技師会 春季学術大会，2023 年 6 月 18 日，鹿児島
2. 馬場隆行：C アーム業務に携わる為の 10 個のころえ ～行かないなんてもったいないすべてはそこにある～。フィリップスウェビナー，2023 年 11 月 29 日，Web
3. 恵智徳：法制化された医療機器管理のその後。鹿児島県放射線機器管理士部会，2024 年 1 月 30 日，Web
4. 馬場隆行：幼児 X 線撮影時に高成績を取めているキャラクタープロジェクションマッピングシート活用方法。第 10 回日本小児診療多職種研究会，2024 年 2 月 9 日，東京
5. 馬場隆行：明日から使える膝関節撮影のすべて。鹿児島 X 線撮影研究会，2024 年 2 月 24 日，鹿児島
6. 馬場隆行：馬場ちゃんの部屋 明日から撮影達人 ～膝関節 前編～。第 1 回九州島津ユーザー会，2024 年 3 月 16 日，福岡

いづろ今村病院

1. 上釜健作：エコー診断の強い味方！検査マーカーを知ろう ～肝・胆道系編～。第 22 回鹿児島超音波研究会，2023 年 6 月 21 日，Web
2. 脇田慎一：静脈路確保について。告示研修会（実技研修），2023 年 7 月 9 日，鹿児島
3. 上釜健作：IgG4 関連硬化性胆管炎の 1 例。第 331 回鹿児島超音波医学研究会，2023 年 7 月 25 日，Web
4. 脇田慎一：診療放射線技師法の一部改正に伴う業務拡大について。業務拡大に伴う統一講習会，2023 年 8 月 11 日，鹿児島
5. 上釜健作：症例から学ぶ ～腎結石について～。第 23 回鹿児島超音波研究会，2023 年 8 月 23 日，Web
6. 脇田慎一：静脈路確保について。告示研修会（実技研修），2023 年 9 月 17 日，鹿児島
7. 脇田慎一：静脈路確保について。告示研修会（実技研修），2023 年 12 月 3 日，鹿児島
8. 上釜健作：IPMN 併存膵癌の 1 例。第 336 回鹿児島超音波医学研究会，2023 年 12 月 5 日，Web
9. 脇田慎一：静脈路確保について。告示研修会（実技研修），2024 年 1 月 21 日，鹿児島
10. 上釜健作：症例から学ぶ ～膵脂肪浸潤について～。第 24 回鹿児島超音波研究会，2024 年 2 月 7 日，Web

臨床検査部

今村総合病院

1. 藤山裕輝，井上彩乃：安全で適切な輸血業務を行うにあたっての当院の取り組み。第 13 回令和 5 年度鹿児島県合同輸血療法懇話会，2024 年 2 月 17 日，鹿児島

臨床工学部

今村総合病院

1. 木場菜月希：透析センターでの防災マニュアルの改訂～災害発生に備えた取り組みと今後の課題～。鹿児島県臨床工学技士会災害対策セミナー，2023 年 8 月 24 日，Web
2. 川井田季睦：今村総合病院におけるレオカーナ治療の取り組み。Case Conference on Rheocarna Therapy for Clinical Engineers in kagoshima，2023 年 10 月 24 日，鹿児島
3. 高岡大：九州・沖縄合同企画セミナー ワンスライドディスカッション～いろいろな事例や悩みをみんなで考えよう！～。第 18 回九州・沖縄臨床工学会 第 30 回福岡県臨床工学会，2023 年 11 月 5 日，福岡

管理栄養部

今村総合病院

1. 中村ひとみ：生活習慣病と食事。鹿児島市社会福祉協議会 介護講習会，2023年10月21日，鹿児島
2. 小瀬美咲：透析患者さんの食事について～コンビニやスーパーの食品を活用しよう～。腎友会 勉強会，2024年3月24日，鹿児島

いづろ今村病院

1. 中藺智美：病院栄養士の体験から。鹿児島県立短期大学キャリアデザイン，2023年9月20日，鹿児島
2. 藏元まどか：職場の安全は皆さんの健康から～食に関すること（糖尿病）。セキスイ安全大会，2023年10月5日，鹿児島
3. 中藺智美：糖尿病の栄養指導（飲酒、高齢者への対応含む）。令和5年度 糖尿病重症化予防保健指導従事者研修会，2024年2月14日，鹿児島（Web）

医療福祉相談部

今村総合病院

1. 浜辺恵里香：入退院支援（応用編）。鹿児島県看護協会主催研修会，2023年10月13日，Web
2. 浜辺恵里香：ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実現。特定非営利活動法人鹿児島県介護支援専門員協議会 令和5年度主任介護支援専門員研修，2023年12月21日，2024年2月15日，鹿児島
3. 浜辺恵里香：退院支援から考える多職種協働。徳之島町介護福祉課主催 在宅医療・介護連携推進事業，2024年2月21日，鹿児島

谷山病院

1. 内門直人：精神保健福祉士の専門性Ⅱ。公益社団法人日本精神保健福祉士協会 生涯研修，2023年11月26日，鹿児島

奄美病院

1. 西牟田智子：依存症とは何か、また依存症の利用者への対応について。大島地区地域包括・在宅介護支援センター協議会，2023年11月17日，奄美
2. 西牟田智子：精神障害者とのコミュニケーションの取り方。鹿児島県社会福祉協議会，2023年12月7日，奄美
3. 吉村あゆみ：自分の特性を知り、自分の心と向き合う方法。奄美市立東城小中学校 職員研修（メンタルヘルス研修），2023年12月18日，奄美
4. 西牟田智子：子育てのヒント～自立を促す関わり方～。大和村立大和小学校 家庭教育学級講演会，2024年2月28日，鹿児島県大和村

事務部

今村総合病院

1. 鈴木大輔：慈愛会の歩みと今後の病院経営。鹿児島国際大学 経営史Ⅰ，2024年1月10日，鹿児島

鹿児島中央看護専門学校

1. 飯田かずよ：実習指導の実際Ⅱ（地域・在宅）演習. 鹿児島県看護協会 令和5年度特定分野における実習指導者講習会, 2023年7月5-26日, 鹿児島
2. 石牟礼ゆかり：基礎看護技術（環境）のシミュレーション教育について. 鹿児島県看護教育協議会 ディプロマを目指した各校の教育実践の共有, 2023年11月18日, 鹿児島
3. 大保まり子：本校のルーブリック評価の活用と課題. 鹿児島県看護協会 専任教員継続研修, 2023年11月24日, 鹿児島
4. 森重サユリ：実習指導方法演習支援. 鹿児島県看護協会 令和5年度鹿児島県実習指導者講習会, 2023年11月20日-2024年1月19日 全5回, 鹿児島

【受章・受賞】

鹿児島中央看護専門学校 顧問 今村節子：第49回フローレンス・ナイチンゲール記章

赤十字国際委員会（ICRC）2023年5月12日発表、授与式2023年7月27日

愛と結の街 施設長 野村秀洋：令和5年度鹿児島県民表彰（保健福祉部門）

鹿児島県2023年10月20日発表、表彰式2023年11月2日

血液内科

今村総合病院

1. 宇都宮興：JSPFAD コホート研究 5000 検体登録貢献者表彰. 第9回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2023年11月10-12日

臨床研究センター

今村総合病院

1. 宇都宮興：JSPFAD コホート研究 5000 検体登録貢献者表彰. 第9回日本 HTLV-1 学会学術集会, 2023年11月10-12日

外科・消化器外科

今村総合病院

1. 保坂優斗：「IPMN の進展と腫瘍内細菌叢の関連」PanCAN Young Investigator Award Second Place. 第54回日本膵臓学会大会, 2023年7月
2. Hozaka Y：「Characteristics of the intratumoral microbiota of intraductal papillary mucinous neoplasms」Poster of distinction. American Pancreatic Association (APA) 2023 Annual meeting, November, 2023
3. 保坂優斗：「十二指腸液の菌叢解析を用いた膵癌の早期診断法の開発」若手海外留学支援金. 上原記念生命科学財団, 2024年3月

輸血管理部

今村総合病院

1. 井上彩乃：「抗 CD38 抗体治療症例の当院における管理体制構築について（5年間の取り組み）」最優秀演題. 日本輸血・細胞治療学会九州支部会 第70回総会・第91回例会, 2023年11月25日

小児科

今村総合病院

1. 徳永美菜子：「低カリウム血症と濃厚な高血圧の家族歴から Liddle 症候群の診断に至った親子例」「愛・内分泌」賞. 第65回日本内分泌学会, 2023年6月

看護部

今村総合病院

1. 平川あゆみ：「新人看護師成長パス改良に関する報告」最優秀賞。第3回慈愛会学会学術集会，2023年7月
2. 八木笑奈：「A病院女性看護師の月経前症候群のセルフケアを業務への影響の比較～リーフレットによるセルフケアの促進～」優秀賞。第3回慈愛会学会学術集会，2023年7月
3. 小窪あゆみ：「当院ICUにおける人工呼吸器管理患者に対する早期リハビリテーションの現状～質問紙調査により見えてきた課題～」奨励賞。第3回慈愛会学会学術集会，2023年7月
4. 平川あゆみ：「院内死亡例から読み解く～Medical Emergency Teamチームの活動効果～」今村節子賞。第3回慈愛会学会学術集会，2023年7月

いづろ今村病院

1. 水口理沙：「当施設における要受診判定者の未受診の理由」口演発表優秀賞。第3回慈愛会学会学術集会，2023年7月

谷山病院

1. 倉野利恵美：永年勤続表彰。公益社団法人日本精神科病院協会，2023年11月
2. 大迫正子：永年勤続表彰。公益社団法人日本精神科病院協会，2023年11月

奄美病院

1. 仁添絹子：看護業務功労者県知事表彰。鹿児島県，2023年5月
2. 野田ナナミ：「医療接遇を学び安心・安全な医療環境へ～病棟の組織風土の改善につなげる～」ポスター発表奨励賞。第3回慈愛会学会学術集会，2023年7月
3. 福長由美：「働き方改革に対する取り組みの実際と課題 第2報～副看護師長の達成感・やりがい感に繋げるための支援～」ポスター発表最優秀賞。第3回慈愛会学会学術集会，2023年7月

リハビリテーション部

今村総合病院 理学療法士（スポーツ整形）

1. 岡弥津希：「鏡視下腱板修復術後患者における術後1年の他動肩関節可動域に影響する因子の検討」第3回慈愛会学会学術集会 奨励賞。2023年7月

今村総合病院 作業療法士

1. 濱田大輔：「回復期における脳卒中重度片麻痺患者に対する自宅退院に向けた作業療法」第3回慈愛会学会学術集会 優秀賞。2023年7月

今村総合病院 言語聴覚士

1. 鮫島悠子：「超少子・超高齢化社会の到来を見据えた採用広報の試み」第3回慈愛会学会学術集会 奨励賞。2023年7月

薬剤部

今村総合病院

1. 西元寺慧一：「転院時処方日数調整による病院負担軽減効果について」優秀賞。第3回慈愛会学会学術集会，2023年7月

臨床検査部

今村総合病院

1. 井上彩乃：「抗CD38抗体治療症例の当院における管理体制構築について（5年間の取り組み）」最優秀賞。日本輸血・細胞治療学会九州支部会 第70回総会・第91回例会，2023年11月25日

事務部

今村総合病院 診療情報管理室

1. 前田雄介：「脳梗塞患者における自宅退院の可否に関する検討 ～決定木分析による自宅退院可否の早期予測モデル」奨励賞。日本診療情報管理学会，2023年9月

今村総合病院 医師事務補助課

1. 大迫真由美：「コミュニケーションツールの作成とその成果について～ウイズコロナ時代の新たな取り組み～」奨励賞。第3回慈愛会学会学術集会，2023年7月

【マスメディア】

血液内科

今村総合病院

< Web 記事 >

1. 徳永雅仁：キャリねっとコラム第103回 登録医療機関を訪ねて シリーズ5 今村総合病院 徳永雅仁 血液内科部長。HTLV-1 キャリア登録サイト キャリねっと，2023年7月27日

< 動画配信 >

1. 宇都宮與：ATLの現状と今後。鹿児島県令和4年度HTLV-1対策講演会，2023年3月5日
URL：<https://youtu.be/1EtRhkUZBXQ>（視聴期限 2025年3月31日）

< 新聞掲載 >

1. 宇都宮與：ブックレット「教えて！HTLV-1のこと」シリーズ出版，2023年5月13日，南日本新聞

< テレビ放送 >

1. 宇都宮與：北別府さんが闘った成人T細胞白血病とは。情報WAVEかごしま 北別府学氏追悼番組（ATLについて説明），2023年7月6日，NHK鹿児島，福岡
2. 宇都宮與：北別府さんが闘った成人T細胞白血病とは。おはよう日本 北別府学氏追悼番組（ATLについて説明）。

2023年8月4日, NHK (7月6日放送が全国版で再放送)

<ラジオ放送>

1. 伊藤能清: テーマ「白血病」. MBC ラジオ ここが聞きたい! ドクタートーク, 第1044-1047回, 2023年5月6日, 13日, 20日, 27日

<プレスリリース (報道発表)>

1. 国立大学法人宮崎大学, 国立大学法人京都大学, 国立研究開発法人国立がん研究センター, 公益財団法人慈愛会今村総合病院, 独立行政法人国立病院機構熊本医療センター: 成人T細胞白血病リンパ腫(ATL)におけるゲノム情報と臨床情報を統合したリスクモデルの開発に成功- ATLの個別化医療を推進-. 2023年4月7日
2. 公益財団法人慈愛会今村総合病院: HTLV-1抗体陽性者における同種移植後の予後に関して調査結果を発表. 2023年9月27日

臨床研究センター

今村総合病院

1. 宇都宮典: 情報 WAVE かがしま 北別府学氏追悼番組「北別府さんが闘った成人T細胞白血病とは」. NHK 鹿児島 (NHK九州), 2023年7月6日
2. 宇都宮典: NHK おはよう日本 北別府学氏追悼番組「北別府さんが闘った成人T細胞白血病とは」(7月6日放送が全国版で再放送). NHK, 2023年8月4日

皮膚科

今村総合病院

1. 米倉健太郎: ATLの多彩な臨床像と病態研究・治療の最新情報. ラジオ NIKKEI 第1 マルホ皮膚科セミナー, 2023年5月8日

脳神経内科

今村総合病院

1. 神田直昭: リビング医療ホットライン 脳神経内科「24時間体制で脳血管障害に対応」.リビングかがしま, 2023年8月26日

スポーツ整形外科

今村総合病院

1. 海江田英泰: 全投手に肩肘検査 県高野連が独自の取り組み 公式戦で登板予定、県内高の400人対象 / 鹿児島. 毎日新聞, 2024年2月19日

産科・婦人科

今村総合病院

1. 貴島佳子：産む産まないに関わらず、将来の自分のためにできること 10～30代の女性への産婦人科医からのアドバイス。鹿児島県垂水市「広報たるみず」, 2024年3月号

リハビリテーション部

今村総合病院 理学療法士（スポーツ整形）

1. 海江田英泰（スポーツ整形外科医師）、轟原与織：全投手に肩肘検査 県高野連が独自の取り組み 公式戦で登板予定、県内高の400人対象 / 鹿児島。毎日新聞, 2024年2月19日

診療放射線部

今村総合病院

1. 市來守、高山大史、中田有希乃：新しい高速かつ高精細な測定が可能なプラスチックシンチレータ検出器。放射線治療情報BOOK2023 (Raf Fan), 2023年11月号

管理栄養部

徳之島病院

1. 清水崇：社会人としての成人式を迎えて—徳之島病院勤務20年を振り返る—。鹿精協会報第187号, 2024年1月

医療福祉相談部

奄美病院

1. 森越志保, 西牟田智子：世界アルツハイマー月間「しまろバ隊」の取り組みについて。あまみエフエム, 2023年9月14日
2. 森越志保, 西牟田智子, 杉本東一：世界アルツハイマー月間の取り組みについて。奄美新聞, 2023年9月20日
3. 森越志保, 西牟田智子, 杉本東一：世界アルツハイマー月間の取り組みについて。南海日日新聞, 2023年9月20日
4. 西牟田智子：奄美・まーじんグループ（アルコール自助グループ）の取り組みについて。あまみエフエム, 2023年10月27日

今村総合病院

1. 常盤光弘, 有島尚亮：株式会社日本経営における『医師マネジメント、グループ病院ガバナンスに活かす多職種による多面評価ができる評価 Navigator 事例集』。2023年12月18日

【公的研究】

血液内科

今村総合病院

<日本医療研究開発機構（AMED）研究費>

1. 宇都宮 興：『HTLV-1 水平感染の動向と検査法・検査体制の整備』 研究分担者（研究代表者：長崎大学 三浦清徳）
2. 宇都宮 興：『ATL 新規治療標的の同定と、個別化医療への展開』 研究分担者（研究代表者：宮崎大学 下田和哉）
3. 宇都宮 興：『成人 T 細胞白血病 / リンパ腫の治療を目指した HTLV-1 ウイルス標的樹状細胞ワクチン療法の確立：薬事承認を目的とした第 II 相医師主導治験』 研究分担者（研究代表者：九州がんセンター 末廣陽子）
4. 宮園 卓宜：『アグレッシブ成人 T 細胞白血病リンパ腫を対象とした全国一元化レジストリ・バイオレポジトリ研究』 研究分担者（研究代表者：国立がん研究センター中央病院 福田隆浩）

<厚生労働科学研究補助金>

1. 徳永 雅仁：『「HTLV-1 総合対策」推進におけるキャリア対策の基盤整備と適正な研究開発の推進に資する包括的評価と提言のための研究』 研究分担者（研究代表者：聖マリアンナ医科大学大学院 渡邊俊樹）

<国際共同研究加速基金>

1. 宇都宮 興：『HTLV-1a/c 亜型の疫学調査と独自の病原性発現機構解明に向けた日豪共同研究』 研究協力者（研究代表者：東京大学大学院 中野和民）

外科・消化器外科

今村総合病院

<科学研究費補助金>

1. 田辺 寛：『外科コーチングで手術パフォーマンスは変わるか？ AI で挑む技術の定量化』 研究代表者（研究機関：鹿児島大学）

医師育成への取り組み

初期研修プログラム「錦江湾プログラム」

公益財団法人慈愛会は、人材育成の重要な柱の一つとして、初期臨床研修医の育成に力を注いできました。

初期研修の制度ができた初年度の2004年度から今村病院（現 いづろ今村病院）を基幹型病院とする「じあいプログラム」をスタートさせました。その後、2010年度からは、「じあいプログラム」に併設する形で「錦江湾プログラム」をスタートさせました。

「錦江湾プログラム」は今村総合病院が基幹型病院を務め、いづろ今村病院、谷山病院、奄美病院、鹿児島大学病院を含む20の協力病院群からなる初期研修プログラムです。発足初年度は規定により2名の定員枠でしたが、次年度は5名の定員枠が認められ、2012年度には定員枠が7名に増えました。「じあいプログラム」は10年目の2013年度をもって終了させ、2014年度より定員枠を10名に増やす形で「錦江湾プログラム」に一本化し、現在に至ります。この間、両プログラム合わせて158名の研修医を育ててきました（現在進行中の研修医を含む）。

「錦江湾プログラム」は学生の間で、今とても人気が高い状況です。人気が高い大きな理由は、各診療科の医療のレベルが高いだけでなく、スタッフの人材が揃っており、研修医を育てようという意気込みが学生に伝わっているからとのこと。

私たちは、全国から人材が集まってくるような、日本有数の教育病院に育てようと全力を挙げて取り組んでおり、着実に研修医が育ちつつあります。

【初期研修医数の推移】

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	総数
錦江湾プログラム	2名	5名	7名	5名	8名	7名	6名	10名	9名	10名	10名	10名	10名	10名	109名

【基本方針】

基本目標として将来の専門性にかかわらず医学・医療の社会ニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるようにプライ・マリケアの対応能力を習得することを基本方針とする。

【研修プログラム】

内科	麻酔科	救急科	外科	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	選択科目
24週（※1）	8週	12週	8週	4週	4週	4週	4週	36週

※1 一般外来4週を含む

❗ 錦江湾プログラムは下記の病院群と機能を分担して実施する。

必修研修	内科	24週	今村総合病院(一般外来研修含む)・いづろ今村病院・鹿児島大学病院	
	外科	8週	今村総合病院	
	救急	12週	今村総合病院	
	麻酔科	8週	今村総合病院	
	小児科	4週	今村総合病院・鹿児島大学病院・鹿児島こども病院・霧島市立医師会医療センター	
	産婦人科	4週	今村総合病院・鹿児島大学病院・いまきいれ総合病院・愛育病院・鹿屋医療センター	
	精神科	4週	今村総合病院・谷山病院・奄美病院・鹿児島大学病院	
	地域医療	4週	高麗町クリニック・五反田内科クリニック・俱知安厚生病院・小林市立病院 ・かごしまオハナクリニック	
自由選択	36週		今村総合病院	全診療科
			いづろ今村病院	全診療科
			介護老人保健施設 愛と結の街	保健
			鹿児島大学病院	全診療科
			鹿児島医療センター	循環器内科
			聖マリア病院	救急
			浦添総合病院	救急
			飯塚病院	内科
			中央病院	循環器内科

慈愛会専門研修プログラム

慈愛会では、専門医を育成するため、内科と総合診療の専門研修プログラムを開設しています。

● 慈愛会内科専門研修プログラム

2018年度にスタートした慈愛会内科専門研修プログラムは、急性期病院である今村総合病院を基幹施設として、鹿児島県内、福岡県内、東京都内、および北海道内にある連携施設で内科専門研修を行っており、9名の専攻医が在籍しています。

総合内科専門医は単に各専門科を全て経験すれば良いということではなく、多くの診療科にまたがる症例や、逆にどこの専門科にも属しにくいような症例、症状を解決していく能力が必要となります。

当プログラムでは、総合内科のspecialistを育成するため、最大の特徴として基幹病院である今村総合病院の救急・総合内科で研修を行うとともに、他の院内診療科や連携施設とは、より専門性の高い研修を受けることができるよう連携しています。

● 慈愛会総合診療専門研修プログラム

2018年度に慈愛会総合診療専門研修プログラムがスタートし、これまでに2名が修了しました。

当プログラムでは院内の各診療科はもとより連携施設とも連携し、総合診療医として、予防医療、プライマリケア(急性期対応)、総合内科知識・技能・亜急性期・慢性期、そして終末期のいずれの段階の医療にも対応できる能力の習得、または病院総合医、地域の開業医、在宅医療、老健施設での慢性期医療など、将来どのような環境でも活躍できるようなオールラウンドプレイヤー養成を基本としています。

●膠原病・リウマチ内科プログラム

2023年度に今村総合病院 膠原病・リウマチ内科専門研修カリキュラムがスタートし、現在2名の専攻医が内科専門プログラムと並行して研修しています。県内では膠原病の専門研修施設が少ない現状ですが、当院では総合病院である強みを生かして、他科と連携しながら、複数臓器にまたがる膠原病疾患を多く経験することが可能です。主に病棟主治医として精査・治療開始、合併症管理を担当しますが、症例によっては外来フォローまで上級医と相談しながら担当することができます。整形外科ローテーションでは鹿児島赤十字病院と連携しており、また希望があれば東京医科歯科大学、多摩総合医療センターなど県外で高いレベルの教育を受けることもできるようになっています。生物学的製剤やJAK阻害薬の登場で膠原病診療は日進月歩の進化を遂げており、それに対応できる専門医を育成することが目標です。

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覽

看護部門

中長期計画	2023年度 事業計画 (Stage2)	実施 2023.4月～2024.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
看護実践能力の高い人材育成とキャリア支援	(1)キャリア開発ラダー（看護師・訪問看護・認定・特定看護師・ナースエイド、介護福祉士）活用によるキャリア支援 ・特定看護師活動支援 特定看護師教育センターとの連携	<ul style="list-style-type: none"> ・新人看護職員研修 4/4（慈愛会看護部概要） ・キャリア開発ラダー認定証発行（今村総合病院以外） レベルⅠ：22名、レベルⅡ：17名、レベルⅢ：16名、レベルⅣ：14名、レベルⅤ：19名 計88名 申請率89.8% 認定率58.6% ・マネジメントラダー認定証発行（今村総合病院、いづろ今村病院以外） レベルⅠ：2名、レベルⅡ：2名、レベルⅢ：2名、副看護部長レベル：1名 計7名 申請率：Ⅰ73% Ⅱ75% Ⅲ59% Ⅳ43% 副部長60% 認定率：Ⅰ25% Ⅱ33% Ⅲ20% Ⅳ0% 副部長0% ・訪問看護キャリア開発ラダー認定証発行 レベルⅠ：4名、レベルⅡ：1名 計5名 認定率レベルⅠ・Ⅱ100% ・3年目研修 56名参加 10/28、11/11 <p>目的：看護理論を活用して危機的状態にある患者の看護実践ができる看護師の育成</p>	<p>申請率・認定率について 今後の組織の方向性を勘案し、キャリアラダー認定率を上げることが課題。認定が得られるように年度初めの計画段階で具体的に計画立案や特に看護管理者の支援を強化し、レベルⅤ認定者や任用候補者研修受講者の層を計画的に育成する必要がある。</p> <p>世の中の流れを反映させるため各ラダー内容、訪問看護キャリアラダーの内容を見直す必要がある。</p>	(1)キャリア開発プログラム（看護師・訪問看護・認定・特定看護師・ナースエイド・介護福祉士）活用によるキャリア支援 ・申請率・認定率の増加 ・各施設前年度より上昇 ・人材開発支援助成金（人への投資促進コース）申請による学習環境支援
	(2)スペシャリストの計画的育成と活動支援 ・特定看護師活動支援 特定看護師教育センターとの連携 ・在宅部門スペシャリスト育成強化 ・笹貫訪問看護ステーション愛の街 徳之島病院 奄美病院	<ul style="list-style-type: none"> ・認定看護師会議 5/19、10/20、3/19 ・特定行為研修受講者数 今村総合病院11名（かごしまオハナクリニック1名含む）、愛と結の街1名、徳之島病院1名 ・認定看護師研修受講 計3名 ・感染管理認定看護師研修 2名 国際医療福祉大学九州地区生涯教育センター（今村総合病院） 宮崎県立看護大学看護研修センター（いづろ今村病院） ・集中ケア認定看護師研修 1名 東海大学伊勢原校舎生涯学看護師キャリア研修センター（今村総合病院） 	<p>認定看護師会議は認定看護師の主体的な会議として情報交換につながっている。活動成果の共有はされているが、研究発表等、専門性を発揮した教育的視点が不十分であり課題。</p> <p>スペシャリストの慈愛会全体での活用を推進することで看護の質向上に貢献できるような仕組み作りを行うとともに、今後は病院間の連携につなげる。</p>	(2)スペシャリストの計画的育成と活動支援 ・研究発表の推進、および教育的視点を加えた成果報告の促進
	(3)管理者マネジメント力育成 マネジメントラダー活用 ・認定看護管理者教育課程 計画的受講 ・サードレベル研修修了者支援 昇任者支援	<p>看護部長ミーティング 4/26、5/24、6/30、8/10、8/30、9/29、10/25、11/29、12/27、1/24、2/28、3/27 BSCの取り組み・研修企画・人材確保活動などについて検討 副看護部長ミーティング 4/28、5/8、5/31、3/15 心に届く慈愛の看護報告会企画</p> <p>2023年度看護管理者協議会 6/30、10/27、2/2</p> <p>管理者研修 ・新任副看護部長研修 7/7 13：30-17：30 参加者7名 （今村総合病院2、いづろ今村病院2、谷山病院2、奄美病院1） ・新任看護部長研修 7/14 8：30-17：30 参加者8名 （今村総合病院1、いづろ今村病院3、谷山病院2、奄美病院1、在宅支援部1） ・副看護部長研修 12/1 8：30-17：30 参加者6名 （いづろ今村病院1、今村総合病院2、谷山病院1、愛と結の街1、谷山病院1）</p> <p>認定看護管理者研修 ・ファーストレベル研修 9名（いづろ今村病院1、今村総合病院2、谷山病院3、奄美病院2、徳之島病院1） ・セカンドレベル研修 5名（いづろ今村病院1、今村総合病院2、谷山病院1、奄美病院1） ・サードレベル研修 2名（今村総合病院1、谷山病院1）</p> <p>認定看護管理者 認定1名（いづろ今村病院）</p>	<p>看護管理者のマネジメント力強化については、月1回の看護部長ミーティングで毎月のBSCの取り組み報告や、研修企画への参画を通して看護管理に必要な能力の強化が実施できた。それぞれの課題や問題への対応については随時報告・相談に対応し支援することで、現場での問題解決を通して一連のプロセスを共有し看護管理を支えている。慈愛会全体における看護部の方向性を互いに確認しあい、方向性を一致させ情報共有し成果に結びつけられるように、管理者同士互いに支援しあっている。</p> <p>看護管理者研修の各コース企画に看護部長が参画し、自施設の管理者育成につなげるようにした。管理者研修は、主体的学びの場になるように企画しそれぞれの課題解決に向けて考えられる場づくりにつながっている。看護研究の推進に課題があり、40代の看護部長や若い世代の看護管理者育成を見据えて計画的な育成計画を立案する必要がある。</p> <p>現在、7施設中4施設に認定看護管理者を配置できた。今後も計画的に認定看護管理者研修への参加を促し各施設への認定看護管理者の配置を目指す。更に研修参加による看護管理者としての視野拡大および資質向上を狙う。</p>	(3)管理者マネジメント力育成 マネジメントラダー活用 ・申請率・認定率の増加 ・看護管理者計画的育成のための現状認識と計画的育成の企画立案 ・認定看護管理者教育課程への計画的受講による認定看護管理者増加
	(4)慈愛会内外組織横断支援 ナース育成 ・地域を見据えた構築準備 （特定看護師・認定看護師チーム）	<p>4)慈愛会内外組織横断支援ナース育成 徳之島人事交流研修 今村総合病院4名、いづろ今村病院24名、谷山病院5名、奄美病院17名、笹貫訪問看護ステーション愛の街1名、看護部支援室1名</p>	<p>徳之島病院への支援については、各病院が協力しあい2023年度は20対1加算を継続的に取得することができた。採用困難であることから次年度は計画的な支援を協力して行う。2024年度新卒看護師を配置できた。精神看護に関心が高く今後のキャリアデザインが描けているので、しっかりと支援し、後輩の就職に繋げていきたい。</p>	(4)慈愛会内外組織横断支援 ナース育成 ・ハイブリッド活用による認定看護師・特定看護師不在地域への介入、地域看護力向上 ・徳之島病院交流研修継続（入院基本料20：1維持のための人員確保） ・計画的な人事交流研修 慈愛会看護管理者による徳之島病院看護部支援及び交流研修 ・各施設基準要件 充足、退職率今年度より低下

中長期計画	2023年度 事業計画 (Stage2)	実施 2023.4月～2024.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)																																							
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">看護実践能力の高い人材育成とキャリア支援</p>	<p>(5)看護+介護一体化強力な看護チーム構築 ・専従退院支援看護師育成プログラム検討</p>	<p>(5)看護+介護一体化強力な看護チーム構築</p>		<p>(5)看護+介護一体化強力な看護チーム構築 ・認知症高齢者や単身高齢者への対応</p>																																							
	<p>(6)実習環境整備 ・実習指導者会議運営・体制の再構築 ・臨床教員配置による新卒看護師の支援強化</p>	<p>(6)実習環境整備 ・実習指導者会議体制構成メンバー変更4月～看護師長・副看護部長参加 ・第1回臨床実習指導者・教員合同研修開催 (4/15) 104名参加 ・第2回臨床実習指導者・教員合同研修開催 (10/14) 101名参加 ・鹿児島中央看護専門学校 2年生の実習支援 10/16 実習指導者10名 (今村総合病院8、いづろ今村病院2) ・鹿児島中央看護専門学校1年生の実習前支援 12/13 実習指導者12名 (今村総合病院8、いづろ今村病院4)</p>	<p>実習指導者会議メンバーに看護師長・副看護部長が参加することで会議を活性化し会議内容を充実できた。また各学年の実習支援を行い、臨床実習での学生の学びを充実させることにつながられた。実習指導者の、学生に対する認識や指導の在り方の認識が充実してきており、今後現場への浸透が促進されることが望まれる。結果として、学生の慈愛会への就職につながることを期待する。</p>	<p>(6)臨床教育の充実 ・看護実践スキル向上教育 ・鹿児島県看護協会主催看護教員養成研修受講2名 (いづろ今村病院、鹿児島中央看護専門学校) ・鹿児島国際大学の実習受け入れ開始 (2024～今村総合病院)</p>																																							
	<p>(7)安定した看護・介護人材の確保と教育 ・採用試験受験者数の増加応募者70名以上 ・内定者向けオンライン懇親会の継続 ・訪問看護師への新卒看護師受け入れ構築 2024年度 1名 ・介護福祉士 ローターション研修 (愛と結の街今村総合病院 いづろ今村病院) ・介護福祉士教育構築・介護力向上</p>	<p>採用者数</p> <table border="1" data-bbox="464 725 932 792"> <thead> <tr> <th></th> <th>第1回</th> <th>第2回</th> <th>第3回</th> <th>臨時</th> <th>第4回</th> <th>臨時</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受験者</td> <td>2</td> <td>31</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>採用者</td> <td>1</td> <td>31</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table> <p>・訪問看護師への新卒看護師受け入れ構築 2024年度1名 ・看護学校就職ガイダンス ・学校サポートキャンパス (鹿児島中央看護専門学校卒業生47名) 7/15 ・ウェブサイト掲載先輩看護師の声、管理者研修、慈愛会看護部紹介動画 ・人材確保活動ミーティング開催：1回/週 9月より1回/月 (第2月曜) 看護部長・副看護部長・教育担当師長・看護部支援室参加 ・看護学校・大学訪問 (13校) ・病院見学会 2月からほぼ毎日 (いづろ今村病院、今村総合病院、谷山病院) ・10月 リクルートに関するアンケート (対象：大卒入職看護師) アンケート結果を活かし採用試験、就職説明会の開催変更 ・2024年度採用試験を1回追加 ・看護職員 (パート含む)・アルバイト募集ポスター各病院・ウェブサイト掲示 ・看護師募集ポスターメール便九州沖縄配送 5000名 ・アルバイト時給増額 897→1,000円</p>		第1回	第2回	第3回	臨時	第4回	臨時	合計	受験者	2	31	7	1	1	1	43	採用者	1	31	7	1	1	1	42	<p>学生の就職活動時期が年々早まっており、次年度の就職説明会開催回数を年度はじめに追加する。</p> <p>鹿児島県内の動向として奨学金利用者が高くなっており、次年度は県外 (九州全体)の広報活動を拡大強化する。年度後半には①九州圏内の看護師募集ポスターメール便を5,000通発送②病院見学会を2月からほぼ毎日開催③就職説明会に病院見学会とランチ会を組み込む、等の新たな取り組みを実施した。継続的な関わりで就職決定する学生が多いため、今後も継続的に学生につながることで就職につなげたい。アルバイトから就職決定につながることも多いためアルバイトへの誘導を各説明会で実施。時給増額によってより誘導しやすい環境が整った。現場の受け入れ態勢を整える必要がある。</p>	<p>(7)看護・介護人材の確保と適正配置および教育 ・大学卒業生獲得、福岡拠点とした九州北部大学へのリクルート活動拡大 ・新たな奨学金制度の周知と看護学生向け奨学金制度積極的活用 ・申請者への速やかな手続き対応による人材確保</p>															
		第1回	第2回	第3回	臨時	第4回	臨時	合計																																			
受験者	2	31	7	1	1	1	43																																				
採用者	1	31	7	1	1	1	42																																				
<p>(8)定期異動体制構築 (管理者、職員)による職場活性化・質の均てん化 ・看護部長 異動 (今村総合病院、在宅支援部)</p>	<p>介護福祉士・ナースエイド合同研修 26回実施 対象者 介護福祉士166名 看護補助者92名</p> <table border="1" data-bbox="464 1330 932 1480"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施回数</th> <th>介護福祉士参加者数</th> <th>看護補助者参加者数</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>今村総合</td> <td>4</td> <td>19</td> <td>53</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>いづろ今村</td> <td>3</td> <td>23</td> <td>9</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>谷山病院</td> <td>6</td> <td>16</td> <td>4</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>奄美病院</td> <td>4</td> <td>29</td> <td>10</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>徳之島病院</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>12</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>愛と結の街</td> <td>3</td> <td>73</td> <td>4</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>26</td> <td>166</td> <td>92</td> <td>計258名</td> </tr> </tbody> </table> <p>目的：患者・利用者の尊厳を守り人権を尊重し、慈愛の届けるケアの提供ができる</p>		実施回数	介護福祉士参加者数	看護補助者参加者数	計	今村総合	4	19	53	72	いづろ今村	3	23	9	32	谷山病院	6	16	4	20	奄美病院	4	29	10	39	徳之島病院	6	6	12	18	愛と結の街	3	73	4	77	合計	26	166	92	計258名	<p>介護福祉士研修について 看護部長ミーティングで研修企画を進め、全病院で一致した内容で実施した。目的・方法を統一して研修実施できたことで、研修評価としても倫理的な視点が強化された。参加者からは、他者の考えを聞くことができ楽しかった、他部署との交流ができた、他者と意見交換をするのは貴重な経験であった、今後も研修を企画してほしい等の反応があった。患者・利用者の尊厳を守り人権を尊重し、慈愛の心を届けるケアの提供ができるといった研修目的を達成できたと考える。今後も定期的に開催する。</p>	<p>濃厚かつ積極的確保活動 ・鹿児島県内に限らず県外へのリクルート活動を強化 2024.4月から活動開始 ・注目される看護部紹介パンフレット作成 ・中途辞職防止の取り組み ・ウェブサイト・メール・SNS等活用した情報発信 ・看護学校との連携により新人・3年目看護師サポート ・鹿児島中央看護専門学校奨学金希望者の増加への取り組み 教員との連携 ・鹿児島県内外の看護学生向け奨学金貸与希望者増加への広報強化 ・看護学校との連携強化</p>
	実施回数	介護福祉士参加者数	看護補助者参加者数	計																																							
今村総合	4	19	53	72																																							
いづろ今村	3	23	9	32																																							
谷山病院	6	16	4	20																																							
奄美病院	4	29	10	39																																							
徳之島病院	6	6	12	18																																							
愛と結の街	3	73	4	77																																							
合計	26	166	92	計258名																																							
<p>(9)J-seatyナース研修継続</p>	<p>(9)J-seatyナース研修</p> <table border="1" data-bbox="464 1816 932 1989"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>研修名</th> <th>研修期間</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>今村総合病院</td> <td>感染管理</td> <td>8/30 (水)～9/1 (金)</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>今村総合病院</td> <td>フィジカルアセスメント</td> <td>9/27(水)～29 (金)</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>いづろ今村病院</td> <td>地域包括ケア、緩和ケア</td> <td>10/2(月)～10/4 (水)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>谷山病院</td> <td>最新の精神医療</td> <td>7/25 (火)～27 (木)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>徳之島病院</td> <td>鹿児島を含む精神医療</td> <td>7/12(水) Pm～7/14(金) Am</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>奄美病院</td> <td>鹿児島を含む精神医療</td> <td>7/12(水) Pm～7/14(金) Am</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>愛と結の街</td> <td>在宅・老健</td> <td>10/23(月)～10/25AM (火)</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>看護学校</td> <td>看護基礎教育</td> <td>9/12(火)～9/14(木)</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	研修名	研修期間	参加人数	今村総合病院	感染管理	8/30 (水)～9/1 (金)	11	今村総合病院	フィジカルアセスメント	9/27(水)～29 (金)	15	いづろ今村病院	地域包括ケア、緩和ケア	10/2(月)～10/4 (水)	4	谷山病院	最新の精神医療	7/25 (火)～27 (木)	3	徳之島病院	鹿児島を含む精神医療	7/12(水) Pm～7/14(金) Am	3	奄美病院	鹿児島を含む精神医療	7/12(水) Pm～7/14(金) Am	2	愛と結の街	在宅・老健	10/23(月)～10/25AM (火)	7	看護学校	看護基礎教育	9/12(火)～9/14(木)	4	<p>J-seatyナース研修は専門的知識の獲得だけでなく多職種連携や慈愛会内の組織を知る視野拡大、連携の重要性を理解する、学びにもつながっている。参加者は、現場の課題を明確にし研修参加しているため、現場に戻り研修の成果を現場で実践したり還元したりする場を整え、参加者の成長を支援する必要がある。各自の目標達成のために、効果的に研修を活用しキャリアアップできるよう支援を行う。</p>	<p>(8)定期異動体制構築 (管理者、職員)による職場活性化・質の均てん化 ・看護教員と臨床の定期異動体制 <2024年度> 鹿児島中央看護専門学校→谷山病院 いづろ今村病院→鹿児島中央看護専門学校</p>				
施設名	研修名	研修期間	参加人数																																								
今村総合病院	感染管理	8/30 (水)～9/1 (金)	11																																								
今村総合病院	フィジカルアセスメント	9/27(水)～29 (金)	15																																								
いづろ今村病院	地域包括ケア、緩和ケア	10/2(月)～10/4 (水)	4																																								
谷山病院	最新の精神医療	7/25 (火)～27 (木)	3																																								
徳之島病院	鹿児島を含む精神医療	7/12(水) Pm～7/14(金) Am	3																																								
奄美病院	鹿児島を含む精神医療	7/12(水) Pm～7/14(金) Am	2																																								
愛と結の街	在宅・老健	10/23(月)～10/25AM (火)	7																																								
看護学校	看護基礎教育	9/12(火)～9/14(木)	4																																								
			<p>(9)J-seaty研修継続による慈愛会職員育成</p>																																								

中長期計画	2023年度 事業計画 (Stage2)	実施 2023.4月～2024.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)																																																																																																		
急性期、回復期、在宅医療サービス向上 看護部支援室	<p>(1)訪問看護部の設置 訪問看護ステーション一元管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 訪問看護ステーション新設(徳之島病院) 訪問看護ステーションサテライト設置(奄美病院) 笹貫訪問看護ステーション愛の街 サテライト新設検討(かごしまオハナビル) 	<ul style="list-style-type: none"> 3訪問看護ステーション合同会議(定例会議)の開催 6月から1回 (笹貫訪問看護ステーション愛の街・訪問看護ステーションイルカ・徳之島病院) 11/14 新卒訪問看護師育成に係る相談(オンライン) 参加:宮崎県訪問看護ステーション、宮崎県看護協会在宅支援室、鹿児島県訪問看護ステーション、鹿児島県看護協会、慈愛会本部、笹貫訪問看護ステーション愛の街 11/16 新卒等訪問看護師育成に係る施設訪問 場所:訪問看護ステーションゆうあい(佐賀県) 2024年度新卒訪問看護師採用 1名 <p>徳之島訪問看護月延件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>月平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度島内</td> <td>109</td> <td>113</td> <td>107</td> <td>145</td> <td>85</td> <td>93</td> <td>54</td> <td>72</td> <td>63</td> <td>67</td> <td>74</td> <td>77</td> <td>88.3</td> </tr> <tr> <td>令和4年度島内</td> <td>119</td> <td>76</td> <td>128</td> <td>122</td> <td>20</td> <td>111</td> <td>130</td> <td>135</td> <td>155</td> <td>165</td> <td>144</td> <td>168</td> <td>122.0</td> </tr> <tr> <td>令和5年度島内</td> <td>155</td> <td>150</td> <td>149</td> <td>189</td> <td>197</td> <td>212</td> <td>215</td> <td>214</td> <td>219</td> <td>234</td> <td>259</td> <td>232</td> <td>202.0</td> </tr> <tr> <td>令和3年度島外</td> <td>13</td> <td>10</td> <td>51</td> <td>41</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>10</td> <td>30</td> <td>36</td> <td>33</td> <td>41</td> <td>0</td> <td>23.1</td> </tr> <tr> <td>令和4年度島外</td> <td>46</td> <td>0</td> <td>51</td> <td>38</td> <td>0</td> <td>14</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>47</td> <td>40</td> <td>30</td> <td>28</td> <td>29.0</td> </tr> <tr> <td>令和5年度島外</td> <td>32</td> <td>29</td> <td>27</td> <td>45</td> <td>42</td> <td>41</td> <td>35</td> <td>39</td> <td>39</td> <td>47</td> <td>56</td> <td>46</td> <td>39.8</td> </tr> </tbody> </table>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均	令和3年度島内	109	113	107	145	85	93	54	72	63	67	74	77	88.3	令和4年度島内	119	76	128	122	20	111	130	135	155	165	144	168	122.0	令和5年度島内	155	150	149	189	197	212	215	214	219	234	259	232	202.0	令和3年度島外	13	10	51	41	12	0	10	30	36	33	41	0	23.1	令和4年度島外	46	0	51	38	0	14	31	31	47	40	30	28	29.0	令和5年度島外	32	29	27	45	42	41	35	39	39	47	56	46	39.8	<p>6月から3訪問看護ステーション合同会議を開催した。それぞれの活動・実績報告だけでなく運営に関する問題点の共有や対策立案、改善点の共有を図ることで視野拡大となり各部署の運営への反映となってきている。管理の視点の支援・強化につながっている。</p> <p>徳之島訪問看護延べ件数は、年々伸びがみられる。</p> <p><訪問看護ステーションへの新卒看護師の採用および、訪問看護師の育成について></p> <p>今後の受け入れを視野に、看護協会等とも連携を図り情報共有するとともに、3年間の訪問看護育成プログラムを作成することができた。今後訪問看護ステーションは地域で求められる重要な役割を担うための人材確保が重要であり、次年度新卒看護師を受け入れ、育成するための準備を行うことができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1)訪問看護部の設置 訪問看護ステーション一元管理 3)訪問看護ステーション(笹貫訪問看護ステーション愛の街、奄美病院イルカ、徳之島病院わたりどり)の訪問件数増への取り組み、利用者の獲得 3)訪問看護ステーション定期会議による情報共有と経営参画への取り組み 各ステーション2023年度より増
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均																																																																																								
令和3年度島内	109	113	107	145	85	93	54	72	63	67	74	77	88.3																																																																																									
令和4年度島内	119	76	128	122	20	111	130	135	155	165	144	168	122.0																																																																																									
令和5年度島内	155	150	149	189	197	212	215	214	219	234	259	232	202.0																																																																																									
令和3年度島外	13	10	51	41	12	0	10	30	36	33	41	0	23.1																																																																																									
令和4年度島外	46	0	51	38	0	14	31	31	47	40	30	28	29.0																																																																																									
令和5年度島外	32	29	27	45	42	41	35	39	39	47	56	46	39.8																																																																																									
<p>(2)病床稼働率向上のための具体的策定と実施による経営参画</p> <ul style="list-style-type: none"> 病床再編成による看護体制整備(徳之島病院、いづろ今村病院) 病床コントロール部門、看護部介入体制構築 <p>(3)外来看護専門性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 自施設内外人事交流(かごしまオハナクリニック、他施設) スペシャリスト配置 <p>(4)地域とのコミュニケーション 地域との一体化</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域ニーズの把握(看護部長訪問による情報収集、公的看護部長会への参画) 	<ul style="list-style-type: none"> いづろ今村病院:地域連携室に地域連携強化人材(地域連携室室長補佐兼副看護部長)配置 今村総合病院→かごしまオハナクリニック(1～2カ月間 人事交流) 2023年度徳之島病院支援(年間)今村総合病院4名、いづろ今村病院19名、谷山病院5名、奄美病院16名、笹貫訪問看護ステーション1名 看護部支援室1名 <p>病床稼働状況を看護部長会で確認しあうとともに病床編成整備の情報共有。病床コントロールに関する情報共有をすることで自組織の看護管理に反映できた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2)病床稼働率向上のための具体的策定と実施による経営参画 土日月の入院集中緩和対策 多職種連携とチーム医療の発揮 <p>(3)外来機能の明確化・連携かかりつけ機能の強化と外来看護専門性の向上</p>																																																																																																				
<p>医療と介護、介護サービス事業所内の連携強化、協働体制整備による連携推進</p>	<p>(1)慈愛会内外との連携強化(情報連携強化)、連携推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護部長 連携先病院訪問による連携強化 慈愛会連携推進会議 隔月定期開催 慈愛会連携バス検討開始 <p>(2)アセスメントシート活用の効率化(整理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ACP導入検討 	<p>(1)慈愛会連携推進会議 1回/2月開催</p> <p>(2)慈愛会連携シート検討プロジェクトでのシート作成検討の実施</p> <p>全職種による記入およびシーにACP記載欄を設ける</p>	<p>連携推進会議で慈愛会内の連携でお断り内容や、困難事例の検討がなされ、連携が推進されている。慈愛会内での患者連携を今後も増やしていけるよう会議の充実を図る。</p> <p>多職種合同で患者情報一つにまとめるとともにACPの情報も入れ込んだ情報シートを検討しシート(案)が作成できた。運用面での困難もあるが次年度も継続課題として取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1)慈愛会内外との連携強化(情報連携強化)、連携推進 2)アセスメントシート活用の効率化(整理) 																																																																																																		

中長期計画	2023年度 事業計画 (Stage2)	実施 2023.4月～2024.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
看護職の働きかた改革（働く環境の整備、子育て介護支援、ICT活用、人的支援、働きかた改善etc） 看護部支援室	<p>(1)働きやすい労働環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・超過勤務の削減、有給休暇取得増加による職場満足度向上 ・2色ユニフォーム導入による効果測定（今村総合病院 いづろ今村病院） ・職場風土調査 5カ年評価と今後の改善計画策定 ・定期ストレスチェックと早期メンタルヘルス介入 ・業務改善・改革の具体的な取り組み 	<p>1)2023年度 看護管理者協議会</p> <p><第1回 6/30></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年度概況報告及び2023年度目標 各施設運営方針 ・看護師確保活動状況 ・2023年度実習指導体制 ・慈愛会学会学術集看護部会長研究 ・管理者任用選考制度について ・2022年度キャリア開発ラダー、マネジメントラダー認定状況 ・2023年度キャリア開発ラダー、マネジメントラダー申請状況 ・2023年度J-seatyナース研修について ・新入職、中途入職者サポート体制 ・2024年度鹿児島県専任教員講習会に向けて ・特定看護師ラダーレベル認定状況 ・看護部参加プロジェクトについて <p><第2回 10/27></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度目標管理進捗状況（各施設BSC） ・研修報告 ・看護師確保状況 ・第2回看護師採用試験、ナースエイド・介護福祉士採用試験報告 ・2024年度 各施設採用希望状況 ・慈愛会連携推進会議報告 ・2024年度 看護部の年間計画について ・認定看護師会、特定看護師会報告 ・大学からの入職者アンケート結果 ・採用試験 定期開催 6月追加 ・鹿児島中央看護専門学校1・2年生への実習前後支援企画・実施について ・職員向けキャリアアップ（進学・資格取得）支援ランチオンセミナー開催について ・認定看護管理者教育課程サードレベルの学び ・J-seatyナース研修修了者の活躍をどう支援しているか、各施設受講者リスト整理 ・2024年度看護体制について <p><第3回 2/2></p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営参画 ・人材確保1-3月の獲得目標 ・看護補助者確保について ・働きかた改革 ・長期研修派遣について ・看護部組織体制 ・看護教育の今後に向けた検討 ・赴任旅費規程について ・知人紹介制度リファラル制度活用について ・2024年度看護管理者研修企画について 	<p>看護部長会議でBSCの中で毎月取り組み内容の共有、評価、改善が検討された。結果、退職率はほぼ全組織で2%ほどと、わずかではあるが減少している。今後も継続的に働きやすい環境の整備に取り組むため年度も各組織で5項目をあげて取り組むことになった。</p> <p>急性期病院看護師を対象にアンケート調査し「若手看護師の職務満足度と職業継続意志及び離職に対する関連要因の検討」としてまとめた。人材不足による負担感は大きく離職を考える因子となっていたが、一方で、働き甲斐や目標を見出し、働き続けるための要因も明確に出来た。今後結果を活かし、職務満足度を上げ職場定着に向けた取り組みを具体的に行っていく。</p> <p>看護管理者協議会では慈愛会看護部全体の運営方針の共有・各部署の状況確認とともに今後の組織・看護部の方向性についても慈愛会看護部として的一致を得る場となっている。さらに、課題の明確化、取り組みの方向性も検討し、評価、計画立案と看護管理のマネジメントの場としても活用している。</p>	<p>(1)働きやすい労働環境の整備（夜勤時間の検討、超過勤務の削減、部署による休暇取得日数の格差減少）による職場満足度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各施設改善5項目を挙げ、成果を出す。 ・業務改革による超過勤務の削減 現状より20%以上削減 ・離職率 2023年度より減少 ・各施設1-2%減少
	<p>(2)ICT等のテクノロジー活用による業務負担軽減、生産性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録の効率化・看護記録の音声入力試行 導入準備 ・医療・介護在宅現場をつなぐ情報共有システム活用 ・いづろ今村病院 看護記録音声入力試行による結果を踏まえた各施設への導入準備 ・クリティカルパス活用による業務軽減 	<p>(2)いづろ今村病院 スマートフォン活用による記録 音声入力試行中</p>		<p>(2)ICT等のテクノロジー活用による業務負担軽減、生産性向上（記録の効率化・看護記録の音声入力、医療一介護一在宅現場をつなぐ情報共有システム、会議・研修等への活用推進）</p>
	<p>(3)子育て支援 介護支援 プラチナナース支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラチナナースアンケート結果による改善 ・子育て支援頼り発行 6月12月 ・ママサポート・育児休業復帰支援 	<p>(3)子育て支援頼り 12月発送 対象者数27名 徳之島病院1名、今村総合病院17名、谷山病院8名、奄美病院1名</p>	<p>子育て世代の働きやすい環境づくりは、離職回避につながり、休業後の復帰困難を避けるための仕組みも重要である。休業中にも職場とつながりを持たせる対策を実施した。</p>	<p>(3)子育て支援介護支援プラチナナース支援の充実</p>
	<p>(4)タスクシフティング・タスクシェアリング</p>			<p>(4)タスクシフティング・タスクシェアリング ・ミドルマネジメント研修後の活動継続</p>
	<p>(5)縁結び応援プロジェクト活動再開による職員交流の場拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回開催 	<p>(5)縁結び応援プロジェクトボウリング大会 8/4（金）：参加者18名（新入職者9名・スタッフ9名） 9/29（金）：参加者10名（新入職者4名・スタッフ6名） ・縁結び応援プロジェクト 60歳以上 ボウリング大会 2024.1/19（金）24名参加</p>	<p>コロナ感染対策の軽減により縁結びプロジェクトも再開開始できた。参加者からは、リフレッシュの場の提供への感謝と、慈愛会内の人と人とのつながりを持ってたことで、今後の仕事のしやすさにつながる期待感を持ったとの意見があった。</p>	<p>(5)縁結び応援プロジェクト活動の拡大 ・年3企画以上実施</p>
<p>(6)各職種の処遇改善・給与反映の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護師の業績に応じた処遇改善 ・夜勤従事者の処遇見直し（一定回数以上従事者への支援） 	<p>(6)アルバイト時給の検討897→1,000円 ・看護師初任給の検討 ・徳之島病院応援日当5,000円</p>	<p>学生時点で病院とのつながりを持つことが人材確保に有効であり、時給アップや初任給アップは看護師・ナースエイド確保策として重要であった。アルバイト確保は業務負担軽減にもつながる。</p>	<p>(6)各職種の処遇改善・給与反映の検討 ・新給与体系による改善 ・定年後勤務継続</p>	

中長期計画	2023年度 事業計画 (Stage2)	実施 2023.4月～2024.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)																																										
看護部支援室	化感、染、症、定業務・継、統、計、への、実、績、を、対、応、力、強、化、策、を、取、り、組、む、こ、と、を、主、眼、と、し、て、B、C、P、策、を、推、進、す、る。	・認定看護師、特定看護師派遣システム運用試行 ・地域のニーズに応じた相談・教育への対応実施	次年度は地域との連携に診療報酬加算もあることから、より効果的に連携を推進する。	(1)新興感染症・災害時業務継続計画策定と定期シミュレーション ・災害支援ナース研修受講 (2)地域への活動支援体制整備																																										
	ネ多職種連携チームによる高マ	(1)摂食嚥下チーム、感染対策チーム、認知症ケアチーム、緩和ケアチーム等活動推進	(1)実態把握 多職種連携チーム ○=活動中 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>摂食嚥下</th> <th>感染対策</th> <th>認知症ケア</th> <th>緩和ケア</th> <th>他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>今村総合病院</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>MET、口腔ケア、褥瘡ケア 早期リハビリテーション</td> </tr> <tr> <td>いづろ今村病院</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>IBD</td> </tr> <tr> <td>谷山病院</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>WLB、排泄ケア、LAI、TQM</td> </tr> <tr> <td>奄美病院</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>認知症カフェ、アルコール 医療研究、褥瘡、NST</td> </tr> <tr> <td>那之島病院</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>KYT</td> </tr> <tr> <td>栗と結の街</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>なし</td> <td>身体拘束廃止高齢者虐待</td> </tr> </tbody> </table>		摂食嚥下	感染対策	認知症ケア	緩和ケア	他	今村総合病院		○	○	○	MET、口腔ケア、褥瘡ケア 早期リハビリテーション	いづろ今村病院		○		○	IBD	谷山病院		○			WLB、排泄ケア、LAI、TQM	奄美病院		○			認知症カフェ、アルコール 医療研究、褥瘡、NST	那之島病院		○			KYT	栗と結の街	○	○	○	なし	身体拘束廃止高齢者虐待	チーム横断的活動の推進は、提供するケアの質向上に直結する。多職種連携のチーム活動を推進するとともにその効果を評価し改善するまでの情報共有が必要。
	摂食嚥下	感染対策	認知症ケア	緩和ケア	他																																									
今村総合病院		○	○	○	MET、口腔ケア、褥瘡ケア 早期リハビリテーション																																									
いづろ今村病院		○		○	IBD																																									
谷山病院		○			WLB、排泄ケア、LAI、TQM																																									
奄美病院		○			認知症カフェ、アルコール 医療研究、褥瘡、NST																																									
那之島病院		○			KYT																																									
栗と結の街	○	○	○	なし	身体拘束廃止高齢者虐待																																									

第49回フローレンス・ナイチンゲール記章を今村節子 鹿児島中央看護専門学校顧問が受章され、慈愛会看護部にとって大変誇らしく、今後更に慈愛会看護部は目標を高く掲げ、看護の質向上に向けて気を引き締め取り組んでいきたいと考えている。

2023年度は新型コロナウイルス感染症や様々な社会の影響を受け、「安定した人材確保」に苦慮した一年であった。慈愛会看護部で一丸となり毎週人材確保ミーティングを行い、具体的な活動に取り組んだ。同時に離職率低下・職場定着に取り組み、昨年度より各施設の離職率は1～2%減少し、成果が得られた。また中途入職者に関し入職後の支援マニュアルを作成し支援強化や広報活動の拡大に取り組んだ。その結果昨年度より中途入職者の離職率も低下した。看護部支援室は、看護職員人材確保と育成の役割を担っており、人材確保活動として積極的な学校訪問、広報活動、採用試験を実施しているが、鹿児島市内公的病院の人員不足や看護学校の閉校等が影響し、慈愛会外からの人員の確保が減少し、現場の負担感は大きい。これまでの人材確保活動を見直し、再度検討協議した。病院見学は可能な限り毎日開催し、応募者が自由に自己の希望する日程で申し込めるようにSNSやウェブサイトを活用した。また学生アルバイト時給を増額し看護補助者を確保、入職支度金の期間限定増額、潜在看護師への復職支援教育企画、業者登録者5,000人へのメール便発送など、取り組みを拡大した。その結果、病院見学者の増加、学生アルバイト申請増加、入職支度金を活用した入職増加など効果が見られている。引き続きより効果のある人材活動に取り組んでいく。人材不足による負担感を軽減するために周辺業務の多職種と

の協働や業務改善に取り組んでいるが、早急な対策と人材確保と離職防止対策が求められる。次年度は業務改革について、各施設5項目をリストアップし、積極的に成果目標を挙げて取り組む。それにより看護職員の働く環境改善につながり、看護ケアの充実と看護職員の働き甲斐につなげる努力をしたいと考える。

鹿児島県看護協会では鹿児島県から訪問看護供給体制確保推進事業の委託を受け、2024年度より当法人と他訪問看護ステーション2施設で新卒者訪問看護師育成を行うことになった。当法人での準備を進めるとともに、採用活動を開始し、2024年4月、笹貫訪問看護ステーション愛の街に新卒訪問看護師1名を採用できた。慈愛会看護部では初めて訪問看護ステーションで新卒看護師を受け入れるため、準備として鹿児島県看護協会新卒等訪問看護師人材育成プログラムを基本として入職後3年間の育成プログラムを作成し、プログラムへの各施設支援について看護管理者協議会で共有・協議した。また既に新卒訪問看護師を導入している長崎県の訪問看護ステーションを見学、さらに宮崎県看護協会と意見交換の場を持ち、新卒看護師から実際の新卒訪問看護師としての成長過程や教育支援の取り組み、訪問看護ステーション勤務で困ったことなどを聞き取り、受け入れ準備に活かすことができた。慈愛会看護部、慈愛会組織の協力のもと訪問看護師として大切に育み将来重要となる在宅の人々を支える訪問看護師として育成していきたい。

看護師処遇について、給与改定を機会に看護職員初任給や夜勤手当の見直しにより職員の働き甲斐につながっていくと期待できる。

2024年度は診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等

報酬のトリプル改定の年となる。診療報酬改定の背景と概略を理解し、戦略的な看護実践を行い看護部の責務を果たすことが重要である。

2024年度からの新卒訪問看護師の採用に向けて鹿児島看護協会と連携し、長崎県で新卒訪問看護師を採用している病院の視察や宮崎県の取り組み共有など行いながら、新卒訪問看護師教育プログラムを作成し受け入れ準備を進めた。

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

1. 慈愛会の急性期医療・慢性期医療・終末期医療・在宅医療の連携強化

各施設の地域連携担当者、看護部ベッドコントロール者や慈愛会連携推進会議の活動により連携は強化されている。顔の見える関係づくりも充実してきているが担当者の異動に伴い連携が中断するなどの影響が出ないよう今後更に組織化して継続できるようにする。

1) 看護管理者協議会（3回/年 7月・10月・2月開催）

慈愛会看護部長ミーティング（1回/月）

《主な協議・確認事項》

人材確保・定着、人材育成、管理者の育成、新型コロナウイルス感染症患者受け入れ状況・感染対策、働き方改革、経営参画、入院受け入れ体制、人事計画、新卒訪問看護師採用計画、看護学校の在り方等を検討協議した。

2) 慈愛会看護部教育委員会（1回/月）

新人教育、3年目研修や実習指導者・教員合同研修企画と運営等、慈愛会全体の教育活動を実践し教育レベルの質向上を図っている。新卒看護師教育プログラムに加え中途採用者のプログラムを作成し、中途入職者定着率上昇のための支援を強化した。

3) 慈愛会連携推進委員会（1回/2月）

慈愛会で用いる多職種協働のサマリーの統一化を検討しACPの導入・推進を図り地域包括ケアに関わる資質の向上のため、多職種プロジェクトによるACPを取り入れた慈愛会連携シート（案）を作成した。慈愛会の事業所間で電子カルテが異なり、連携とDX化迄に至っていないが、患者情報が適切につながるシートの作成ができた。今後運用に向けてシミュレーションで課題を明確にしながらか理解を深めながら取り組んでいく。

慈愛会連携推進会議報告

	開催日時	議題
第1回	2023/4/20（木）	1. 2022年度 各施設の連携状況について 各施設のお断り事例を分析 2. 連携シートプロジェクト立ち上げ等に関して 目的、プロジェクト期間、プロジェクトメンバーについて 3. ACPの導入、推進に関して
第2回	2023/6/15（木）	1. 各施設の連携状況について 連携状況報告 各施設のお断り事例を分析と対策 2. 第1回慈愛会連携シート作成プロジェクトミーティング報告 3. ACPの導入、推進に関して
第3回	2023/8/17（木）	1. 各施設の連携状況について 連携状況報告 お断り事例の検討 2. 連携シートプロジェクトミーティング報告 シート内の項目の選定 入力方法の検討 3. ACPの導入、推進に関して ACPに関する知識の習得・研修について
第4回	2022/10/19（木）	1. 2023年度 各施設の連携状況について 対応状況報告 お断り事例の検討 2. 連携シートプロジェクトミーティング報告 進捗状況の報告 3. ACPの導入、推進に関して 各病院の推進状況の報告
第5回	2023/12/21（木）	1. 各施設の連携状況について 対応状況報告 緊急入院相談となる可能性のある方の情報共有 2. 連携シートプロジェクトの進捗状況 慈愛会連携推進に向けての検討 3. ACPの取り組み
第6回	2024/2/22（木）	1. 2023年度 各施設の連携状況について 状況報告 2. 連携シートプロジェクトの進捗状況 連携推進シート案の共有 今後の方向性についての報告 3. ACPの取り組み

慈愛会連携シート作成プロジェクトミーティング報告

	開催日時	議題
第1回	2023/6/8 (木)	1. 連携シートの作成にあたって 2. ACP をどう連携シートに組み入れていくか 3. 様式作成
第2回	2023/7/3 (木)	1. 連携シート作成 2. ACP について 1) ACP の理解 2) どのような方法で運用 (活用) するか
第3回	2023/7/25 (木)	1. 連携シート運用・システムについての各施設からの意見 項目の確認と追加項目、選択項目変更内容
第4回	2023/8/8 (木)	1. 連携シートの項目の見直し・項目の順番 2. 入力職種の整理 3. ACP について
第5回	2023/10/3 (木)	1. 前回会議の課題 1) 自施設のシートと新たに作成したシートの項目の違いについて 2) 入力職種の『MSW』について 2. 連携シートレイアウト (案) / 連携シート記入時ガイドライン 3. FIM (機能的自立度評価表) について
第6回	2023/11/8 (木)	1. 慈愛会連携シートレイアウト (案) 項目の整理・確認 1) 項目「服薬管理」以下について検討 2) 前回会議での修正事項の確認・保留 (持ち越した) した課題検討 2. 慈愛会連携シート 記入時ガイドラインについて 1) ガイドラインの示し方について 2) ガイドラインの内容検討
第7回	2023/12/19 (火)	1. 慈愛会連携シート記入時ガイドラインについて 1) ガイドラインの内容検討 2) 提案事項
第8回	2024/1/16 (火)	1. 慈愛会連携シートについて 1) シート後半部分のガイドライン及び記載項目検討 2) 運用に向けた今後のスケジュール
第9回	2024/2/26 (月)	1. 慈愛会連携シート記入時ガイドラインについて 1) SE との話し合い報告 2) シートおよびガイドライン記載内容の確認 3) 試験運用アンケート 4) 今後のスケジュール
第10回	2024/3/21 (木)	1. 慈愛会連携シート試験運用状況報告 1) 運用報告 2) アンケート結果報告 3) 改善点の明確化 4) 改善策 5) 今後の計画

2. 在宅事業部 (訪問診療・看護) の機能強化

2023年7月に徳之島病院訪問看護ステーション「わたりどり」が開設された。これまで以上に沖永良部島・与論島訪問の回数を増加し在宅療養を支える体制が整った。訪問件数も増加し経営的安定が図られている。今後は人員増加し在宅ニーズに応じていく。笹貫訪問看護ステーション愛の街・奄美病院訪問看護ステーションイルカ・徳之島病院訪問看護ステーションわたりどりの3訪問看護ステーション会議を定期開催し、訪問看護部の経営状況の共有と対策や看護の質に関する協議を行い経営向上に努めている。

3. 看護師確保について

- 1) 採用試験実施 (年4回開催 5月、8月、11月、1月)

定期採用試験は4回、臨時採用試験は2回実施した。受験者数は前年度と比べ減少した。要因は鹿児島市内公的病院看護師確保の影響があると考えられる。退職者数は大きく変化がないため、新年度は人員不足のスタートとなる。急性期病院では2年目～5年目未満の離職が多いため中堅看護師の負担が大きい。今年度急性期病院における勤務継続意志に関する実態を調査・分析し、看護師が働き続けられるための方策を明らかにする看護研究に取り組んだ。調査施設においては人材不足による負担感が大きく影響していることがわかった。まずは施設基準を充足する安定した人材確保と働きやすい職場環境への取り組みが必須である。2024年度は職場環境改善に関して各施設が次年度必ず成果を出す改善項目として

5項目を掲げ、職場改善・改革に取り組む方針である。

大学生の入職促進のために就職活動開始時期や就職決定要因、就職決定時期等について大学卒入職者アンケートを実施した。その結果大学生の就職活動の時期は3年次から始まり、4年生の4・5月が就職先の決定時期であることがわかった。そのため2024年度は採用試験回数を6月に1回増やして5回開催し、採用試験を受けやすい環境とする。またこれまで就職説明会を4月中旬か月末に企画していたが、就職先決定前の3月に企画し、慈愛会を知ってもらう機会を作り就職決定に繋がりたいと考える。

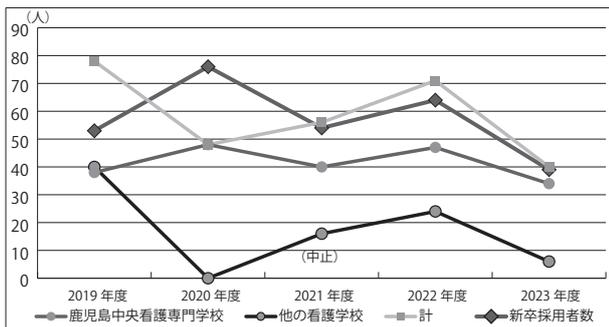
2) 採用活動

主な採用活動として慈愛会就職説明会、学校訪問、業者によるガイダンスを活用し人材確保に努めた。慈愛会看護部一丸となって取り組み、看護部支援室中心であった活動を慈愛会看護部へ再体制を整

え、ガイダンス活動なども担当を決め、全施設が関わるような人材活動となった。2023年1月より週1回、人材確保活動ミーティングを開催し就職ガイダンスの内容や方法について協議し人材確保に関する準備が活性化している。慈愛会看護部への就職に繋がられるようにしていきたい。2024年度は鹿児島県内に限らず県外（福岡、長崎、佐賀、大分、熊本、宮崎方面）リクルート活動を積極的に行う。看護大学との連携を深めていくことでリクルートに繋がっていききたい。

慈愛会奨学金制度の見直しと看護学生向け奨学金制度が新たに制定され、看護大学や専修学校で学ぶ看護学生への奨学金の拡大を行い、ウェブサイトや学校訪問等で広報した。早速看護大学生の申請があり着実に将来への人員確保につながった。今後さらに広報を強化し、慈愛会入職者獲得に努める。

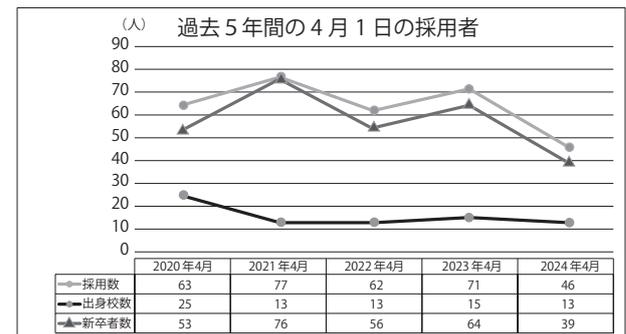
慈愛会主催就職説明会の来場者状況（過去5年間）



	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
鹿児島中央看護専門学校	38	48	40	47	34
他の看護学校	40	0	16	24	6
計	78	48	56	71	40
新卒採用者数	63	53	76	56	64

※2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の為
鹿児島中央看護専門学校以外の学生への就職説明会は未実施
※2021年度は感染対策の為鹿児島中央看護専門学校と他の看護学校の2回に分けて開催
※2023年度は学校主催のガイダンスが増加し、慈愛会就職説明会への参加が減少したと考えられる

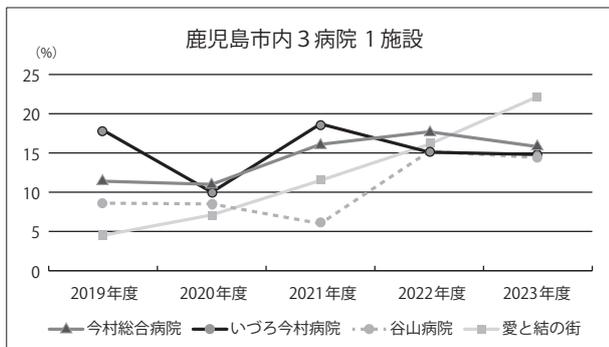
看護師採用状況



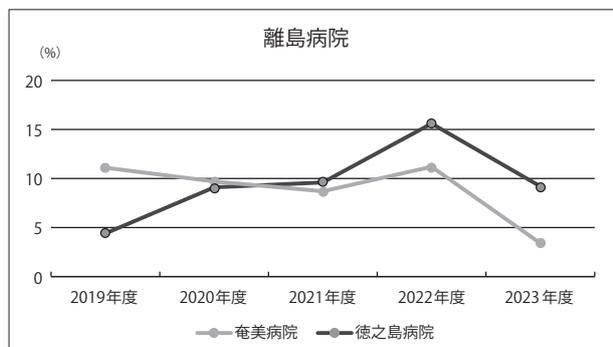
過去5年間の4月1日の採用者（病院別）

	2020年4月	2021年4月	2022年4月	2023年4月	2024年4月
今村総合病院	45	50	43	45	24
いづろ今村病院	9	9	7	13	8
谷山病院	6	12	7	10	5
奄美病院	1	2	2	2	6
徳之島病院	2	4	3	0	1
愛と結の街	0	0	0	0	1
訪問看護愛の街	0	0	0	1	1

離職率状況



	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
今村総合病院	11.4	11.0	16.1	17.7	15.8
いづろ今村病院	17.9	10.0	18.7	15.1	14.8
谷山病院	8.6	8.5	6.0	15.2	14.4
愛と結の街	4.5	7.1	11.5	16.1	22.2



	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
奄美病院	11.1	9.7	8.7	11.2	3.4
徳之島病院	4.4	9.1	9.6	15.6	9.2

合同研修会

2023年度 管理者・職員・臨床実習指導者研修会一覧

	開催月日	対象者	研修目的	目標	研修評価 (レポート・評価表)	研修プログラム	開催場所	参加者数	
管理者研修	1	2023年10月27日(木) 2024年2月2日(金)	全看護部長	人材育成能力・人的資源活用能力向上	1) 看護管理者の能力開発における現状と課題が明確にできる 2) 慈愛会全体の看護管理者能力開発について方針を明確にできる 3) トップマネジャーとしてマネジメントラダーのねらいと施設の人材育成に関する方針を明確にできる 4) トップマネジャーが看護職員能力開発プログラムについて理解を深め、現状の問題を明らかにし改善できる 5) 看護職員能力開発プログラム活用へのマネジャーの方針を明らかにし管理実践計画が立案できる 6) JNA マネジメントラダーの理解を深め、慈愛会マネジメントラダーの再構築ができる	BSC達成状況確認	看護部長企画BSC評価 今後の方向性検討 1) 慈愛会内地域包括ケアシステムの推進。在宅医療の推進 2) 看護職が安心して働き続けられる魅力ある職場づくり推進 3) キャリア支援(看護管理者、看護師、介護福祉士、ナースエイド) 4) 新卒訪問看護師受け入れ体制	かごしまオハナビル3階 中会議室	いづろ:1名 総合:1名 谷山:1名 庵美:1名 徳之島:1名 愛結:1名 本部:1名 合計:7名
	2	2023年12月1日(金) 8:30-17:30	慈愛会に勤務する副看護部長 8名	副看護部長としてのマネジメント力を高める	1) 施設の看護サービス向上への自己課題を明確にし、行動できる 2) 施設の人材育成に積極的に関与できる 3) マネジメントラダー(副看護部長職)の理解と今後の課題が明確にできる	【事前レポート】 ①「看護師長の育成に係る現状と課題」 ②看護師長育成に関する1～2文献をコピーし研修当日の朝に持参する ③マネジメントラダー 副看護部長職評価 【事後レポート】 ①研修受講後、看護師長会で研修内容を伝達 ②伝達内容を「研修後伝達用紙」に記載し提出	【講義①】看護管理者のキャリアアップ 【講義②】認定看護管理者教育課程サードレベル研修を受講して 【先輩管理者の語り】 【看護師長の育成・支援】 ①自己レポートについて発表 「看護師長育成に関する現状と課題」3つのキーワードを基に発表 ②グループワーク 「副看護部長として看護師長育成に積極的に関わるために」 ※看護師長育成に関する文献紹介 ③グループ発表・意見交換 【第5回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会 第2部企画ラダーレベルVチャレンジャーへの支援】 2024年5月までのスケジュール 昨年度に追加し、更に工夫する点、指導において深めたい点等 グループ発表	かごしまオハナビル3階 大会議室	いづろ:1名 総合:2名 谷山:1名 庵美:1名 愛結:1名 合計:6名
	3	2023年7月14日(金) 8:30-17:30	2022年7月以降、看護師長に昇任した者	看護師長の役割を認識し、中間管理者としての資質の向上を図る	1) 看護師長の役割と自覚が芽生え、目標管理を実践できる。 2) 看護師長としての能力を自己評価し、自己の課題が明確になる。 3) マネジメントラダーII認定に向けた、自己の課題と取り組みを立案し実践できる。 4) 看護管理に必要な専門的知識を修得し、実践に活かすことができる。	【事前レポート】 ①「働き方改革」 自部署の看護記録による超過勤務の現状の分析と課題 ※上記テーマで取り組みが困難な部署に配属された方は働き方改革に関するテーマであれば他でも可。 【事後課題】 研修受講後、看護師長会で研修内容を伝達 伝達内容を「研修後伝達用紙」(別紙)に記載し提出	7/7の初期キャリア支援研修「人事考課」「チャレンジプラン」「自院の財務状況の把握」を事前に受講 【グループワーク①】 看護師長となって想うこと～想いを吐き出そう～ 先輩看護管理者の語り 【看護を語る】 【講義①】労務管理について 【講義②】組織が求める看護師長への期待 【講義③】マネジメントラダーと管理者に求められる資質 【グループワーク②】 「現状の課題(事前レポート)に向けた今後の取り組み・マネジメントラダーレベルIIを達成するために」 具体的行動目標・計画 グループ発表	かごしまオハナビル3階 大会議室	いづろ:3名 総合:1名 谷山:2名 庵美:1名 在宅:1名 合計:8名
	4	2023年11月18日(土) 8:30-17:30	公益財団法人慈愛会に所属する副看護師長(新任副看護師長除く)	副看護師長の役割を理解し、中間看護管理者としての資質向上を図る	1) 実践モデルとしての副看護師長の役割を認識できる。 2) 部署の問題を分析し、看護サービスの向上への取り組みができる。 3) 新型コロナウイルス感染症対策の実践(ゾーニング、標準予防策)を習得しスタッフ育成に活用できる。 4) マネジメントラダーレベルIの自己の課題に取り組むことができる。	【事前レポート】 ①看護部管理目標「働きかた改革～記録による時間外勤務ゼロプロジェクト～tudo記録 soku記録で看護をつなぐ」に関する取り組み、「看護管理実践計画」の1.テーマ選定理由～6.アクションプランまでをまとめる(別紙参照) ②管理者に求められる資質評価・マネジメントラダーI評価 【研修後課題】 ①テーマ「研修を通しての学び」 A4用紙1枚に800字程度、テーマ、所属部署、氏名、内容を記入 ②研修を受講して「看護管理実践報告」(～8.まとめまで)をまとめる。	【今村節子先生に学ぶ】 第49回フーロレンス・ナイチンゲール記章受章典典に参加して 【ワーク・発表】 ①報告を受けての感想 ②看護の伝承のために私に出来ること 【講義】「感染症対策(新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ対応等)の基本的知識とスタッフ指導」 適切な感染対策を習得し率先してスタッフ教育を実践し、予測に備える。 【感染対策に関する取り組み発表】 ①今村総合病院「新たなチームの立ち上げと安全な感染対策へのリーダーシップを経験して」 ②愛と結の街「高齢者・家族を尊重した関わりの中での感染対策(感染発生、拡大させないために)」 【ワーク・発表】 講義と取り組みを聞いて意見交換・発表 【発表】「働き方改革の取り組み」6例 【グループワーク】 ①各自の進捗状況発表及び意見交換(お互いの気づいたこと) ②各施設発表と看護アワード事例に学び自己の取り組みを今後どう進めていくか 【グループ発表】	慈愛会ビル3F会議室 4F会議室	いづろ:7名 総合:30名 谷山:12名 庵美:8名 徳之島:3名 愛結:1名 在宅:1名 合計:62名
	5	2023年7月7日(金) 13:30-17:30	2022年7月～2023年6月の期間に副看護師長に昇任した者	副看護師長の役割を認識し、中間看護管理者としての資質の向上を図る	1) 副看護師長の役割を認識できる。 2) 副看護師長としての資質を自己評価し、自己の課題が明確になる。 3) 看護師長の補佐としての自覚が芽生え、自部署の目標達成の意義が理解できる。	【事前レポート】 1) テーマ「副看護師長となり看護師長の補佐として取り組んでいることと直面している課題」 2) マネジメントラダーレベルI評価表(自己評価のみ) 【事後レポート】 1) テーマ「マネジメントラダーレベルIを達成するために行動変容すること」 2) マネジメントラダーレベルI評価表(自己評価のみ)	【グループワーク①】 「事前レポートと初期キャリア支援研修の学びを通して副看護師長として思うこと」 【先輩看護管理者の語り】 【講義①】「マネジメントラダーレベルIの理解」 【講義②】 マネジメントラダーレベルI評価集計データ 【グループワーク②】 「マネジメントラダーレベルIを達成するための具体的な行動について」 【研修のまとめ】	かごしまオハナビル3階 大会議室	いづろ:2名 総合:2名 谷山:2名 庵美:1名 合計:7名

	開催月日	対象者	研修目的	目標	研修評価 (レポート・評価表)	研修プログラム	開催場所	参加者数
職員研修	【1回目】 2023年 10月28日 (土) 8:30-17:30	卒後3年目 看護師 57名	看護理論を活用して危 急状態の看護実践がで きる看護士の育成	1) 危機的状態の患者・家 族の心理や受容過程を理 解する 2) 危機のプロセスに応 じた看護介入方法を学 ぶ 3) 学んだことを今後の 看護実践で活かすこと ができる	【事前課題】 ①振り返りシート ②振り返りシート閲覧：研 修前日までにグループ内 の振り返りシートを閲 覧する。 【事後課題】 ①実践レポート：研修で 学んだことを実践し、感 じたことをまとめる	【講義①】「危機的状態の 患者家族の看護」 Ⅰ. 発病による危機のプロ セスの理解 Ⅱ. 発病による危機のプロ セスに沿ったケア Ⅲ. 発病による危機のプロ セスに沿ったケア Ⅳ. 再発・転移時の心理 とケア 【講義②】「対象者の全 人的理解」 個人ワーク：「対象者の 理解シート」「受講後の 学びシート」 講義での学びを活かし たリフレクション (1) 患者・家族の心理、 受容過程 (2) 危機のプロセスに 応じた看護介入方法 【グループワーク①】 大切にしたい看護を語 り合う 危機的状態の患者・家 族の心に届くケアにつ いて考える 【グループワーク②】 学んだことを実践につ なげるために 1) 具体的行動として “堪忍袋の緒を解く声 かけ”を考える 2) グループ毎に発表 3) 意見交換	かごしま オハナビル 3階 大会議室	【1回目】 総合：19名 いづろ：3名 谷山：4名 計：26名 【2回目】 総合：20名 いづろ：2名 谷山：6名 奄美：2名 徳之島：1名 計：31名 合計：57名
	【2回目】 2023年 11月11日 (土) 8:30-17:30	総合39名 いづろ5名 谷山10名 奄美2名 徳之島1名	基礎教育において質の 高い臨床実習環境を提 供するための実習指導 者・教員の育成	1) 臨床実習における学 生に、効果的な指導方 法を見出すことが出来 る。 2) 臨床実習において、 学生が、自ら考え、気 づき、学ぶようなわか りやすい方法を考える ことができる。 3) 指導者と教員が互 いに学びあい、学生指 導に対する関係性の重 要性を理解できる。	臨床実習指導において 現在、「学生の臨床実習 環境を整えるために私 はどのように関わって いるか」考えてくる。 実習指導者や教員が指 導困難を感じる現状と 実際に取り組んでいる ことについて考えてく る。	【講義】 「臨床実習における 看護管理者・教員・実 習指導者の役割」 ～生き生きと学べる 実習環境作り～ 【グループワーク】 テーマ「生き生きと学 べる実習環境作り」 グループ発表・質疑 応答 【講義】 「配慮が必要な学生 の特徴・対応について」 【グループワーク】 テーマ「指導に困難を 感じた学生への対応」 グループ発表・質疑 応答	慈愛会ビル 3F会議室 4F会議室	いづろ：11名 総合：36名 谷山：20名 愛結：6名 在宅：4名 鹿中看9名 本部：3名 リモート 奄美：13名 徳之島：2名 合計：104名
臨床実習	第1回 2023年 4月15日 9:00-12:30	慈愛会の実 習指導者 教育担当 副看護部長 教育担当 看護師長 副看護師長 看護師長 副看護部長 看護師長 副看護部長 鹿児島中央 看護専門学校 専任教員	基礎教育において質の 高い臨床実習環境を提 供するための実習指導 者・教員の育成	1) 臨床実習における学 生に、効果的な指導方 法を見出すことが出来 る。 2) 臨床実習において、 学生が、自ら考え、気 づき、学ぶようなわか りやすい方法を考える ことができる。 3) 指導者と教員が互 いに学びあい、学生指 導に対する関係性の重 要性を理解できる。	臨床実習指導において 現在、「学生の臨床実習 環境を整えるために私 はどのように関わって いるか」考えてくる。 実習指導者や教員が指 導困難を感じる現状と 実際に取り組んでいる ことについて考えてく る。	【講義】 「臨床実習における 看護管理者・教員・実 習指導者の役割」 ～生き生きと学べる 実習環境作り～ 【グループワーク】 テーマ「生き生きと学 べる実習環境作り」 グループ発表・質疑 応答 【講義】 「配慮が必要な学生 の特徴・対応について」 【グループワーク】 テーマ「指導に困難を 感じた学生への対応」 グループ発表・質疑 応答	慈愛会ビル 3F会議室 4F会議室	いづろ：11名 総合：28名 谷山：20名 愛結：7名 奄美：15名 徳之島：2名 鹿中看：13名 支援室：3名 合計：99名
	第2回 2023年 10月14日 11:00-12:30	教育担当 副看護部長 教育担当 看護師長 副看護師長 看護師長 副看護部長 看護師長 副看護部長 鹿児島中央 看護専門学校 専任教員	基礎教育において質の 高い臨床実習環境を提 供するための実習指導 者・教員の育成	1) 臨床実習における学 生に、効果的な指導方 法を見出すことが出来 る。 2) 臨床実習において、 学生が、自ら考え、気 づき、学ぶようなわか りやすい方法を考える ことができる。 3) 指導者と教員が互 いに学びあい、学生指 導に対する関係性の重 要性を理解できる。	臨床実習指導において 現在、「学生の臨床実習 環境を整えるために私 はどのように関わって いるか」考えてくる。 実習指導者や教員が指 導困難を感じる現状と 実際に取り組んでいる ことについて考えてく る。	【講義】 「臨床実習における 看護管理者・教員・実 習指導者の役割」 ～生き生きと学べる 実習環境作り～ 【グループワーク】 テーマ「生き生きと学 べる実習環境作り」 グループ発表・質疑 応答 【講義】 「配慮が必要な学生 の特徴・対応について」 【グループワーク】 テーマ「指導に困難を 感じた学生への対応」 グループ発表・質疑 応答	慈愛会ビル 3F会議室 4F会議室	いづろ：11名 総合：28名 谷山：20名 愛結：7名 奄美：15名 徳之島：2名 鹿中看：13名 支援室：3名 合計：99名

技能・能力向上に向けた取り組み

キャリア開発

1. 看護師のキャリア開発ラダー取得状況 (表1)

各施設の計画的な教育支援により、看護職員能力開発プログラムの活用とキャリアラダーの取得への推進が図られキャリアアップ支援につながっている。またラダーレベルⅣ・Ⅴの取得者が慈愛会学会学術集会へ積極的に発表するなど看護研究への取り組みの機会となっている。今村節子先生の第49回フローレンス・ナイチンゲール記章受章を記念し、今村節子賞を創設していただき、看護職の優れた発表に対し慈愛会学会学術集会において第1回の表彰がされた。受賞により今後のやりがいやモチベーションの維持、更なる意欲につながっていくと考えられる。

2. J-seatyナース研修

2023年度は8コースすべてのコースを開催できた。慈愛会全体で49名が参加し、年々参加者は増加している。受講者が多いコースは感染管理とフィジカルアセスメントであり、基本的なスキルの習得や看護判断に必要な知識の習得を求めている。各コース、毎年内容の見直しを行い充実している。多職種協働で企画されており、各病

院での取り組みに発展している。研修生は意欲的に学び、知識技術を習得すると共に自施設に還元することで組織全体の質向上につながっている。引き続き研修受講者を増やしながら充実した研修を実施していきたい。

3. 認定看護師その他の資格保有状況 (表2)

4. 看護管理者の育成とマネジメントラダーレベル認定状況 (表3, 表4)

看護部長会では意図的な管理者育成のためマネジメントラダーの取り組みを活性化できるよう看護管理者への意図的な支援を実施しておりマネジメントラダーの周知を図りながら申請認定への支援を行った。

2023年度はマネジメントラダーレベルⅠ・Ⅱの認定要件に離島看護管理の実際を体験し、慈愛会全体を理解し看護管理の知識技術を習得できることを目標として掲げた。

自施設に留まらず地域を見据えた管理について学び視点を広げ今後も看護管理の質の向上に取り組んでいく。

2023年度 J-seatyナース研修一覧

研修名	開催月日	対象者	研修目的	目標	研修評価 (レポート・評価表)	研修プログラム	開催場所	参加者数
1 離島における精神科看護 南三島精神科訪問看護と地域・行政とのかわり	7/12-7/14	①各施設から1名可能な人数 ②研修企画施設は自施設からの自主参加や多職種も研修受講可能 ③臨床経験：看護師経験3年以上 ④精神科看護を学びたいという希望があり、看護師長の推薦があるもの	慈愛会の強みを生かした他施設の専門性の高い医療の現場で学び、自己の知識・技術・態度など専門能力を向上し、自施設においてチーム医療におけるリーダーシップを発揮できる。	①徳之島の特性と地域における精神病院の役割、機能が理解できる。 ②精神医療における治療薬とその管理について理解できる。 ③精神医療における治療と看護について理解できる。 ④精神科リハビリテーション、栄養について理解できる。 ⑤精神科訪問看護の役割と活動の実際が理解できる。 ⑥長期入院患者への退院促進に向けた多職種連携について理解できる。	【事前レポート】 「精神科看護研修で学びたいこと・自己の課題」 【事後レポート】 「精神科看護研修での学びと自施設での具体的活用」	【7/12(水)】 ・徳之島病院の役割 ・離島での薬剤管理 ・精神保健福祉士の役割 ・精神科リハビリテーション ・治療と栄養 ・訪問看護研修(訪問看護情報収集) 【7/13(木)】 ・訪問看護・リフレクション 【7/14(金)】 ・病棟シャドー ・デイケア体験 ・グループワーク、発表・意見交換・学びの共有	徳之島病院	いづろ：1名 奄美：1名 合計：3名
2 感染管理	8/30-9/1	①各施設から1～2名(可能な人数) ②全プログラムを受講可能であること(受講後修了証発行) ③興味のある内容へのスポット参加や他職種の受講も可(自己研鑽扱い) ④臨床経験：看護師経験3年以上 ⑤所属部署長の推薦があるもの	自施設の特性を考慮した感染管理について考えると共に、自己の知識・技術・態度など専門職業者として向上を図ることができる。	①感染管理の重要性を理解できる ②感染予防対策の基本を理解し、実践することができる ③自施設の背景を考慮し、感染対策を実施することができる	【事前レポート】 「感染管理研修で学びたいことは自施設の課題」 【事後レポート】 「感染管理学びと自施設での具体的活用」	【8/30(水)】 ・感染予防策の基本 ・標準予防策/手指衛生の基本 ・個人防護具の使用基準と着脱 ・感染経路別予防策/微生物 ・感染症/新興感染症 ・感染管理とマネジメント ・職業感染防止の実際 ・情報交換/交流会 【8/31(木)】 ・結核/空気予防策 ・COVID-19の感染対策 ・医療関連感染サーベイランス ・検体採取について ・ファシリティマネジメント ・N95マスクフィットテスト ・個人防護具の着脱 ・病院見学 【9/1(金)】 ・洗浄/消毒/滅菌 ・精神科看護における感染対策 ・感染症/抗菌薬適正使用 ・グループワーク/発表	今村総合病院	いづろ：4名 総合：3名 奄美：1名 愛結：3名 合計：11名
3 老健・在宅	10/23-10/25	①各施設から1～2名(可能な人数) ②研修企画施設は自施設からの自主参加や多職種も研修受講可能 ③臨床経験：看護師経験3年以上 ④在宅・地域連携を学びたい希望があり、看護師長の推薦があるもの	慈愛会の強みを生かした他施設の専門性の高い医療介護の現場で学び、自己の知識・技術・態度など専門能力を向上し、自施設においてチーム医療におけるリーダーシップを発揮できる。	①介護保険制度について理解できる。 ②地域包括ケアシステムにおける在宅支援部(訪問看護ステーション愛の街)・老健・居宅の役割と機能、在宅支援の取組について理解できる。 ③高齢者及び認知症の理解と家族支援について理解できる。 ④愛と結の街での多職種協働連携について理解できる。 ⑤地域の社会資源と地域連携について理解できる。	【事前レポート】 「在宅看護・老健研修で学びたいこと・自己の課題」 ※認知症ケアでの困難事例など 【事後レポート】 「在宅看護・老健研修での学び及び学びを自施設での具体的活用」	【10/23(月)】 ・愛と結の街の概要 ・介護保険制度と鹿児島県の現状について ・老健におけるリハビリテーションと栄養マネジメント ・自立支援に向けたケア ・居宅におけるケアマネジメント ・DVD視聴 【10/24(火)】 ・認知症の理解とその家族 ・グループワーク ・訪問看護とは ・在宅看護 【10/25(水)】 ・訪問看護の実際	愛と結の街	総合：4名 いづろ：2名 わたりどり：1名 合計：7名
4 フィジカルアセスメント	9/27-9/29	①各施設から1～2名(可能な人数) ②研修企画施設は自施設からの自主参加や多職種も研修受講可能 ③全プログラムを受講可能なもの(自主参加者は希望する内容だけでも受講可) ④臨床経験看護師経験3年以上 ⑤急性期看護を学びたい希望があり、看護師長の推薦があるもの	慈愛会の強みを生かした他施設の専門性の高い医療の現場で学び、自己の知識・技術・態度など専門能力を向上し、自施設においてチーム医療におけるリーダーシップを発揮できる。	①患者の安全を守り重症化を未然に防ぐために、急変の前の小さな予兆に気づく能力を養うことの重要性を理解できる。 ②急変の前の小さな予兆に気づくためのフィジカルアセスメントの技術を習得できる。 ③急変などの緊急事態の際に、適切に必要な行動を理解でき、実践できる。 ④急変などの緊急事態の際に備えて、物品や環境、心構えなどの日頃から準備の必要性を理解でき、備えることができる。 ⑤急性期病院における患者の特徴をふまえ、チーム医療や看護の役割を理解することができる。 ⑥研修を通し、施設間の親睦と交流を図ることができ、今後の連携に役立てることができる。	【事前レポート】 「研修で学びたいこと・自己または自施設の課題」 【事後レポート】 「研修での学びと自施設での具体的活用」	【9/27(水)】 ・「フィジカルアセスメント」呼吸・循環・脳神経 ・誤嚥性肺炎の予防ケアを考える 【9/28(木)】 ・病院見学 ・講義/実技「急変を未然に防ぐためのフィジカルアセスメント概要」「急性期患者に対する看護ケア」「急性期病院における多職種チーム医療の実際」 【9/29(金)】 ・急変時の初期対応① ・心停止の認識とBLS ・質の高いCPRとは ・急変時におけるABCD ・急変時の初期対応② ・効果的チームダイナミクス ・急変に備えておきたい準備 ・災害時の対応を考える ・講義/GW「敗血症の初期対応を考える」 ・まとめ/発表/質疑応答 本研修の学び ・研修前の目標の達成度 ・自己の変化と今後の抱負	今村総合病院	いづろ：4名 総合：5名 谷山：2名 愛結：1名 奄美：1名 徳之島：1名 合計：15名

部門別 総括 看護部門

研修名	開催月日	対象者	研修目的	目標	研修評価 (レポート・評価表)	研修プログラム	開催場所	参加者数
5 緩和ケア	10/2-10/4	①各病院から1名(可能な人数) ②研修企画施設は自主参加や多職種も受講可能 ③臨床経験3年以上 ④緩和ケアを学びたいという希望があり、看護師長の推薦があるもの	慈愛会の強みを生かした他施設の専門性高い医療の現場で学び、自己の知識・技術・態度など専門能力を向上し、自施設においてチーム医療におけるリーダーシップを発揮できる。	①緩和ケアの概念を理解し、症状緩和とQOL向上を目指した療養生活を支援するための基本的な考え方や技術を理解できる。 ②患者を全人的にとらえる必要性が理解でき、関わり方を意識することができる。 ③患者・家族とのコミュニケーションスキルを理解し深めることができる。 ④緩和ケア病棟の役割と、病棟で行われている看護の実際を理解できる。 ⑤緩和ケアにおけるチームアプローチについて理解できる ⑥患者・家族の希望に沿った入退院支援、地域で支えるための医療資源とその活用について理解できる。	【事前レポート】 「緩和ケア研修で学びたいこと・自己の課題」 【事後レポート】 「緩和ケア研修での学び及び自施設での具体的活用」	【10/2(月)】 ・緩和ケア概論・痛みのマネジメント・症状マネジメント(消化器症状・呼吸困難感・倦怠感・せん妄)・アロマセラピー(実技)・リンパマッサージ(実技) 【10/3(火)】 ・病棟実習 緩和ケア病棟概要・デスカンファレンス ・特別講演「がん患者の家族への支援」 【10月4日(水)】 ・病棟実習 コミュニケーションスキル・がん治療におけるチームアプローチ・リフレクション ・J-seatyナース研修の学び(グループワーク)	いづろ 今村 病院	総合:2名 奄美:2名 合計:4名
6 看護基礎教育	9/12-9/14	①希望者 ②自施設から多職種も研修受講可能 ③看護師実務経験3年以上 ④看護基礎教育について興味を持ち、所属長の推薦があるもの	慈愛会の強みを生かした他施設の専門性高い医療、教育の場で学び、自己の知識・技術・態度など専門能力を向上させ、自施設においての人材育成に活用できる。	①鹿児島中央看護専門学校における看護教育の特徴、考えた方を理解できる。 ②授業参加や学年教員との関わりを通して成人学習者の支援方法を知る ③看護基礎教育における新たな教育方法や活用方法を理解できる ④教員との交流を通して看護教育に対する関心を高めることができる	【事前レポート】 「看護基礎教育研修(教員研修)で学びたいこと・自己の課題」 【事後レポート】 「看護基礎教員研修(教員研修)の学び、及び学びの自施設での具体的活用」	【9/12(火)】 ・本校教育の特徴・基礎看護技術Ⅲ講義のねらい・方法の理解・講義(洗髪の実技)参加・SHR・1日のまとめ 【9/13(水)】 ・実習関連会議に参加・臨地実習の考え方・リフレクション/ループリック評価・職員との交流会・SHR見学・1日の振り返り 【9/14(木)】 ・SHR見学・成人学習者の理解/コーチング・看護教員への道・看護基礎教育の新たな教授法・2年生との交流・教育研修の振り返り・SHR/1年生へのメッセージ	鹿児島 中央看護 専門学校 看護科	いづろ:2名 総合:1名 谷山:1名 合計:4名
7 離島を含む精神医療	7/12-7/14	①各病院から1~2名 ②研修企画施設は自施設から自主参加や多職種も研修受講可能 ③臨床経験:看護師経験3年以上 ④離島の精神科医療に関心があり、看護師長の推薦があるもの	慈愛会の強みを生かした他施設の専門性高い医療の現場で学び、自己の知識・技術・態度など専門能力を向上し、自施設においてチーム医療におけるリーダーシップを発揮できる。	①奄美大島の特性と地域における精神科病院の役割、機能が理解できる。 ②急性期治療病棟における看護の役割について理解できる。 ③長期入院患者への退院促進に向けた多職種連携について理解できる。 ④精神科リハビリテーションについて理解できる。 ⑤地域生活を支援する社会資源活用について理解できる。 ⑥精神科訪問看護の役割と活動の実際が理解できる。 ⑦地域包括ケアシステムにおける看護の継続と連携の重要性が理解できる。	【事前レポート】 「精神科看護研修で学びたいこと・自己の課題」 【事後レポート】 「精神科看護研修で学んだこと・今後活かしたいと思ったこと」	【7/12(水)】 ・オリエンテーション・病院見学・地域包括ケアシステムにおけるデイケアの役割・精神科看護の実際/急性期治療病棟の役割・グループホームの役割について 【7/13(木)】 ・他施設間の連携の実際を学ぶ・訪問看護における在宅での生活継続支援・意見交換会 【7/14(金)】 ・精神科看護の実際・指定障害者福祉サービス事業所の見学・認知症患者の看護・研修のまとめ/学びの共有	奄美病院	総合:1名 奄美:1名 合計:2名
8 最新の精神医療	7/25-7/27	①各病院から1名(可能な人数) ②研修企画施設は自施設から自主参加や他職種も受講可能 ③臨床経験:看護師経験3年以上 ④精神科看護を学びたい希望があり、看護師長の推薦があるもの	慈愛会の強みを生かした他施設の専門性高い医療の現場で学び、自己の知識・技術・態度など専門能力を向上し、自施設においてチーム医療におけるリーダーシップを発揮できる。	①最新の精神医療における治療について理解できる。 ②最新の精神医療における治療と看護について理解できる。 ③最新の精神医療における治療とリハビリテーションについて理解できる。 ④最新の精神医療における多職種協働について理解できる。 ⑤精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの活用について理解できる。	【事前レポート】 「精神科看護研修で学びたいこと・自己の課題」 【事後レポート】 「精神科看護研修での学び及び学びを自施設での具体的活用」	【7/25(火)】 ・病院見学・これからの精神科医療と精神保健福祉法・精神科領域における服薬指導の実際・精神科領域における栄養管理の実際・結核について・心理療法・行動制限最小化看護・デイケア見学・精神科作業療法・リフレクション 【7/26(水)】 ・発達障害と看護・統合失調症・感情障害疾患と看護・認知症疾患と看護・谷山病院のあゆみ・精神科医療における治療の実際・アルコール依存症と看護・地域包括ケアシステム・地域移行支援/社会復帰施設の役割・リフレクション 【7/27(木)】 ・精神科における感染管理・タクトイールケア・病棟シャドロー・病棟カンファレンス見学・グループワーク学びの共有	谷山病院	総合:1名 奄美:2名 鹿中:1名 合計:3名

各種指標

(表1) 2023年度 慈愛会看護部 看護師キャリア開発ラダー認定状況

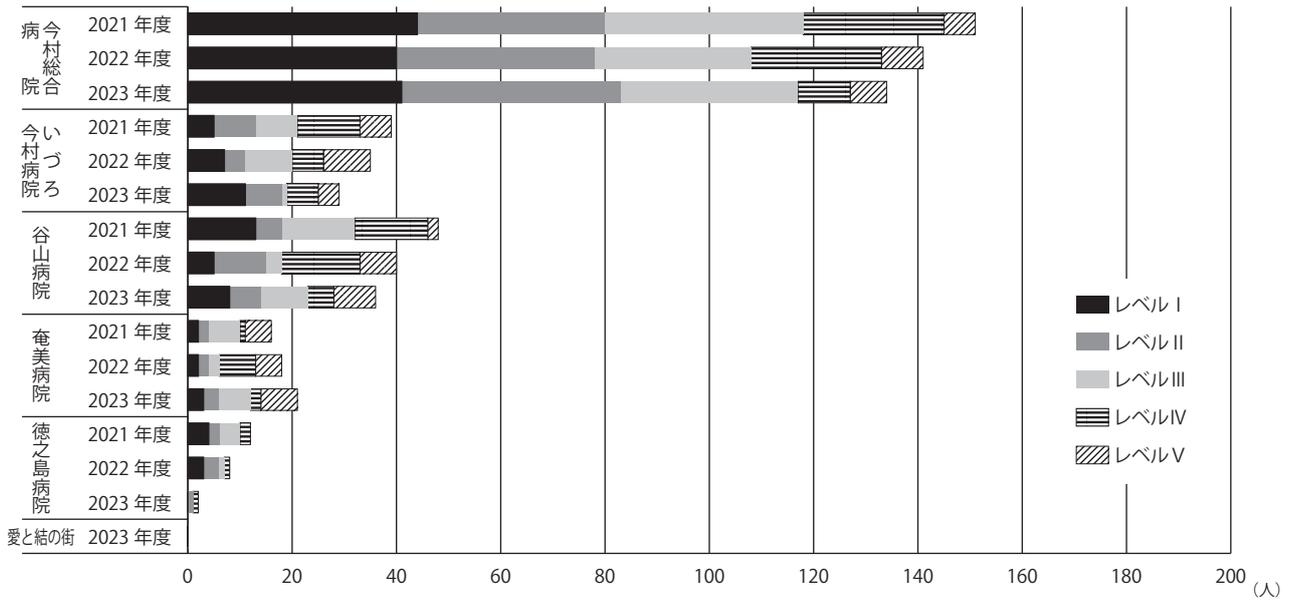
		1. 認定申請率 ※対象者に対する		2. 全体の認定率 ※対象者に対する		3. 今年度の認定合格率 ※申請者に対する		4. 認定合格者 (数)	5. 今年度の対象者 (数) ※看護管理者除外 全体の対象者 (数) ※看護管理者除外	6. これまでに1回も 申請がない(人数) これまでに1回も 認定されていない (人数)
		対象者の中で 申請者数	申請率	対象者の中で 認定者数	認定率	申請者のうち 認定合格者数	合格率			
今村総合病院	今年度の 新たな認定者・更新者	230	83.9%	134	48.9%	134	58.3%	134	274	0
	全体の認定者	296	100.0%	296	100.0%	223	75.3%	296	296	0
いづろ今村病院	今年度の 新たな認定者・更新者	65	106.6%	29	47.5%	29	44.6%	29	61	0
	全体の認定者	62	100.0%	62	100.0%	35	56.5%	62	62	0
谷山病院	今年度の 新たな認定者・更新者	75	80.6%	37	39.8%	37	49.3%	37	93	0
	全体の認定者	82	100.0%	82	100.0%	78	95.1%	82	82	0
奄美病院	今年度の 新たな認定者・更新者	26	83.9%	21	67.7%	21	80.8%	21	31	0
	全体の認定者	34	100.0%	34	100.0%	32	94.1%	34	34	0
徳之島病院	今年度の 新たな認定者・更新者	2	100.0%	2	100.0%	2	100.0%	2	2	0
	全体の認定者	2	100.0%	2	100.0%	2	100.0%	2	2	0
全体	今年度の 新たな認定者・更新者	398	86.3%	223	48.4%	223	56.0%	223	461	0
	全体の認定者	476	100.0%	476	100.0%	370	77.7%	476	476	0

- (注) 1. 認定申請率 …… 対象者とは、副看護部長以上の看護管理者を除く看護師（助産師）
 2. 全体の認定率 …… 常勤（嘱託）の副部長以上の管理職を除く看護師（助産師）に対する認定率（レベル取得した者の率）
 3. 今年度の認定合格率 …… 今年度に申請し今年度の年度末に合格した合格率
 4. 認定合格者 …… 過去の認定者も含めて全体でレベルⅠ～Ⅳ
 5. 対象者 …… 年度末（3月31日）時点の対象者総数とする

2023年度 看護師キャリア開発ラダー認定者数 一覧

		レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
今村総合病院	2021年度	44	36	38	27	6
	2022年度	40	38	30	25	8
	2023年度	41	42	34	10	7
いづろ今村病院	2021年度	5	8	8	12	6
	2022年度	7	4	9	6	9
	2023年度	11	7	1	6	4
谷山病院	2021年度	13	5	14	14	2
	2022年度	5	10	3	15	7
	2023年度	8	6	9	5	8
奄美病院	2021年度	2	2	6	1	5
	2022年度	2	2	2	7	5
	2023年度	3	3	6	2	7
徳之島病院	2021年度	4	2	4	2	0
	2022年度	3	3	1	1	0
	2023年度	0	1	0	1	0
愛と結の街	2023年度	0	0	0	0	0

施設毎 レベル毎認定数比較



(表2) 看護師資格取得状況一覧 (2023年度)

		資格者	受講中	いづろ	総合	谷山	奄美	徳之島	老健	在宅支援部	鹿中看3年課程	本部	法人計
認定看護師	救急看護	2	0										2
	皮膚・排泄ケア	2	0										2
	クリティカルケア	1	1										1
	緩和ケア	1	1	1	1								2
	がん性疼痛看護	1	0	1	0								1
	がん放射線療法看護	1	0	1	0								1
	がん化学療法看護	0	0										0
	感染管理	1	1	1	2	2	1						6
	糖尿病看護	1	0	1	1								2
	脳卒中リハビリテーション看護	1	0	1	1								1
	認知症看護	1	0	1	1								2
	在宅ケア	0	0			1							1
	精神科	0	0			3	1						4
	認定看護管理者	ファーストレベル	14	0	14	27	32	18	7	6	3	4	
セカンドレベル		6	0	6	15	6	5	2	3	1	2		40
サードレベル		2	0	2	2					1	1		6
認定看護管理者		1	0	1	1					1	1	3	7
認定看護管理者		1	1		1								1

部門別 指標 看護部門

			いづろ	総合	谷山	奄美	徳之島	老健	在宅 支援部	鹿中看 3年課 程	本部	法人計
特定行為研修	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	資格者 受講中	2	12	1				1			16 0
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	資格者 受講中		11								11 0
	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	資格者 受講中		5								5 0
	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	資格者 受講中		2	1							3 0
	循環動態に係る薬剤投与関連	資格者 受講中		2								2 0
	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	資格者 受講中	1	4	1							6 0
	創傷管理関連	資格者 受講中	1	4	1							6 0
	胸腔ドレーン管理関連	資格者 受講中		1								1 0
	腹腔ドレーン管理関連	資格者 受講中		1								1 0
	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈型 中心静脈注射用カテーテル管理）関連	資格者 受講中		1								1 0
	栄養に係るカテーテル管理（抹消留置型 中心静脈注射用カテーテル管理）関連	資格者 受講中		3								3 0
	創部ドレーン管理関連	資格者 受講中		1								1 0
	動脈血液ガス分析関連	資格者 受講中		10								10 0
	術後疼痛管理関連	資格者 受講中		1								1 0
	感染に係る薬剤投与関連	資格者 受講中	1	2								3 0
	ろう孔管理関連	資格者 受講中	1	2	1					1		5 0
長期	教員養成課程修了	資格者 受講中					1	1			2	4 0
	教務主任養成課程修了	資格者 受講中		1								1 0
その他の資格・研修	医療安全管理養成過程終了者		1	3	1	1				13		19
	臨床指導者講習修了者（看護）										1	1
	臨床指導者講習修了者（介護）									2		2
	災害支援ナース											0
	糖尿病療養指導士		25	34	23	10	4	2	1			99
	呼吸療法士		9	17	28	6		8	3	4		75
	消化器内視鏡技師							19				19
	透析技術認定士		3	7	9	1	2		1			23
	日本救急学会認定 インストラクター ICLS コース		8	3						2		13
	アメリカ心臓病学会 インストラクター BLS コース		2	6								8
	栄養サポートチーム 専門療法士		2	4								6
	介護支援専門員			6								6
訪問看護師 養成講習会修了者		1	11	3			1				16	

(表3) 慈愛会看護部 管理者任用候補者選考結果及び昇任状況

病院	年度	看護部			介護福祉士			ナースエイド			介護支援専門員			昇任者数	次年度の昇任者数	再受験者数
		受験者()内副看護師長	合格者()内副看護師長	合格率(%)	受験者()内昇任済み	合格者()内昇任済み	合格率(%)	受験者	合格者	合格率(%)	受験者	合格者	合格率(%)			
いづろ今村病院	2021年度	5	5	100.0%	4	3	75.0%	0	0	-	(1)	(1)	-	1	1	0
	2022年度	3	3	100.0%	4	4	100.0%			-			-	1	0	1
	2023年度	6	6	100.0%	1	1	100.0%									
高麗町クリニック	2022年度	1	1	100.0%			-			-			-	0	1	0
今村総合病院	2021年度	5	5	100.0%	2	2	100.0%	2	2	100.0%			-	0	1	0
	2022年度	4	4	100.0%	1	1	-			-			-	0	0	0
	2023年度	4	4	100.0%				1	1	100.0%						
七波クリニック	2022年度	1	1	100.0%			-			-			-			
谷山病院	2021年度	3	3	100.0%	1	1	100.0%			-			-	1	2	0
	2022年度	1	1	100.0%	2	2	100.0%			-			-	0	1	0
	2023年度	4	4	100.0%												
GHしらゆりの郷	2022年度			-	1	1	-			-			-			
奄美病院	2021年度	3	3	100.0%	1	1	100.0%			-			-	0	2	0
	2022年度	2	2	100.0%			-			-			-			
	2023年度	2	2	100.0%	2	1	50.0%									
徳之島病院	2021年度	2 (1)	1 (1)	50.0%	1	1	100.0%			-			-	0	0	1
	2022年度			-	1	0	-			-			-			
	2023年度				1	1										1
愛と結の街	2021年度	1	1	100.0%	5	4	80.0%			-			-	4	0	0
	2022年度	1	1	100.0%	4	3	75.0%			-	1	1	100.0%	2	0	1
	2023年度	1	1	100.0%												
訪問看護ステーション愛の街	2022年度	1	1	100.0%			-			-			-			
全体	2021年度	19 (1)	18 (1)	94.7%	14	12	85.7%	2	2	100.0%			-	6	6	1
	2022年度	14	14	100.0%	13	11	84.6%	0	0	-	1	1	100.0%	3	2	2
	2023年度	17	17	100.0%	4	3	75.0%	1	1	100.0%			-	0	0	1

(表4) 2023年度 マネジメントラダー 認定状況

2024.4.30 現在

		ラダーⅠ	ラダーⅡ	ラダーⅢ	ラダーⅣ	副看護部長職	看護部長職	全体
		対象者	6	2	12	3	3	1
今村総合病院	申請者	5	2	6	2			15
	認定者							0
	申請率	83%	100%	50%	67%	0%	0%	56%
	認定率	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
	認定率	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
いづろ今村病院	対象者	1	2	0	3	1	1	8
	申請者	0	1	0	2	0	0	3
	認定者	0	0	0	0	0	0	0
	申請率	0%	50%	0%	67%	0%	0%	38%
	認定率	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
谷山病院	対象者	3	2	2	4	1	1	13
	申請者	2	2	2	0	1	1	8
	認定者	1	1	2		1	0	5
	申請率	67%	100%	100%	0%	100%	100%	62%
	認定率	50%	50%	100%	0%	100%	0%	63%
奄美病院	対象者	1	1	1	3	1	1	8
	申請者	1	1	1	1	1	1	6
	認定者	1	1	0	0	0	0	2
	申請率	100%	100%	100%	33%	100%	100%	75%
	認定率	100%	100%	0%	0%	0%	0%	33%
徳之島病院	対象者	0	1	2	1	0	1	5
	申請者	0	0	1	1	0	1	3
	認定者	0	0	0	0	0	0	0
	申請率	0%	0%	50%	100%	0%	100%	60%
	認定率	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
認定の申請 5病院計	対象者	11	8	17	14	6	5	61
	申請者	8	6	10	6	2	3	35
	認定者	2	2	2	0	1	0	7
	申請率	73%	75%	59%	43%	33%	60%	57%
	認定率	25%	33%	20%	0%	50%	0%	20%

※認定率は申請者に対しての認定率

業 績 一 覧

【論文（論文、著書）】

今村総合病院

<著書>

1. 中村倫丈：高流量鼻カニュラ（HFNC）－使いどき、やめどき…大袈裟なネーザルカニニューレ？. 特集 今どきの手技を見直し、医療処置でのトラブルを防ぐ－経験値ごとの気をつけるべき合併症や工夫. medicina, pp249-255, 2024
2. 福留由香利：ストーマ装具交換－かぶれの軟膏処方，ほんとにOK？－. 特集 今どきの手技を見直し、医療処置でのトラブルを防ぐ－経験値ごとの気をつけるべき合併症や工夫. medicina, pp344-349, 2024

谷山病院

<著書>

3. 内田宏貴：看護師の特定行為. 精神医療 第12号. エム・シー・ミュージズ, pp75-80, 2024

【学会発表】

今村総合病院

<国内>

1. 有村美保, 柳田貴子：患者へ統一した看護を提供するための取り組み～クリニカルパスの有効的な活用を目指して～. 第25回日本医療マネジメント学会, 2023年6月22-24日, 横浜
2. 中村倫丈：クリティカルケア領域における特定行為の実践報告. 第19回日本クリティカル看護学会学術集会, 2023年7月1-2日, 東京
3. 越口晋伍, 中村倫丈：看護を語る会をとおして見えてきたICUの看護観. 第19回日本クリティカル看護学会学術集会, 2023年7月1-2日, 東京
4. 入佐つぐみ, 中村倫丈：ICUにおける人工呼吸患者に対する早期リハビリ. 第19回日本クリティカル看護学会学術集会, 2023年7月1-2日, 東京
5. 西森識, 西方マリ子, 上山テルヨ, 西垂水和隆：訪問診療における特定行為実践が及ぼす医師のタスクシフト/シェアへの影響. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
6. 前田麻由美：内服薬ダブルチェックに関する業務削減への取り組み. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
7. 平川あゆみ, 小濱奈々, 中村倫丈, 西村時紘, 西垂水和隆：院内死亡例から読み解く～Medical Emergency Teamの活動効果～. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
8. 武加奈子, 浜崎彩, 中村久美：rt-PA・血栓回収療法における時間短縮に向けた血栓回収チームの取り組み～看護師のrt-PA・血栓回収術に対する不安軽減に向けて～. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
9. 清藤樹乃, 南由希美, 石原愛梨, 上山りえ, 池田清夏, 中野伸亮, 伊藤能清：同種造血幹細胞移植後患者の復職状況の実態調査. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
10. 馬場帆乃香, 永岩沙緒梨, 平田瑠佳, 横山優香, 平川あゆみ, 柏木美恵子, 福留由香利, 西垂水和隆, 肥後健樹郎, 佐藤浩子：急性期病棟におけるプロベト軟膏を使用したIAD予防効果. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
11. 小窪あゆみ, 嘉村早苗, 中村倫丈, 入佐つぐみ：当院ICUにおける人工呼吸器管理患者に対する早期リハビリテーションの現状～質問紙調査により見えてきた課題～. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島

12. 平川あゆみ, 酒井亜希, 大六野由樹, 松山郁子, 松山日実子: 新人看護師成長パス改良に関する報告. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
13. 前原海帆, 富田有美, 有川真央, 中村貴子: 術後訪問実施の定着に向けた取り組み～術後訪問用紙を用いて～. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
14. 梶田優也, 越口晋伍, 嘉村早苗, 中村倫丈: 看護を語る会をとおして見えてきたICUの看護観. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
15. 八木笑奈, 永福清香, 長野なつ子: A病院女性看護師の月経前症候群のセルフケアを業務への影響の比較～リーフレットによるセルフケアの促進(第一報)～. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
16. 中村倫丈, 嘉村早苗, 西垂水と隆: クリティカルケア領域における特定行為の実践報告～7か月間の実践状況の振り返り～. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
17. 松山日実子, 松山郁子: 臨床教員配置による効果～新人看護師の不安の軽減と離職低下の一助になりえたか～. 第54回日本看護学会学術集会, 2023年11月8-9日, 横浜
18. 渡邊喜美代, 大久保珠里: 透析センター内の防災への取り組み. 日本腎不全学会, 2023年11月18-19日, 仙台
19. 平川あゆみ: 院内迅速対応システムの活動効果. 第25回日本救急学会学術集会, 2023年11月24-25日, 長崎
20. 小林果蓮, 牧野桃子, 宮園卓宜: 外来における輸血手順マニュアル. 第70回日本輸血・細胞治療学会九州支部会, 2023年11月25日, 鹿児島
21. 上野志織, 嘉村早苗, 中村倫丈: 院内迅速対応システム(RRS)について. 第51回日本集中医療学会, 2024年3月13-16日, 札幌
22. 萩原千聖, 飯田ひかり, 大田夏鈴, 永池結菜, 深川友里, 上山りえ, 牧野桃子, 中野伸亮, 伊藤能清: 同種移植患者の移植に対するイメージの相違. 第46回日本造血・免疫細胞療法学会, 2024年3月22-23日, 東京

いづろ今村病院

<国内>

23. 山本綾香, 甲斐栞理, 林和宏, 福盛夏美, 福盛貴子: 転倒転落アセスメントの視点の抽出～転倒予防カンファレンス導入に向けて～. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
24. 新町夏来, 山内健大, 林和宏, 福盛貴子: 一般病棟における看護要員の口腔ケアに関する実態調査～セルフケア困難な臥床患者に対する口腔ケア～. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
25. 岩坪博子, 内大久保恵, 徳永真凛, 平石敬美: 緩和ケア病棟におけるプライマリナーズとしての意識調査～統一した基本的姿勢・認識への対策立案～. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
26. 谷山真基子, 鮫島優実, 大保さゆり: 緩和ケアの患者と家族に向けての取り組み～コロナ禍での取り組み～. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
27. 水口理沙, 松崎美帆, 松下祥子, 中村好美, 角浩美, 若松美穂, 松崎美帆, 山下志緒莉, 榎本真智子, 有村智子: 当施設における要受診判定者の未受診の理由. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
28. 浜蘭なな子, 廣瀬みつる, 屋田美結, 堤和江, 大宮司直美: 退院支援に向けた看護計画の定着をめざして～プライマリ看護師の実態調査～. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
29. 栗屋瞳, 神村美雪, 大宮司直美: オムツ交換の勉強会を開催して～オムツマイスターを活かした取り組み～. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
30. 生川あゆみ, 今村円奈, 西徳子, 宮内智美, 宮田美穂, 有村智子: 上部消化管内視鏡検査時の鎮静剤使用の実際～健診者に鎮静が与える影響を探る～. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
31. 石橋和久, 秋廣定也, 大重里美, 脇田慎一, 今井朋子, 大垣美紀, 鍛冶屋美和子, 丸山さゆり, 田中ミドリ, 猿渡光, 南尚江, 岡田美鈴, 内屋敷香織, 中菌智美, 湯浅由合, 飯田真由美, 片山秀実: いづろ今村病院の地域連携戦略の変遷～急性期病院からケアミックス病院への転換～. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島

32. 林和宏, 徳田愛里, 新町夏来: 終末期まで化学療法を継続した造血器腫瘍疾患患者・家族の看護. 第38回日本がん看護学会学術集会, 2024年2月23-25日, 神戸

谷山病院

<国内>

33. 杉田真人: リソースナースによるコンサルテーションが看護師のMSE活用に与える効果. 第48回日本精神科看護学術集会, 2023年6月2-3日, 札幌
34. 葛和麻美, 福島愛, 池田直樹, 潮昌子: 診療報酬に関する精神科看護師の意識調査. 第48回日本精神科看護学術集会, 2023年6月2-3日, 札幌
35. 永迫智子: 自律した看護補助者の組織化～看護補助者会の取り組み報告～. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
36. 潮昌子: 自らの力で実習環境を整えられる自律性の高い臨床指導者の育成. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
37. 宮竹敦史, 轟木幸一, 濱田凌, 清水一寿子, 有馬喜隆, 徳田真紀, 東泊由紀, 福留弘恵, 山之内孝博: アルコール・リハビリテーション・プログラム実施患者の予後～プログラム実施患者の断酒効果について、実態把握し考察する～. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
38. 徳佳奈美, 葛和麻美, 福島愛: 新型コロナウイルス感染症患者の身体拘束と看護師の意識調査. 日本精神科看護協会鹿児島県支部看護研究発表会, 2023年10月14日, 鹿児島
39. 肥後俊美, 橋口めぐみ, 和田美希, 岡村理恵, 潮昌子: インシデントレポートの記載と看護職員の安全意識の関連についての調査 看護実践自己評価尺度を用いて. 日本精神科看護協会鹿児島県支部看護研究発表会, 2023年10月14日, 鹿児島
40. 五反田千佳: 精神科急性期病棟における退院支援実践力と今後の展望～精神科包括的退院支援評価尺度をもとにしたアンケート調査～. 鹿児島県看護研究学会, 2024年1月20日, 鹿児島
41. 池田あかり, 池田優佳, 河口綾香: 新型コロナウイルス感染症患者の看護を实践した精神科閉鎖病棟看護要員の思い～看護要員の思いを質的帰納的に分析した考察～. 鹿児島県看護研究学会, 2024年1月20日, 鹿児島

奄美病院

<国内>

42. 野田ナナミ: 医療接遇を学び安心・安全な医療環境へ～病棟の組織風土の改善につなげる～. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
43. 奥さつき: リーダー業務の負担軽減に向けた取り組み. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
44. 上原匡史: 病棟看護師が抱く実習指導に関する意識調査～アンケート調査から検討する～. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
45. 福長由美, 原口悦江, 木佐貫涼子, 中谷明実, 上原奈津美, 永迫智子, 宮本陽子, 中蘭明子, 簀下和代: 働き方改革に対する取り組みの実際と課題 第2報～副看護師長の達成感・やりがい感に繋げるための支援～. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
46. 森山由香: 精神科デイケアの居場所としての役割とリハビリ支援について考える. 第30回日本精神科看護専門学術集会 in 埼玉県, 2023年11月22-23日, 埼玉
47. 愛甲宏良, 川内千賀子, 青木あゆみ, 平田恵美: 急性期病棟でのリハビリ計画を考える - 精神疾患をマンガラチャートで乗りこなす. 第30回日本精神科看護専門学術集会 in 埼玉県, 2023年11月22-23日, 埼玉

徳之島病院

<国内>

48. 永瀬千里, 三上正美: 当院での PNS の取り組み～協働に向けて～. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島

愛と結の街

<国内><共同演者>

49. 村井真由美, 安森潤子, 原口悦江, 有菌大紀, 原田良二: 通所リハビリテーションにおける生産性向上の取り組み～フロア業務と送迎の検討～. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島

看護部支援室

<国内>

50. 竹迫智子, 木佐貫涼子, 坂元友美: 若手看護師の職務満足度と職業継続意志及び離職に対する関連要因の検討. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島

教育開発センター

<国内>

51. 池田貴美子, 木佐貫涼子, 谷口将一: 管理者任用候補者選考制度における研修の目標達成度についての考察. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島

【研究会・講演会】

今村総合病院

1. 中村倫丈: 在宅におけるフィジカルアセスメント 入門編. 鹿児島県看護協会訪問看護師養成研修「入門コース」, 2023年6月16日, 鹿児島
2. 中村倫丈: 在宅におけるフィジカルアセスメント 実践編. 公益社団法人日本訪問看護財団訪問看護eラーニングを活用した訪問看護師養成講習会, 2023年6月30日, 鹿児島
3. 中村倫丈: 高齢者のフィジカルアセスメント. 高齢者権利擁護推進事業における看護実務者研修会, 2023年7月14日, 鹿児島
4. 吉森みゆき: 5類移行後の新型コロナウイルス対策について. 令和5年度感染症対応実務研修会, 2023年7月21日, Web
5. 福元優一: 私は変わる. 看護連盟フレッシュナース研修会, 2023年7月22日, 鹿児島
6. 吉森みゆき: 看看連携 これからの感染対策. 看護協会鹿児島地区「看看連携 これからの感染対策」, 2023年8月5日, 鹿児島
7. 中谷明実: 労務管理の基礎知識. 看護協会認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修, 2023年8月21日, 鹿児島
8. 中村倫丈: フィジカルアセスメント研修. 鹿児島県看護協会大島地区看護研修会, 2023年9月16日, 奄美
9. 浜辺恵里香: 入退院支援における看護師の役割. 鹿児島県看護協会 入退院支援(応用編), 2023年10月13日, Web
10. 米澤美智代: 褥瘡とスキンケア. 看護協会教育研修会, 2023年11月8日, 鹿児島
11. 浜辺恵里香: 退院支援から考える多職種協働. 徳之島地区在宅医療・介護連携多職種合同研修会, 2024年2月21日,

徳之島

12. 中村倫丈：高齢者の特徴を踏まえた身体アセスメントとエンド・オブ・ライフケアを考える。鹿児島県老人保健施設協会 看護・介護部会研修，2024年1月10日，鹿児島（Web）

いづろ今村病院

13. 尾堂ゆかり：糖尿病の疾患と治療の理解。鹿児島県看護協会「糖尿病とともに生きる人々への看護」，2023年8月3日，鹿児島
14. 中窪尊子：いきいきと輝きながら看護する職場風土作り。鹿児島県看護協会「新任看護師長研修」，2023年9月13日，鹿児島（Web）
15. 尾堂ゆかり：糖尿病患者の療養を支えるフットケア。鹿児島県看護協会「糖尿病重症化予防（フットケア）研修」，2023年10月19日，鹿児島
16. 尾堂ゆかり：糖尿病重症化予防事例検討。令和5年度糖尿病重症化予防保健指導従事者研修，2024年2月14日，鹿児島（Web）

谷山病院

17. 杉田真人：メンタルヘルス研修・セルフケアについて。株式会社九州電算（企業研修），2023年9月25日，鹿児島
18. 有木攻：性被害・性加害に合わない為のよりよい人間関係について。鹿児島市教育委員会／鹿児島県看護協会 性に関する指導推進事業，2024年2月7日，鹿児島
19. 杉田真人：発達障害・特別な配慮の必要な看護師への対応。日本精神科看護協会鹿児島県支部研修，2024年2月17日，鹿児島（Web）
20. 内田宏貴：LAI チームの取り組み。鹿児島県精神科急性期 Skill Up Meeting，2024年3月1日，鹿児島（Web）

愛と結の街

21. 川崎愛：生活支援～食事について～。鹿児島医療福祉専門学校介護福祉学科，2023年4月17・24日，5月1・8・22日，6月5・12・19・26日，7月3・10・19・25日，8月28日，9月4・11日，鹿児島
22. 原口悦江：老年看護学方法論Ⅱ。鹿児島中央看護専門学校3年課程，2023年6月23日，7月5・12・19日，9月28日，鹿児島
23. 木場田哲也：老年看護学方法論Ⅰ。鹿児島医療技術専門学校看護科，2023年9月6・13日，鹿児島
24. 今西由香：老年看護学方法論Ⅰ。鹿児島医療技術専門学校看護科，2023年9月20・27日，鹿児島
25. 川崎友義：チームマネジメント。鹿児島女子短期大学，2023年9月22・29日，10月6・13・20・27日，11月10日，12月1・8・15日，2024年1月12日，鹿児島
26. 川崎友義：高校生介護技能コンテスト審査員。鹿児島県立薩摩中央高等学校，2023年7月7日，鹿児島
27. 徳田めぐみ：「利用者同士の有意義な時間」～余暇時間の過ごし方について～。第22回九州ブロック介護老人保健施設大会美ら沖繩，2024年2月1日，沖縄
28. 堀芳明：「人生録」～関わる人の気持ちを尊重する～。第28回鹿児島県老人保健施設大会発表，2024年2月13日，鹿児島

【受賞】

今村総合病院

1. 平川あゆみ：「新人看護師成長パス改良に関する報告」最優秀賞。第3回慈愛会学会学術集会，2023年7月
2. 八木笑奈：「A病院女性看護師の月経前症候群のセルフケアを業務への影響の比較～リーフレットによるセルフケア

- の促進～」優秀賞. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月
3. 小窪あゆみ:「当院ICUにおける人工呼吸器管理患者に対する早期リハビリテーションの現状～質問紙調査により見えてきた課題～」奨励賞. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月
 4. 平川あゆみ:「院内死亡例から読み解く～Medical Emergency Teamチームの活動効果～」今村節子賞. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月

いづろ今村病院

5. 水口理沙:「当施設における要受診判定者の未受診の理由」口演発表優秀賞. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月

谷山病院

6. 倉野利恵美:永年勤続表彰. 公益社団法人日本精神科病院協会, 2023年11月
7. 大迫正子:永年勤続表彰. -公益社団法人日本精神科病院協会, 2023年11月

奄美病院

8. 仁添絹子:看護業務功労者県知事表彰. 鹿児島県, 2023年5月
9. 野田ナナミ:「医療接遇を学び安心・安全な医療環境へ～病棟の組織風土の改善につなげる～」ポスター発表奨励賞. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月
10. 福長由美:「働き方改革に対する取り組みの実際と課題 第2報～副看護師長の達成感・やりがい感に繋げるための支援～」ポスター発表最優秀賞. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月

看護部支援室

11. 竹迫智子:「若手看護師の職務満足度と職業継続意志及び離職に対する関連要因の検討」ポスター発表優秀賞. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

リハビリテーション部門

中長期計画	2023年度事業計画 (Stage2)	実施 2023.4月～2024.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
リハビリ部	<p>質の高い専門的リハビリの提供</p> <p>1) 疾患別の専門的リハビリの提供 * チーム医療の工夫・リハカンファレンス・退院時指導・訪問の工夫・他も含む</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合スポーツ：術箇所（肩・膝・他）別チームによる高い治療技術によるリハ提供 総合一般PT：専門病棟の疾患（脳卒中・呼吸器・循環器・消化器・腎・血液内科・産科・精神科・他）別チームによる豊富な知識を基にした安全で高い治療技術の提供と主治医との情報共有 総合OT：脳卒中・精神科・廃用等の疾患知識を基に患者を速やかに生活構築へ導くためのリハを提供 総合OT：適切な福祉機器を導入し重症患者の離床頻度向上、在宅復帰へ繋げる 総合一般PT OT ST：がん治療の知識・血液データ・その他評価を基に安全で効果的なりハを提供 いづろ（血液内科）：主治医を交えた多職種カンファを通してのチーム医療の提供 いづろ（全診療科）：入院時診療計画の共同作成の徹底、各チームの専門性と役割の明確化 <p>・ 谷山：デイケアの機能分化 ・ 谷山：統合失調症作業療法バスの活用 ・ 奄美：退院時訪問指導への同行</p>	<p>総合スポーツ：腱板術後55例、ACL術後152例リハ実施</p> <p>総合PT OT ST：認定看護師協力のもと急変予知研修会を開催（計6回）</p> <p>総合PT：コロナ病棟患者へのリハビリを開始</p> <p>総合PT：褥瘡委員会リンクNsに向けたポジショニング研修実施（計4回）</p> <p>総合OT：9月から移動用リフトレンタル、回復期病棟にて使用を開始した</p> <p>いづろ（血液内科）：週1回の医師含む多職種カンファの継続実施</p> <p>いづろ（全診療科）：緊急入院以外の全入院患者の診療計画書を他職種と共同作成</p> <p>谷山（デイケア）：運動プログラムの機能分化、WTP（ワークトレーニングプログラム）を多職種で計画</p> <p>谷山（OT）：新規統合失調症患者様入院時、バス対象者であれば立ち上げる</p>	<p>総合スポーツ：腱板再断裂4例（7%）、ACL再断裂3例（2%）であった</p> <p>総合PT OT ST：患者の全身状態について相談件数が増えた</p> <p>総合PT：感染対策を徹底してコロナ患者へリハを提供できた</p> <p>総合PT：新卒Nsへの指導ができていくか確認していく</p> <p>総合OT：使用患者数月2～3名、最終月の使用回数は47回であった</p> <p>いづろ（血液内科）：治療方針や転帰先検討の充実で退院支援が円滑となった</p> <p>いづろ（全診療科）：個々の入院目的に沿ったリハ計画の立案が行えた</p> <p>谷山（デイケア）：機能分化は一部進んだ。WTPは計画段階</p> <p>谷山（OT）：立ち上げられたバスは期間入力程度。その後の管理も不十分</p>	<p>総合スポーツ：再断裂因子の分析と術前情報の共有</p> <p>総合PT OT ST：急変時の実対応力を強化するためシミュレーション研修を検討</p> <p>総合PT：コロナ患者へのリハを継続、患者・家族の満足度の向上を図る</p> <p>総合PT：委員会にて指導状況確認し随時フォローしていく</p> <p>総合OT：現在はリハスタッフ主体の使用にとどまっている。病棟スタッフへの使用を促す</p> <p>いづろ（血液内科）：カンファレンス参加者メンバーを交代し科の支援方針を共有する</p> <p>いづろ（全診療科）：個性性の高いリハ計画の立案、多職種協働での計画書作成の継続</p> <p>谷山（デイケア）：機能分化を進め、幅広い利用者に対応できるよう技術を高め工夫する</p> <p>谷山（OT）：活用できるシステムを検討する</p>
	<p>2) 病期別（急性期・回復期・生活期：介護分野）の専門的リハビリの提供 * チーム医療の工夫・リハカンファレンス・退院時指導・訪問の工夫・他も含む</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合スポーツ・一般PT OT ST：発症直後から回復期のリスク管理・効果的なりハの提供 総合一般PT：術前介入・術直後の患者自主練習用資料作成・配布 総合スポーツ・一般PT OT ST：全自宅退院患者へ、病棟Ns・リハで協働し退院時指導実施 いづろ（緩和ケア病棟）：対象者個々の目標に応じたリハビリ支援の提供 いづろ（地ケア病棟）：生活期へのスムーズな移行に向け個別リハ、POCリハ、体操運動指導の提供 谷山：外来作業療法拡張の検討 <p>・ 奄美：急性期及び高齢者向けプログラムの再構築 ・ 徳之島：退院前訪問指導への積極的参加（10件/年） ・ 徳之島：教育的プログラムの充実（心理教育、退院準備プログラム、SST） ・ 愛結：多職種協働、自主訓練指導等の充実による、生活リハ、セルフマネジメントへのシフト</p>	<p>いづろ（緩和ケア病棟）：シート活用でのリハ～病棟間の情報共有の継続実施</p> <p>いづろ（地ケア病棟）：生活期へのスムーズな移行に向け個別リハ、POCリハ、体操運動指導の提供</p> <p>谷山（OT）：5月から入院・外来合同プログラムを再開。受入人数によって実施場所を変更</p> <p>奄美：6月、12月にプログラム検討実施</p>	<p>いづろ（緩和ケア病棟）：ADL状況、予定転帰先、退院時期の情報共有、支援方針決定に役立った</p> <p>いづろ（地ケア病棟）：ニーズに対し適切な介入方法を個別に検討し、生活期移行へ繋げた</p> <p>谷山（OT）：3,325件に増（昨年度は2,981件で+344件）</p> <p>奄美：プログラムの大枠は継続し内容の変更を実施</p>	<p>いづろ（緩和ケア病棟）：より効率的な情報共有手段を検討する</p> <p>いづろ（地ケア病棟）：事例毎の介入内容の透明性、妥当性を高める工夫が必要である</p> <p>谷山（OT）：ニーズに合わせた新たなプログラムも検討</p> <p>奄美：患者の年齢層に対応したプログラムの実施が可能となりつつある</p>
超急性期から在宅までシームレスな連携	<p>1) 慈愛会内リハ部での連携の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 急性期（回復期）病院から生活期施設（病院）へ向けて 総合：総合→愛結→転前前後の患者個別カンファ（愛結・総合合同）の開催・連携シート作成の提案 総合：愛結→総合へ入院（緊急が多い）患者のADL・リハについて速やかな情報共有方法の検討 いづろ：施設内での医療保険領域→介護保険領域の密な情報共有、シームレスな支援提供 奄美：グループホームへの退院患者の情報共有の強化 	<p>総合PT OT ST：愛結との連携強化、会議開催（患者情報の共有体制、新人の職場体験業務の検討）/ 役職者・連携メンバーによる愛結見学実施 / 慈愛会共有フォルダを利用した、患者情報の共有システムを構築</p> <p>総合PT OT ST：いづろとの人材育成に向けての連携会議を実施</p> <p>総合PT OT ST：高麗町との患者情報の共有について検討</p> <p>奄美：病院在宅連携委員会での情報共有を実施</p>	<p>総合PT OT ST：シームレスな患者情報の共有が図れるようになった</p> <p>総合PT OT T：来年度に向けて人員の異動や新卒者の受け入れなどいづろ今村と協議ができた</p> <p>総合PT OT ST：現行通り書面でのサマリーを用いて情報を共有していくこととなる</p> <p>奄美：法人内施設への退院及び通所への移行が円滑となった</p>	<p>総合PT OT ST：新人の職場体験の実現に向けて引き続き協議を重ねる</p> <p>総合PT OT ST：異動スタッフの調整、新卒者の教育システムの共有を図る</p> <p>総合PT OT ST：必要時再度検討していく</p> <p>奄美：今後も継続して連携を図り更に円滑な移行を図る</p>

中長期計画	2023年度事業計画 (Stage2)	実施 2023.4月～2024.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
超急性期から在宅までシームレスな連携	<ul style="list-style-type: none"> ●生活期施設(病院)から急性期(回復期)病院へ向けて ・いづろ：施設内での介護保険領域→医療保険領域の密な情報共有、シームレスな支援提供 ・谷山：リハサマリー内容、送付先の検討 ・愛結：リハサマリーの定着、総合との連携シート作成、MI・RA・Isでの情報共有の検討 ・愛結：リハ治療・嚥下評価等、Zoomを利用した治療技術の情報共有の検討 ・愛結：生活リハに焦点を当てた事例紹介の継続、目標設定の共有、詳細情報共有体制の検討 ・愛結：退所後のアウトリーチ機能の強化・入所～訪問まで担当継続・入退所前後訪問の拡大・早期リハ介入 ・愛結：入退所マネジメント業務へのセラピスト介入継続、病院から老健への紹介者数の設定 	<p>谷山 (OT)：リハサマリー継続使用 いづろ：医療→介護の支援継続が必要な対象者の積極的な情報共有 いづろ：介護→医療の支援継続が必要な対象者の積極的な情報共有</p> <p>総合PT：総合→高麗町→PT1名異動 高麗町→総合→PT1名異動</p> <p>総合PT：鴨池中学校 かもなか祭り参加 総合PT：今村総合病院 かもいけ健康まつり参加 谷山・奄美・徳之島：月1回のZoom会議を3カ月に1回の頻度に変更 谷山：所属部署以外の作業療法士勤務部署で研修 総合ST：合同嚥下勉強会主催</p>	<p>谷山 (OT)：必要なサマリーは忘れることなく送付できた いづろ：支援継続打診段階からの情報共有が行え、シームレスな支援提供が行えた いづろ：支援継続打診段階からの情報共有が行え、シームレスな支援提供が行えた</p> <p>総合PT：異動前から高麗町と綿密な申し送りを行うことでスムーズに業務の移行ができた。スタッフの不安軽減、患者・利用者の不利益も最小限に留めることができた 総合PT：かもなか祭り、かもいけ健康まつりともにたくさんの地域住民が来場した 谷山・奄美・徳之島：負担減。必要時はメールでやりとりできている。 谷山：概ね研修できたが、スケジュール調整ができて未実施部署もあり 総合ST：2024年12月より2回開催</p>	<p>谷山 (OT)：必要な情報提供ができていいのか、送付先への情報収集 いづろ：医療～介護の連携強化に向けた情報共有の継続 いづろ：医療～介護の連携強化に向けた情報共有の継続</p> <p>総合PT：異動前からの申し送りを計画的に行っていく</p> <p>総合PT：地域住民のニーズに応えられるような催しを検討していく</p> <p>谷山・奄美・徳之島：今後も3カ月に1回で継続 谷山：他部署研修を上半期に実施できるよう他部署と調整する 総合ST：年6回実施予定</p>
	<p>2)慈愛会内施設でのスタッフローテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合：いづろ今村・愛結・高麗町とのスタッフ異動の取り組み ・総合：新人スタッフの他施設への業務体験計画 ・総合・いづろ・愛結：3カ月に1回Zoom会議継続 ・谷山・奄美・徳之島：月に1回Zoom会議開催継続 ・谷山：新人スタッフの他部署研修 ・愛結：谷山病院との相互見学の計画 <p>3)地域あるいは慈愛会以外の病院・施設との連携の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合：県委託事業(お達者クラブ講話)・垂水事業(小児言語相談会・子育てママの体ケアの講演会)継続 ・いづろ：周辺施設病院と合同研修会の開催(1回/3カ月) ・いづろ：地域(スタッフの居住地域含む)のコミュニティで健康体操、フレイルサルコペニア予防教室 ・徳之島：退院先施設との連携強化、サマリーの提供(サマリー作成100%を目標) ・徳之島：地元保育園へ集団運動指導継続(2回/月) ・愛結・谷山：小原町高齢者クラブでの健康講話・骨折予防教室・認知症予防教室 ・愛結：通所卒業者のADL維持対策検討の支援(ボランティア) ・愛結：認知症カフェへの参加及び健康教室開催 ・愛結：生活機能向上連携加算を活用した連携体制の充実 ・愛結：おひさまこども園との連携に関する情報収集 ・高麗町：担当者会議の参加、リハ会議の開催 	<p>総合ST：垂水市連携 ことばの発達支援実践 (ST 1名) 総合ST：嚥下に関するST派遣事業 (ST 1名) いづろ：合同研修会1回の開催</p> <p>いづろ：薩摩川内市介護予防通所事業書リハ専門職派遣事業(6回)、事業書向け講習会(1回)</p>	<p>総合ST：年6回実施 総合ST：年47回実施。看護師への嚥下評価指導と体制づくり いづろ：顔の見える関係作り、各病院の情報交換に役立った いづろ：地域の現状を知り、当院を退院した患者の地域連携のあり方を検討できた</p>	<p>総合ST：年6回実施予定 総合ST：年24回実施予定 いづろ：今後も継続的にっていく いづろ：退院後地域参加の促進のため他地域も含め具体的に連携の手法を検討したい</p>
財務の視点での目標達成と患者獲得への取り組み	<p>1)急性期(回復期)病院の目標(基本、一般18単位/day/1名、精神科17件/day/1名)と目標達成のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合：スタッフ個人の日々の取得単位と加算取りこぼしチェックを役職者が一元的に管理(DX活用) ・総合：役職者が医事の返戻情報を分析、対策は牽引を付けた共有ファイルで全リハスタッフへ提供 ・いづろ(保険診療部門)：算定内・外業務の数値化、実績集計 ・いづろ(介護保険部門)：利用者アンケートによる満足度調査の実施、ご要望の取り入れ ・谷山：実績報告会を毎月実施し、精神科作業療法目標件数を達成する(15件/day/1名) ・奄美：拒否の強い患者に対する多職種での情報共有とアプローチの強化 ・徳之島：精神科作業療法(13件/日/名) <p>2)生活期(訪問・介護施設)での目標と目標達成のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛結：算定内・外業務の目標・実績の可視化(可能な範囲での数値化)及び効率化 ・愛結：リハ以外の成果報酬加算への積極的取り組み ・愛結：生産性向上プロジェクトの継続による業務の可視化及び効率化(通所) ・愛結：モバイルベースでのソリューションを提供できるシステム、ケア+(プラス)の導入検討(DX活用) 	<p>総合PT OT ST：返戻対策としての役職者による患者帳票確認継続 総合PT OT ST：情報室と連携し、リハ指示出し忘れや介入忘れをチェックするシステムを構築</p> <p>総合PT：稼働状況を数値化、スタッフへのフィードバックを継続 総合PT：算定外業務を踏まえた適正な稼働目標を設定 いづろ(介護保険部門)：アンケート実施し、内容をまとめた慈愛会学会等で発表した いづろ(医療保険部門)：月毎に算定内・外の業務実績を集計し見える化実施 奄美：主治医や担当看護師との連携・情報共有の強化を図る 谷山：精神科作業療法総件数34,244件。1日平均141.6件</p>	<p>総合PT OT ST：返戻数は減少し、リハスタッフのミスによる返戻はほぼなくなった 総合PT OT ST：月1件程度のリハ診察予約忘れ、リハ指示出し忘れを把握できるようになった 総合PT OT ST：算定内・外業務を把握し適正な稼働目標を設定することで、残業の減少に繋がった いづろ(介護保険部門)：アンケート結果を踏まえて通所リハスケジュール等を見直した いづろ(医療保険部門)：算定内・外の業務比率が把握できた 奄美：拒否の強い患者のリハビリ導入に繋がった 谷山：感染対策による活動制限もあり、1日平均142件の目標が達成できなかった</p>	<p>総合PT OT ST：今後も継続していく 総合PT OT ST：今後も継続していく 総合PT OT ST：業務効率化を図り、残業を増やさずに稼働の向上に努める いづろ(介護保険部門)：今後も利用者の満足度を高める努力を継続する。 いづろ(医療保険部門)：業務量の数値化、実績集計を個々の業務意欲向上に役立てる 奄美：すべての患者への導入ができておらず今後も継続する 谷山：対象者のニーズに合わせたプログラムを展開する</p>

中長期計画	2023年度事業計画 (Stage2)	実施 2023.4月～2024.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
リハビリ部	<p>財務の視点での目標達成と患者獲得への取り組み</p> <p>③患者獲得への取り組み (ウェブサイトでの実績報告・他)</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合: ウェブサイト・SNS・他で疾患に特化した専門的リハを提供の実績報告 (スポーツ・脳卒中・呼吸器・循環器・消化器・腎・血液内科・産科・他) 総合: ウェブサイト・SNS・他で一般市民向け予防の観点からの疾患別の自主練習・日常生活の注意点を紹介。 いづろ: 診療科医師、MSWと連携しての紹介元挨拶回り (患者獲得活動) 奄美: HP等を活用したプログラムの情報発信の適時更新 (ダイケアを含む) 愛結: 広報活動の継続 (ウェブサイト等での実績報告、LIFEのフィードバック分析結果等) 高麗町: ケアマネジャーとの連携強化、信頼性向上 	<p>いづろ: 感染状況を加味し、2回の計画の中、1回のみ挨拶回りを実施</p> <p>奄美: ウェブサイトの更新時に随時プログラムの更新を実施</p>	<p>いづろ: 挨拶回り自体が患者獲得数に貢献したとは言えない</p> <p>奄美: ウェブサイト更新頻度が少なく十分な更新が出来ていない</p>	<p>いづろ: 多職種検討会での対策検討、地域連携のついで開催計画</p> <p>奄美: ウェブサイト以外での情報発信方法を検討</p>
	<p>教育体制の充実</p> <p>①クリニカルラダーで医療倫理から管理者教育まで行い、スタッフのキャリアアップへ繋げる</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合: 全スタッフ対象にクリニカルラダー教育の充実 (申請100%目標) と必要時の内容更新 谷山: 定期面談の実施 <p>・谷山: プリセプターシップの導入</p> <p>・奄美: ラダー対象者への教育の充実と進捗状況に応じたサポート体制の構築</p> <p>・徳之島: 対象者の拡大、ラダーの内容を当院向けに更新</p> <p>・愛結: 全スタッフ対象にクリニカルラダー教育の充実 (申請100%目標) と必要時の内容更新</p> <p>②PT・OT・ST協会の教育プログラムでの治療知識・技術の習得と専門資格取得</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合PT: 全スタッフが日本PT協会教育プログラムの「登録PT」資格、更に「認定PT」「専門PT」資格取得挑戦 <p>・いづろPT: 全スタッフの登録理学療法士、並びに認定理学療法士取得支援</p> <p>・谷山: 専門作業療法士ならびに認定作業療法士資格取得に向けた支援</p> <p>・奄美: 日本OT協会主催の研修への参加、認定OT取得挑戦</p> <p>・徳之島: 地域包括ケア推進リーダー・介護予防推進リーダーの資格取得</p> <p>・愛結: 認知症ケア専門士、終末期ケア専門士などの資格取得</p> <p>③論文投稿・学会発表・その他の推進、Big Dataの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合スポーツPT: 全スタッフ、1年1回院内整形外科活動報告会発表、7-8名スタッフ院外での学会発表 総合スポーツPT: 膝前十字靭帯断裂術後のスポーツ復帰基準作成 総合一般PT: 全スタッフ、5年に1回院内外での学会発表又は論文投稿 総合スポーツPT: 膝前十字靭帯断裂術後のスポーツ復帰・再断裂率等の調査データ収集継続 総合一般PT: 脳卒中・呼吸器・循環器・消化器・腎・血液内科・産科・他、疾患・診療科ごとに治療効果のデータ収集・分析 総合OT: 脳卒中後の運転評価に関するデータ収集・分析 総合ST: 院外学会発表・論文投稿2名以上 いづろ: 糖尿病療養患者の介入効果に関するデータ収集・分析 いづろ: 学術集会発表2演題、活動発表会1演題の発表 谷山: 嚥下機能アプローチに関するデータ収集・分析・発表 谷山: テーマに基づいた慈愛会精神科リハ合同活動発表会の開催 谷山: ハードルの低い事例報告機会の設定 高麗町: 論文投稿のためのデータ収集 奄美: PTと協働した身体的リハの効果分析 徳之島: 身体的アプローチの継続とデータ収集 徳之島: 臨床実習指導施設制度への登録 愛結: LIFEのフィードバックデータの分析及び活用 愛結: FIM、FAIのデータ蓄積及び分析 	<p>総合: キャリアラダー運用について見直しを実施</p> <p>谷山: 全員の面談実施</p> <p>谷山: 2名 (新人と異動者) に対しプリセプター1名ずつ担当</p> <p>奄美: ラダー対象者へのサポート体制を構築し実施</p> <p>総合PT: 登録PT取得に向けたサポートを継続</p> <p>総合PT: 臨床リハマニュアルの作成開始</p> <p>総合PT ST: がんのリハビリテーション研修 (PT6名 ST2名)</p> <p>いづろ: 登録理学療法士未取得1名の取得支援</p> <p>谷山: 基礎研修で3名が症例報告できた</p> <p>総合スポーツPT: 全スタッフ院内整形外科活動報告会発表、4学会2名発表</p> <p>総合スポーツPT: 1名論文投稿</p> <p>総合スポーツPT: 膝前十字靭帯断裂術後のスポーツ復帰・再断裂率等の調査データ収集にRPAを用いた業務改善</p> <p>総合OT ST: 運転評価件数116件</p> <p>総合PT: がん・リンパ腫学会発表</p> <p>総合PT: 日本造血・免疫細胞療法学会 演題発表1名</p> <p>総合PT: 回復期リハビリテーション研究大会 演題発表1名</p> <p>総合PT: 活動発表会1演題発表</p> <p>総合ST: 日本摂食嚥下リハビリテーション学会演題発表 (2演題)</p> <p>総合ST: 慈愛会学会演題発表 (1演題)</p> <p>総合ST: 慈愛会ジャーナル1名論文投稿</p> <p>いづろ: 学術集会学会2演題、活動発表会2演題発表</p> <p>いづろ: 糖尿病教室後の変化についてデータ収集を行った</p> <p>奄美: RPTを中心にデータの収集継続</p> <p>谷山: 嚥下機能アプローチについて慈愛会学会学術集会で発表</p> <p>谷山: 精神科リハ合同活動発表会実施</p> <p>高麗町: 過去5年分のデータを収集できた</p>	<p>谷山: チャレンジプランの進捗状況を確認しながらの支援ができた</p> <p>谷山: 1名は概ね順調に経過、1名は8月末で退職</p> <p>奄美: 申請者のラダー習得に繋がった</p> <p>総合PT: 他施設含め慈愛会全体としてサポートする体制を構築中</p> <p>総合PT: 臨床マニュアルの作成に向けて動いている</p> <p>・施設で取り組み内容や、個人で取り組み内容の把握とスケジューリング</p> <p>谷山: 基礎研修の未修了者が多い。</p> <p>総合スポーツPT: 膝前十字靭帯断裂術後のスポーツ復帰基準作成は、データ収集を開始した段階。目標達成には数年以上を要する。</p> <p>総合OT ST: 医師との連携が図れており診断書作成に寄与している</p> <p>総合PT: 5年に1回の学会発表を継続</p> <p>総合ST: 学会発表、論文投稿は自主性を尊重している</p> <p>いづろ: 集計作業中であり、報告は未実施。業務負担が多くなりがちである</p> <p>奄美: 新型コロナウイルス感染症の影響で継続したアプローチが困難</p> <p>谷山: 合同発表会実行委員会を準備を進めテーマに基づいた実施ができた</p> <p>高麗町: 学会発表ができた</p>	<p>谷山: 面談の頻度を増やし、計画的に実施する</p> <p>谷山: プリセプターシップの継続</p> <p>奄美: ラダー内容の適時更新の検討</p> <p>総合PT: 今後も他施設含め連携を図っていく</p> <p>総合PT: 完成に向けて来年度も取り組んでいく</p> <p>・業務内で取り組み支援する</p> <p>谷山: 基礎研修修了に向けての支援強化</p> <p>総合スポーツPT: Big Dataと復帰基準作成に必要なデータ収集に今後RPAを用いた業務改善を行うことで、業務負担を減らしながら効率よくデータ収集を行う。</p> <p>総合OT ST: ドライビングシミュレーターでの評価も合わせて実施していく</p> <p>総合PT: スタッフのサポートを継続していく</p> <p>総合ST: ラダーレベルに応じて学会発表を支援していく</p> <p>いづろ: ラダーレベルに応じた研究発表を支援する</p> <p>いづろ: 学会・論文発表へ向け準備する。業務負担を減らして継続する方法を検討</p> <p>奄美: 身体的リハの継続及びデータ集積を図る</p> <p>谷山: 今後もテーマに基づいた内容で実施していく</p> <p>高麗町: 今後も毎年継続して実施していく</p>

中長期計画	2023年度事業計画 (Stage2)	実施 2023.4月～2024.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
働き方改革 リハビリ部	(1)スタッフの超過勤務削減への取り組み ・総合：時間外業務の計画を作成しない(研修・会議等は全て時間内) ・総合：DX活用、毎月の責任者会議で業務改善の提案を議題にし、可能なものから速やかに実行していく ・いづろ：残業時間の減少、スタッフ間格差改善。残業に至る課題抽出と各月残業時間目標管理 ・谷山：リハ勉強会の業務時間内実施 ・奄美：ミーティングを活用し定期的な業務改善案の提示を実施 ・愛結：DX活用、業務改善につながる機器の情報収集、導入に向けた提言 (2)ワークライフバランス推進(男性育休取得・他)と、推進のための工夫 ・総合：役職者は、スタッフのストレス対策のための面談・その他の時間を積極的に確保する ・総合：子育て・介護・その他の事情での休暇・時短勤務に関するスタッフ間の協力システムの構築 ・総合：男性スタッフの育児休暇取得の推進 ・いづろ：早出勤、時間外取得などフレキシブルな働き方の積極導入 ・いづろ：役職者による目標管理含む半年面談の実施 ・谷山：定期面談の実施 ・奄美：産休・育休・介護休暇・時短勤務を習得しやすい環境の構築 ・徳之島：TQM活動による業務改善 ・愛結：自由度の高いフレックス体制の導入検討・スタッフ間での新たな連携・協力システムの構築 ・愛結：リフレッシュ休暇(連続休暇)取得の義務化 ・愛結：定期的な面談実施とチャレンジプランを活用した働き甲斐のある職場風土づくり ・高麗町：スタッフの育児休暇取得とその期間の利用者の振り分け、事業所との連携などのシステム構築 (3)スタッフの労働安全への取り組み ・総合：労働安全衛生委員会として、看護師・介護福祉士・他スタッフへの腰痛予防体操講義 ・総合：労働安全衛生委員会活動として、介護士・看護助手への移乗動作実技指導 ・いづろ：看護師・介護福祉士等への腰痛予防、介助技術指導。病棟へのリフト等福祉用具導入支援 ・いづろ：看護介護スタッフへの研修動画作成、各職種の定期研修への有効活用 ・谷山PT：看護部新人研修での介助技術指導 ・愛結：腰痛対策として始業前のストレッチの定着、福祉用具の活用及び使用に関する研修会の継続 ・愛結：感染BCP、フェーズごとの対応の定期的な見直し、災害BCPの作成	総合PT OT ST：情報室と連携し、リハ書類の電子カルテ登録有無の確認システムを構築 いづろ：残業時間の可視化、課題抽出と残業時間目標管理を継続 谷山：リハ勉強会を業務時間内での実施に変更 奄美：適時業務改善の検討の実施 総合スポーツPT：男性PT2名育休取得。女性PT1名時3年間の短勤務制度利用 総合PT：男性スタッフの育休取得5名 いづろ：ライフワークバランスを考慮した勤務シフト調整の継続実施 いづろ：役職者による目標管理含む半年面談の実施 奄美：休暇者が発生した場合の応援体制の構築 高麗町：育児休暇取得者がいなかったため実施できず。休暇期間の連絡は前月に利用者と事業所に配布 総合PT OT ST：労働安全委員による労災予防研修実施 総合PT OT ST：労働安全委員と協力し腰痛予防対策について検討。必要物品について選定 いづろ：看護師・介護福祉士向けに動作指導研修開催 いづろ：腰痛予防目的の動画作成し院内サイトで公開 谷山 (PT)：看護部新人研修での介助技術指導担当	総合PT OT ST：書類スキャンの確認作業を時間短縮を図ることができた いづろ：残業時間の減少、個人差解消には至らなかった 谷山：残業時間の減少、勉強会参加人数の増加 奄美：退職者が出たが残業頻度はほとんど増加していない 総合スポーツPT：子育て世代PTのニーズに対応できた 総合PT：スタッフ理解のもと育休取得者のサポートができる いづろ：個々のライフスタイルに応じた勤務で離職を防げた いづろ：個々の目標管理に役立った 奄美：1カ月間の療休が発生したが円滑に対応できた 高麗町：連絡は滞りなく実施できた 総合PT OT ST：スタッフ向けに腰痛予防の研修会を実施 総合PT OT ST：調査にてセミモジュール車椅子が各病棟に不足していることが判明 いづろ：スキル向上、意識向上へ役立った いづろ：研修参加困難なスタッフへのフレキシブルな対応につながった 谷山 (PT)：毎年依頼あり実施している	総合PT OT ST：不具合や修正あれば情報室へ相談していく いづろ：上役へ相談、対応依頼 谷山：今後も業務時間内で実施する 奄美：今後も定期的に検討継続 総合スポーツPT：定時退社希望など今後も子育て世代PTに対して対応する 総合PT：離職防止に向けて、子育て世代の働き方について全体でサポートする仕組み作りを検討していく必要がある いづろ：ライフワークバランスを考慮した勤務シフト調整の継続実施 いづろ：今後も定期、臨時含め面談継続 奄美：新年度の応援体制の再構築を図る 高麗町：育児休暇のためには他施設の高麗町スタッフとの連携が必要になる 総合PT OT ST：定期的に啓発、必要な環境整備を行っていく 総合PT OT ST：セミモジュール車椅子の選定を行い必要数の購入を申請していく いづろ：今後、看護介護の年間計画に組み込まれる予定 いづろ：研修内容のアップデートしながら継続予定 谷山 (PT)：退職となったがOTで継続依頼あるか確認
	(1)ウェブサイトの充実 ・総合：スポーツ・回復期・脳卒中・呼吸器・循環器・消化器・腎・血液内科・産科・他チームでの治療実績報告 ・総合PT OT ST：人材確保に向けたInstagramによる広報活動 ・総合：学会・論文投稿・活動発表会・症例検討会・その他勉強会開催実績・機器の報告 ・総合：リハ部各チームの特徴・取り組みを写真とともに一般市民にもわかりやすく提示 ・谷山：写真によるプログラム紹介などの定期的更新 ・奄美：プログラム変更時に更新を実施(ダイケア含む) ・徳之島：実施している精神科作業療法、離島訪問看護についての広報 (2)SNS・地域コミュニティー誌への投稿・他 ・総合：働くものにやさしい職場であるとして日本PT協会の認定された職員腰痛予防対策を広報 ・総合：垂水市との連携活動での「言語相談」と「産後の運動指導」についての広報 ・総合：LLかもいけ(地域の広報誌)のじあいコミュニティ欄へのリハ関連記事の掲載継続 ・いづろ：臨床実習指導を通しての養成校との連携強化、就職希望者獲得への間口作り ・谷山：県内全ての養成校実習受け入れ準備、実習指導を通しての養成校との連携強化、就職希望者獲得 ・愛結：入所パンフ作成・恋愛会内スタッフも含み広報継続	総合PT OT ST：人材確保に向けたInstagramによる広報活動継続 谷山：不定期に更新 総合PT：長期実習2名受け入れ 総合PT OT ST：養成校の就職説明会参加 総合PT OT ST：Instagramによるリハ関連記事アップ 総合ST：垂水市市報のコラム掲載 総合ST：「LLかもいけ」に「口腔ケアについて」掲載 総合ST：長期実習1件、見学実習1件 総合PT・スポーツPT：垂水市の中学校体育授業でのスポーツ障害予防教室開催 いづろ：長期実習(P1校)、評価実習(P1校ST2校)、検査測定実習(P1校)、地域理学療法実習(P1校)の受け入れ 奄美：長期実習1校、短期実習1校、見学1校受け入れ	谷山：各部署OTRが更新担当している。下半期に更新回数増 総合PT：養成校との関係性を深めることができ、新卒者の人材確保にも繋がった 総合PT OT ST：新卒者の人材確保に繋がった 総合PT OT ST：リハビリテーション部の情報発信にて人材確保に繋がった 総合ST：垂水市や鴨池地区との地域連携にて情報提供できた 総合ST：実習を経験することで当院の状況が分かり、入職へ繋がった 総合PT・スポーツPT：参加住民からは好評であった いづろ：現場スタッフのスキル向上と、養成校との関係性向上につながった 奄美：学生が精神科作業療法への関心を持つようになった	谷山：更新する事柄や頻度ある程度決めておきタイムリーに更新する 総合PT：来年度は3名の長期実習を受け入れ予定 総合ST：垂水市と鴨池地区との地域連携継続 総合ST：長期実習1件、評価実習1件を受け入れ予定 総合PT：地域住民のニーズに応えられるように垂水市と今後も協議していく いづろ：今後も養成校増やしながらか実習受け入れ継続していく 奄美：適時実習の受け入れの継続を図る

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

慈愛会リハビリ部には、2024年3月現在、合計約150人を超える理学療法士（PT）・作業療法士（OT）・言語聴覚士（ST）が所属しています。

身障系リハビリの領域では、一般急性期病院のいづろ今村病院・今村総合病院、介護保険事業所の老健愛と結の街グループ、地域医療の高麗町クリニックがあります。精神科リハビリ領域では、谷山病院・奄美病院・徳之島病院があり、それぞれの施設で、PT・OT・STが臨床・教育・研究に携わっています。（慈愛会リハ施設概況表参照）

1. 慈愛会身障系リハ施設責任者会議（Zoom）

（参加者：いづろ今村病院・今村総合病院・愛と結の街・高麗町クリニック・慈愛会リハ部統括室長・補佐）

開催：年4回：5・9・12・3月の第4水曜日16：30～
（四半期毎の事業計画進捗管理表報告月に設定）

<内容>

①各施設リハ部門の現状報告と展望

各施設の事業計画進捗管理表を共有・意見交換。
スタッフの動向・学生指導・施設内感染対策・他

②慈愛会リハ活動発表会について

開催時期：例年通り11月。

会場：かごしまオハナビルをメインに各施設Zoom。

内容：2022年度～3カ年のテーマは「連携」。2022年度「多職種連携」、2023年度「施設間連携」、2024年度「地域連携」とした。テーマに沿った活動を意識的に実践・報告できた。

③慈愛会リハビリ部内人事異動

*スキルアップ目的で本人希望に沿ったもので、異動後は意欲的に業務に取り組んでいる。

[2023年度実績]

今村総合病院→いづろ今村病院へ：OT 1名

今村総合病院→高麗町クリニックへ：PT 1名

高麗町クリニック→今村総合病院へ：PT 1名

[2024年度計画]

今村総合病院→いづろ今村病院へ：ST1名、PT1名

いづろ今村病院→今村総合病院へ：ST1名、PT1名

④他施設リハ部の見学・体験実習実施

[2023年度実績]

今村総合病院で介護分野での経験のない療法士

が、老健施設愛と結の街を見学・体験実習。

[2024年度計画]

急性期の経験のない療法士のために、今村総合病院での見学・体験実習の機会を設ける。

⑤人材確保についての情報共有

今村総合病院を中心にSNSを活用した人材確保の成功事例を共有し、具体的方法等の伝達を行った。

⑥ラダー教育遂行について周知・徹底

各施設でのラダー教育実践について情報共有し、取り残される施設がないように、共有フォルダを用い進捗状況も可視化した。

⑦今村総合病院発信のSNS・YouTube（限定公開）

研修動画を慈愛会リハ部全体の学習に役立てるよう情報発信。

2. 慈愛会精神科リハ施設責任者会議（Zoom）

（参加者：谷山病院・奄美病院・徳之島病院・慈愛会リハ部統括室長・補佐）

開催：年4回：5・9・12・3月の第3水曜日16：00～
（四半期毎の事業計画進捗管理表報告月に設定）

<内容>

①各精神科施設リハ部門の現状報告と展望

各施設の事業計画進捗管理表を共有・意見交換。
スタッフの動向・学生指導・施設内感染対策・他

②慈愛会精神科リハ活動発表会準備

開催時期：例年通り10月。

会場：谷山病院をメインに各施設Zoom。

内容：「内との連携、外との連携」のテーマに沿って各施設から報告。

③人事異動

*スキルアップ目的で本人希望に沿ったもので、異動後は意欲的に業務に取り組んでいる。

[2024年度計画]

谷山病院→徳之島病院へ：OT1名

徳之島病院→谷山病院へ：OT1名

④人材確保についての情報共有

総合病院を中心にSNSを活用した人材確保の成功事例を共有し、具体的方法等の伝達を行った。

⑤ラダー教育遂行について周知・徹底

各施設でのラダー教育実践について情報共有し、取り残される施設がないように、共有フォルダを用い進捗状況も可視化した。

⑥慈愛会リハ部全体に向けたSNSを利用した研修

YouTubeの慈愛会リハ部内限定公開の形式でリハ
研修動画発信を継続、本会議で案内。

合同研修会

「第12回慈愛会リハビリテーション合同活動発表会」

- ・2023年11月25日（土）15:30-17:30
- ・メイン会場：かごしまオハナビル 3階大会議室
- ・サテライト会場：今村総合病院A棟4階大会議室
- ・参加者所属施設：今村総合病院・いづろ今村病院・愛と結の街・高麗町クリニック・谷山病院・奄美病院・徳之島病院
- ・司会：今村総合病院 理学療法士 村山 啓一郎

【内容】

1. 理事長挨拶

公益財団法人慈愛会 理事長 今村 英仁

2. 活動発表

第1セッション

座長 今村総合病院 理学療法士 野崎 聖矢

①鏡視下腱板修復術後における断裂サイズ別の術後1年までの他動肩関節可動域について

今村総合病院 理学療法士 岡 弥津希

②意欲低下で入院リハが不十分だった認知症患者を、他事業所と連携し細やかに支援した症例～訪問リハ視点～

いづろ今村病院 理学療法士 梶 明美

③緩和ケア病棟患者の希望を施設間連携で繋いだ事例の報告

いづろ今村病院 理学療法士 吉富 亜由美

ポスター発表（11月初旬より各施設に掲示中）

④慈愛会の介護サービスを利用しながら在宅生活を維持している一症例～訪問リハビリテーションの役割～

今村総合病院 理学療法士 本室 勝彦

第2セッション

座長 今村総合病院 理学療法士 園田 拓史

⑤グループホームとの連携と今後の課題～よりよい食支援に繋げるために～

愛と結の街 言語聴覚士 中藪 香織

⑥医療-介護連携～顔が見える関係を作るために

今村総合病院 理学療法士 船間 孝太

⑦過去5年における訪問リハビリ利用者の動向～記録を分析して今後の展望を考える～

高麗町クリニック 理学療法士 西村 允宏

3. 総括

慈愛会リハビリテーション部部長 堂園 浩一郎

「第12回慈愛会精神科リハビリテーション合同活動発表会」

- ・2023年10月14日（土）15:00-17:00
- ・メイン会場：谷山病院第一会議室
- ・サテライト会場：奄美病院・徳之島病院
- ・参加者所属施設：今村総合病院・愛と結の街・谷山病院・奄美病院・徳之島病院

【内容】

1. 理事長挨拶

公益財団法人慈愛会 理事長 今村 英仁

2. 活動発表

第1セッション

座長（訪看）愛の街 作業療法士 黒木 貴博

①車椅子利用患者の誘導における病棟との連携について

奄美病院 作業療法士 松元 美幸

②退院準備プログラムでの取り組みと課題～地域で安定して生活するために

谷山病院 作業療法士 瀧迫 なる光

③当院デイケアにおけるDAミーティングの役割

谷山病院 作業療法士 松元 咲絵

第2セッション

座長 谷山病院 作業療法士 迎 雄作

④長期入院者への退院支援～思考を整理し衝動行動を抑える

徳之島病院 作業療法士 古田 真悟

⑤統合失調症を有し焦燥感が強い方の就労支援～関係部署連携で対象者が納得する就労継続支援B型事業所の利用に結びついた一例～

谷山病院 作業療法士 岩吉 雄太郎

⑥障害・環境の変化を抱えながら地域で生活し続ける精神科訪問看護利用者の多職種支援

訪看愛の街 作業療法士 揚村 美帆子

3. 総括

慈愛会リハビリテーション部統括室長 浜田 香穂麗

技能・能力向上に向けた取り組み

主な資格取得状況：2023年度内取得分

地域ケア会議推進リーダー	総合PT 3名
介護予防推進リーダー	総合PT 3名
フレイル対策推進マネージャー	総合PT 3名
脳卒中療養相談士	総合PT 2名
	総合ST 1名
がんのリハビリテーション研修修了	総合PT 6名
	総合ST 2名
衛生工学衛生管理者	総合PT 1名
認知症ケア指導管理士(初級)	谷山OT 1名
厚労省臨床実習指導者講習会修了	総合OT 2名
	いづろPT 1名
	谷山OT 1名
日本理学療法士協会 認定理学療法士 (徒手療法)	総合PT 1名
サービス管理責任者	谷山OT 1名
	奄美OT 1名
認知症キャラバンメイト養成研修	谷山OT 1名
クリーニング師	谷山OT 1名
安心安全アカデミーマスターコース修了	谷山OT 1名
久里浜医療センターアルコール依存症 臨床医等研修作業療法士コース修了	谷山OT 1名
SST中級研修修了	谷山OT 1名
体軸体操指導者	谷山OT 1名
認定サイコロジカルコーチ	谷山OT 1名
全老健主催実地研修専門コース 「リハビリテーション」修了	愛結PT 2名

* 各リハスタッフ、PT・OT・STの国家資格だけでなく、配属先の臨床に役立つ資格を取得し、各個人のスキルアップと、他職種とのチーム医療に役立っている。

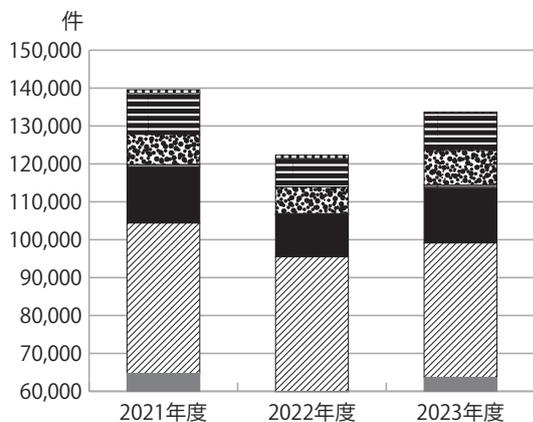
公益財団法人慈愛会 各施設リハビリ概況表 (2024年3月現在)

施設名	今村総合病院		リハビリテーション基準 / 脳血管Ⅰ・運動器Ⅰ・呼吸器Ⅰ・廃用Ⅰ・心大血管Ⅰ・がんリハ					
病床数	428床	外来患者：530名/日	リハビリ対象患者：入院 210～230名、外来 110～130名/日					
職員数	理学療法士	57名(一般総合43名、スポーツ14名)	作業療法士	19名	言語聴覚士	19名	リハ助手	5名
参考事項	脳血管障害等の急性期(ICU・SCU含む)と回復期を中心に、リハビリ専門Dr.(複数名)、病棟Ns.と共にPT・OT・STアプローチを密に行い、MSWの協力のもと早期の家庭・社会復帰を目指しています。その他、運動器・呼吸・心大血管・廃用症候群・身体合併症の精神科患者への廃用予防や、がん(血液・消化器等)に対してのリハビリテーション等、様々な経験が可能です。昨年度より産前産後の理学療法として専門的な取り組みを開始しています。新人教育、ラダー制度を用いたキャリア形成や、院内勉強会・学会活動にも注力しています。また、スポーツ整形外科(スポーツ専門Dr.複数名)があり、スポーツ整形リハセンターにてPTとAT(アスレチックトレーナー)が協力し、機能回復・スポーツ復帰・障害予防のためのリハを行っています。							
施設名	いづろ今村病院		リハビリテーション基準 / 脳血管Ⅲ・廃用Ⅲ・運動器Ⅱ・呼吸器Ⅰ・がんリハ					
病床数	115床	外来患者：月平均190名	リハビリ対象患者：入院 患者様 40～50名/日/Th					
職員数	理学療法士	8名(病棟・通所・訪問兼務)	作業療法士	2名(病棟配属)	言語聴覚士	2名(病棟・通所・訪問兼務)	リハ助手	0名
参考事項	12名のスタッフで医療保険分野(DPC病棟、地域包括ケア病棟、緩和ケア病棟)と介護保険分野(通所、訪問)領域を担っています。病棟での個別リハは主にがん、廃用、運動器での算定ですが、地ケア病棟では補充代替リハ(生活リハ、集団体操、自主訓練指導等)も行い在宅復帰を支援しています。また糖尿病療養の教育支援や特定保健指導(予防リハ)などにも従事し、業務は多岐に渡ります。その他、口腔ケア、摂食嚥下、NST、褥瘡対策、認知症対応、医療安全など、委員会活動を通して多職種間での連携強化にも力を注いでいます。院内にリハ専門医の在籍はありませんが今村総合病院のリハ専門医の週1回来院など、適時サポート、アドバイスを受けられます。認定理学療法士、糖尿病療養指導士等の専門的な資格を持ったセラピストが多数在籍しており、キャリアアップ等のサポートを行うことが可能です。スタッフは本人希望のもとに医療、介護それぞれの分野で活躍できるよう配慮し、配属しています。また2024年度より今村総合病院間との人事異動を計画し、交流深化を図っていく予定です。							
施設名	高麗町クリニック		リハビリテーション基準 / 訪問リハビリテーション(介護・医療)					
病床数	0床	外来患者：11～13名/日 訪問・往診：10～12名/日	リハビリ対象患者：10～12名/日					
職員数	理学療法士	2名	作業療法士	0名	言語聴覚士	0名	リハ助手	0名
参考事項	在宅療養支援診療所での診療支援部門として、診療部門や各利用者の主治医・事業所と連携を図り、訪問リハビリテーション(予防・介護・医療)を提供しています。理学療法士が利用者及びご家族の状況やニーズに合わせ、心身機能の維持・回復、日常生活の自立を図るよう支援を行っています。							
施設名	老健施設愛と結の街グループ		老健施設基準 / 超強化型老健					
病床数	100床	外来患者：0名/日	リハビリ対象患者：入所100名、通所リハ50名/日					
職員数	理学療法士	5名(うち通所2名)	作業療法士	4名(うち通所2名)	言語聴覚士	2名(通所、訪問兼務)	歯科衛生士	(非常勤職員) 1名
参考事項	超強化型老健として、また、在宅復帰・在宅支援施設として、入所のリハビリ、訪問リハビリ、通所リハビリ(長時間・短時間)、ショートステイのリハビリ、他事業所との連携等、幅広くリハを実施しています。セラピストを各階専従・専任制度にし、多職種と協働し、目標達成型のリハビリテーションを行っています。生活を見る視点として、環境調整(ポジショニング、福祉用具等)や作業機会の積極的な提供を行うとともに、認知症のケア、リハビリテーションにも力をいれています。またSTは言語障害だけでなく、提携の歯科衛生士及び訪問歯科と連携し、口腔機能への専門的なアプローチを行っています。							
施設名	谷山病院		リハビリ基準 / 精神科作業療法・精神科デイナイトケア・認知症患者リハビリテーション					
病床数	392床	外来患者：120名/日	リハビリ対象患者：入院120名、外来15名、デイケア50名/日					
職員数	理学療法士	1名	作業療法士	19名(+訪問3名)	言語聴覚士	0名	音楽療法士	(非常勤職員) 3名
参考事項	精神一般病棟に加え、急性期治療病棟・療養病棟・認知症治療病棟の機能を持つ病院です。24時間365日の精神科救急への対応を備えており、早期作業療法に取り組んでいます。教育的プログラム(心理教育、アルコール学習会、退院準備プログラムなど)は作業療法士が中心となり多職種で取り組んでいます。嚥下機能をはじめ、その他身体的リハビリテーションへの対応も進めています。デイケア、就労支援センター、訪問看護ステーションにも作業療法士が配置され、在宅部門にも力を入れています。							
施設名	奄美病院		リハビリ基準 / 精神科作業療法・精神科デイナイトケア・認知症患者リハビリテーション					
病床数	348床(82休床)	外来患者：86.1名/日	リハビリ対象患者：入院60～70名/日、デイケア40名/日					
職員数	理学療法士	1名	作業療法士	6名	言語聴覚士	0名	リハ助手	0名
参考事項	現在6名作業療法士が在籍しており、精神科作業療法、認知症病棟、デイナイトケア、就労継続B型で従事しております。精神障害にも対応した地域包括ケアシステムに基づいて早期作業療法、社会的入院患者の退院促進、地域生活における支援に取り組んでおります。また、患者高齢化への対応として理学療法士が中心となり身体的リハビリテーション(非算定)を実施しています。							
施設名	徳之島病院		リハビリテーション基準 / 精神科作業療法					
病床数	206床	外来患者：40.2名/日	リハビリ対象患者：入院 100名					
職員数	理学療法士	0名	作業療法士	5名	言語聴覚士	0名	リハ助手	1名
参考事項	早期作業療法のほか、長期入院者の退院支援も重点的に行っており、Ns・PSWと協働して退院前訪問、個別での外出支援、公共施設利用支援などに取り組んでいます。入院患者の高齢化に伴い車いす・寝たきりの患者を対象に病棟と協力して身体リハビリテーションを継続して実施。2021年より地元保育園での運動指導を実施中。							

各種指標

今村総合病院

リハビリテーション部 件数



	2021年度	2022年度	2023年度
■脳血管	64,730	59,864	63,685
▨運動器	39,647	35,609	35,439
■呼吸	14,667	11,099	14,441
▨心大血管	757	297	833
▨廃用	7,962	7,014	9,144
▨がん	10,812	7,502	9,743
▨摂食	1,000	922	416
件数合計	139,575	122,307	133,701

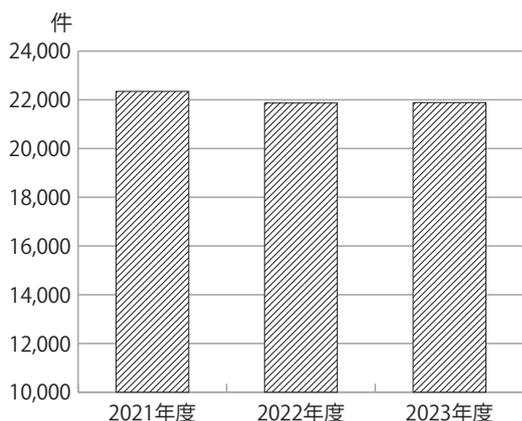
【今村総合病院リハビリテーション部の実績・特色】

スポーツ整形PTでは、局所の検査と治療に加え、障害を引き起こした本当の原因を診て、適切な治療を行い、メディカルリハ、アスレティックリハとともに全身的にアプローチを行います。また、日常生活に支障のない体の動きや、自信をもった競技復帰につなげていきます。

一般総合PT・OT・STでは、リスク管理のもと入院後すぐにリハビリテーションを開始し、365日（土日・祝日含む）継続して実施しています。また、脳卒中、心大血管疾患、呼吸器、運動器、がん、外科術後・内科治療後の廃用症候群、嚥下障害、高次脳機能障害等について、専門セラピスト（PT・OT・ST）による質の高いリハビリテーションを提供します。麻痺の回復を助け運動量増加に繋がる電気刺激装置、体重の一部を免荷しながら歩く練習ができる歩行補助装置、身体の筋肉量を測定できる装置、その他の最新の機器を用いています。STでは嚥下内視鏡検査（VE）・嚥下造影検査（VF）もリハビリテーション科医師と協力して取り組んでいます。

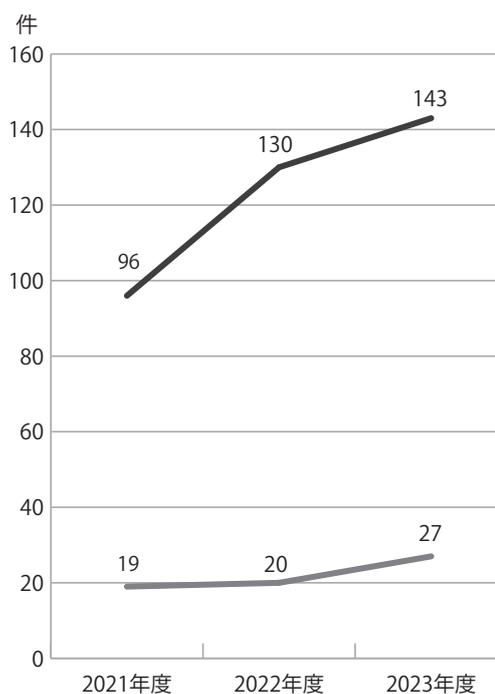
リハビリテーション部全体で鹿児島市地域リハビリテーション支援活動に積極的に協力しています。

スポーツ整形PT 件数



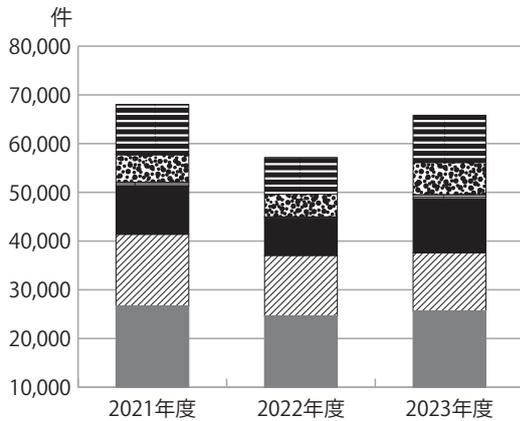
	2021年度	2022年度	2023年度
■脳血管	0	0	0
▨運動器	22,347	21,867	21,885
■呼吸	0	0	0
▨心大血管	0	0	0
▨廃用	0	0	0
▨がん	0	0	0
▨摂食	0	0	0
件数合計	22,347	21,867	21,885

スポーツ整形PT ACL・腱板損傷術後のリハ件数



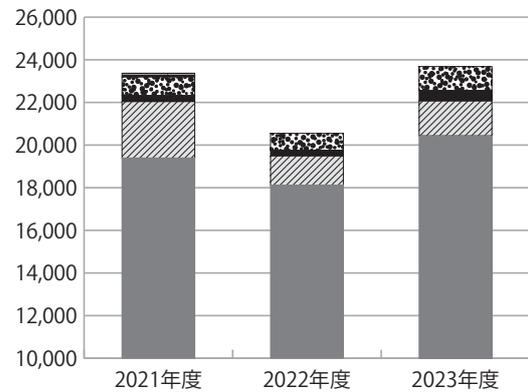
— ACL術後患者数 — 腱板損傷術後患者数

一般総合PT 件数



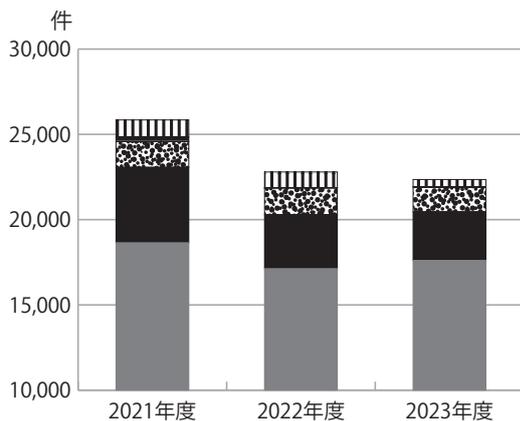
	2021年度	2022年度	2023年度
■脳血管	26,698	24,630	25,642
▨運動器	14,651	12,362	11,922
■呼吸	9,971	7,671	11,106
■心大血管	757	297	833
▩廃用	5,574	4,652	6,576
▨がん	10,367	7,485	9,701
▨摂食	0	0	0
件数合計	68,018	57,097	65,780

OT 件数



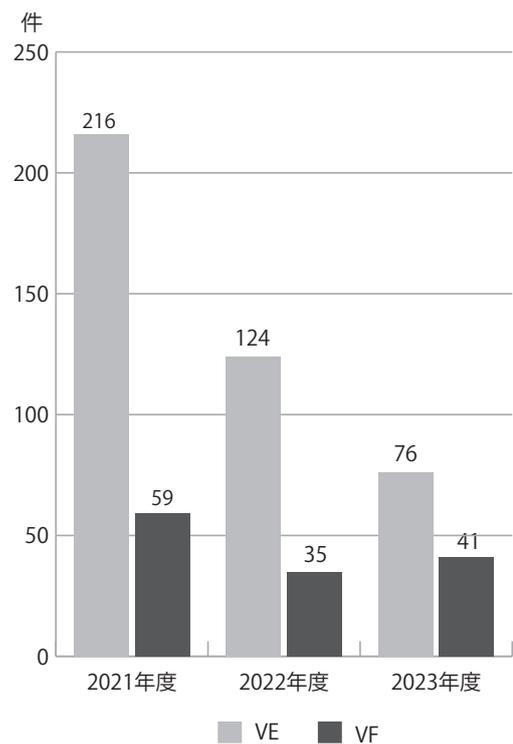
	2021年度	2022年度	2023年度
■脳血管	19,389	18,107	20,432
▨運動器	2,649	1,380	1,632
■呼吸	276	265	490
■心大血管	0	0	0
▩廃用	875	796	1,129
▨がん	177	1	0
▨摂食	0	0	0
件数合計	23,366	20,549	23,683

ST 件数



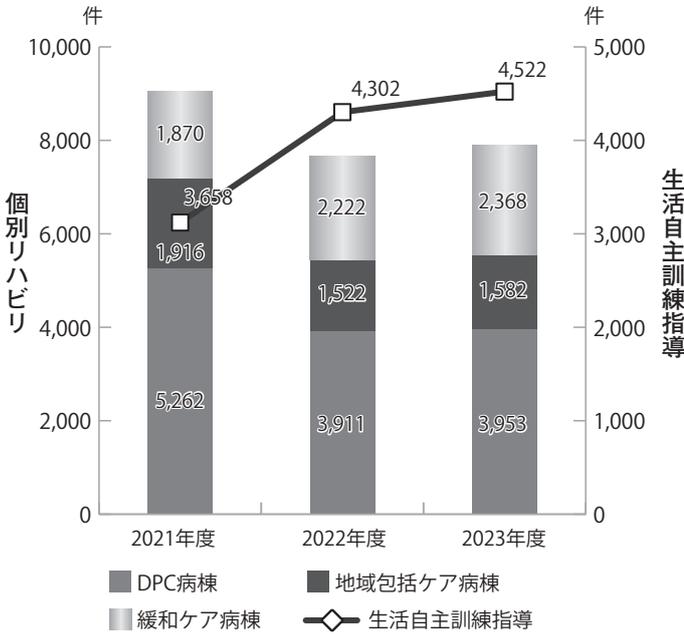
	2021年度	2022年度	2023年度
■脳血管	18,643	17,127	17,611
▨運動器	0	0	0
■呼吸	4,420	3,163	2,845
■心大血管	0	0	0
▩廃用	1,513	1,566	1,439
▨がん	268	16	42
▨摂食	1,000	922	416
件数合計	25,844	22,794	22,353

嚥下内視鏡検査 (VE)、嚥下造影検査 (VF) 実施件数



いづろ今村病院

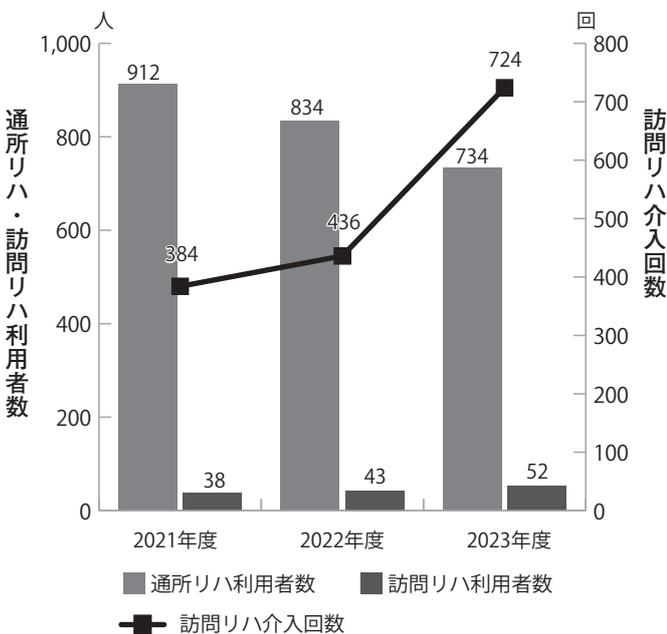
個別リハビリ・生活自主訓練指導
総実施件数（入院リハ）



【いづろ今村病院 入院リハビリテーションの実績・特色】

- ・当院には「DPC病棟」「地域包括ケア病棟」「緩和ケア病棟」の3つの病棟があり、どの病棟でも退院後の生活を見据えたりハビリ介入がなされます。1週間あたりの介入頻度、1回あたりの介入時間は疾病の重症度等で異なります。
- ・地域包括ケア病棟では、生活の場に戻るために動作練習を重視する補完代替リハビリも取り入れており、超高齢の方や認知機能の低下した方など積極的な介入が困難な方にも対応しています。また在宅生活の継続が困難な場合、施設探しの間の環境調整目的入院や、ご家族の都合で一時的に介護が困難になった場合のレスパイト入院も受け入れており、対象者のニーズに応じたケア・支援も行っています。
- ・さらに糖尿病や炎症性腸疾患（IBD）で長期療養となる方には医師、看護師、栄養士、薬剤師などと連携しながら個々に応じた支援を行っています。特に糖尿病療養者には運動指導の講義のみでなく実技指導まで手厚く介入しています。

通所リハ（利用者数）
訪問リハ（利用者数・介入回数）



【通所リハビリテーション ウェルネスじあいの実績・特色】

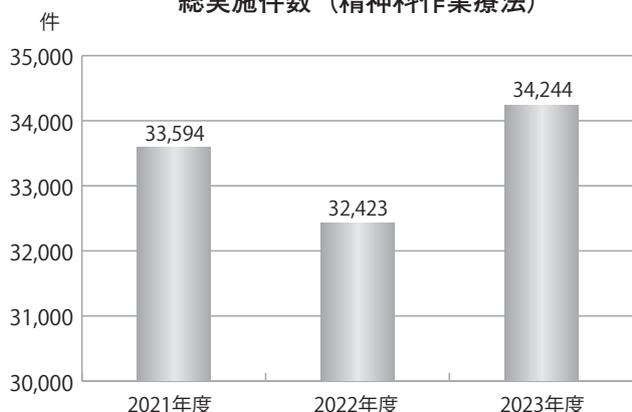
- ・通所リハビリの実施場所の移転に伴い定員が各16名から各12名に減員しています。2022年度末の定員に対しての登録者数は約94%で、平均利用率は約73%です。新規の受け入れ枠が少ない状況ですが、問い合わせに関しては体験利用を勧めています。2023年度は年間5件の体験利用があり、そのうち3件は実際のご利用につながっています。
- ・要介護の利用者にはリハビリテーション会議の中で現状報告とに事業所に対する要望聴取を行い、サービス向上につなげています。また利用者全員に対してリハビリ計画の見直しを必要に応じて行い、個々の要望に応じたサービス提供を心がけています。
- ・包括支援センター担当者、居宅介護支援事業所ケアマネジャーはじめとする関連事業所との連携を図り、信頼を得るよう努めています。

【指定訪問リハビリテーション ウェルネスじあいの実績・特色】

- ・2023年度は、当院から理学療法士と言語聴覚士が訪問リハビリテーションに従事しています。訪問リハの依頼、相談はコンスタントに頂いていますが、人員の問題でお断りすることが多い現状です。担当ケアマネジャーより「他の利用者様も…」と依頼を頂くことが多く、ご利用者個々の目標に応じたりハ計画で、在宅生活を様々な角度から支援していることが評価されているものと思料します。
- ・訪問リハ指示の問題から、原則として当院の訪問リハビリテーションは当院退院後の患者、もしくは当院をかりつけとされている方を対象としています。該当しない方からの問い合わせに関しては、状況に応じて、慈愛会をはじめとする他の訪問リハ事業所を紹介しています。そのため、常日頃から他訪問リハ事業所との連携に努めています。
- ・病院退院後に訪問リハ開始となる患者に関しては、入院中から、リハ見学を含め、様々な情報を収集し、よりスムーズな在宅支援に繋げられるよう、連携を図っていきます。

谷山病院

総実施件数（精神科作業療法）

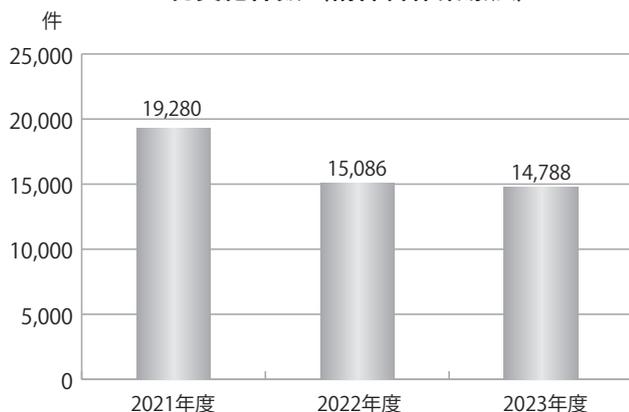


【谷山病院 精神科作業療法の実績・特色】

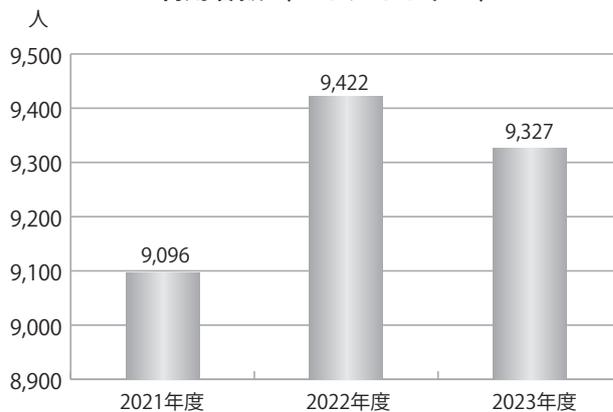
- ・急性期治療、退院支援、在宅部門、と作業療法士の職域が広く、作業療法士の視点で入院から退院後まで切れ目ない支援の提供ができます。
- ・患者のニーズに応えられるよう様々な個別・集団プログラムを実施しています。
- ・院内の教育的プログラム（心理教育、退院準備プログラム、アルコール学習会など）は作業療法士が中心となり多職種と協業し実施しています。
- ・理学療法士の常勤、作業療法士による嚥下機能評価や訓練など、身体的リハビリテーションにも力を入れています。

奄美病院

総実施件数（精神科作業療法）



利用者数（デイナイトケア）



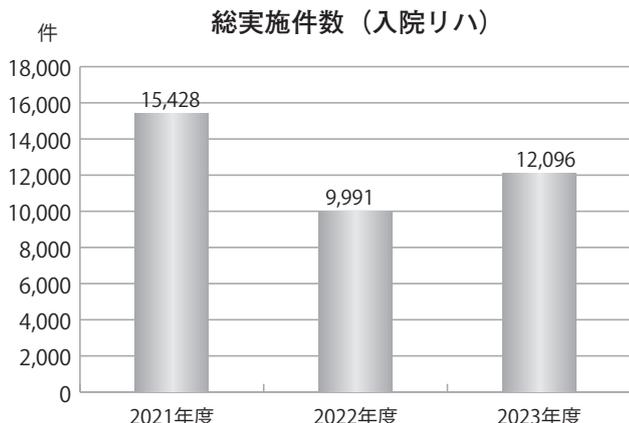
【奄美病院精神科作業療法の実績・特色】

- ・患者の年齢層のニーズに対応したプログラムを再構築し実施しています。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染状況に対応したプログラムを実施しています。
- ・長期入院者の退院支援を多職種連携で強化しており地域移行加算を達成しています。
- ・理学療法士を中心とした身体的リハビリテーションを実施しています。

【奄美病院デイナイトケアの実績・特色】

- ・病院や地域の社会資源との連携が充実しており地域定着者が増加しています。
- ・送迎サービスや入浴サービス（身体的・環境的理由）を実施しています。
- ・個々に応じた支援が充実しています。
- ・他施設での受け入れ困難者に対するの支援に取り組んでいます。

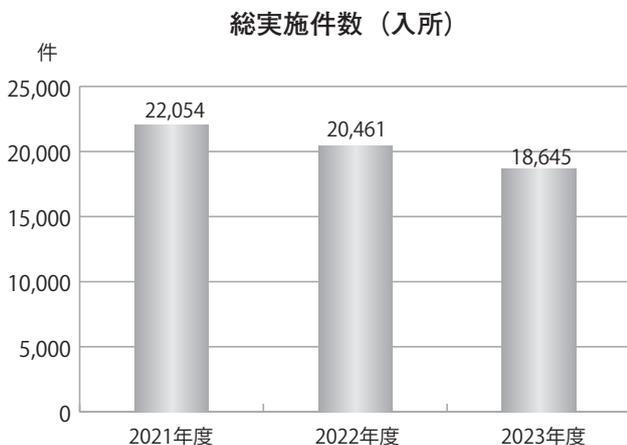
徳之島病院



【徳之島病院リハビリ部門の特色】

- ・ 選択できるプログラムの充実と長期入院患者の退院促進を重点的に行っています。
- ・ 心理教育プログラムを作業療法士を中心に多職種協働で行っています。
- ・ 患者、病棟スタッフのニーズに応じて柔軟にプログラムの設定・変更を行っています。
- ・ 身体的アプローチを必要としている患者への介入を積極的に行っています。
- ・ 地元保育園での運動指導を継続して実施中。

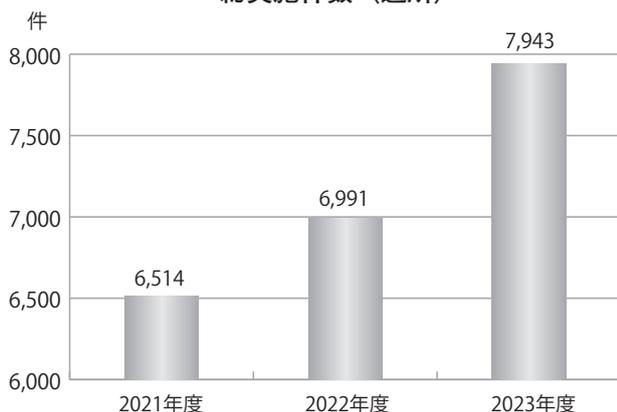
介護老人保健施設 愛と結の街



【入所リハビリの実績・特色】

- ・ 当施設は在宅復帰・在宅療養支援機能をもつ超強化型老健として稼働しています。各階に専従・専任セラピストが配置されています。
- ・ 入退所前後訪問、家屋調査等を実施、多職種と入所時より連携を図るとともに、ご家族への介護指導等を行い、積極的に在宅復帰を支援します。
- ・ 老健退所後も通所リハビリ、訪問リハビリ、ショートステイ等を提供できる体制をとり、在宅支援に向け、シームレスな取り組みを行っています。
- ・ 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が常勤で勤務しています。
- ・ 対象疾患は脳血管障害、整形外科疾患、認知症のみならず、呼吸器疾患、精神疾患、がん等、幅広く受け入れております。
- ・ リハビリは、ご本人、ご家族と一緒に目標設定したADL（日常生活動作）やIADL（家事等を含めた応用動作）が向上するように、セラピストや介護福祉士等と多職種協働で、生活リハビリを支援しています。また生け花や書道といった活動にも力を入れています。
- ・ LIFE（科学的介護情報システム）を活用しています。リハビリ計画だけでなく、自立支援促進、栄養マネジメント、排泄支援等多職種で取り組み、厚生労働省に定期的な情報の提出、フィードバック情報の活用等を行うことで、質の向上に努めています。
- ・ 2023年度も新型コロナウイルス感染症対策として、業務を一部制限せざるを得ない状況がありました。

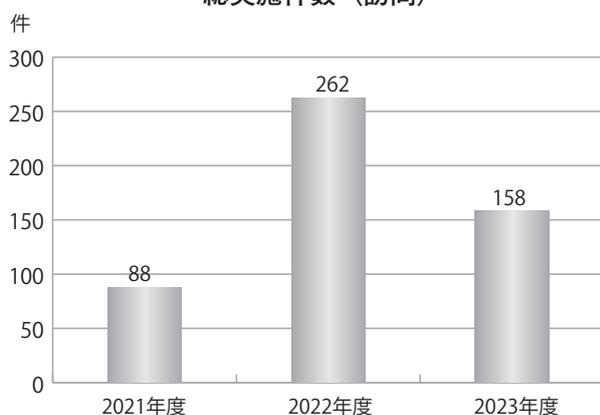
総実施件数（通所）



【通所リハビリの実績・特色】

- ・ご利用者のニーズに応じて、1日型サービス（6～7時間/食事・入浴サービス有）と短時間通所リハビリ（午前・午後2～3時間）の2つのプログラムを提供し、一緒のフロアで実施しています。両サービス共にADLの維持向上を目指し、1日でも長く在宅で生活できるよう支援しています。短時間型サービス利用者で加齢や障害により心身機能が低下した場合でも必要に応じて1日型サービスに移行することができます。長期的な視点で安心して利用できます。
- ・介護福祉士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が協働して支援しています。「生活」や「活動」に焦点を当てたプログラムを提供しています。送迎業務に従事しており家族の相談に応じ、車両の乗り降り、自宅での動作の評価、練習、助言を行っています。
- ・リハビリマネジメント加算B（ロ）に対応しており、医師が参加するリハビリ会議（要介護の方のみ）を開催しています。医学的管理やリハビリの目標設定、進捗の確認を行っています。LIFE（科学的介護情報システム）を活用しており、算定要件の一つであるリハビリデータを定期的に厚生労働省に提出し、フィードバックを受け、質の向上につなげます。
- ・管理栄養士と連携し、栄養マネジメントに対応しています。
- ・グループホーム、デイサービス等理学療法士等のリハビリ専門職が不在の事業所に対し、生活機能向上連携加算を算定する体制を整えております。

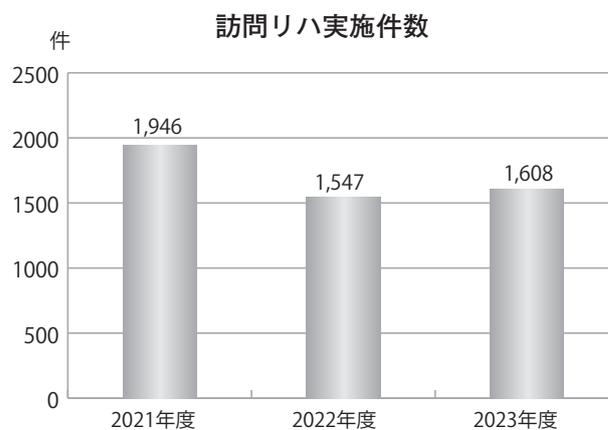
総実施件数（訪問）



【訪問リハビリの実績・特色】

- ・訪問リハビリは、安心して在宅生活が行えるように、原則、入所担当セラピストが訪問まで引き続き担当します。退所後、短期間、集中的に訪問リハを行い、在宅生活を支援する体制をとっています。
- ・新規のご利用者も受け入れています。
- ・実際の生活の場である自宅での動作確認を行い、ご利用者ご家族が互いに行いやすい介助方法等の助言を行います。また家事動作や実際の外出等も確認し、アドバイス等行います。
- ・自宅での福祉用具の使用法の確認等、環境面の調整を行います。
- ・理学療法士や作業療法士だけでなく、言語聴覚士の訪問リハビリが提供できます。
- ・言語聴覚士の訪問リハビリは、言語機能だけでなく、摂食嚥下機能の訓練の他、食事に関する助言、環境調整等を行います。
- ・リハマネジメント加算B（ロ）に対応しています。
- ・本加算は、医師や多職種が参加するリハビリ会議にて、医学的管理やリハビリの目標設定、進捗の確認を行いながら、医師が主体となって説明等を行います。また、リハビリに関するデータを厚生労働省に定期的に提出し、フィードバック情報を活用するもので、リハビリの質の向上に努めています。
- ・リハビリ会議は3カ月に1度行いますが、ご自宅まで医師が伺う体制とオンライン体制の両方を整備し、要望、感染対策等に応じて柔軟に対応します。

高麗町クリニック



【高麗町クリニック訪問リハの実績・特色】

- ・基本的な歩行練習や応用歩行練習、日常生活活動などの応用動作練習に加え、生活への楽しみ作り、ご家族の健康や運動の相談、介助方法の指導・助言などを行います。
- ・要支援1～要介護5と幅広い介護度の支援を担当。また、疾患も整形外科疾患や脳梗塞、糖尿病、腎不全、呼吸器疾患や癌末期など、幅広い疾患をもつ利用者の支援を行っています。
- ・南は谷山地区から北は伊敷地区まで、幅広い地域へ訪問しています。
- ・慈愛会内では、今村総合病院、いづろ今村病院、愛と結の街、鹿児島オハナクリニックと連携しています。
- ・緊急時には在宅診療を行っている当クリニック医師に相談し対応いたします。
- ・感染症対策を十分に行い訪問リハビリを提供しております。

業 績 一 覧

【論文】

今村総合病院 理学療法士（一般総合）

<欧文>

1. Takekiyo T, Morishita S: Effect of rehabilitation in patients undergoing hematopoietic stem cell transplantation. Fukushima J. Med. Sci. 69(2): 73-83, 2023. <https://doi.org/10.5387/fms.2022-33>

<和文>

1. 武清孝弘, 市川雄大, 木口大輔, 中村和司, 田仲勝一, 青木卓也, 名和由一郎: 造血幹細胞移植における運動療法の意義と実際. 日本造血・免疫細胞療法学会雑誌 13(1): 21-32, 2024. <https://doi.org/10.7889/tct-23-008>

今村総合病院 理学療法士（スポーツ整形）

<和文>

1. 白尾泰宏: 運動器理学療法におけるクリニカルリーズニング. 理学療法ジャーナル 57 (9): 1033-1037, 2023

谷山病院 作業療法士

<和文>

1. 東泊由紀: 精神科デイケアにおける“プレデイケア”の効果～デイケア導入期に必要なこと～. かごしま慈愛会ジャーナル 2: 63-66, 2023

【学会発表】

今村総合病院 理学療法士（一般総合）

<国内>

1. 武清孝弘, 堂園浩一朗, 岡村敏之, 中島徳久, 奈良聡一郎, 吉田一成, 堂園充代, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 中野伸亮, 伊藤能清, 宇都宮興: 同種造血幹細胞移植患者の SF-36 における 移植前身体機能スコアの特徴. 第 6 回日本がん・リンパ浮腫理学療法学会, 2023 年 10 月 14-15 日, 福島
2. 宮島康輔, 宮ヶ原卓, 濱田大輔, 浜田香穂麗, 銚之原希志, 吉田一成, 堂園浩一朗: 外傷性脊髄損傷後、Overdose 等で ADL 低下を繰り返す難治したが歩行再獲得に至った症例. 第 43 回 回復期リハビリテーション病棟研究大会 in 熊本, 2024 年 3 月 8-9 日, 熊本
3. 武清孝弘, 堂園浩一朗, 岡村敏之, 中島徳久, 奈良聡一郎, 吉田一成, 堂園充代, 徳永雅仁, 宮園卓宜, 中野伸亮, 伊藤能清, 宇都宮興: 同種造血幹細胞移植患者の SF-36 における 身体機能スコアの経時的変化. 第 46 回日本造血・免疫細胞療法学会総会, 2024 年 3 月 21-23 日, 東京

今村総合病院 理学療法士（スポーツ整形）

<国内>

4. 岡弥津希, 吉田研吾, 轟原与織, 鮫島智志, 白尾泰宏, 濱里雄次郎: 鏡視下腱板修復術後患者における術後 1 年の他動肩関節可動域に影響する因子の検討. 第 3 回慈愛会学会学術集会, 2023 年 7 月 1 日, 鹿児島
5. 岡弥津希, 吉田研吾, 轟原与織, 鮫島智志, 白尾泰宏, 濱里雄次郎: 鏡視下腱板修復術後患者における術後 1 年の他動肩関節可動域に影響する因子の検討. 第 11 回日本運動器理学療法学会学術大会, 2023 年 10 月 15 日, 福岡
6. 吉田研吾, 白尾泰宏, 福島佳織, 濱里雄次郎: 当院における骨付き膝蓋腱を用いた膝前十字靭帯再建術後の膝筋力

値～性別・年代別での比較～. 九州理学療法士学会大会 2023in 熊本, 2023年11月25日, 熊本

7. 吉田研吾, 白尾泰宏, 海江田英泰, 福島佳織: 骨付き膝蓋腱と膝屈筋腱を用いた膝前十字靭帯再建術後における膝筋力値の比較～同性同年代間での検証～. 第35回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2023年12月9日, 福岡
8. 岡弥津希, 吉田研吾, 白尾泰宏, 福島佳織, 海江田英泰: 腱板断裂患者における上腕二頭筋長頭腱病変の合併率と関節可動域・疼痛の関連について. 第37回鹿児島県理学療法士学会, 2024年2月23日, 鹿児島

いづろ今村病院 理学療法士

<国内>

9. 土井敦: 慈愛会における訪問リハの強み～在宅支援に必要なこと～. 第3回慈愛会学会学会学術集会パネリスト, 2023年7月1日, 鹿児島
10. 西洋樹, 森永恭子, 新中須敦, 鎌田哲郎: 合併症、認知機能低下、運動機能低下により運動実践困難となった高齢2型糖尿病患者1例に対する徒手療法併用運動療法の効果と地域連携. 第9回日本糖尿病理学療法学会学術大会, 2023年9月16-17日, 名古屋

今村総合病院 作業療法士

<国内>

11. 濱田大輔, 新福友果子: 回復期における脳卒中重度片麻痺患者に対する自宅退院に向けた作業療法. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島

いづろ今村病院 作業療法士

<国内>

12. 飯田真由美: 在宅療養を支えるレスパイト入院の役割. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島

谷山病院 作業療法士

<国内>

13. 徳田真紀: いつまでも美味しく食事を食べるために～作業療法士による摂食嚥下機能への取り組み～. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
14. 川井田翔悟, 東泊由紀: 地域生活支援の観点からデイケアでの作業療法について考える. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
15. 伊瀬知友梨: 個別OTの準備を簡素化しよう～QC手法を用いた業務改善～. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
16. 内村ちひろ, 東上床ゆかり, 小澤孝典, 久保楓, 小川香織: 知的障害のある方への就労支援～できることに着目したオーダーメイドの支援で就職に結びついた一例～. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
17. 川井田翔悟, 東泊由紀, 松元咲絵, 岩吉雄太朗: 事例を通して精神科デイケアにおける作業療法士の役割を再考する. 第57回日本作業療法学会, 2023年11月10日, 沖縄

愛と結の街 作業療法士

<国内>

18. 村井真由美: 通所リハビリテーションにおける生産性向上の取り組み～フロア業務と送迎の検討～. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島

今村総合病院 言語聴覚士

<国内>

19. 鮫島悠子, 園田拓史, 松元龍, 梶原良太, 黒肱知弘, 浜田香穂麗: 超少子・超高齢化社会の到来を見据えた採用広報の試み. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
20. 田中光, 丸岡由佳, 堂園浩一朗: 重度嚥下障害患者に対する完全側臥位法での代償の有効性について. 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学術大会, 2023年9月3日, 横浜
21. 丸岡由佳, 田中光, 松元龍, 堂園浩一朗: 脳卒中急性期における嚥下評価と呼吸器疾患の関連性. 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学術大会, 2023年9月3日, 横浜

【研究会・講演会】

今村総合病院 理学療法士 (一般総合)

1. 村山芳博: チーム医療の実践について. 鹿児島大学医学部保健学科 (看護・理学・作業専攻), 2023年6月28日, 鹿児島
2. 村山芳博: CVAの理学療法評価 (OSCE). 鹿児島大学医学部保健学科 (理学療法専攻), 2023年12月11日, 鹿児島

今村総合病院 理学療法士 (スポーツ整形)

3. 轟原与織: サッカー コンディショニング&アスレティックリハビリテーション. 鹿児島県スポーツ協会鹿児島県アスレティックトレーナー協議会サポートトレーナー養成講習会Ⅱ期, 2023年4月23日, 鹿児島
4. 白尾泰宏: 頸部・肩甲帯の触診と評価治療展開. 鹿児島県理学療法士協会 専門領域研究部運動器系研修会, 2023年6月11日, 鹿児島
5. 岡弥津希: フレイル予防教室. 宮路拓馬代議士講演会・フレイル予防体操教室, 2023年6月25日, 鹿児島
6. 轟原与織: かがしま国体高校野球大会コンディショニングサポートに向けて. 鹿児島県理学療法士協会スポーツ委員会研修会, 2023年8月27日, 鹿児島
7. 轟原与織: 内科的疾患の応急処置 (熱中症の対応). 鹿児島県スポーツ協会鹿児島県アスレティックトレーナー協議会サポートトレーナー養成講習会Ⅲ期, 2023年8月27日, 鹿児島
8. 白尾泰宏: 腰部・骨盤帯の触診と評価治療展開. 鹿児島県理学療法士協会 専門領域研究部運動器系研修会, 2023年10月1日, 鹿児島
9. 白尾泰宏: 成長期に起こるスポーツ障害. 垂水中央中学校 体育授業, 2023年12月14日, 垂水
10. 吉田研吾: 肩肘機能検査について. 鹿児島県理学療法士協会スポーツ委員会研修会, 2024年1月13-14日, 鹿児島
11. 轟原与織: かがしま国体におけるアスレティックトレーナー活動報告. 全国アスレティックトレーナー連絡会議, 2024年1月21日, 鹿児島 (Web)
12. 白尾泰宏: 野球で起こるスポーツ障害予防. 薩摩おいどんカップ実行委員会主催障害予防啓発教室, 2024年3月2日, 鹿児島
13. 轟原与織: 県内理学療法士のスポーツ・障がい者スポーツへの関わりと取り組み. 鹿児島県理学療法士協会公開講座, 2024年3月6日, 鹿児島 (Web)

いづろ今村病院 理学療法士

14. 土井敦: 基本動作と生活環境. 鹿児島 POS 連絡協議会 訪問リハ研究会 実務者研修, 2023年9月30日, 鹿児島
15. 土井敦: 看護介護職員向け動作介助研修会. 公益社団法人鹿児島県理学療法士協会 公開講座, 2023年10月22日, 鹿児島 (Web)
16. 土井敦: 介護技術習得に向けて現場で役立つ基礎的知識. 公益財団法人介護労働安定センター 介護実務者研修,

2023年10月25日, 鹿児島

17. 土井敦：運動学Ⅳ. 学校法人原田学園 作業療法学科2年 後期授業, 2023年10月-2024年3月, 鹿児島 (Web)
18. 西洋樹：ミニデイで行う運動の考え方と工夫. 薩摩川内市保健福祉部高齢・介護福祉課, 2023年12月5日, 薩摩川内
19. 土井敦：福祉用具学. 学校法人神村学園 理学療法学科2年 特別講義, 2024年1月30日, 鹿児島
20. 土井敦：快適な住環境整備と介護. 鹿児島県歯科学院専門学校 介護職員初任者研修, 2024年2月26日, 鹿児島
21. 西賢一郎：姿勢と運動の呼吸への影響. 第13回呼吸療法セミナー, 2024年3月17日, Web

谷山病院 作業療法士

22. 川井田翔悟：作業療法における協業と後輩育成. 鹿児島県作業療法士協会現職者共通研修, 2023年11月5日, 鹿児島

愛と結の街 作業療法士

23. 村井真由美：介護現場の生産性向上の取組発表「生産性向上の取組～フロア業務と送迎を検討して～」. 第5回生産性向上ビギナーセミナー (九州・沖縄), 2023年8月10日, 鹿児島 (Web)
24. 宮田雅士：認知症について学びみんなで支えましょう. コープかごしま主催研修会, 2023年10月18日, 鹿児島
25. 宮田雅士：県内外で活躍する OTR の取組紹介. かごしま認知症 OT ネットワーク交流会, 2024年1月20日, 鹿児島

高麗町クリニック 理学療法士

26. 西村允宏, 永田祥吾：過去5年における訪問リハビリ利用者の動向～記録を分析して今後の展望を考える. 第12回リハビリテーション合同活動発表会, 2023年11月25日, 鹿児島

【受賞】

今村総合病院 理学療法士 (スポーツ整形)

1. 岡弥津希：「鏡視下腱板修復術後患者における術後1年の他動肩関節可動域に影響する因子の検討」第3回慈愛会学会学術集会 奨励賞. 2023年7月

今村総合病院 作業療法士

2. 濱田大輔：「回復期における脳卒中重度片麻痺患者に対する自宅退院に向けた作業療法」第3回慈愛会学会学術集会 優秀賞. 2023年7月

今村総合病院 言語聴覚士

3. 鮫島悠子：「超少子・超高齢化社会の到来を見据えた採用広報の試み」第3回慈愛会学会学術集会 奨励賞. 2023年7月

愛と結の街 作業療法士

4. 村井真由美：「通所リハビリテーションにおける生産性向上の取り組み～フロア業務と送迎の検討～」第3回慈愛会学会学術集会 特別賞. 2023年7月

【マスメディア】

今村総合病院 理学療法士 (スポーツ整形)

1. 海江田英泰 (スポーツ整形外科医師), 轟原与織：全投手に肩肘検査 県高野連が独自の取り組み 公式戦で登板予定、県内高の400人対象 / 鹿児島. 毎日新聞, 2024年2月19日

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

薬剂部門

中長期計画	中長期計画と2023年度事業計画 (Stage2)	実施 2023.4月～2024.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
人材育成・教育体制の構築 薬剂部	(1)全体の薬剤師数 ・新卒薬剤師 (6名) ・薬剤師採用試験 (2回) ・病院間薬剤師職員の定期(臨時)異動 (2回) ・奄美・徳之島病院薬剤師の常勤補充数 (2名) ・採用薬剤師の離島での実地研修のあり方検証 ・薬学実務実習生の受け入れ (10名) ・薬学生の病院見学の受け入れ (10名) ・各薬科大学への薬剤師募集の情報発信 (4回)	・新卒薬剤師 (4名内定) 中途薬剤師 (2名採用) ・薬剤師採用試験 (5/15 1回) ・病院間薬剤師職員の臨時応援 谷山病院→奄美病院2名 (12月:2名) ・奄美・徳之島病院薬剤師の常勤補充数 (2名) ・新採薬剤師の離島での実地研修なし ・奄美応援体制 (谷山病院対応) 現在常勤2名応援 ・薬学実務実習生9名 (いづろ:5名、総合:4名) 受け入れ ・薬学生の病院見学の受け入れ:いづろ今村4名、今村総合6名計10名 中途薬剤師2名見学 ・各薬科大学への薬剤師募集の情報発信 (6回):九州地区内4大学 (12/19) 2024年度新卒薬剤師求人票送信 九州保健福祉大学11/12・第一薬科大学12/15・福岡大学3/11:2025年度新卒者合同説明会	・新卒薬剤師確保希望は4名で採用試験1回行い、内定者4名 内定通知を送付し採用は4名決定。年間6名採用に向けて更なる求人活動が必要 ・薬剤師の健康状況の把握が必要、特にメンタル面の情報収集必須 ・奄美・徳之島の離島病院の薬剤師の確保は多方面の求人活動の情報収集が必要 ・新採薬剤師の離島での実地研修のあり方や育成方法の見直し中 ・奄美4名体制が継続中であるため常勤4名体制が急務である ・5月～8月いづろ今村 (福大2名)今村総合 (山口東薬1名) 9月～11月いづろ今村3名 9月12日～今村総合3名 (山口東薬1名・崇城1名・神戸学院1名) 合計9名実習受け入れ。今後も継続していく。 ・病院見学者は対面での大学就職説明会に参加することで強化中 ・薬学生の病院見学は、情報発信をWEB等積極的に行い、例年と同等であった。2025年度卒3名の見学者の対応ができた。	・新卒採用に関しては薬学生奨学金制度導入による高校、大学へのアプローチ。 ・徳之島は定着しているが、奄美については今年度現地採用者の定着を考える。離島未研修者の研修を検討する。 ・エージェント、ハローワークによるマッチングを頼み、中途薬剤師の募集をする。 ・奄美病院常勤4名体制を確立するため引き続き中途募集を行う。 ・薬学実習生を受け入れることで採用へ結びつけるため10名の受け入れを目指す。 ・新卒者の採用とともに即戦力の中途採用も目指す。 ・様々な薬剤師の就職説明会に参加し、薬剤師募集に関し、各大学とともに求人活動の積極的な活動を行う。
	(2)認定薬剤師の養成 ・各病院におけるジェネラリスト、スペシャリストの養成 ・日病薬病院薬学認定薬剤師(新規目標) 5名 ・精神科薬物療法認定薬剤師 (新規目標) 1名 ・認定実務実習指導薬剤師 (新規目標) 1名 ・その他	各病院におけるジェネラリスト、スペシャリストの養成 ・日病薬病院薬学認定薬剤師(新規目標) 3名 ・精神科薬物療法認定薬剤師 (新規目標) 1名 (谷山10月) ・認定実務実習指導薬剤師 (新規目標) 1名 ・糖尿病療養指導士 (新規目標) 1名取得 (いづろ今村) ・日本静脈経腸栄養学会NST専門療法士1名(今村総合11月) ・日本臨床腫瘍薬学会:がん診療病院連携研修病院での薬剤師養成	・日病薬病院薬学認定薬剤師(新規目標) 認定には経験年数が必要のため今後も継続していく ・精神科薬物療法認定薬剤師 (更新1名取得) 谷山病院中心に取得を目指す ・NST専門療法士1名産休中に取得、今後も取得環境整備を行う。 ・日本臨床腫瘍薬学会:がん診療病院連携研修病院 近隣薬局管理薬剤師1名が継続中、新規で連携薬局薬剤師来年度1名獲得	・今後もこれを継続しより専門性を持った薬剤師の育成を行う。 ・今村総合病院では、在宅緩和ケア連携を多店舗調剤薬局と連携し患者の近隣で対応できる体制整備を目指す。 ・NST専門療法士育成をしチーム医療の推進の環境整備を行う。 ・日本臨床腫瘍薬学会:がん診療病院連携研修病院 1名 2024年度は、研修生受け入れを継続し、2名の研修生を受け入れる。
	(3)症例検討会の実施 ・年間74回:いづろ今村病院、今村総合病院、谷山病院。年間4回:奄美病院、徳之島病院	・いづろ今村10回、今村総合34回、谷山6回、奄美6回、徳之島0回	・症例検討会は各病院薬剂部にて継続中、若手薬剤師の育成のため各病院充実を図る。	・症例検討会・処方検討会継続充実。
	(4)薬剂部合同研修会 (1回)	・薬剂部合同研修会を実施 (2023/10/28) 53名参加 ・いづろ今村2題、今村総合2題、谷山2題、徳之島1題、外部調剤薬局 (セレン薬局) から1題を演題発表	・慈愛会薬剂部合同研修会の実施。8題の演題で会場参加53名、離島一部Zoom参加。各病院の情報共有ができた。	・継続して慈愛会薬剂部合同研修会を実施し、8題の演題も継続、集合研修を開催する。
	(5)学会発表・論文文化 ・学会発表8回 論文1報	・慈愛会学会学術集会 口演発表2題 (いづろ今村1題、今村総合1題)、ポスター発表1題 (谷山1題) の計3題発表 各種学会発表8題 (院外): ・第3回薬業連携推進のための研修会 (6/16):いづろ今村1題 ・大隅地区IBD医療連携の会 (9/29):いづろ今村1題 ・消化器がん化学療法セミナー (10/14):今村総合1題 ・徳之島病院・徳之島保健所共催「統合失調症」(11/22):徳之島1題 ・鹿児島精神科急性期病院セミナー (2024/3/6):谷山1題 ・鹿児島県病院薬剤師会学術大会 (2024/1/27):いづろ今村1題、今村総合1題、谷山1題	・鹿児島県病院薬剤師会学術大会においては各病院継続して発表ができています。 ・若手薬剤師の発表ができていますため今後も継続する。	・慈愛会学会学術集会発表継続 ・第8回鹿児島県病院薬剤師会学術大会での発表継続

中長期計画	中長期計画と2023年度事業計画 (Stage2)	実施 2023.4月～2024.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
地域連携の強化	(1)薬業連携交流会の開催 ・基調講演発表	・年2回開催することができた。8/18は会場95名が参加(ハイブリッド無し)、基調講演を(株)南日本薬剤センター山門統括薬局長、特別講演を今村総合病院 泌尿器科 中川顧問が務めた。 ・2024/2/2は会場37名、オンライン141名の計178名が参加、基調講演を東條主任(いづろ)、特別講演をいづろ今村病院糖尿病内科 新中須主任部長が務めた。	・多くの参加者を募ることができ、参加者間で交流を深めることができた。	・今後も開催を継続していく。
	(2)退院時薬剤情報連携加算件数 増加 年間124件：いづろ今村病院《62件》今村総合病院《60件》奄美病院《2件》	・年間34件：いづろ今村7件、今村総合26件、奄美0件と未達だった。	・目標は未達であったが、対象症例に対する薬局への情報提供について、いづろ今村、今村総合でしっかりと取り組むことができています。	・総合：目標を達成した。
薬剤業務の効率化・生産性向上	(3)連携充実加算件数 増加 年間210件：今村総合病院	・総合：219回と目標を達成した。	・総合：薬剤師の充足状況を見ながら、引き続き対応を検討する。	・引き続き来年度も取り組んでいく。
	(4)入院支援センターでの業務 今村総合病院：継続して薬剤師1名配置準備	・総合：薬剤師の人員不足のため、対応できなかった。	・左記のとおり、多店舗調剤薬局グループとの連携による患者さまのフォロー体制構築に向けて取り組んでいる。	・引き続き来年度も慈愛会内や多店舗調剤薬局グループとの連携によるフォロー継続に取り組んでいく。
薬剤部	(5)在宅医療への取り組み (在宅患者訪問薬剤管理指導) 慈愛会内での連携確認・多店舗調剤薬局グループの地域密着による慈愛会患者さまフォロー継続	・南日本薬剤センター新規訪問統括薬局長面談：今後の退院時カンファレンス等で連携確認。 ・ツールドメディケーション、白男川薬局、ファルマコム、南日本調剤センター薬局：LINEカード作成依頼(地域のかかりつけ医との連携強化)LINEカード作成調剤薬局の紹介開始承認。 ・在宅緩和ケア連携：ファルマコム上原氏、白男川薬局白男川氏と打ち合わせを行った(2024/3/25)	・採用品目は薬局長会議で情報共有できている。	・出荷調整品の動向を見ながら、継続して統一化を図り経費削減に貢献していく。
	(1)医薬品の安定供給体制の確保 ・医薬品採用品の統一化(慈愛会統一電子カルテへの対応及び医薬品ロスの縮小を図る)：目標品目10品目	・医薬品採用品の統一化 9品目変更。	・NOVUMNシステムを2024年4月からの本稼働に向けて仮運用開始。生物学的製剤の発注・在庫管理が簡略化され、作業効率が向上した(今村総合)	・引き続き、薬剤師と薬剤助手の調剤業務の分担を進めていく。
	(2)調剤業務の効率化 ・薬剤師と薬剤助手の調剤業務の棚卸を行い、調剤業務の分担を行う。手順書統一運用開始	・薬剤師充足が難しい中、薬剤助手との連携強化を進めた。医療DXの観点から、個別化医療支援プラットフォーム「NOVUMN」導入を進めた(今村総合)	・左記で標準化ができていているものについては継続して取り組んでいく。	・今後も継続して取り組んでいく。
	(3)病棟薬剤業務の標準化 ・科別による病棟薬剤業務の特色を鑑みて、入院から退院の薬剤の流れの標準化を行う。	・科別毎に入院から退院の薬剤の流れの標準化を継続して進めていった。	・薬剤管理指導についてはいづろ、総合、奄美、徳之島は達成。谷山は減となった。	・奄美病院の中途採用薬剤師を確保し、鹿児島市内からの派遣を最小限にすることにより、薬剤管理指導と退院指導を積極的に行う。
	(4)薬剤管理指導件数 増加 (21,650件) ・いづろ今村3,000件、今村総合16,000件、谷山2,000件、奄美70件、徳之島580件	いづろ今村：3,077件(102.6%)、今村総合：16,981件(102.5%)、谷山：854件(42.7%)、奄美：165件(235.7%)、徳之島：642件(110.7%)	・退院指導については、いづろ、奄美病院は目標達成、総合・谷山・徳之島は未達成。	・奄美病院は4名の薬剤師を配置でき、薬剤管理指導と退院時指導共に達成。薬剤師の体調を考慮し、次年度へ準備中。
	(5)退院時服薬指導件数 増加 (7,037件) ・いづろ今村1,080件、今村総合5,800件、谷山100件、奄美25件、徳之島32件	いづろ今村：1,356件(125.6%)、今村総合：5,544件(98.6%)、谷山：24件(24.0%)、奄美：25件(100%)、徳之島：15件(46.9%)	・入院前6種類以上の内服薬処方、又は抗精神病薬4種類以上の対象症例の把握も含めて継続して取り組んでいく。	・今後も継続して取り組んでいく。
	(6)向精神薬調整連携加算件数 増加 (34件)：谷山12件、奄美2件、徳之島20件	・谷山12件、奄美0件、徳之島9件となり、谷山では達成、奄美、徳之島は未達となった。	・(7)とも関連し、継続して取り組んでいく。	・今後も継続して取り組んでいく。
	(7)薬剤総合評価調整加算件数 増加 (29件)：いづろ今村5件、今村総合12件、谷山10件 奄美2件	・いづろ今村2件、今村総合1件、谷山0件 奄美0件となり、いずれも未達だった。	・WEB会議を毎月開催し、後発医薬品の選定、奄美病院への薬剤師派遣、処方オーダーリング、合同研修会及び学会発表など情報共有を行った。 ・5病院とも計画を達成し業務につなげることができた。今後もIT化、医療DXが取り入れられるように業務の効率化を継続する。	・今後も継続し、情報共有を行う。 ・今年度の目標を達成することで業務の効率化をさらに進めていく。
	(8)薬剤調整加算件数 増加 (13件) ・いづろ今村1件、今村総合6件、谷山5件、奄美1件	・いずれも0件と未達だった。		
(9)その他 ・薬局長WEB会議での情報共有化→毎月第3水曜日 ・業務の標準化(上記個別事項以外)を図る	・8月はコロナ禍休会となった。人事面の共有や厚生局・保健所における監査や適時調査の情報共有ができた。 ・いづろ今村：本年度は退職者はなく、引き続き業務負担がなるべく分散するよう努めていく。実習生が2名慈愛会薬剤部への就職も決まったため、次年度も計画的に実習を行い、大学との連携を深めていく必要がある。			

中長期計画	中長期計画と2023年度事業計画 (Stage2)	実施 2023.4月～2024.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
薬剤業務の効率化・生産性向上	<ul style="list-style-type: none"> 向精神薬多剤減算：精神科3病院 (R4年度平均金額ベースの15%減確保を目指す) 後発医薬品割合目標 (数量ベース)の85-90%確保を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> 今村総合：薬剤管理指導の記録を2024年1月からテンプレート化し、診療録内に記録するよう進めていたが、準備に時間がかかり遅延。2024年4月から開始となる。NOVUMNシステムを2024年4月からの本稼働に向けて仮運用開始 (上述)。今村総合病院薬剤部全体の業績は前年度と比較してプラスであった。 谷山：2024年度診療報酬トリプル改定について勉強会を行い、取り組むべき項目をピックアップした。 奄美：薬剤管理指導件数は第4四半期として前年度比300%増。2023年度合計では前年度比443%増となった。結果、処方箋枚数が減少している中、薬剤師技術料は増加となった。 徳之島：薬剤容器の費用を請求できるよう、費用設定、病院内各部門の処理方法の調整・策定、会計システム設定、薬剤部内マニュアル・伝票作成、診療報酬上必要となる掲示物の作成等を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 抗精神病薬多剤投与減算改善目標に対して：精神科病院における抗精神病薬の多剤投与は今後も医局に情報提供ができる体制整備を行い、多剤投与の減少に医局の協力要請を行う。 徳之島80%以上の変更は未達。後発品への切り替えを再度開始したものの、未だ出荷調整等が頻発しているため、離島の病院は厳しい状況にある。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も引き続き、抗精神病薬多剤投与減算改善に努めていく。 出荷調整品の動向を見ながら、継続して行い経費削減に貢献していく。

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

1. 薬局長会議の開催 (適宜第3水曜日にWEB会議を開催)

《主な協議・確認事項》

- ・人事配置について
- ・業務計画及び進捗状況の確認について
- ・レセプト集計、実績資料について
- ・新規後発医薬品の安定供給について
- ・各病院の薬剤師充実について
- ・処方オーダーリングについて
- ・薬剤部合同研修会について
- ・新型コロナ関連について
- ・2024年度診療報酬トリプル (医療・介護・福祉) 改定について

2. 薬業連携交流会の開催

第7回 慈愛会 薬業連携交流会 (参加数：97名)

- ・2023年8月18日 (金) 19:00～
- ・かごしまオハナビル3階大会議室 (ハイブリッド開催)
- ・開催担当：今村総合病院
- ・基調講演
「専門医療機関連携薬局 (がん) としての取り組み」
講師：株式会社 南日本薬剤センター統括薬局長 山門 慎一郎先生

・特別講演

「泌尿器がんの薬物療法」

講師：今村総合病院泌尿器科 中川 昌之顧問
第8回 慈愛会 薬業連携交流会 (参加数：会場37名、Zoom141名 計178名)

- ・2024年2月2日 (金) 19:00～
- ・かごしまオハナビル3階大会議室 (ハイブリッド開催)
- ・開催担当：いづろ今村病院

・基調講演

「糖尿病治療での薬剤師の関わり」

講師：いづろ今村病院薬剤部 東條 和子

・特別講演

「2型糖尿病の薬物療法アルゴリズムからみた血糖降下薬の考え方」

講師：いづろ今村病院糖尿病内科 新中須 敦主任部長
共催：住友ファーマ「ツイミーグ錠 500mg」

合同研修会

「第13回 薬剤部合同研修会」

- ・2023年10月28日 (土) 15:00～
- ・今村総合病院A棟4階大会議室
- ・総合司会：谷山病院 主任 四本 晶子

【内容】

- ・理事長挨拶 慈愛会 今村 英仁理事長

・第1部

座長：いづろ今村病院 主任 東屋敷 史織
 講演：「医療機能評価3rdGVer3.0における変更点」
 慈愛会 薬剤部 統括部長 吉永 浩之

・第2部

座長：今村総合病院 主任 野元 優基
 研修発表会（各演題、発表8分、質疑応答4分）
 ① イメグリミンの有効性の検討
 いづろ今村病院 遠矢 素子
 ② 学校薬剤師の活動報告
 谷山病院 染川 考佑
 ③ 周術期薬剤管理業務の実践と今後の展望について
 今村総合病院 東牧 里奈
 ④ リスベリドンにより無月経を生じた症例について
 徳之島病院 東楨 徹

座長：谷山病院 主任 染川 考佑

- ⑤ 産科領域における薬剤師業務について
 今村総合病院 木場 綾乃
- ⑥ 谷山病院精神一般病棟における抗パーキンソン薬
 （抗コリン薬）の使用状況
 谷山病院 長曾我部 翔
- ⑦ セレン薬局における現状と課題、今後の取り組み
 について
 セレン薬局 笹田 昌利
- ⑧ インスリンボールの影響により血糖コントロール
 不良を認めた症例について
 いづろ今村病院 田原 七海

・総括

・閉会の挨拶

今村総合病院 主任 國師 奈緒美

剤師の単位取得を推進

2. 資格取得状況（新規）

- ・日本病院薬剤師会薬学認定薬剤師（今村総合：2名）
 （谷山：1名）
- ・精神科薬物療法認定薬剤師（谷山：1名）
- ・日本静脈経腸栄養学会NST専門療法士（今村総合：1名）
- ・認定実務実習指導薬剤師（いづろ今村：1名）（谷山：1名）
- ・日本薬剤師研修センター認定薬剤師（徳之島：1名）

技能・能力向上に向けた取り組み

1. 人材育成、指導等の取り組み

- ・各病院において、薬剤部クリニカルラダーに基づく
 人材育成

ラダー認定：14名

【レベルⅤ：4名 レベルⅣ：0名 レベルⅢ：3名 レベルⅡ：4名 レベルⅠ：3名】

- ・ジェネラリスト薬剤師として日病薬病院薬学認定薬

病院名	資格	2023年度末 在籍有資格者	2023年度 計 画	2023年度 実 績
今村総合	・がん専門薬剤師	1		
	・がん薬物療法認定薬剤師	1		
	・外来がん治療認定薬剤師	2		1
	・感染制御認定薬剤師	1	1	
	・N S T 専門薬剤師	4	2	1
	・糖尿病療養指導士		1	
	・インфекションコントロールドクター (ICD)	1		
	・公認スポーツファーマシスト	3		
	・実務実習指導薬剤師	3		
	・日病薬病院薬学認定薬剤師	17	1	2
	・精神科薬物療法認定薬剤師	1	1	1
	・日薬研修センター認定薬剤師	3		
いづろ今村	・糖尿病薬物療法履修薬剤師	1		
	・糖尿病療養指導士	5		
	・N S T 専門薬剤師	1		
	・日薬研修センター認定薬剤師	3		
	・日病薬病院薬学認定薬剤師	4		
	・実務実習指導薬剤師	3	1	1
谷 山	・精神科薬物療法認定薬剤師	2	1	1
	・糖尿病療養指導士	1		
	・日病薬病院薬学認定薬剤師	3	2	1
	・実務実習指導薬剤師	1		1
	・日薬研修センター認定薬剤師	1		
奄 美	・日薬研修センター認定薬剤師	2		1
徳之島	・日薬研修センター認定薬剤師	2		1
	・医療情報技師	1		

3. 症例検討会・勉強会

- ・各病院において、症例に基づく人材育成、情報共有・勉強会による医薬品情報収集

いづろ今村病院：症例検討11症例・勉強会14回

今村総合病院：症例検討45症例・勉強会27回

谷山病院：症例検討9症例・勉強会20回

奄美病院：症例検討11症例・勉強会3回

徳之島病院：症例検討2症例・勉強会0回

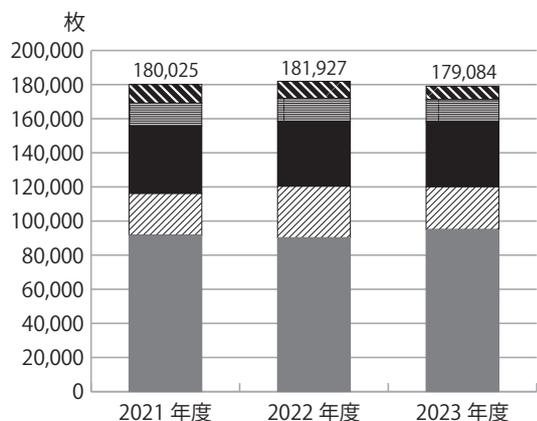
- ・日本医療薬学会：がん専門薬剤師研修施設（今村総合病院）

4. 研修施設認定

- ・日本臨床腫瘍薬学会：がん診療病院連携研修病院（今村総合病院）
- ・日本病院薬剤師会：がん薬物療法認定薬剤師研修施設（今村総合病院）

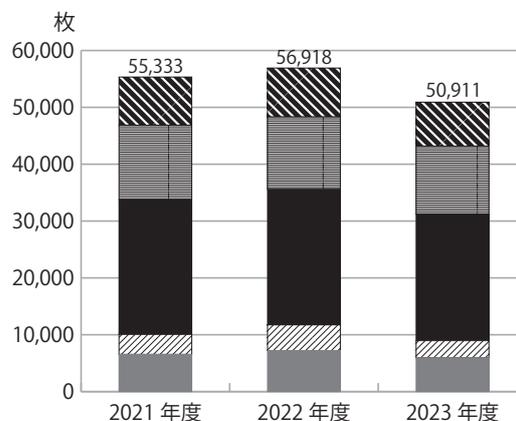
各種指標

入院（内服・外用）処方箋枚数



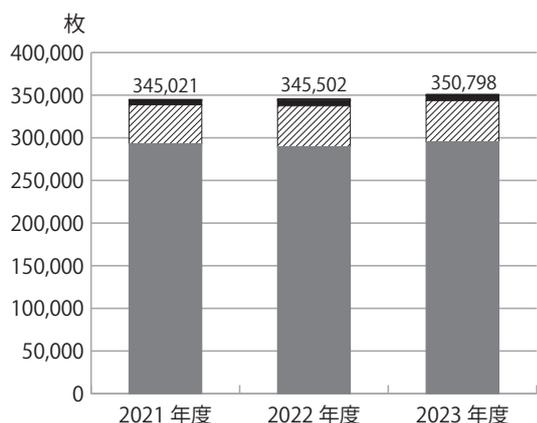
	2021年度	2022年度	2023年度
■ 今村総合病院	91,664	90,206	94,990
▨ いづろ今村病院	24,441	30,144	25,020
■ 谷山病院	39,545	38,076	38,193
■ 奄美病院	13,456	13,574	12,968
▨ 徳之島病院	10,919	9,927	7,913
慈愛会合計	180,025	181,927	179,084

外来（内服・外用）処方箋枚数



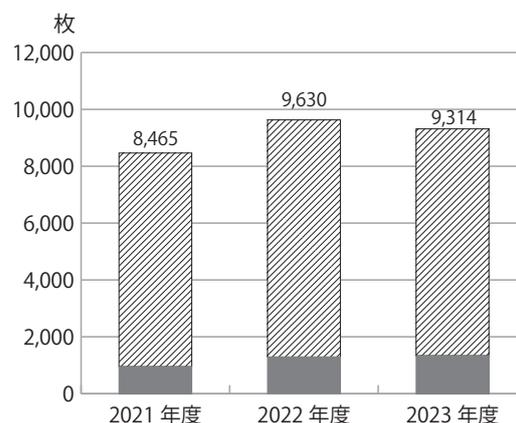
	2021年度	2022年度	2023年度
■ 今村総合病院	6,541	7,215	5,957
▨ いづろ今村病院	3,512	4,519	2,998
■ 谷山病院	23,689	23,832	22,241
■ 奄美病院	13,081	12,753	11,983
▨ 徳之島病院	8,510	8,599	7,732
慈愛会合計	55,333	56,918	50,911

注射箋枚数



	2021年度	2022年度	2023年度
■ 今村総合病院	292,825	289,180	295,351
▨ いづろ今村病院	45,805	48,170	48,212
■ 谷山病院	4,937	6,169	5,875
■ 奄美病院	975	1,569	1,116
▨ 徳之島病院	479	414	244
慈愛会合計	345,021	345,502	350,798

抗がん剤無菌調整件数



	2021年度	2022年度	2023年度
■ 今村総合病院	949	1,289	1,335
▨ いづろ今村病院	7,516	8,341	7,979
慈愛会合計	8,465	9,630	9,314

業 績 一 覧

【学会発表】

今村総合病院

<国内>

1. 西元寺慧一, 阿部竜也, 橋本直美, 松山淳史, 鬼丸俊司: 転院時処方日数調整による病院負担軽減効果について. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
2. 西元寺慧一, 橋本直美, 松山淳史, 鬼丸俊司: 転院時処方日数調整に対する薬剤師介入効果. 第7回鹿児島県病院薬剤師会学術大会, 2024年1月27日, 鹿児島

いづろ今村病院

<国内>

3. 東屋敷史織: 週1回GLP-1受容体作動薬の使用状況および消化器症状の副作用発現に関する検討~薬剤適正使用に向けた今後の課題~. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島(Web)
4. 東屋敷史織, 田原七海, 遠矢素子, 古澤夕紀子, 東條知子, 内山ゆかり, 神門孝典: 当院入院患者における週1回GLP-1受容体作動薬の使用状況および消化器症状の副作用発現に関する検討~薬剤適正使用への取り組みと課題~. 第7回鹿児島県病院薬剤師会学術大会, 2024年1月27日, 鹿児島(Web)

谷山病院

<国内>

5. 稲森志織, 四本晶子, 染川考佑, 森原亜希子, 永井未仁, 長曾我部翔, 新村味穂子, 吉永浩之: 当院薬剤部におけるクロザピン服用患者に対する取り組み. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
6. 長曾我部翔, 四本晶子, 染川考佑, 稲森志織, 森原亜希子, 永井未仁, 新村味穂子, 吉永浩之: 谷山病院精神一般病棟における抗パーキンソン薬(抗コリン薬)の使用状況について. 第7回鹿児島県病院薬剤師会学術大会, 2024年1月27日, 鹿児島

【研究会・講演会】

今村総合病院

1. 橋本直美: 薬薬連携の取り組みについて. 消化器がん化学療法セミナー, 2023年10月14日, 鹿児島(Web)

いづろ今村病院

2. 神門孝典: 糖尿病療養指導における薬剤師の関わり. 第3回薬薬連携推進のための研修会, 2023年6月16日, 鹿児島(Web)
3. 東屋敷史織: 当院における薬剤師とIBD患者さまとのかかわり. 大隅地区IBD医療連携の会, 2023年9月29日, 鹿児島
4. 東條知子: 糖尿病治療での薬剤師の関わり. 第8回慈愛会薬薬連携交流会, 2024年2月2日, 鹿児島(Web)

谷山病院

5. 染川考佑, 四本晶子, 稲森志織, 森原亜希子, 永井未仁, 長曾我部翔, 新村味穂子, 吉永浩之: 谷山病院における双極性障害に対する薬剤使用状況. 第268回鹿児島県病院薬剤師会研修会, 第37回精神科薬物療法講習会, 2023年11月11日, Web

6. 染川考佑：再発再燃予防の重要性とLAI適応患者像. 第2回鹿児島精神科急性期 Skill Up Meeting, 2024年3月1日, 鹿児島

【受賞】

今村総合病院

1. 西元寺慧一：「転院時処方日数調整による病院負担軽減効果について」優秀賞. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

画像診断／放射線治療部門

中長期計画	中長期計画と2023年度事業計画 (Stage2)	実施 2023.4月～2024.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
放射線治療部門・安定稼働の継続	(1)安定稼働 ・照射件数4000/年を目標 ・外照射件数報告 ・密封小線源治療件数報告 ・品質管理1/月	191症例を実施(前年度比86.8%) 照射件数 2,652件(前年度比77.4%) 密封小線源治療 30件 使用線源 2,195個(前年度 5件、305個) 放射線治療品質管理室活動としての品質管理、医学物理士指導の下QA施行 (IDVT測定、計画CTmonthlyQA、Cable Verify測定、MVCT空間分解能・コントラスト、ArcCHECK monthlyQA) 九州・山口トモセラピーユーザーズフォーラム 座長：市来	上半期は外部紹介の減少等あったが、下半期は計画装置更新もあり前年を上回ることができた。 症例件数、照射件数ともに前年度を下回る結果であった。 小線源治療を安定的に施行することができ、8月より月3例施行に対応できる体制を整えることができた。 日・週・月・年ごとのQAにて品質管理を徹底することで、質の高い放射線治療を担保することができた。 始業・終業点検、定期点検を計画的に行うことで、大きな故障によるダウンタイムの減少。 線量計の校正を行い、質を担保。 JASTRO施設認定審査へ合格	引き続きQA、点検等を徹底し、安定稼働と質の高い放射線治療の提供を行っていく。 次年度よりJASTRO認定施設となるので、ホームページなど広報を行っていく。 医学物理士、放射線治療専門技師などの取得・チャレンジ 各学会、研究会等への発表・参加による技術・知識レベルの向上 ガンマナイフ導入へ向け、スタッフの教育・研修。特定放射性同位元素防護規定の作成
	(2)専門性の向上 認定取得、研修受講、学会研究会発表	AAPM(ヒューストン/米国)発表：市来、 第126回医学物理学会発表：市来 鹿児島県放射線治療技術研究会 座長：市来、参加：牧野 放射線治療専門教育セミナー 受講：高山 密封小線源治療安全取扱講習会 受講：榊	米国医学物理学会(AAPM)にて1名発表することで、当院をアビール TomoTherapy他施設との情報交換	
画像診断部	(1)機器の安定稼働 モダリティ件数報告(昨年度件数を維持・増加)、点検状況報告 ・一般撮影系	【今村総合病院】 42,830件(前年度比108.7%) 【いづろ今村病院】 12,124件(前年度比101.4%) 【全体】54,954件(前年度比107.0%)	【今村総合病院】 一般撮影系、CT、MRIは前年度を上回ることができたが、Angio、RIは件数が伸びなかった。 透視装置2台、骨密度装置、結石破碎装置の更新をスムーズに行うことができた。 手術件数の増加に伴い、外科用イメージによる手術支援増加へ対応。	【今村総合病院】 引き続き医療安全に留意し、効率化を行い件数増加を目指す。 外科用イメージによる手術支援へ、対応できる人材育成。
	・CT ・MRI ・透視 ・Angio ・RI ・腹部超音波 ・乳腺撮影	【今村総合病院】 16,821件(前年度比107.4%) 【いづろ今村病院】 3,268件(前年度比101.8%) 【全体】20,089件(前年度比106.5%) 【今村総合病院】 6,794件(前年度比101.5%) 【いづろ今村病院】 779件(前年度比81.5%) 【全体】7,573件(前年度比99.0%) 【いづろ今村病院】 1,350件(前年度比98.8%) 【今村総合病院】 370件(前年度比76.9%) 【今村総合病院】 202件(前年度比92.7%) 【いづろ今村病院】 7,749件(前年度比96.4%) 【いづろ今村病院】 2,375件(前年度比99.9%)	【いづろ今村病院】 検査件数に関しては概ね昨年と同程度の件数となった。 MRI装置の更新を予定通り行うことができた。 全国労働衛生団体連合会の検診腹部超音波の精度管理評価を受審し最高ランクのAと評価された 【全体】 計画的に機器更新をすることができ、安定的にモダリティを稼働することができた。 人員異動による影響を最小限に抑え、業務を行うことができた。 両院ともに標準的感染症対策を行うことで、新型コロナウイルスの部署内感染を防ぐことができた。 計画的に点検を行うことで、予測できる故障等の発生を減少させることができた。	【いづろ今村病院】 MRIの検査件数増加を目指す。 リスクマネジメントを徹底し、質の高い検査、画像情報の提供を行う。 【全体】 引き続き機器のパフォーマンスを維持し、効率化を図り最良の画像情報を提供することで件数増加を目指す。ソフト面をバージョンアップしていくためにも、専門的な知識・技術の習得、認定等の取得を推進。 タスクシフト/シェアを考慮した、業務の効率化を検討。 診療への影響を極力抑えた、点検計画の作成。 引き続き始業・終業点検を徹底し、機器の品質管理を行っていく。
生産性の向上、効率化	モダリティ点検状況	【今村総合病院】11種22台のモダリティを計画通りに定期点検施行 【いづろ今村病院】6種13台のモダリティを計画通りに定期点検施行		
	(2)地域連携強化 ①他医療機関からの検査紹介増加 目標460件/年 カルナコネクタの登録施設数報告 ②技師による施設訪問の継続 目標15施設/年	他施設からの検査紹介 534件(前年度比87.8%) うちカルナコネクタ使用の紹介 321件/年(前年度比85.8%) 登録施設 21件(+2) 訪問件数 3施設	いづろ今村病院にて検査紹介数は534件あり、前年度から74件減少した。MRI更新による約40日間の撮影不可日の影響と思われる。 またカルナ導入施設は昨年度より不変であった。システムを利用した検査紹介は321件であった。 コロナなどにより、施設訪問件数は昨年を上回ることができなかった。	放射線科医と協力クリニック等への訪問を多く行い、カルナコネクタ導入施設を増加させ、検査紹介増加へ繋げる。 紹介医や患者へ新MRI装置の紹介を行い検査件数増加を目指す。

中長期計画	中長期計画と2023年度事業計画 (Stage2)	実施 2023.4月～2024.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
画像診断部 人材育成	(1) 技師連携強化 ・ 部署内、全体の研修、一体化会議の開催 ・ 法人内施設の相互助勤 (2) スペシャリストの育成 ・ 認定・資格取得、ラダーに沿った教育 ・ 学会・研究会発表、研修受講 (3) 多職種連携 ・ 告示研修の受講進捗 ・ タスクシフト/シェアの推進	6/3 第16回慈愛会画像診断部合同研修会 :40名 プラス外部 症例検討の実施 一体化会議/月の開催 いづろ今村病院技師による、今村総合病院・谷山病院への助勤 今村総合病院技師による、いづろ今村病院技士病欠時の助勤 取得 放射線被ばく相談員：1名、検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師：1名 第2種作業環境測定士1名 発表 慈愛会学会:4題、海外:1題、県外:3題、各研究会:11題、慈愛会合同研修会:5題 研修 多職種合同ラダーレベル研修:1名、「MRI安全運用に関する研修会」「MRI造影剤に関する研修会」:1名 初期キャリア支援研修:1名、リーダー及びリーダー育成研修会:5名、作業環境測定士講習会:1名 令和5年厚生労働省告示第273号研修:12名、医療放射線安全管理責任者講習会:1名 告示研修の受講を積極的に啓発した。 総合：核医学検査時のアイソトープ注入・抜針を開始 いづろ：造影時の静脈路確保をマニュアル作成、院内試験実施	毎月の一体化会議にて情報を共有/対応の継続 相互サポート体制の強化、横断的な支援体制 慈愛会画像診断部合同研修会への外部施設参加による他施設との交流 キャリア開発 ラダーレベル取得 レベルⅠ:0名、レベルⅡ:2名、レベルⅢ:3名、レベルⅣ:1名、レベルⅤ:0名 地域貢献として、市民健康まつりでの骨密度測定、被ばく相談スタッフとして2名参加 鹿児島医療技術専門学校の臨床実習生を延べ12名受け入れ (いづろ5名、総合7名) 離島医療への業務支援：5回 告示研修を29名(96.7%)修了することができた。 総合：核医学検査のアイソトープ注入を技師が施行することにより、医師の負担軽減および患者の待ち時間短縮ができ、スループットが向上した。 ・いづろ：造影時の静脈路確保を実際に行うようになると、看護師のタスクシフトとなり検査効率も上がることが見込まれる。	情報共有を密に行い、引き続き施設間の技師レベルでの連携強化を行う。 引き続き各施設に合った認定資格・施設の取得、学会・研究会での発表、講習会の受講を積極的に行っていく。 院内キャリア開発ラダーの見直し、マネジメントラダーの作成。 日本診療放射線技師会(JART) クリニカルラダー・マネジメントラダーの活用 コンプライアンス、ノンテクニカルスキルの教育。医療安全の徹底。 マルチプレイヤー、スペシャリストの育成。組織横断的に活動できる人材育成。 県・市・地域の行事へ積極的に参加。 ・ 新人も合わせて、告示研修の啓発。 ・ 更なるタスクシフト/シェアを推進実施していく。モダリティによっては、効率性の変化が考えられるので、慎重に進めていく。 医療安全を考慮したマニュアル作成・見直しを行う。 STAT画像報告への準備・対応。

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

1：画像診断部一体化会議

毎月第3火曜日、いづろ今村病院・今村総合病院の役職者により開催

- ・ 施設間の報告による情報共有
- ・ 慈愛会画像診断部合同研修会における企画運営
- ・ モダリティごとの技術・情報共有、業務支援、定期点検、始業・終業点検
- ・ 人材交流、育成、人員配置
- ・ 新型コロナ感染症標準予防策、感染経路別予防策、撮影対応法、撮影後清掃、感染性廃棄物取扱
- ・ 法改正への対応

2：施設間の業務支援

- ・ いづろ今村病院技師による午後からの今村総合病院への助勤
- ・ 谷山病院技師への業務支援
- ・ 計画停電、休日当番医の緊急時対応、相互支援
- ・ 機器トラブル時の相互サポート
- ・ 病欠・産休・育休時の業務サポート

合同研修会

「第17回慈愛会画像診断部合同研修会」

・ 2023年6月3日(土) 14:00-16:00

・ 今村総合病院A棟4階 大会議室

・ 司会・進行 いづろ今村病院 上舞 優介、下田 知佳

【内容】

1. メーカー講演

「125-I ブラキ線源の安全取り扱いについて」

株式会社メディコン PI事業部 ブラキビジネスグループ

茂藤 隆広先生

2. 講演

「医療安全(ノンテクニカルスキルについて)」

今村総合病院 恵 智徳

3. 一般演題

(1) ローテーション開始における業務内容の確認

今村総合病院 牧野 竜大

(2) 生活習慣が動脈硬化に及ぼす影響について～
 検診頸動脈エコー検査の有用性について～

いづろ今村病院 勝目 綾那

(3) マンモグラフィ施設画像評価認定取得に向けての取り組み

いづろ今村病院 徳永 遙佳

(4) 患者の体位を変化させない 高精度補正方法の確立

今村総合病院 西田 崇友

(5) 造影CT時における腕の挙上位置について

今村総合病院 下茂 大輝

4. 新人紹介

いづろ今村病院 津曲 楓真、前田 麗安

5. 理事長総括

公益財団法人慈愛会 理事長 今村 英仁

○施設認定

医療被ばく低減施設	今村総合病院
臨床実習指導施設	今村総合病院
マンモグラフィ検診 施設・画像	いづろ今村病院
画像診断管理認証施設	今村総合病院 いづろ今村病院

○2023年度実績 認定資格

放射線被ばく相談員	取得	牧野
検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師	取得	下田

○2023年度実績 講習会・研修会

厚生労働省告示第273号研修	修了	吉見, 尾上, 二間瀬, 若松, 川上, 西田, 下田, 榊, 下茂, 松元, 津曲, 白石
密封小線源治療安全取扱講習会	修了	榊
医療放射線安全管理責任者講習会	修了	蓑田

技能・能力向上に向けた取り組み

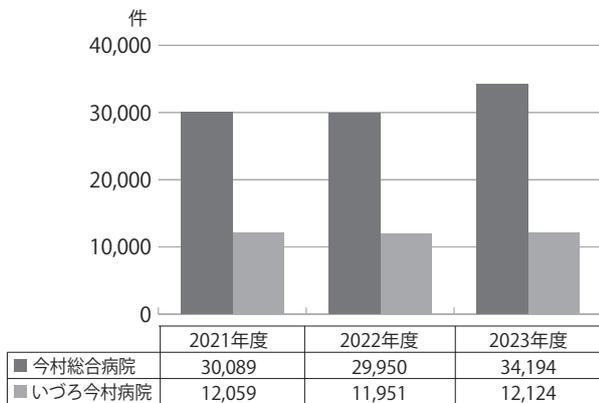
取得認定資格一覧	今村総合病院	いづろ今村病院
第1種放射線取扱主任者	2	
第1種作業環境測定士	1	
第2種作業環境測定士	1	
放射線治療専門放射線技師	1	
放射線治療品質管理士	1	
超音波検査士		1
検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師	1	3
胃がん検診専門技師	1	4
肺がんCT検診認定技師	1	1
大腸CT検査技師		1
X線CT認定技師	3	1
放射線管理士	6	2
放射線機器管理士	8	1
医療画像情報精度管理士	2	1
臨床実習指導教員	4	2
放射線被ばく相談員	2	
Ai認定診療放射線技師	1	1
画像等手術支援認定診療放射線技師	1	
アドバンスド診療放射線技師	3	3
シニア診療放射線技師	2	1
エックス線作業主任者	3	
ガンマ線透過写真撮影作業主任者	3	

今村総合病院 いづろ今村病院

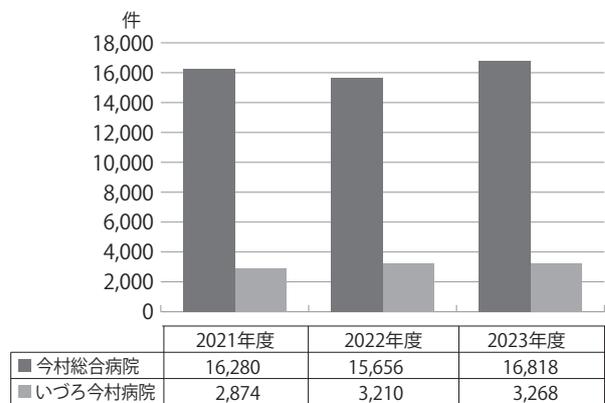
厚生労働省 告示研修修了者	20	9
---------------	----	---

各種指標

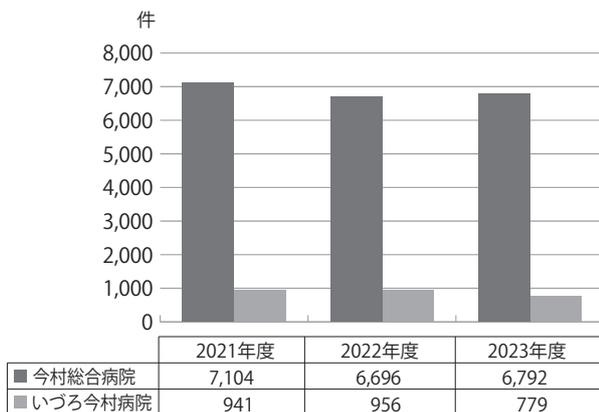
一般撮影検査



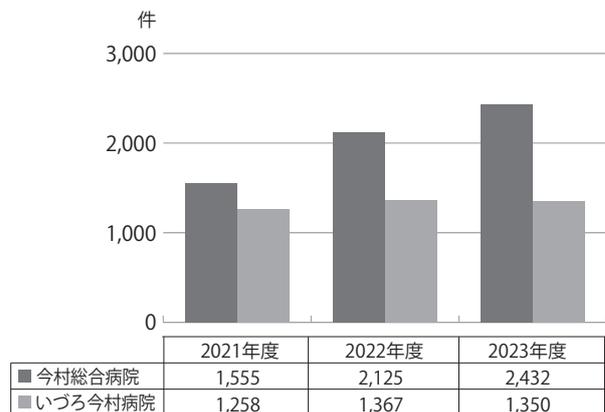
CT検査



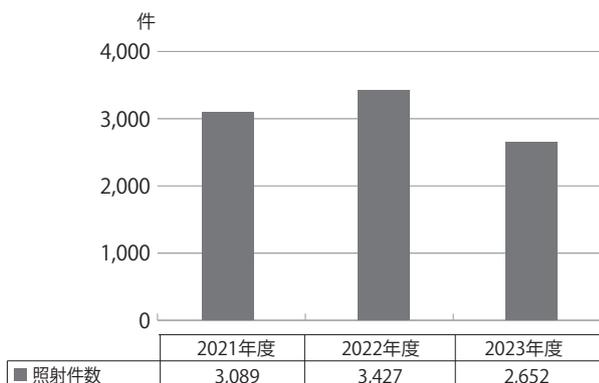
MRI検査



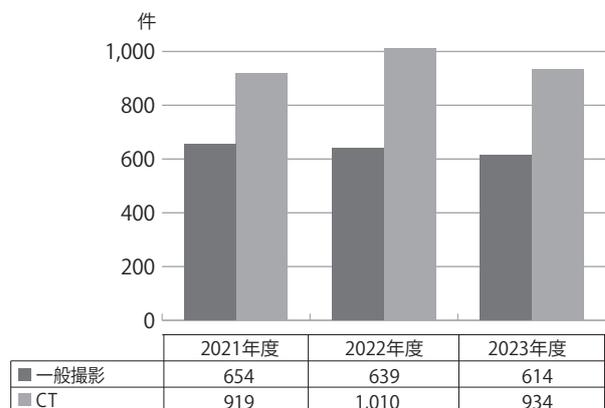
透視検査



放射線治療



谷山病院検査数



業 績 一 覧

【論文】

今村総合病院

<著書>

1. 馬場隆行：Cアーム業務に携わる為の10個のこころえ ～行かないなんでもったいない。すべてはそこにある。暖かくして座ってその時に備えよう～. 映像情報 Medical. 産業開発機構株式会社, pp14-22, 2024
2. 馬場隆行：戦略的高精度 X 線撮影の補正具クロックポジションスケール -クロックポジションスケールの全貌を見逃すな-. INNERVISION 第39巻 第3号. 株式会社インナービジョン, pp80-83, 2024

【学会発表】

今村総合病院

<国際>

1. Ichiki M, Ozawa S, Makino T, Takayama D, Uchiyama N, Nishida H, Yonekura K, Dokiya T : Treatment planning evaluation for total skin irradiation using helical tomotherapy. American Association of Physicists in Medicine 65th Annual Meeting &Exhibition(AAPM2023), 23-27 July 2023, Houston, USA

<国内>

2. 蓑田辰則, 西田崇友, 水流彩友美, 小林晃也, 上川翔美, 馬場隆行：プロテクターの品質管理を行い被ばく低減に係る安全管理につなげる試み. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
3. 若松沙樹, 前田裕介：MRI 検査における入室前の安全確認への取り組み. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
4. Ichiki M, Ozawa S, Makino T, Takayama D, Megumi T : Evaluation of method for obtaining CT values when creating an Image value to density table using MVCT images. 第126回日本医学物理学会学術大会, 2023年9月15-17日, 広島
5. 馬場隆行：角度計測テンプレートと補助具を活用した高精度手関節 TRUE LAT 撮影法. 第39回日本診療放射線技師学術大会, 2023年9月29日-10月1日, 熊本
6. 馬場隆行：角度計測テンプレートと補助具を活用した高精度踵骨軸位撮影法. 第18回九州放射線医療技師学術大会, 2023年11月2-4日, 大分

いづろ今村病院

<国内>

7. 脇田慎一, 志村武：地域医療連携サービスの使用実績報告. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
8. 下田知佳, 徳永遥佳, 尾上弥生：当院検診マンモグラフィの精検率から見えてきたこと～受診者数を増やすためには～. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島

【研究会・講演会】

今村総合病院

1. 馬場隆行：次世代高精度 X 線撮影法のすべて. 鹿児島県診療放射線技師会 春季学術大会, 2023年6月18日, 鹿児島

2. 馬場隆行：Cアーム業務に携わる為の10個のころえ ～行かないなんでもったいないすべてはそこにある～。フィリップスウェビナー，2023年11月29日，Web
3. 恵智徳：法制化された医療機器管理のその後。鹿児島県放射線機器管理士部会，2024年1月30日，Web
4. 馬場隆行：幼児X線撮影時に高成績を取めているキャラクタープロジェクトマッピングシート活用方法。第10回日本小児診療多職種研究会，2024年2月9日，東京
5. 馬場隆行：明日から使える膝関節撮影のすべて。鹿児島X線撮影研究会，2024年2月24日，鹿児島
6. 馬場隆行：馬場ちゃんの部屋 明日から撮影達人 ～膝関節 前編～。第1回九州島津ユーザー会，2024年3月16日，福岡

いづろ今村病院

7. 勝目綾那：生活習慣が動脈硬化に及ぼす影響について～検診頸動脈エコー検査の有用性について～。第17回慈愛会画像診断部合同研修会，2023年6月3日，鹿児島
8. 徳永遥佳：マンモグラフィ施設画像評価認定取得に向けての取組み。第17回慈愛会画像診断部合同研修会，2023年6月3日，鹿児島
9. 上釜健作：エコー診断の強い味方！検査マーカーを知ろう ～肝・胆道系編～。第22回鹿児島超音波研究会，2023年6月21日，Web
10. 脇田慎一：静脈路確保について。告示研修会（実技研修），2023年7月9日，鹿児島
11. 上釜健作：IgG4関連硬化性胆管炎の1例。第331回鹿児島超音波医学研究会，2023年7月25日，Web
12. 脇田慎一：診療放射線技師法の一部改正に伴う業務拡大について。業務拡大に伴う統一講習会，2023年8月11日，鹿児島
13. 上釜健作：症例から学ぶ ～腎結石について～。第23回鹿児島超音波研究会，2023年8月23日，Web
14. 脇田慎一：静脈路確保について。告示研修会（実技研修），2023年9月17日，鹿児島
15. 脇田慎一：静脈路確保について。告示研修会（実技研修），2023年12月3日，鹿児島
16. 上釜健作：IPMN 併存膵癌の1例。第336回鹿児島超音波医学研究会，2023年12月5日，Web
17. 脇田慎一：静脈路確保について。告示研修会（実技研修），2024年1月21日，鹿児島
18. 上釜健作：症例から学ぶ ～膵脂肪浸潤について～。第24回鹿児島超音波研究会，2024年2月7日，Web
19. 徳永遥佳，白石真樹：マンモグラフィ検診に対する意識調査。第29回いづろ今村病院院内研究発表，2024年3月21日，鹿児島

【受賞】

今村総合病院

1. 蓑田辰則：「精一杯取り組んだ結果から生まれた大きな夢～私のお守り～」特別賞。心に届く慈愛の物語を紡ぐ会，2023年5月

いづろ今村病院

2. 脇田慎一：「彼女からの贈り物」優秀賞。心に届く慈愛の物語を紡ぐ会，2023年5月20日

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

臨床検査部門

中長期計画	中長期計画と2023年度事業計画 (Stage2)	実施 2023.4月～2024.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
臨床検査部	臨床検査業務を改善し、より質の高い検査結果を提供する	<p>(1)検査内容 (検体検査・輸血検査・生理検査・病理検査)の把握 検査実績 生化学検査 173512件 (総合126799件・いづろ46713件)</p> <p>心電図検査 17762件 (総合6149件・いづろ11613件)</p> <p>心血管超音波検査 7679件 (総合5566件・いづろ2113件)</p> <p>血液型検査 3121件 (総合2665件・いづろ456件)</p> <p>交差適合試験検査 3838件 (総合3070件・いづろ768件)</p> <p>組織診検査 3,814件 (総合3,739件)</p> <p>細胞診検査 2,572件 (総合2,522件)</p> <p>(2)検査業務の改善 ・診療科からの要望に対応した検査業務の改善 ・院内検査 (総合) 血小板凝集能検査、KL6 (いづろ) 簡易PSG検査 ・外注検査 NAAT、APSパネル検査、髄膜炎マルチスクリーニング、BRCA遺伝子検査 ・検査機器の更新 ・聴力検査室を耳鼻科外来横に移設、聴力検査機器の更新で、患者導線、検査環境の改善をおこない、業務の効率化で検査結果の適正化、迅速化に繋がった。 ・コロナPCR前処理室の移動で、検査環境の改善、業務の効率化を図り、迅速な検査結果報告に繋がった。 ・検体検査室の湿度上昇で結露による検査機器トラブルが頻発したため、解消のために除湿器2台を設置した。</p>	<p>(1)検査内容 2023年度目標達成率 (前年度比1.02) 103.0% (目標達成)</p> <p>102.2% (目標達成)</p> <p>100.1%</p> <p>117.3% (目標達成)</p> <p>115.4% (目標達成)</p> <p>91.7%</p> <p>104.7% (目標達成)</p> <p>(2)検査業務の改善 ・診療科からの新規検査項目の導入要望に対し、適正に対応できた。 新規院内検査は3項目 新規外注検査は4項目</p> <p>・耐用年数を越えた機器の更新を順次おこなった。 ・患者動線、技師動線の改善で業務効率化を図れた。 ・迅速で正確な検査結果報告のため、状況に応じて検査環境の改善や速やかなトラブル対応に努めた。</p>	<p>・検査業務の効率化をおこない、検査件数の増加に対応できるようにする。</p> <p>・診療科からの新規検査項目の導入に対応できる体制・機器の管理を行う。 ・新規検査項目導入時に依頼件数と試薬コスト、機器コストなどの検討を行っていく。</p> <p>・耐用年数を考慮し、計画的な機器更新を継続していく。</p>
	正確で迅速、安全な検査結果提供の維持	<p>(1)外部・内部精度管理の実施 ・外部精度管理 (日臨技・日本医師会・各種メーカーサーベイ)の受検 ・内部精度管理の維持・徹底 ・検体検査・生理検査の試薬・消耗品データ管理の導入</p> <p>(2)医療安全・接遇教育の実施で質の高い検査提供の維持 ・365日24時間体制に対応できる計画的な教育 ・事例発生時の報告と周知 ・院内外の講習会の受講と、eラーニングなど教育の実施で知見を深める。</p> <p>(3)コストを意識した業務改善 ・適正な検査機器更新 ・検査依頼から検査結果報告までの全行程の見直しを行う。 ・連携病院間での人的交流や、業務改善によるコスト削減</p>	<p>(1)外部精度管理の受検 ・日臨技、日本医師会、鹿臨技、鹿児島県医師会の受検 ・メーカーサーベイランス 9社実施 ・内部精度管理の実施 (生化学64項目、血液学22項目、一般検査20項目) ・一部導入済み、継続して進める</p> <p>・新入職員が3～4か月で日当直業務の習得ができるように計画的な研修 ・インシデント発生時の迅速な報告、対処策を協議し、業務改善、検査室内外へ対応策の周知、再発防止を図る。 ・1回/年の日当直業務を行う全技師対象の輸血研修の実施 ・専門知識の習得、資格更新のための講習会やeラーニングの参加</p> <p>(3) ・耐用年数を考慮した計画的な機器更新 ・Fib4indexの項目コートを統一し、法人内病院間で時系列比較できるようになる。 ・エコー検査後の清拭用おしぼりの導入で、タオルの使用を減らし、コスト削減を図る。 ・検体採取容器の有効期限を周知し、適正な保管とストックで期限切れの廃棄の減少でコスト削減に繋げる。 ・コロナ5類に移行に伴い、PCRの前処理を検体検査室内で実施し業務の効率化を行う。</p>	<p>(1)外部精度管理調査結果は概ね良好 ・今村総合病院 評価A+B 224/228 日本医師会 評価項目修正点98点 (2SD) 37/37 鹿児島県医師会 (2SD) 37/37 ・いづろ今村病院 日臨技評価A+B 評価A+B166/167 鹿児島県医師会 (2SD) 33/33</p> <p>・7月より日当直業務を1人体制にて業務可能となる。 ・インシデントの再発防止</p> <p>・日当直業務を行う全技師への研修で適正で安全な輸血業務を目指す。 ・参加を促す。</p> <p>・精度管理やインシデント発生防止のため、計画的な機器更新は必要 ・法人内病院間での検査結果報告の一元化を進めていく。 ・検査環境や導線の改善で検査結果の迅速化に繋がった。</p>

中長期計画	中長期計画と2023年度事業計画 (Stage2)	実施 2023.4月～2024.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
関連病院内外の連携強化 臨床検査部 人材育成を行い、検査技術のスキルアップを行う 働きやすい環境づくり	(1)連携病院間での強化 ・臨床検査一体化会議の隔月開催 ・関連病院間の機器・試薬統一による検体検査結果検索ネットワークの充実 ・関連病院間での人的交流や業務協力をを行う (2)院内外への検査部業務のアピール ・I&A認定施設としての輸血業務のアピールを行う。 ・ホームページの更新を行う。 ・他部署に向けた業務案内を行う。	・臨床検査一体化会議 6回開催 ・Fib 4 indexの項目コードの統一 ・今村総合病院・いづろ今村病院間の6カ月間の異動による人事交流 ・いづろ今村病院の技師が今村総合病院で日直を月3回実施 ・今村総合病院の技師がいづろ今村病院で腹部エコー検査を実施 ・いづろ今村病院の腹部超音波検査画像保存と閲覧をHi-動線で一元管理 ・今村総合病院泌尿器科の超音波検査画像をHi-medionで一元管理 ・尿検査の項目コードの統一を進める。 ・I&A認定更新を受審 ・認定輸血検査技師制度指定施設の申請を行う。 ・パンフレットの作成の検討 ・臨床検査部の採用情報ホームページを新規作成 ・臨床検査部のホームページ更新を行う。 ・検体採取容器の適正な保管と有効期限の確認について、再採血とコスト削減に繋がることをTQMで発表し、容器の廃棄削減に取り組んだ。 ・第2回かもい健康まつりに検査ブースで参加し頸動脈エコーを100名に実施 ・研修医にエコー検査の研修を行う。 ・中学生の職場体験の受け入れを実施 ・臨地実習指導者講習会(座学・実習)への参加	・今年度初めて人事異動を伴う病院間人事交流を行う。 ・業務による人事交流の実施 ・超音波検査の画像一元管理を進める ・一部実施 ・I&A認定資格更新 ・2024年度より施設認定 ・新入職員2名の採用に繋がった ・定期的な在庫管理の徹底が難しい。 ・希望する全ての参加者に検査を実施できた。	・いづろ今村病院の人員減により2024年度は日直業務と人事交流を一時中断 ・継続して進めている。 ・容器のSPD定数を再検討し、容器廃棄の削減に取り組む。
	(1)担当業務に対する専門性の高い知識と、検査技術の習得 ・キャリア開発ラダー運用で、計画的な教育、研修、育成を行う。 ・日・当直の緊急検体検査業務の教育、研修を行う。 ・慈愛会学会学術集会の発表と参加 ・部署内勉強会を開催し、知識の再確認やアップデートを図る。 (2)各種認定資格の取得でスキルアップを図る ・上位資格取得を目指す学習環境を整える。 ・各種認定資格の受験 ・資格取得者の資格維持・更新の環境を整える。 (3)ラダーに沿った指導・教育を行う ・新入職員・中堅技師にキャリア開発ラダーに沿った教育の実践 ・管理者任用候補者選考試験の受験を目指す。 ・タスク・シフト/シェアに関する厚生労働省指定講習会の受講	(総合) ラダー申請者7名 (いづろ) ラダー申請者3名 ・新入職員の日当直業務研修(約3カ月) ・日当直業務の輸血検査研修を1回/年行う。 (総合) 1題 (いづろ) 1題 ・1回/月の部署内eラーニング受講 ・1回/月の部署内eラーニング受講 ・超音波検査士 2名受検 ・細胞検査士資格試験受験予定 2名(病理部) ・認定資格更新のための研修会の受講 ・ラダー申請者 (総合) 7名 (いづろ) 3名 ・管理者任用候補者試験1名受検 ・タスク・シフト/シェアの受講を勧める(座学・実習の修了者) (総合) 22/25名 (いづろ) 2/7名	(総合) 合格7名 (いづろ) 合格3名 ・7月より日当直業務の開始 ・総合病院臨床検査部全員が研修終了 ・超音波検査士 2名合格(循環器領域・消化器領域) ・細胞検査士 1名合格 ・化学物質管理者・保護具着用管理責任者取得(病理部) ・ラダー申請の保留者 9名 ・管理者任用候補者試験1名合格 ・座学・実習の修了者75%	・ラダー申請者全員合格、申請保留者のラダー申請を促していく。 ・継続的に行っていく。 ・ラダーの積極的な申請を促していく。 ・全技師に座学・実習の修了を勧める。
	(1)必要な休暇取得ができる職場環境の維持 ・検査業務を遂行できる適正人員の確保 ・休暇取得に対応できる業務体制づくり (2)身体的にも精神的にも健全に業務できる環境を整える ・部署内コミュニケーションの活性化を図る ・業務負荷量に配慮した担当業務の検討	・2023年度の新入職員4名(今村総合病院3名・いづろ今村病院1名) ・4月から6カ月間の病気休暇取得者1名 ・7月 1カ月間 男性育休取得1名 ・1回/月のミーティング開催 ・毎日の昼礼にて連絡事項等の伝達を行う。 ・計画的な業務ローテーションの検討	・休暇取得時に対応できた。 ・ミーティングや伝達ノートの活用で情報の共有を図った。	

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

【人事交流】

- ・今村総合病院といづろ今村病院との人事交流で6カ月の人事異動を行った。
- ・いづろ今村病院技師が今村総合病院での日直業務の継続。
- ・今村総合病院技師がいづろ今村病院での腹部超音波検査業務の継続。

【情報共有】

- ・いづろ今村病院の腹部超音波検査の画像保存、報告書作成、結果閲覧を生理検査部門システム（Hi-medion）で一元管理し関連病院間での情報共有、時系列比較ができるようになった。
- ・今村総合病院泌尿器科の超音波検査の画像保存をHi-medionで一元管理。
- ・Fib4index(計算項目)の項目コード統一で、今村総合病院・いづろ今村病院・七波クリニック間で時系列の比較が可能になる。
- ・垂水サテライトクリニックの検体検査受託を予定。電子カルテ上での検体検査の時系列比較が可能になる。
- ・慈愛会臨床検査部一体化会議を奇数月に6回開催した今村総合病院（臨床検査部・病理部）・いづろ今村病院・谷山病院

合同研修会

「第11回慈愛会臨床検査部合同研修会」

- ・2023年12月2日（土）14:00-16:00
- ・かごしまオハナビル3階大会議室+Zoom参加（谷山病院）

【内容】

1. 理事長挨拶
公益財団法人慈愛会 今村 英仁理事長
2. 一般演題 4題
演題1
HBZ in situ hybridization (HBZ-ISH)について
今村総合病院 病理部 新村 泰子
演題2
ルミパルスL2400におけるタクロリムス測定の実効性
今村総合病院 臨床検査部 比良 泰士
演題3
今村総合病院におけるファブリー病患者の検査、治療の実態
今村総合病院 臨床検査部 水元 美穂
演題4
当院におけるFib 4 index測定値からみた肝線維化

評価の実際

いづろ今村病院 臨床検査部 泉 琴美

3. 特別講演

ゲルカラム凝集法～当社カラムを用いたCase Study～

株式会社カイノス 西野 由希子先生

4. 総括・閉会挨拶

今村総合病院 臨床検査部 坂江 清弘部長

技能・能力向上に向けた取り組み

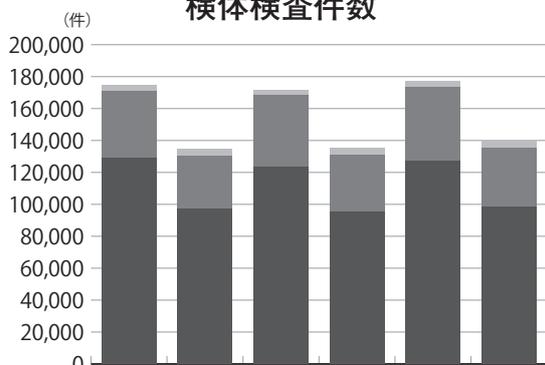
- ・今年度ラダー申請 9名（今村総合病院 7名、いづろ今村病院 2名）
- ・新入職員4名入職（今村総合病院臨床検査部2名、病理部1名、いづろ今村病院1名）
臨床検査部の2名は約3カ月の研修後に日当直検体検査・輸血検査業務を開始、その後は各々担当業務の検査技術の習得のためクリニカルラダーに沿って教育を継続。
- ・タスクシフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会の受講（基礎講習、実技講習）の修了者は今村総合病院22/25名、いづろ今村病院2/7名。今後は臨床検査部の業務拡大、多職種連携を検討する。
- ・化学物質管理者、保護具着用管理者の選任のため講習会受講（病理部）
- ・スキルアップをバックアップし、資格取得を目指す環境づくり
- ・各種研修会への参加（スキルアップや各種取得資格の更新などのため）

各種認定資格取得状況

資格名等	総数	2023年度 新たな取得者
超音波検査士	9 (12領域)	泉琴美 田代智香子
細胞検査士	3	長崎佳菜子
化学物質管理者	1	南蘭輝
保護具着用管理責任者	1	南蘭輝
認定輸血検査技師	2	
JSCN 専門技術師	1	
細胞治療認定管理士	3	
睡眠学会認定検査技師	1	
認定一般検査技師	1	
2級甲類臨床病理技術士	1	
JHRS 認定心電図専門士	1	
病院感染制御スタッフ	1	

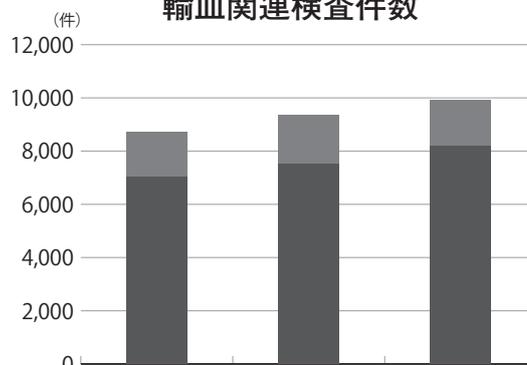
各種指標

検体検査件数



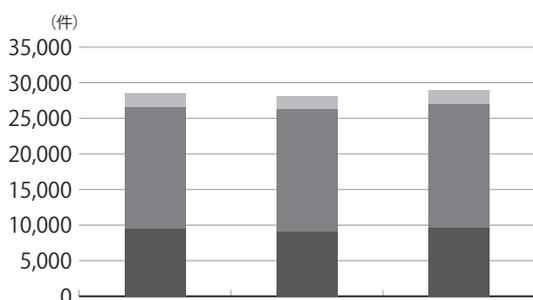
	2021年度		2022年度		2023年度	
	生化学	血液	生化学	血液	生化学	血液
■ 谷山病院	3,329	4,284	3,397	4,295	3,626	4,613
■ いづろ今村病院	42,307	33,368	44,676	35,373	46,713	37,257
■ 今村総合病院	98,086	82,085	123,518	95,526	126,829	98,403

輸血関連検査件数



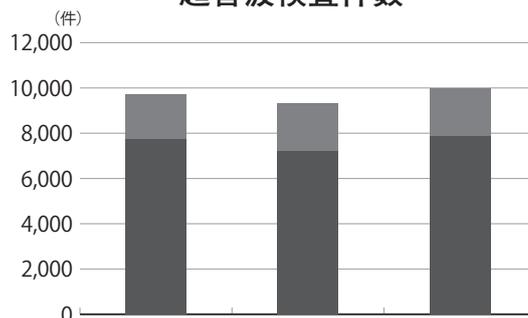
	2021年度	2022年度	2023年度
■ いづろ今村病院	1,695	1,807	1,748
■ 今村総合病院	7,023	7,529	8,188

生理機能検査件数



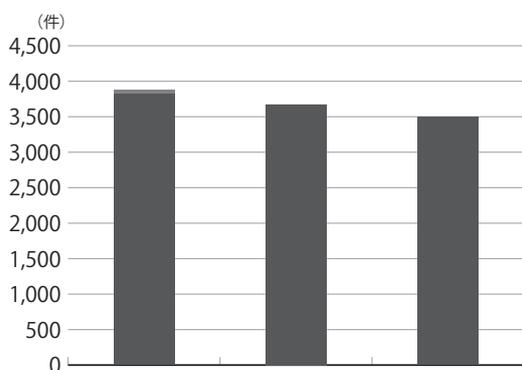
	2021年度	2022年度	2023年度
■ 谷山病院	1,884	1,786	1,837
■ いづろ今村病院	17,055	17,213	17,468
■ 今村総合病院	9,524	9,093	9,582

超音波検査件数



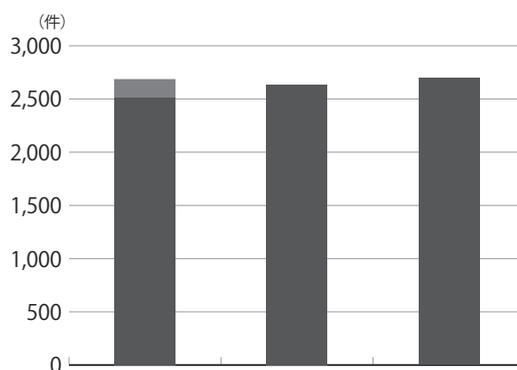
	2021年度	2022年度	2023年度
■ いづろ今村病院	1,991	2,125	2,116
■ 今村総合病院	7,725	7,207	7,852

病理検査件数(組織診)



	2021年度	2022年度	2023年度
■ 七波・オハナ	0	0	0
■ いづろ今村病院	62	0	0
■ 今村総合病院	3,816	3,674	3,499

病理検査件数(細胞診)



	2021年度	2022年度	2023年度
■ 七波・オハナ	16	0	0
■ いづろ今村病院	166	0	0
■ 今村総合病院	2,512	2,633	2,694

業 績 一 覧

【学会発表】

<国内>

今村総合病院

1. 櫻井千鶴：当院における肺拡散能力検査の現状と実態. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
2. 井上彩乃, 藤山裕輝, 久保友恵：抗CD38抗体治療症例の当院における管理体制構築について（5年間の取り組み）. 日本輸血・細胞治療学会九州支部会第70回総会・第91回例会, 2023年11月25日, 鹿児島

いづろ今村病院

<国内>

4. 紺屋仁：評価に適した体腔液の標本作製について. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島

【研究会・講演会】

今村総合病院

1. 藤山裕輝, 井上彩乃：安全で適切な輸血業務を行うにあたっての当院の取り組み. 第13回令和5年度鹿児島県合同輸血療法懇話会, 2024年2月17日, 鹿児島

【受賞】

今村総合病院

1. 井上彩乃：「抗CD38抗体治療症例の当院における管理体制構築について（5年間の取り組み）」最優秀賞. 日本輸血・細胞治療学会九州支部会第70回総会・第91回例会, 2024年11月25日

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

栄養管理部門

中長期計画	中長期計画と2023年度事業計画 (Stage2)	実施 2023.4月～2024.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
栄養ケアマネジメントの機能強化と人材育成 管理栄養部	<p>(1)急性期から在宅まで一貫した栄養マネジメント機能の強化</p> <p>①管理栄養士の病棟配置に向けた取り組み(急性期病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> 運用や体制の構築、ツール(NCP)等の準備、人材育成 NST研修会への参加(資格取得を目指す) <p>②精神科における栄養マネジメントの取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 低栄養対策の継続、退院に向けた栄養ケア体制の構築・運用 NST研修会への参加、NST導入に向け検討及び人材育成 <p>③介護における栄養マネジメントの機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 運用や体制の見直し NST委員会と担当医との連携、研修会への参加 <p>(2)地域一体型NSTに向けた取り組み</p> <p>①在宅・地域への栄養マネジメント(医療)</p> <ul style="list-style-type: none"> 体制の構築、運用についての検討(ニーズや制度など学習、整理) 栄養ケアステーションへの協力(研修) <p>②在宅・地域への栄養マネジメント(医療精神科)</p> <ul style="list-style-type: none"> 体制など検討(ニーズや制度の学習、必要事項のピックアップ) 栄養情報提供書の運用、見直し <p>③在宅・地域への栄養マネジメント(介護)</p> <ul style="list-style-type: none"> ふれあい会食にて栄養講話の継続、栄養マネジメントの体制作り 訪問給食の継続 <p>(3)人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理栄養士のラダー運用と見直し 栄養部WGの継続、合同研修会の実施(全体および各職種) 実習生受け入れ、職場体験などへの協力 <p>(4)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域イベント、院内行事への参加協力 各種講師派遣、関連団体への参加協力 	<p>①病棟担当制を継続中。病棟編成に伴い、一般病棟担当を2名体制へ(いづろ)栄養管理計画書、スクリーニング、ラウンドを継続</p> <p>②入院時のスクリーニング、昼食時の病棟訪問を継続</p> <p>③入所時のスクリーニング、昼食時の食事観察など、感染状況をみながら継続実施。経口維持、適切な食事形態を提供できるよう努めた。</p> <p>①「健康まつり」開催(いづろ 10月14日 栄養相談コーナー担当)「かもいけ健康まつり」開催(総合 10月21日 栄養相談コーナー担当)</p> <p>②秋まつり(介護まつり)は中止のまま。</p> <p>③介護まつり(秋まつり)は中止のまま。訪問給食は継続中。「介護マルシェ」開催(愛と結の街 11月19日 栄養相談担当)</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理栄養士のラダー運用、見直しには至らなかった。 栄養部WG継続中。調理師WGスタート(今年度は3回開催 7月、12月、2月)第10回慈愛会栄養部門合同研修会 2024年3月16日開催 いづろ 今村病院会議室(離島はWeb参加)参加者 32名 栄養士実習生の受け入れ いづろ (8名)、谷山(2名)、愛結(2名) 鹿児島純大、鹿児島県短、鹿児島女子短、今村学園、鹿児島純短、中村学園大学 <p>・第24回歩いて学ぶ糖尿病ウォークラリー in Kagoshima 4/23 川内 寺山いこいの広場</p> <p>・市民健康まつり 栄養相談コーナー 7/16 西原商会アリーナ</p> <p>・小児糖尿病サマーウォーク 7/30 甲突川付近</p> <p>・鹿児島県立短期大学キャリアデザイン 9/20 鹿児島県立短期大学</p> <p>・慈愛会職員広報紙 Professional第32号 寄稿「糖尿病カンパーション」 9月</p> <p>・第1回くらし・健康フェスタin妙行寺 栄養相談コーナー 10/7 鹿児島市 妙行寺</p> <p>・J-seatyナース研修会「緩和ケアのお食事」 10/3</p> <p>・セキスイ安全大会「職場の安全は皆さんの健康から～食に関すること(糖尿病)」 10/5</p> <p>・介護講習会 明和福祉館 10/21 鹿児島市明和福祉館</p> <p>・J-seatyナース研修会「老健における栄養マネジメント」 10/23</p> <p>・第61回日本糖尿病学会九州地方会 ワークショップ発表 12/1 熊本 熊本城ホール</p> <p>・鹿児島中央看護専門学校 栄養学講義</p> <p>・糖尿病重症化予防保険指導従事者研修会 開催・食事の話 12月～3月 鹿児島県内</p> <p>・鹿児島糖尿病療養指導士会 役員・事務局</p> <p>・鹿児島県糖尿病対策推進会議</p> <p>・世界腎臓デー inかごしま実行委員</p> <p>・日本病態栄養学会 学術評議員</p>	<p>①病棟訪問や食事摂取状況、疾患に即した栄養を提供できているか、検査値等の確認を行う。また必要に応じて主治医・多職種と連携協働した。</p> <p>②食事摂取状況、食形態など確認する。主治医・多職種と連携して行った。</p> <p>③定期的にスクリーニング、食事観察を継続。体重などの変化にも気をつけ、多職種と協働した。</p> <p>①各種イベントが開催された時は、協力参加できた。栄養に関する情報を必要に応じて出せるようにした。</p> <p>②イベント等へ協力できる体制を整えている。</p> <p>③イベント等へ協力できる体制は整えている。以前と異なるイベント開催へ協力・参加できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 栄養士としてのスキルアップ・資格取得(維持)への取り組みはできている。慈愛会のラダーへの反映、評価等との擦り合わせが必要 研修会やセミナー等の開催情報を共有、声かけして参加を促した。 栄養部門WG、調理師WGの継続 栄養部門合同研修会、職種ごとの研修会など慈愛会内での研修会を継続 実習生受け入れの継続 <p>・地域イベント、院内外行事へ参加協力できた。</p> <p>・講師依頼、関連団体からの協力依頼に応えられた。</p>	<p>①病棟配置に向けて体制を整え、スキルアップをはかる。</p> <p>②途切れない栄養管理に向け、取り組んでいく。</p> <p>③多職種と連携し、栄養マネジメント維持に努める。GLIM基準を取り入れた栄養管理体制の構築</p> <p>①在宅、地域に必要な情報、情報収集の方法を検討する</p> <p>②在宅、地域への栄養マネジメントに向け、協力継続する</p> <ul style="list-style-type: none"> ラダー運用見直し、検討 合同研修会、職種ごとの勉強会の継続 調理スタッフの連携、自立に向けて体制づくり 実習生受け入れ、資格取得への取り組み <p>・人材育成、協力体制の継続</p> <p>・人材育成、協力体制の継続</p>

中長期計画	中長期計画と2023年度事業計画 (Stage2)	実施 2023.4月～2024.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
管理栄養部 病院給食、介護給食の合理化と更なる発展に向けた取り組み 栄養部門の組織体制の整理、財務の視点	①厨房運営の合理化や品質向上に向けた取り組み ①調理スタッフ不足への対策 ・体制の見直し、求人依頼の方法など拡充に向けて検討 ・状況に応じた給食の提供（完調品、カット野菜、献立簡素化など） ②品質向上、給食運営の発展に向けて ・ニーズに合わせた給食提供の維持、適正な材料費維持の検討	①各施設の状況に合わせて取り組み、給食提供維持できた。施設間の応援協力もあった。 体制の検討や変更、完調品やカット野菜の導入、献立の簡素化など。 学校の就活状況の共有、調理師WGの再スタート（鹿児島市内4施設） ②食材の価格高騰が続いており、情報共有継続中。 給食材料費も共有し、お互いの対策を参考にして対応継続している。	①各施設、調理スタッフ不足の状況に対応し、給食提供できた。 その都度、できる範囲の対応を検討し、安全な給食を提供した。 マニュアルを調べ、業務を標準化する取り組みもできた。 ②食材高騰の情報を早くキャッチした場合、慈愛会内で共有できた。 施設の状況に応じた対応・対策がとれた。	①給食提供維持に向けた取り組み ・調理スタッフ不足への対応 ・人材育成、マニュアル更新 ②ニーズに合わせた給食提供の維持、適正な食材費を維持する。 ・情報共有、対策や工夫など取り組みの共有を継続 ・材料費は、どこに費用がかかっているか分析する。(特にいづろ) ①必要に応じた対策の更新
	②安全管理における連携 ①衛生管理、感染対策、その他安全管理 ・大量調理施設衛生マニュアルの遵守、マニュアルの見直し ②非常食 ・非常食の在り方について検討 ・自助・互助・共助など連携への検討 ①慈愛会栄養部門の組織体制の検討 ・栄養マネジメントと給食管理の整理、進捗状況をみながら組織体制など検討 ②栄養部門からの収益増に向けて 総合 個別 90件 いづろ 個別 100件 集団 40件 透折予防 20件 谷山 個別 20件 集団 2件 慈CL 個別 10件 透折予防 180件 七波 個別 30件 奄美 個別 10件 徳之島 個別 10件 集団 1件 愛結 経口維持 20件 栄養改善 1件 ②診療報酬、介護報酬の算定拡充 ・対象項目をピックアップして点数獲得に向けて取り組む ・NST、ICU早期栄養介入、栄養マネジメント強化など目標の数値化を目指す	①各施設にて、マニュアル更新行っている状況。 必要に応じて共有し、お互い参考にしていく。 ②自助、互助、共助など地域性も含めた対策を整えていく（現時点では各施設ごと） ・慈愛会以外の他施設の情報収集には至らず。 ・今後の給食方式について、情報共有中（理事長・本部より） 意見交換会、施設訪問前後の情報共有 総合 個別 75件 いづろ 個別 124件 集団 46件 透折予防 26件 谷山 個別 14件 集団 1件 慈CL 個別 10件 透折予防 205件 七波 個別 36件 奄美 個別 2件 徳之島 個別 2件 集団 1件 愛結 経口維持 27件 栄養改善 0件 ②栄養相談、NST関連で実行可能なところに取り組んでいる。	①安全対策は、施設の状況に応じて見直しできた。 ②必要に応じて、台風での影響など情報共有できた ・感染や病欠、休職など人員少ない状況での給食提供維持のため、対策を立てて対応できた。 他施設の取り組み、今後の給食に関して情報共有できた ・栄養相談および介護（経口維持）の目標との比較半数は達成できた。	②自助、互助、共助など連携 ・各自治体の情報収集など、具体的に取り組む ・給食提供維持のために体制等の検討、給食方式について学ぶ ・他施設の取り組みなど、必要に応じて見学・情報共有に努める ・目標を設定して取り組む

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

管理栄養士のワーキンググループ（WG）に加え、鹿児島市内4施設にて調理師WGが再スタートした。調理スタッフ不足により不定期ではあったが、お互いの取り組みや工夫、問題点など共有し、施設間での協力もできた。今後の給食システムについては、本部とも情報共有しながら、継続的な給食提供に向けて取り組んでいる。

①栄養ケアマネジメントの機能強化と人材育成

・病棟配置に向け、担当の振り分けを検討し、管理栄養士のスキルアップと情報共有に取り組んだ。感染の状況をみながら病棟訪問、入院・入所時のスクリーニングを実施し、適切な食事形態を提供出来るよう努めた。健康まつり等のイベントへの参加・協力もできた。

・人材育成では、マニュアル見直し等を行い、調理スタッフも新人教育の検討を行った。学会発表、各種研修会への参加・単位取得や新たな資格取得など、自己研鑽に努めている。院内外への協力参加、各種講師依頼への協力、関連団体への参加協力にも応じた。栄養士実習生も可能な限り受け入れ協力している。

・学会、院外セミナー、研修会への参加

②給食の合理化と発展に向けた取り組み

・感染対応やスタッフ不足の対策情報を共有し、各施設の状況に合わせて、体制変更・完調品やカット野菜の導入・献立の簡素化など工夫して給食提供維持に努めた。

・食材高騰が続く中、情報と互いの対策を早期共有することし適正な食材費へと対応できた。

③栄養部門の組織体制の整理、財務の視点

- ・慈愛会調理師WGを再スタート、また合同研修会にてグループワークを行い、顔の見える関係作りができ、業務改善に繋がる情報交換もできた。
- ・給食システムについて、他施設への見学や前後の情報共有や意見交換を慈愛会本部と共に行った。
- ・今後の給食方式については、慈愛会の方針など情報共有しながら体制等の検討をすすめていく。
- ・診療報酬、介護報酬の算定拡充に向け、対象項目があれば対応できるよう体制を整えていく。栄養相談などは目標設定して取り組みを継続する。

合同研修会

集合（鹿児島市内）とZoomを利用して開催。（栄養部門全職種合同 32名参加）

「第10回 慈愛会栄養部門合同研修会」

・2024年3月16日（土）15：00～17：30

【内容】

I. 報告①

「慈愛会栄養部門WG事業計画と進捗状況」

いづろ今村病院 管理栄養士 中藪 智美

II. 報告②

「慈愛会調理師WGの立ち上げ」

いづろ今村病院 調理師 志賀 友洋

III. インシデントの状況（各施設の方法など共有）とグループワーク

[グループワーク内容]

- ①インシデント（報告・共有・対策などの体制、共有すべき事例など）
- ②衛生管理（服装、作業での取り組みや問題、意識、注意喚起している事など）
- ③人員不足による対応、募集の工夫など
- ④その他（作業の流れ、勤務体制、作業しやすくする工夫、嗜好への対応、アレルギーに関する事など）

技能・能力向上に向けた取り組み

資格取得（2023年度に取得した資格）

- ・日本栄養士会 食物アレルギー分野管理栄養士認定
慈愛会クリニック 加藤 実穂

資格更新（2023年度に更新した資格）

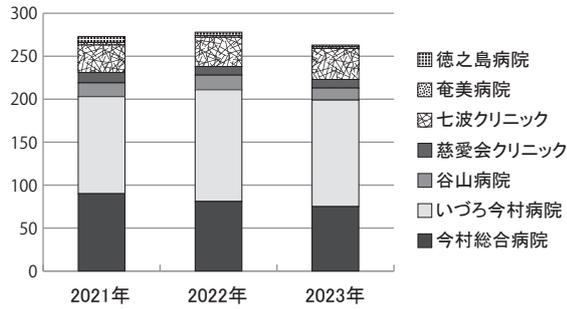
- ・日本糖尿病療養指導士
いづろ今村病院 内田 紗弥
- ・病態栄養専門管理栄養士
いづろ今村病院 中藪 智美

院内外活動

- ・病院広報誌へレシピ提供「じあいのとびら」「にじ」
今村総合病院・いづろ今村病院
- ・鹿児島糖尿病療養指導士会役員兼事務局
いづろ今村病院
- ・糖尿病患者会「ななみ会」「いずみ会」
いづろ今村病院・七波クリニック・慈愛会クリニック
- ・鹿児島中央看護専門学校講師
慈愛会クリニック
- ・介護講習会
今村総合病院
- ・鹿児島県栄養士会への協力（DM重症化予防・くらし健康フェスタ・市民健康まつり）
今村総合病院・いづろ今村病院
- ・院内IBDチーム活動
いづろ今村病院

各種指標

個別栄養食事指導件数（件／月）



	2021年	2022年	2023年
今村総合病院	90	81	75
いづろ今村病院	113	130	124
谷山病院	16	17	14
慈愛会クリニック	12	10	10
七波クリニック	32	34	36
奄美病院	3	2	2
徳之島病院	7	4	2

*糖尿病透析予防指導管理料

いづろ今村病院 311件/年（2022年度 290件/年）

慈愛会クリニック 2,461件/年（2022年度2,493件/年）

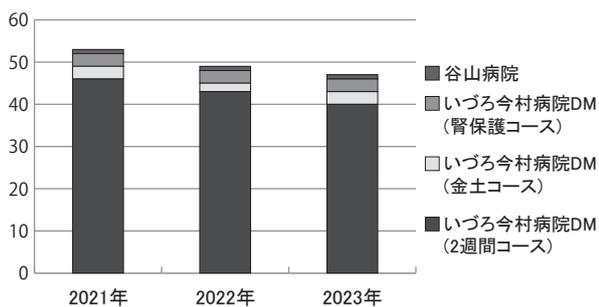
*無料栄養相談（公益事業）

慈愛会クリニック 61件/年（2022年度 40件/年）

*介護関連

愛と結の街 経口維持328件/年（2022年度 324件/年）

集団栄養食事指導件数（件／月）



	2021年	2022年	2023年
いづろ今村病院DM (2週間コース)	46	43	40
いづろ今村病院DM (金土コース)	3	2	3
いづろ今村病院DM (腎保護コース)	3	3	3
谷山病院	1	1	1

業 績 一 覧

【学会発表】

今村総合病院

<国内>

1. 中村ひとみ, 小村葵, 西園夏帆, 小瀬美咲, 下村莉美, 柏木裕香, 七枝美香, 高野正樹:食種運用の見直しについて. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島

いづろ今村病院

<国内>

2. 萬福有理, 中菌智美, 内田紗弥, 藏元まどか, 下野真央, 濱崎静夏:糖尿病教育入院 ~症例を基にした栄養指導の取り組み~. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
3. 中菌智美, 内田紗弥, 萬福有理, 藏元まどか, 下野真央, 濱崎静夏:高齢者・フレイル患者の食事療法 ~多様性をうけとめ、寄り添う支援~. 第61回日本糖尿病学会九州地方会, 2023年12月1-2日, 熊本

徳之島病院

<国内>

4. 清水崇, 作元ゆかり:飲酒量の減らない患者さんへの栄養指導. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島

【研究会・講演会】

今村総合病院

1. 中村ひとみ:生活習慣病と食事. 鹿児島市社会福祉協議会 介護講習会, 2023年10月21日, 鹿児島
2. 小瀬美咲:透析患者さんの食事について~コンビニやスーパーの食品を活用しよう~. 腎友会 勉強会, 2024年3月24日, 鹿児島

いづろ今村病院

3. 中菌智美:病院栄養士の体験から. 鹿児島県立短期大学キャリアデザイン, 2023年9月20日, 鹿児島
4. 藏元まどか:緩和ケアのお食事. J-seaty ナース研修会, 2023年10月3日, 鹿児島
5. 藏元まどか:職場の安全は皆さんの健康から~食に関すること(糖尿病). セキスイ安全大会, 2023年10月5日, 鹿児島
6. 中菌智美:糖尿病の栄養指導(飲酒、高齢者への対応含む). 令和5年度 糖尿病重症化予防保健指導従事者研修会, 2024年2月14日, 鹿児島(Web)

徳之島病院

7. 清水崇:精神科における栄養管理. J-seaty ナース研修会, 2023年7月12日, 鹿児島

愛と結の街

8. 今村瑞香:介護老人保健施設における栄養ケアマネジメント. J-seaty ナース研修会, 2023年10月23日, 鹿児島

【マスメディア】

徳之島病院

1. 清水崇:社会人としての成人式を迎えてー徳之島病院勤務20年を振り返るー. 鹿精協会報第187号, 2024年1月

部門別 事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

ソーシャルワーカー部門 (JSW)

中長期計画	中長期計画と2023年度事業計画 (Stage2)	実施 2023.4月～2024.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
地域貢献 慈愛会ソーシャルワーカー(JSW)部	<p>(1)地域交流会等に参加し、社会福祉・精神保健福祉に関する知識の普及啓発活動に参画する</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界アルツハイマーデー街頭活動への参加 地域ケアマネ等向け研修、意見交流会の開催 地域における啓発活動への積極的な参加(ピアサポーターとの協働) 家族支援教室の開催 慈愛コミュニティ委員会での鴨池地区との連携 小原町内会はぐくみ会参加 <p>・東谷山校区コミュニティー協議会参加</p> <p>・地域健康クラブ等へ出張講演</p>	<p>【今村総合病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 慈愛コミュニティ委員会での鴨池地区との連携 毎週火曜日18:00～開催 福祉合同研修会 鴨池小学校キャリア教育学習 薩摩蒸気屋コラボ かもかる音楽隊コンサート 健康まつり <p>【いづろ今村病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康まつり 地区介護支援専門員向け勉強会・意見交換会 <p>【谷山病院】(1)(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界アルツハイマーデー街頭活動への参加 認知症疾患医療センターの業務内容の充実や機能強化 <p>【奄美病院】(1)(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 包括在宅介護支援センター協議会・在宅医療連携支援研修会 社会福祉協議会生活支援員研修 龍郷町わきゃしまどうくさネット 東城小中学校メンタルヘルス研修・耳の日の集い講演会・おでかけカフェ(笠利) <p>【徳之島病院】(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 2023.4月～2023.6月 人員不足により、離島訪問にPSW派遣できず 2023.7月～ 訪問看護ステーション「わたりどり」開所に伴い、PSW派遣なし。 <p>【愛と結の街】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域高齢者クラブとの連携・開催(5月・10月・3月実施) 	<p>【今村総合病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域密着型の病院づくりに貢献できたと考ええる。 <p>【いづろ今村病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区介護支援専門員と有意義な時間を持つことができた。 <p>【谷山病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内会や専門職を対象とした地域での普及啓発活動が困難であった。 認知症疾患医療センターの業務内容については、概ね達成できた。 認知症カフェを開催できなかった。 <p>【奄美病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院の役割や啓もう活動を行うことができた。また地域のニーズに対応し知識の普及活動や地域づくりへの参画ができた。 <p>【徳之島病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 離島訪問看護へのPSW同行のニーズは高いが、人員不足により事業所へのPSWを配置することが困難状況が続いている。 <p>【愛と結の街】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の介護のニーズの確認ができたと考ええる 	<p>【今村総合病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の求めるもの、地域へ求めることをしっかりと判断し、密な連携を図っていく。 <p>【いづろ今村病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域からのニーズを理解し、自分たちのできることを整理・発信していく。 <p>【谷山病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域のニーズを理解しながら、当院の強みを発揮できるように発信していく。 認知症カフェの準備を進めている。 <p>【奄美病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> これからも地域の福祉活動の普及に貢献していく。 <p>【徳之島病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 訪問看護ステーション「わたりどり」と連携し、利用者への支援介入や関係機関との情報共有を図り、迅速に対応できる体制を整える。 <p>【愛と結の街】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民との連携を深め、これからも介護分野・福祉分野で顕在化している課題や問題等の確認を行っていく。
	地域連携	<p>(1)関係機関との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部病院、施設への訪問活動(20以上の施設、年3回以上の面会：今村総合・いづろ) 自立支援協議会への参加(奄美：1回/月、徳之島：1回/2カ月、谷山1回/1カ月) 居住支援協議会への参加(奄美：要請時、徳之島：1回/3カ月) 奄美地区地域医療連携協議会への参加(3回/年) 精神医療審査会へ委員としての参加 介護認定審査会へ委員としての参加 介護予防地域ケア会議へ参加(1回/3カ月) 谷山中央地域ケア推進会議へ参加 	<p>【今村総合病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他医療機関との連携実績：301事業所595回(3回以上32事業所) 鹿児島市内医療機関訪問活動 垂水市医療機関訪問活動 大隅、薩南地区医療機関訪問活動 奄美大島医療機関訪問活動 <p>【いづろ今村病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他医療機関との連携実績：200事業所348回(3回以上28事業所) 各診療科医師やコメディカルの多職種での訪問活動 	<p>【今村総合病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療機関連携先の新規開拓を目的に、地方の医療機関への訪問を行った。 他医療機関との連携実績：200事業所348回(3回以上28事業所) <p>【いづろ今村病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 退院支援カンファレンス等を通じ、連携を深めることができた。 地域連携プロジェクト推進委員等との協力で多職種での訪問が実施できた。 訪問予定時期に感染拡大と重なり、下半期の訪問ができなかった。

中長期計画	中長期計画と2023年度事業計画 (Stage2)	実施 2023.4月～2024.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)	
地域連携		<p>【谷山病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鹿児島市自立支援協議会精神保健福祉部会 鹿児島市自立支援協議会定例会 鹿児島市地域移行促進会議、推進会議 精神医療審査会 鹿児島市地域生活支援拠点ミーティング セルフヘルプネットかごしま定例会 日置市相談支援部会 鹿児島市重層的支援体制整備事業多機関協働会議 鹿児島市地域活動支援センター連携会議 (CASC) 鹿児島ピアサポーターのつどいビジネスミーティング 市成年後見センター専門ケース会議 介護予防地域ケア会議 <p>【奄美病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自立支援協議会への参加 居住支援協議会への参加 精神障害者地域移行・地域定着推進会議 精神医療審査会、介護認定審査会 奄美地区地域医療連携室協議会 龍郷町地域ケア会議 奄美広域権利擁護ネットワーク協議会 自殺対策事業：第一回地域ネットワーク会議 在宅医療多職種連携研修会会議 奄美保健所管内精神障害者地域移行・地域定着推進会議 	<p>【谷山病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の公的機関や医療機関、事業所と協力し連携を図ることができた。 <p>【奄美病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自立支援協議会の運営委員として参画し地域づくりに貢献した。 	<p>【谷山病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の関係機関と継続的に連携を図り、専門性を発揮していく。 <p>【奄美病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き自立支援協議会の各専門部会に参加し、奄美病院の専門性を活かして地域の他機関等と連携していく。 	
	慈愛会ソーシャルワーカー(JSW)部	<p>(1)慈愛会ソーシャルワーカー(JSW)部門の組織体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> JSW代表者会開催1回/月 総会準備委員会の開催1回/月 教育委員会1回/月 <p>(2)人材確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 人材確保のためのリクルート活動 離島単独での人材採用ができる体制づくり <p>(3)施設間連携強化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 慈愛会地域連携推進会議 慈愛会地域連携推進会議への参加 	<p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各会議を定期的に開催 <p>(2)【今村総合病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鹿児島国際大学合同企業説明会参加 医療ソーシャルワーカー協会合同就職説明会参加 <p>(2)【谷山病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鹿児島国際大学合同企業説明会参加 離島(奄美・徳之島)医療支援職員のための巡回訪問 <p>(3)【今村総合病院・いづろ今村病院・谷山病院】</p> <p>偶数月開催</p>	<p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> 顔の見える関係、気軽に相談できる関係性構築に至っている。 <p>(2)【今村総合病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 10名 今村総合病院の魅力を伝えられたと思う <p>(2)【谷山病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 10名 4回訪問 <p>(3)【今村総合病院・いづろ今村病院・谷山病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 法人内の連携のため、積極的に参加した。 	<p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> 委員の負担が一部に偏らないよう、事業所や委員会内で確認していく。 <p>(2)【今村総合病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鹿児島国際大学側との連携強化を継続する。 医療ソーシャルワーカー協会との連携強化を継続する。 <p>(2)【谷山病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鹿児島国際大学側との連携強化を継続する。 離島(奄美・徳之島)医療支援職員の巡回訪問を継続する。 <p>(3)【今村総合病院・いづろ今村病院・谷山病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> 法人内連携の強化を継続する。
		教育体制	<p>(1)大学や専門学校等の実習生受け入れの継続</p> <ul style="list-style-type: none"> 今村総合病院 1～2名/年 谷山病院 1～4名/年 奄美病院 1～2名/年 <p>(2)支援者としての質の担保、向上</p> <ul style="list-style-type: none"> いづろ今村病院、今村総合病院合同事例検討会 伝達研修会実施の継続 JSW初任者研修の開催 	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今村総合病院 1名受入 谷山病院 5名受入 奄美病院 受け入れなし <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> いづろ・今村総合 毎月第4水曜日実施(事例提供は輪番制) 谷山病院 月一回の伝達研修実施 奄美病院 月一回の伝達研修実施 J S W初任者研修の実施(年4回) 	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今村総合病院 鹿児島国際大学社会福祉学部 1名 日本福祉大学事務連絡 谷山病院 鹿児島国際大学社会福祉学部 精神保健福祉課程 2名 志学館大学社会福祉学部 精神保健福祉課程 2名 九州医療専門学校通信課程 1名 <p>(2)全体</p> <ul style="list-style-type: none"> オンラインでの影響もあり、疎通性や運営についてスムーズでない部分も感じられる 実施できない月もあった。 1名の退職者があったが、それ以外の参加者が最後の個別発表まで終えることができた。
退院支援	<p>(1)地域移行・地域定着支援の充実を図る(谷山病院、奄美病院、徳之島病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> ピアサポーターの活用 クリニカルパス活用定着に向けた取り組み強化 	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 谷山病院 ピアサポーターを活用した地域移行地域定着 退院3名 奄美病院 「ピア交流会 I N 奄美病院」の実施 	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 谷山病院 院内で地域移行地域定着事業が十分浸透していない。 奄美病院 入院患者や病棟スタッフに刺激を与えられた。 	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 谷山病院 院内で多職種と更に連携を深め地域移行地域定着事業を推進していく。 奄美病院 今後も継続できるように調整する。 	

中長期計画	中長期計画と2023年度事業計画 (Stage2)	実施 2023.4月～2024.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
慈愛会ソーシャルワーカー(JSW)部 財務	(1)算定可能な加算等を積極的に取得していく(新規加算) ・診療・介護・障害内容理解し、算定漏れを無くす	(1) 【いづろ今村病院】 ・入退院支援加算：519件 ・退院時共同指導料：62件(内算定可：29件) ・多機関共同指導加算：11件(内算定可：7件) ・介護支援連携指導料：24件(内算定可：4件) 【今村総合病院】 ・入退院支援加算：2269件 ・退院時共同指導料：16件 ・他機関共同指導加算：6件 ・介護支援連携指導料：102件 【谷山病院】 ・介護支援等連携指導料：14件 ・精神科急性期医師配置加算：555件 ・地域移行実施加算：7件 ・精神科退院前訪問指導料(指導料・共同訪問)：7件・98件 ・退院調整加算：71件 【奄美病院】 ・2023.8月から「依存症集団療法」算定開始：20件 ・介護支援等連携指導料：55件 ・精神科急性期医師配置加算：9124件 ・地域移行実施加算：5件 ・精神科退院前訪問指導料：357件 ・退院調整加算：43件 【徳之島病院】 ・介護支援等連携指導料：10件 ・地域移行実施加算：4件 ・精神科退院前訪問指導料：16件	(1) 【いづろ今村病院】 ・退院時共同指導料の6件以上/3ヶ月の確保 【奄美病院 谷山病院 徳之島病院】 ・PSWが算定できる加算を意識して積極的に算定できた。	(1) 【いづろ今村病院】 ・各指導料はオンラインが中心となっている。質の充実を目指す ・施設基準に必要な件数を確実に実施、算定していく 【奄美病院 谷山病院 徳之島病院】 ・今後も新しい取得可能な加算要件を理解し、正しく算定していく
	(2)相談支援専門員を増員し、契約者数の増加を目指し支援の充実を図る。 ・適正人数の相談支援専門員を計画的に養成・配置し、契約者数の増加を図る。 ・鹿児島県相談支援ネットワークへの参加	(2) 【ひだまり】 谷山グループで相談支援専門員初任者研修 取得1名 【あゆみ】 相談支援専門員の資格取得方法を紹介するポスターを作成し配布 説明会を開催し介護福祉士へ相談支援専門員の業務内容の紹介や勧誘実施 奄美支部会への参加やリモートによる研修への参加	(2) 【ひだまり】 関連部署の退職や異動もあり適正人数の確保が困難な状況 【あゆみ】 1名の介護福祉士が興味を示している。	(2) 【ひだまり】 谷山グループで連携し、資格取得のための支援を行う。 【あゆみ】 引き続き説明会を実施。また総務と連携しリクルートする。

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

慈愛会ソーシャルワーカー部 (JSW)

いづろ今村病院：3名

今村総合病院：12名

谷山病院：31名

(奄美病院と徳之島病院への派遣2名は除く)

奄美病院：11名

(内1名は谷山病院から派遣) (内1名は6月に退職)

徳之島病院：3名 (内1名は谷山病院から派遣)

介護老人保健施設愛と結の街：3名 計60名

【人事交流・施設間の協力体制】

谷山病院より徳之島病院に1名、奄美病院に1名、精神保健福祉士を派遣

【2023年度の活動】

1. JSW代表者会議 (12回/年)

(目的)

慈愛会内のソーシャルワーカー間の情報共有を図ることで、質の高いマネジメントを行い、互いの業務、役割、現状を知ること、法人内の連携を強化することを目的としている。

2. JSW総会・合同研修会準備班 (13回/年)

(目的)

総会準備、合同研修会の企画立案を目的としている。

3. JSW教育委員会 (2017年12月より教育プログラム作成委員会として活動。2019年4月名称変更) (12回/年)

(目的)

統一した教育プログラムの作成、運用により、援助の質の担保、離職防止を図ることを目的としている。

合同研修会

【慈愛会ソーシャルワーカー部門総会・研修会】

- ・2023年6月10日（土）13:30-17:30
- ・集合とオンライン（Zoom）のハイブリッド開催
- ・「法人内ソーシャルワーカーの連携を目指して」「キャリアラダーについて」（10分間：質疑応答含む）、JSW活動報告会（6事例）、報告会総括、理事長挨拶

【慈愛会ソーシャルワーカー 初任者研修】

対象：2023年度新規採用者、2022年度中途採用者、異動者 計7名

会場：集合研修・Zoom使用

- ①2023年6月24日（土）8:30-12:30
 - ・慈愛会でのSWの役割、JSWについて（講師：地頭所 孝之・今村総合病院）
 - ・慈愛会における各施設の機能や連携について（講師：各施設代表者）
 - ・倫理綱領、SWの価値・倫理について（講師：内門直人・谷山病院）
- ②2023年8月26日（土）8:30-12:30
 - ・スーパービジョンについて（講師：西牟田 智子・奄美病院）
 - ・面接技法、コミュニケーションスキルについて（講師：満窪 圭吾・谷山病院）
 - ・精神保健福祉について（講師：別府 千尋・谷山病院）
 - ・メンタルヘルスについて（講師：南 尚江・いづろ今村病院）
- ③2023年11月25日（土）8:30-12:30
 - ・無料低額診療について（講師：住吉 亜紀美・谷山病院）
 - ・社会保障（年金、公的扶助）について（講師：原田 美和・今村総合病院）
 - ・障害者福祉について（講師：上ノ堀 知美・谷山病院）
 - ・介護保険について（講師：高田 直樹・居宅介護支援事業所愛と結の街）
 - ・ケース記録の必要性、個人情報の取扱いについて（講師：吉村 あゆみ・奄美病院）
- ④2024年3月9日（土）8:30-12:30
 - ・離島医療について（講師：有村 美幸・奄美病院／

梅岡 啓香・徳之島病院）

- ・個別発表（1年間の総括、自己覚知および事例発表を行う）

【いづろ今村病院・今村総合病院 合同症例検討会】

- ①2023年5月24日
症例提供者：南 尚江（いづろ今村病院）
テーマ：合同事例検討について
- ②2023年6月28日
症例提供者：倉 英子（今村総合病院）
テーマ：本人が納得できる支援のあり方について
- ③2023年7月26日
症例提供者：前岡 美玖（今村総合病院）
テーマ：複数の転院先候補がありアセスメントに悩んだ事例
- ④2023年8月23日
症例提供者：内屋敷 香織（いづろ今村病院）
テーマ：退院先の変更、患者と家族の意向が異なる場合の退院支援
- ⑤2023年9月27日
症例提供者：平山 翔大（今村総合病院）
テーマ：患者様の身寄り問題について
- ⑥2023年10月25日
症例提供者：地頭所 孝之（今村総合病院）
テーマ：在宅調整終了間際での大どんでん返しからの救いの手
- ⑦2023年11月22日
症例提供者：岡田 美鈴（いづろ今村病院）
テーマ：2～3週間の治療目的であったが、入院翌日に2泊3日での退院が決定し緊急調整が必要となったケース
- ⑧2024年1月24日
症例提供者：馬場園 望（今村総合病院）
テーマ：ソーシャルワーカーの「心理的支援」について考える
- ⑨2024年2月28日
症例提供者：久松 聡一郎（今村総合病院）
テーマ：再入院を防ぐためにできたこと
- ⑩2024年3月27日
症例提供者：南 尚江（いづろ今村病院）
テーマ：退院支援者間の連携について

【谷山病院 事例検討会】

- ①2023年6月10日
症例提供者：濱崎 健志
テーマ：本人・家族の意向に沿わない退院支援について
- ②2023年7月15日
症例提供者：濱田 凌
テーマ：本人の思いが見えずに、退院調整を進めていることについて
- ③2023年8月19日
症例提供者：黒瀬 絢未
テーマ：精神科急性期治療病棟における退院支援と再入院の葛藤
- ④2023年10月21日
症例提供者：権現領 圭太
テーマ：家族間で退院先の意向が違うケースについて
- ⑤2024年2月24日
症例提供者：鈴木 朋哉
テーマ：ソーシャルワークについて
- ⑥2024年3月16日
症例提供者：住吉 亜紀美
テーマ：本人の意向と家族、支援者の考えが違うケースについて

【奄美病院 院内勉強会・研修会】

- ①2023年4月15日
症例提供者：吉村 あゆみ
テーマ：離婚問題を抱える患者へのアプローチについて
- ②2023年5月27日
症例提供者：早野 文明
テーマ：集団精神科療法について
- ③2023年7月15日
症例提供者：西牟田 智子
テーマ：成年後見について
- ④2023年8月19日
症例提供者：奥田 透
テーマ：どこまで介入するべきか
- ⑤2023年9月9日
症例提供者：貴島 世梨香
テーマ：バリテーションとは

- ⑥2023年10月21日
症例提供者：有村 美幸
テーマ：強度行動障害について
- ⑦2023年11月18日
症例提供者：森越 志保
テーマ：本人の意向について
- ⑧2023年12月23日
症例提供者：濱平 真維
テーマ：デイケアにおけるPSWの役割
- ⑨2024年1月20日
症例提供者：吉村 あゆみ
テーマ：隠れ当事者の回復過程における一考察
- ⑩2024年3月2日
症例提供者：奥田 透
テーマ：病院ですべきこととは

技能・能力向上に向けた取り組み

【2023年度取得資格】

- ・両立支援コーディネーター基礎研修：3名
今村総合病院：相羽 遥日、久松 聡一郎、迫山 富貴子
- ・がん相談支援センター相談員基礎研修（1）（2）知識確認コース：2名
今村総合病院：上野 彩乃、馬場園 望
- ・相談支援専門員：1名
谷山病院：前田 結華

【有資格者数】

- ・社会福祉士：42名（実習指導者：5名）
今村総合病院：10名（実習指導者：4名）
地頭所 孝之、原田 美和、辻 恵里、日高 洋美、上野 彩乃、馬場園 望、杉元 早希、倉 英子、相羽 遥日、久松 聡一郎
（実習指導者）
原田 美和、日高 洋美、辻 恵理、上野 彩乃
- いづろ今村病院：3名（実習指導者：0名）
南 尚江、内屋敷 香織、岡田 美鈴、
- 谷山病院：19名（実習指導者：0名）
岩元 利保子、赤塚 広泰、中山 佳祐、久保 早苗、上ノ堀 知美、佐澤 佳史朗、満窪 圭吾、今元 大祐、松崎 里香、遠矢 ふみ、春山 大道、内門 直人、住吉 亜紀美、染川 悠希、前田 結華、濱田 凌、

- 黒瀬 絢未、濱崎 健志、鈴東 朋哉
 - 奄美病院：7名（実習指導者：1名）
 - 下田 清一、吉村 あゆみ、西牟田 智子、有村 美幸、貴島 世梨香、悦本 遼、濱平 真維（実習指導者）
 - 西牟田 智子
 - 愛と結の街：2名（実習指導者：0名）
 - 齋藤 尚美、中西 鉄矢
 - 徳之島病院：1名（実習指導者：0名）
 - 元見 竜也
- ・精神保健福祉士：47名（実習指導者：13名）
 - 今村総合病院：4名（実習指導者：1名）
 - 地頭所 孝之、上野 彩乃、前岡 美玖、迫山 富貴子（実習指導者）
 - 地頭所 孝之
 - 谷山病院：30名（実習指導者：10名）
 - 岩元 利保子、赤塚 広泰、中山 佳祐、島 由紀子、久保 早苗、上ノ堀 知美、古園 友理恵、佐澤 佳史朗、今元 大祐、茅野 真奈美、染川 悠希、満窪 圭吾、遠矢 ふみ、芹ヶ野 春美、春山 大道、清水 一寿子、有馬 喜隆、栗坂 林子、内門 直人、住吉 亜紀美、宮竹 敦史、佐々木 奈美、別府 千尋、権現領 圭太、前田 結華、濱田 凌、黒瀬 絢未、福留 清楓、濱崎 健志、鈴東 朋哉（実習指導者）
 - 岩元 利保子、赤塚 広泰、中山 佳祐、満窪圭吾、久保 早苗、内門 直人、住吉 亜紀美、宮竹 敦史、清水 一寿子、佐々木 奈美
 - 奄美病院：10名（実習指導者：2名）
 - 下田 清一、吉村 あゆみ、西牟田 智子、有村 美幸、森越 志保、貴島 世梨香、悦本 遼、奥田 透、早野 文明、濱平 真維（実習指導者）
 - 下田 清一、西牟田 智子
 - 徳之島病院：3名（実習指導者：0名）
 - 梅岡啓香、元見 竜也、山口 いずみ
- ・介護福祉士：4名
 - 愛と結の街：齋藤 尚美、中西 鉄矢、濱田 郁代
 - 奄美病院：勝田 英明
- ・介護支援専門員：5名
 - いづろ今村病院：南 尚江、岡田 美鈴
 - 愛と結の街：齋藤 尚美、中西 鉄矢、濱田 郁代
- ・相談支援専門員：16名
 - 谷山病院：9名
 - 岩元 利保子、赤塚 広泰、中山 佳祐、島 由紀子、久保 早苗、上ノ堀 知美、古園 友理恵、権現領 圭太、前田 結華
 - 奄美病院：7名
 - 下田 清一、吉村 あゆみ、有村 美幸、勝田 英明、悦本 遼、奥田 透、早野 文明
- ・サービス管理責任者：7名
 - 谷山病院：満窪 圭吾、岩元 利保子、佐々木 奈美、遠矢 ふみ
 - 奄美病院：下田 清一、吉村 あゆみ、有村 美幸
- ・がん相談支援センター相談員基礎研修（1）（2）知識確認コース終了者：5名
 - 今村総合病院：原田 美和、辻 恵理、上野 彩乃、馬場園 望
 - いづろ今村病院：南 尚江
- ・福祉住環境コーディネーター：2名
 - 愛と結の街：齋藤 尚美
 - 奄美病院：西牟田 智子
- ・公認心理師：3名
 - いづろ今村病院：南 尚江
 - 奄美病院：西牟田 智子、貴島 世梨香
- ・認定社会福祉士認証・認定機構 認定社会福祉士（障害分野）：1名
 - 奄美病院：西牟田 智子
- ・認定社会福祉士認証・認定機構 認定スーパーバイザー：1名
 - 奄美病院：西牟田 智子
- ・認知症ケア専門士：1名
 - 奄美病院名：西牟田 智子

- ・認定精神保健福祉士：1名
谷山病院：内門 直人
- ・両立支援コーディネーター基礎研修：19名
今村総合病院：12名
地頭所 孝之、原田 美和、日高 洋美、辻 恵理、
上野 彩乃、馬場園 望、倉 英子、前岡 美玖、
平山 翔大、相羽 遥日、久松 聡一郎、迫山 富貴子
いづろ今村病院：南 尚江
奄美病院：6名
吉村 あゆみ、西牟田 智子、森越 志保、貴島 世梨香、
奥田 透、早野 文明

院内外活動

【啓発活動】

- ・東谷山校区コミュニティ協議会
愛と結の街：斉藤 尚美
講師
- ・大島地区地域包括・在宅介護支援センター協議会
「依存症とは何か、また依存症の利用者への対応について」
奄美病院：西牟田 智子
- ・鹿児島県社会福祉協議会 「精神障害者とのコミュニケーションの取り方」
奄美病院：西牟田 智子
- ・奄美市立東城小中学校職員研修 「自分の特性を知り、自分の心と向き合う方法」
奄美病院：吉村 あゆみ
- ・大和村立大和小学校家庭教育学級講演会 「子育てのヒント～自立を促す関わり方～」
奄美病院：西牟田 智子

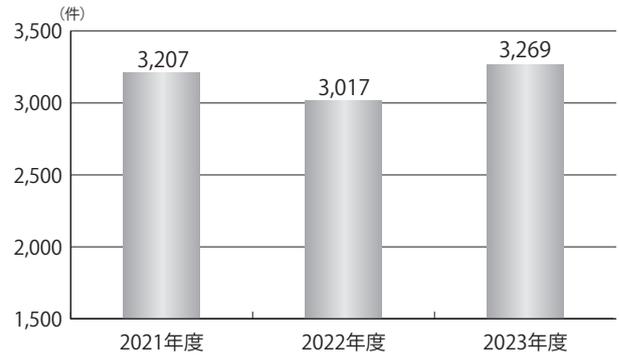
【院外活動】

- ・介護認定審査会（奄美地区）
奄美病院：吉村 あゆみ、西牟田 智子、有村 美幸、
貴島 世梨香、悦本 遼
- ・鹿児島県精神医療審査会委員
谷山病院：住吉 亜紀美
- ・鹿児島国際大学精神保健福祉援助演習Ⅰ 非常勤講師
谷山病院：内門 直人

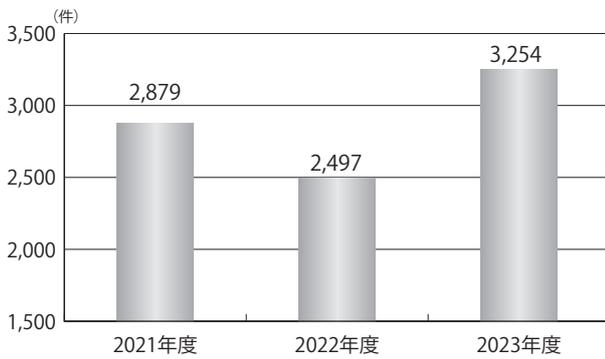
各種指標

今村総合病院

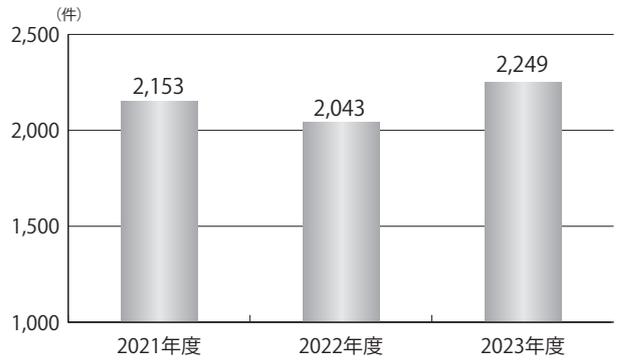
介入者数（延べ患者数）



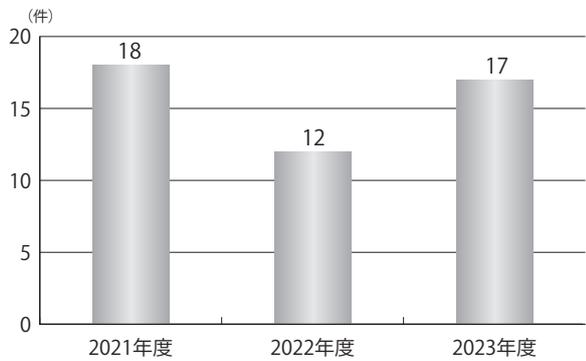
終了者数（延べ患者数）



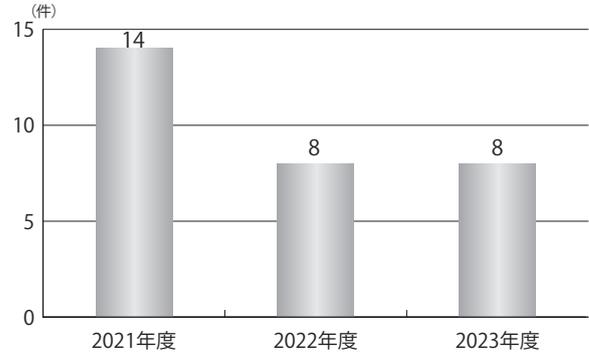
入退院支援加算1



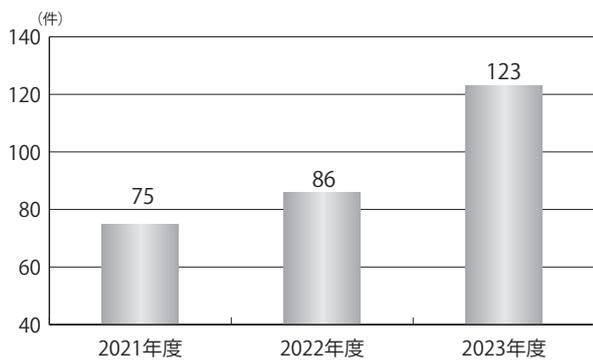
退院時共同指導料2



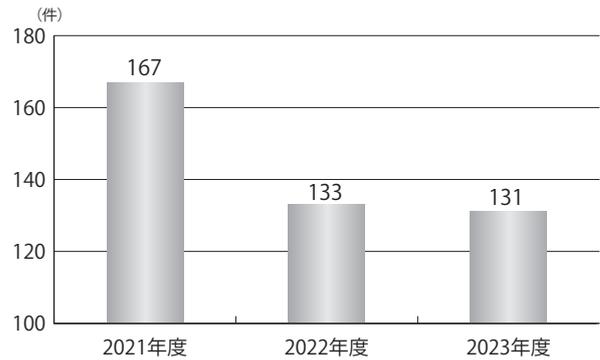
多機関共同指導加算



介護支援等連携指導料

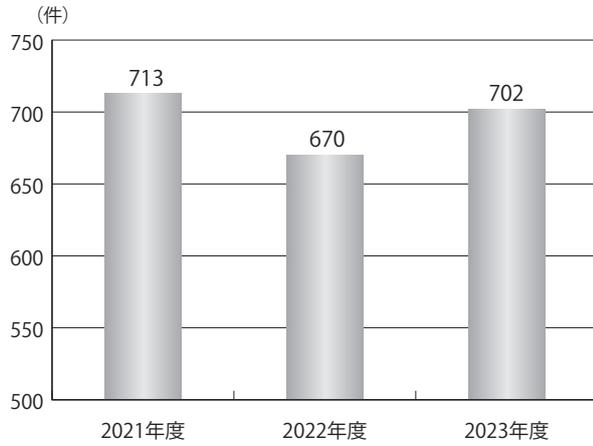


地域連携診療計画加算

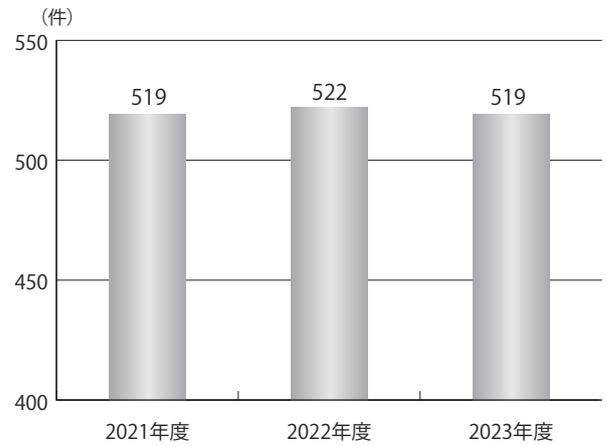


いづろ今村病院

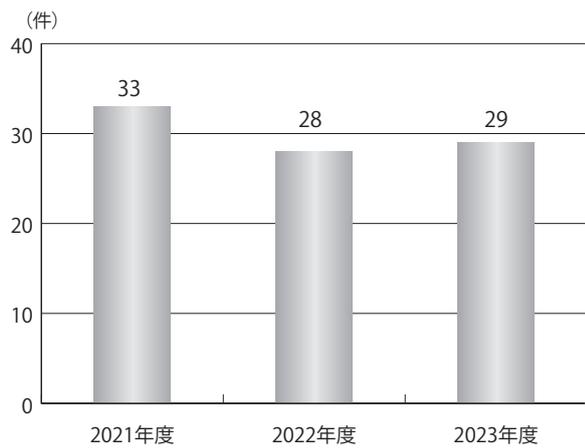
介入者数（延べ患者）



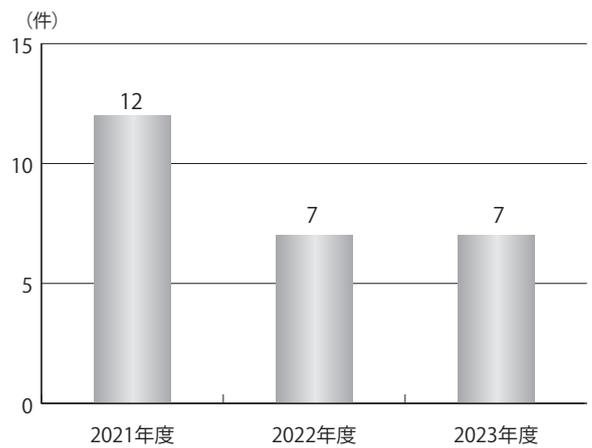
入退院支援加算1



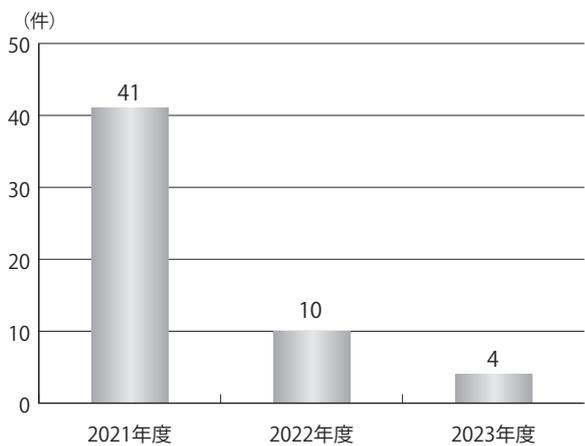
退院時共同指導料2



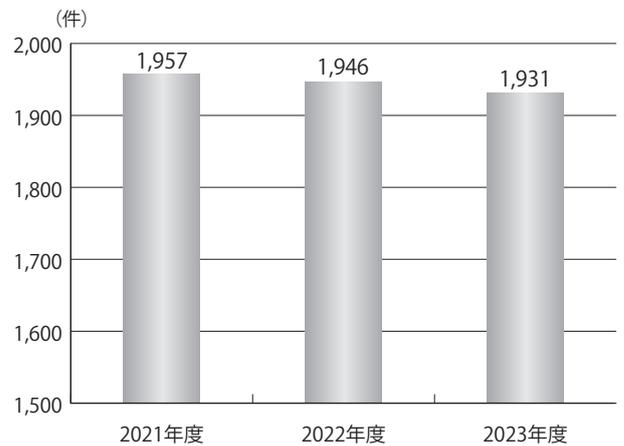
多機関共同指導加算



介護支援等連携指導料

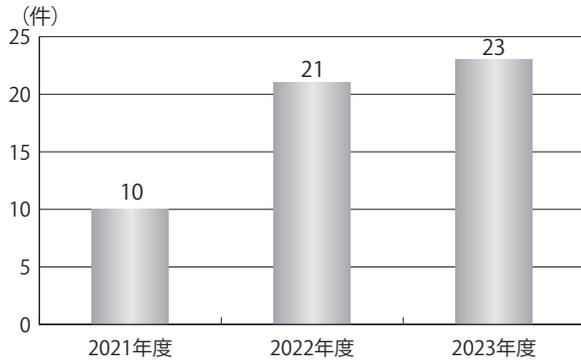


患者サポート体制充実加算

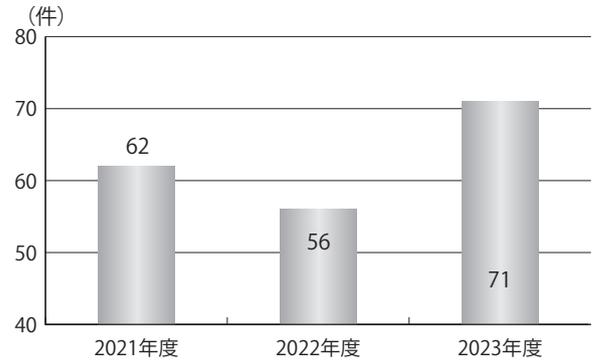


谷山病院

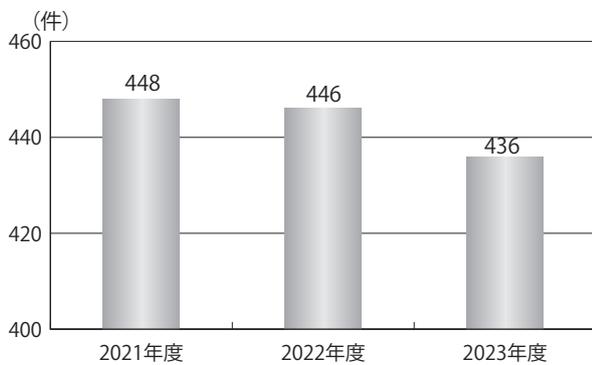
院内標準診療計画加算



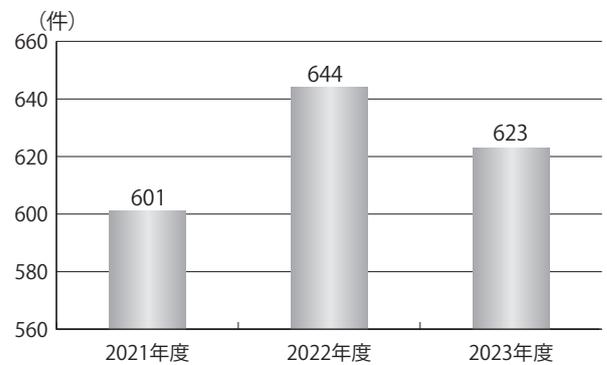
退院調整加算



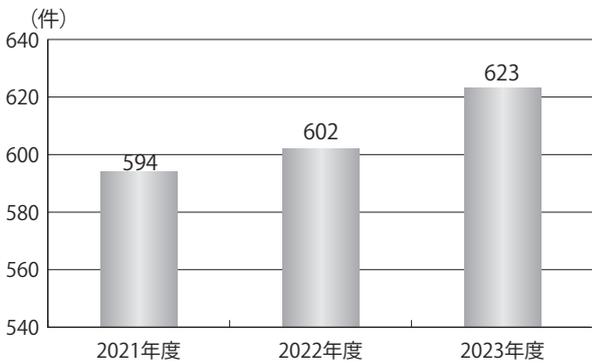
患者サポート体制加算



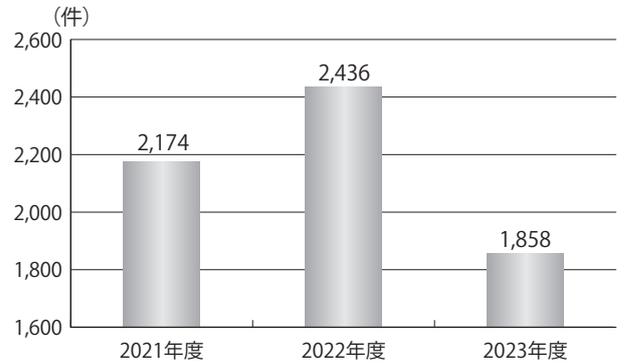
療養病棟退院支援委員会件数 C5病棟



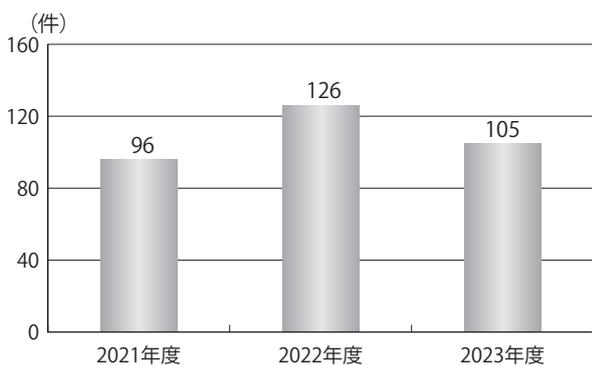
療養病棟退院支援委員会件数 C6病棟



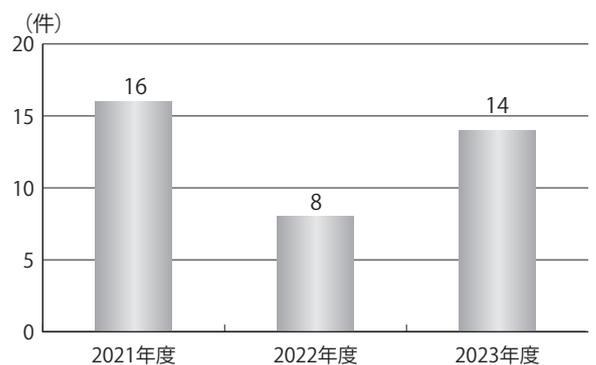
受診入院相談件数



退院前訪問指導料

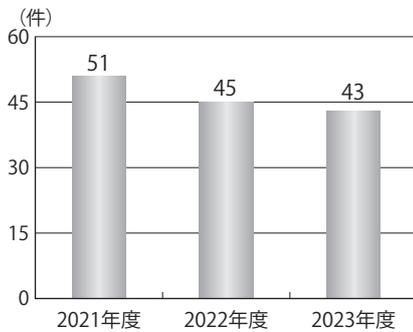


介護支援等連携指導料

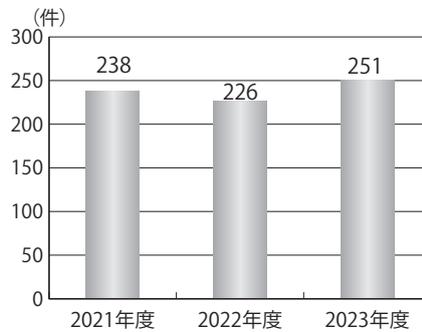


奄美病院

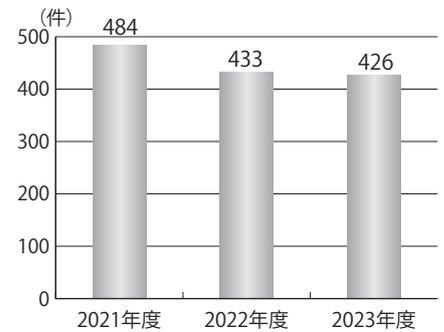
退院調整加算



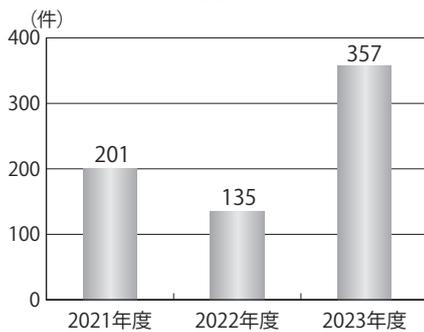
患者サポート体制加算



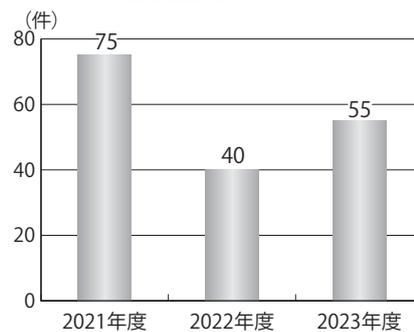
療養病棟退院支援委員会件数
(2西病棟)



退院前訪問指導料

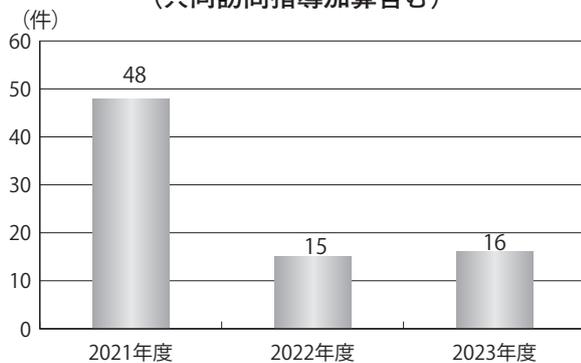


介護支援等連携指導料

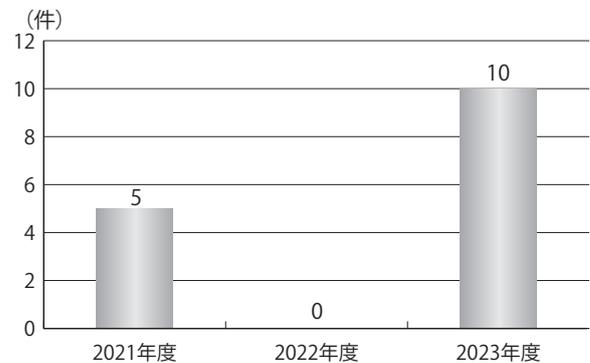


徳之島病院

退院前訪問指導料
(共同訪問指導加算含む)

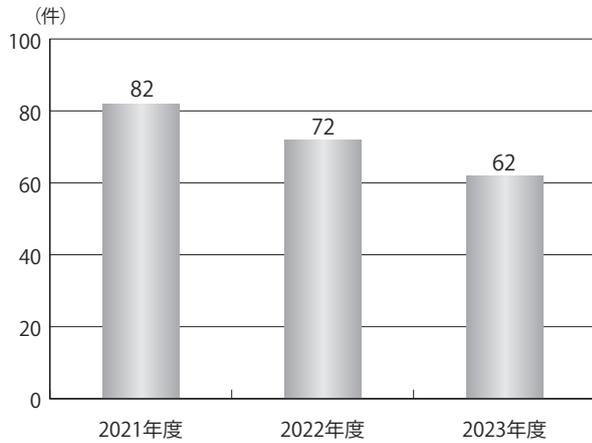


介護支援等連携指導料

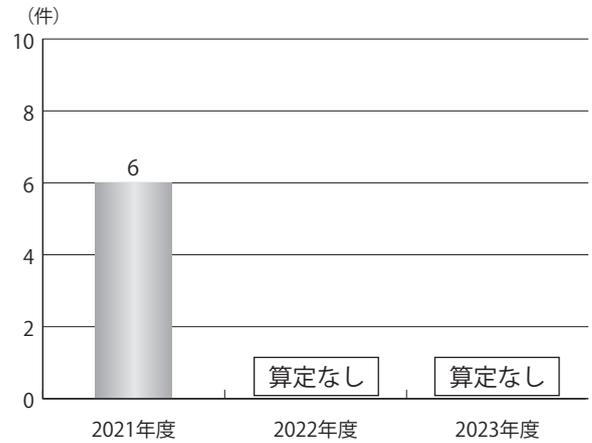


介護老人保健施設 愛と結の街

退所時情報提供加算

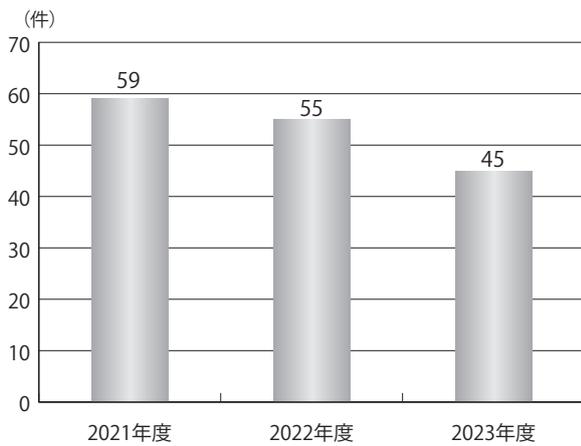


退所前連携加算

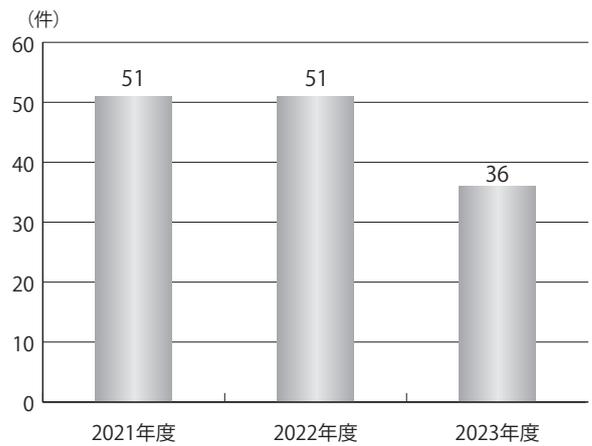


※入退所前連携加算Ⅱへ改定

入退所前連携加算Ⅱ



入所前後訪問指導加算Ⅰ



業 績 一 覧

【研究会・講演会】

谷山病院

1. 内門直人：精神保健福祉士の専門性Ⅱ．公益社団法人日本精神保健福祉士協会 生涯研修，2023年11月26日，鹿児島

奄美病院

2. 西牟田智子：依存症とは何か、また依存症の利用者への対応について．大島地区地域包括・在宅介護支援センター協議会，2023年11月17日，奄美
3. 西牟田智子：精神障害者とのコミュニケーションの取り方．鹿児島県社会福祉協議会，2023年12月7日，奄美
4. 吉村あゆみ：自分の特性を知り、自分の心と向き合う方法．奄美市立東城小中学校 職員研修(メンタルヘルス研修)，2023年12月18日，奄美
5. 西牟田智子：子育てのヒント～自立を促す関わり方～．大和村立大和小学校 家庭教育学級講演会，2024年2月28日，鹿児島県大和村

【マスメディア】

奄美病院

1. 森越志保，西牟田智子：世界アルツハイマー月間「しまろバ隊」の取り組みについて．あまみエフエム，2023年9月14日
2. 森越志保，西牟田智子，杉本東一：世界アルツハイマー月間の取り組みについて．奄美新聞，2023年9月20日
3. 森越志保，西牟田智子，杉本東一：世界アルツハイマー月間の取り組みについて．南海日日新聞，2023年9月20日
4. 西牟田智子：奄美・まーじんグループ（アルコール自助グループ）の取り組みについて．あまみエフエム，2023年10月27日

部門別 総括 指標 業績一覧

臨床工学技士(CE)部門

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

慈愛会の臨床工学部門は2018年より業務統合を行っているため、他の診療支援部のように組織横断的な取り組み・情報共有の取り組みなどはないが、慈愛会の臨床工学技士部門として運営を行っている。

いづろ今村病院の医療機器管理業務をはじめ、血球成分除去療法などの血液浄化業務も依頼があれば今村総合病院の業務を調整して臨床工学技士を派遣し行っている。

2023年の取り組みとして、資産情報システム「SEIA」の運用を開始し、臨床工学技士が携わる機器の登録を済ませており、一部ではあるがいづろ今村病院の機器も登録している。

- ・ 植え込み型心臓不整脈デバイス認定士講習会 1名
- ・ 臨床工学技士の業務範囲追加に伴う厚生労働大臣指定による研修 3名
- ・ 3学会合同呼吸療法認定士 2名
- ・ エコーガイド下穿刺ハンズオンセミナー 2名

技能・能力向上に向けた取り組み

- ・ テルモメンテナンス講習会「エキスパート編」 4名
- ・ 人工呼吸器PB980ビギナー / アドバンスコース 2名
- ・ 心電図セミナー初級コース 3名
- ・ SERVOベンチレーター Preventive Maintenance講習会 2名

各種指標

今村総合病院 (単位：件)

	2021年度	2022年度	2023年度
透析	26,697	25,236	25,859
病棟透析	205	275	234
CRRT	209	275	234
PMX	8	19	6
DFPP	23	15	31
PE	16	18	14
CART	56	34	29
HBO	256	198	212

いづろ今村病院 (単位：件数)

	2022年度	2023年度
血球成分除去療法	9	34
終業・始業前点検	1,189	1,320
院内定期点検	113	138
院内修理・点検	56	48

業 績 一 覧

【学会発表】

今村総合病院

<国内>

1. 高岡大：ANCA 関連 RPGN に対し PE、CHDF を行った症例. 第 29 回日本アフェレシス学会九州地方会, 2023 年 4 月 16 日, 鹿児島
2. 川井田季睦：レオカーナ使用時の当院でのヘパリン使用量の報告. 第 68 回日本透析医学会学術集会, 2023 年 6 月 16-18 日, 神戸

【研究会・講演会】

今村総合病院

1. 木場菜月希：透析センターでの防災マニュアルの改訂～災害発生に備えた取り組みと今後の課題～. 鹿児島県臨床工学技士会災害対策セミナー, 2023 年 8 月 24 日, Web
2. 川井田季睦：今村総合病院におけるレオカーナ治療の取り組み. Case Conference on Rheocarna Therapy for Clinical Engineers in kagoshima, 2023 年 10 月 24 日, 鹿児島
3. 高岡大：九州・沖縄合同企画セミナー ワンスライドディスカッション～いろいろな事例や悩みをみんなで考えよう！～. 第 18 回九州・沖縄臨床工学会 第 30 回福岡県臨床工学会, 2023 年 11 月 5 日, 福岡

部門別 事業報告(PDCA) 総括 業績一覧

総務人事部門

中長期計画	中長期計画と2023年度事業計画 (Stage2)	実施 2023.4月～2024.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)	
公正・公平な処遇の実現	<p>(1)ドクターパフォーマンスレビューの進化(深化)</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師の働き方改革への取組スタンスの決定 医師年俸への賞与導入に向けての実施策の検討 管理原価計算および病棟別原価計算等を活用した目標設定 <p>(2)人事制度の見直し・職員給与水準の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> 職能資格制度から役割等級制度への転換(2023年度内) 複線型コースの導入(2023年度内) 人事制度見直しに付随した職種ごと給与の適正化実施(2023年度内) 人事制度改定時期までのタイムラグを埋めるべく一般職員給与への対応実施 <p>(3)一般職員への賞与査定導入</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標管理制度における達成状況の人事考課への反映 人事考課に基づく賞与査定導入へ向けての検討 	<ul style="list-style-type: none"> 2024年度医師の給与制度見直し(行動・目標達成度・病院業績・病棟別診療科別業績)に向けた原価計算体制の構築を実施。 診療科の医師や看護師、事務等にて多職種ミーティングを実施し(1/26)、コスト削減や業務改善など協議検討を行った。 原価管理の視点から、病棟ごと(いづろ)、診療科ごと(総合)の予算作成を実施。 2023年6月分給与(7/10)よりベースアップと特定職種の給与引き上げ実施 ⇒ベースアップ1,400円(正職員) 1,300円(嘱託職員) ⇒給与水準の低い職種の給与引き上げ実施(特別手当の増額) 29歳以下(職種別引き上げ基準額の80%) 30歳以上(職種別引き上げ基準額の50%) 決算賞与の支給(6/12) 正職員・嘱託職員・シニア嘱託職員 定額50,000円 パート職員(雇用保険あり) 定額30,000円、同(雇用保険なし) 定額20,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ドクターパフォーマンスレビューの進化(深化)に向けた取り組みを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 2024年5月に新人事制度に関する説明会を実施 2024年7月分給与より、新賃金制度へ移行 役割・貢献度に応じた処遇となるよう、新たな人事考課制度を構築する 	
	多様性に対応できる人事施策の展開	<p>(1)更なる法人内連携強化に向けての組織体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅支援部門および水産会館跡地活用におけるプロジェクトへの参画 <p>(2)多様な働き方への対応と多様な人材確保・活用策の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学生のインターンシップの継続実施および異業種事業所からの人材導入 副業(兼業)への柔軟な対応に向けての規程整備 新たな人事制度の複線型コースにWLB(ワークライフバランス)コースを設定 <p>(3)人事情報の集中一元管理システムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 次期職員カードシステムの選定作業実施 	<ul style="list-style-type: none"> 鹿児島銀行より1名出向頂いた。 現在の規程で自営、雇用等の副業に対応できるため、規程は現行のままとする。 正職短時間制度対象者拡充の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 副業時の労働時間通算管理について、厚生労働省が2024年度中に改定を行う予定のため、その改定を待って再度検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 副業の管理の問題は労働時間通算の煩雑さによるところが大きく、厚生労働省の改正案が事務負担を相当程度軽減できるものであれば、それを踏まえ規程の改定を行う。
	地域社会、地域医療機関の育成	<p>(1)キャリアラダーに基づく人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> キャリアラダーに基づく人材育成の実践と適正な評価の実施 <p>(2)長期研修派遣制度(キャリアアップ支援強化)の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> 現制度の課題の検証、有効かつ効果的活用実現のための制度見直し <p>(3)法人外医療機関他との人材交流および人的派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内外医療機関との人材交流の実施、および高いスキルを保有した職員の人的支援による業務・経営支援の展開 法人外事業所への人的支援制度の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 事務部ラダーの構築を実施 2023年度長期研修派遣制度利用計16名(看護師14名、診療支援部2名) 法人外施設へ出向し業務・経営支援を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 「小1の壁」が理由での退職回避を行うことができ、看護部以外での取得者が増え多様な働き方の一つとなった。 	<ul style="list-style-type: none"> 長期研修中の費用負担の範囲、修了後の活動・勤務について検証し改善を行う。

中長期計画	中長期計画と2023年度事業計画 (Stage2)	実施 2023.4月～2024.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
<p>収益性と安全性を維持できる医療経営への転換</p> <p>各種会計基準に基づく適正・適確な経理処理の実施</p> <p>総務人事部</p>	<p>(1)的確に財務状況を認識できる管理会計の展開 ・事業利益、償却前事業利益に着目した管理会計の実施 ・補助金等を控除した実力ベースでの利益管理</p> <p>(2)計画的投資による事業の継続・発展 ・事業継続に必要とされる設備投資実施状況の検証 ・柔軟な金融資産運用方法の検討</p> <p>(3)将来の建物改修準備資金の確保 ・建物再建設時準備資金確保に基づく目標キャッシュフロー管理の実施</p> <p>(4)各事業所への本部貸付制度の検討 ・本部貸付制度の活用</p>	<p>(1)・2024年3月末実績 (単位:百万円) ⇒事業収益:23,635、事業費用:23,723⇒事業利益:▲88 償却前利益:1,214、長期借入金返済:806、自己資金投資:224、リース調整:36 →最終C/F 220</p> <p>(2)・2024年3月までの自己資金による設備投資額 224百万円 ・リース・割賦等も活用し、計画的に設備投資実施。 ・証券会社等から情報収集行い、資産運用規程の見直し検討実施</p> <p>(3)2024年3月末積立額 258百万円</p> <p>(4)2023年12月 徳之島病院車輛購入資金として2,670千円利用</p>	<p>(1)・コロナ補助金を加味しない計数 (単位:百万円) ⇒事業収益:23,635、事業利益:▲88、償却前利益:1,075、長期借入金返済:806、自己資金投資:224、リース調整:36 →最終C/F:80 償却前利益:2022年度比+122</p> <p>(2)・リース・割賦等も活用し、必要な投資は計画的に実施 ・顧問弁護士によるリーガルチェックも完了したが、一部内容の見直しを実施</p> <p>(3)・法人全体目標328百万円に対し、実績258百万円(▲70百万円) ・いづろ今村、谷山、看護学校のみ目標達成</p> <p>(4)・同左</p>	<p>(1)・2024年度予算 (単位:百万円) ⇒事業収益:24,709、事業利益:105、償却前利益:1,071、長期借入金返済:787、自己資金投資:208、リース調整:11 →最終C/F:87 徳之島Gへの本部としての経営支援体制継続</p> <p>(2)・引き続き、リース・割賦・本部貸付等も活用のうえ、適切なタイミングでの投資を促していく ・資金運用規程改定について、理事会の承認を得たうえで、運用を開始予定</p> <p>(3)・2024年度予算策定時、各事業所と協議のうえ積立目標額を決定 ・法人全体目標177百万円</p> <p>(4)・長期借入金調達までのつなぎ資金としても活用していく</p>
	<p>(1)インボイス制度への対応 ・取引業者におけるインボイス登録状況の確認 ・取引業者への適格請求書発行事業者登録番号の通知 ・的確な経理処理 (会計システム操作他) を行えるよう研修等での周知、実務スキルの習得</p> <p>(2)職員「保全協会」の制度見直し ・逆ザヤとなっている状況の是正策の検討 ・職員貸付制度の見直し (貸付限度額・金利等) ・累積した欠損金の処理の検討</p> <p>(3)トーマツと連携した現場における経理処理状況の把握 ・併設施設への財務経理課職員による定期的な監査の実施 ・各施設のコンプライアンス順守の確認</p>	<p>(1)インボイス制度への対応 ・取引業者におけるインボイス登録状況の確認 ・国税庁の登録事業者公表サイトへのアクセスによる確認作業や書面による登録番号の確認を行いエクセルによるデータベース化を実施する。 ・取引業者への適格請求書発行事業者登録番号の通知 ・取引先へ登録番号の通知を行うとともに適格請求書に必要な情報の提供を行う ・的確な経理処理 (会計システム操作他) を行えるよう研修等での周知、実務スキルの習得 ・操作説明会を実施することで操作スキルについては習得することができた。</p> <p>(2)職員「保全協会」の制度見直し ・職員貸付制度の見直し (貸付限度額・金利等) 規定の変更の事情により未実施</p> <p>(3)トーマツと連携した現場における経理処理状況の把握 ・併設施設への財務経理課職員による定期的な監査の実施 今年度も継続して実施した。</p>	<p>(1)インボイス制度への対応 ・インボイス制度開始に伴う混乱もなくスムーズに移行できた。 ・新会計システムへの登録事業者のデータのインポートも完了。 ・新会計システムへの移行も混乱なく移行できた。</p> <p>(2)職員「保全協会」の制度見直し ・今回も実施せず。</p> <p>(3)トーマツと連携した現場における経理処理状況の把握 ・継続して実施することで併設の内容も把握することができた。</p>	<p>(1)インボイス制度への対応 ・インボイス制度への対応事項など国税庁より逐次変更等があるので注意深く情報収集に努めていきたい。</p> <p>(2)職員「保全協会」の制度見直し ・保全協会の制約を詳しく検討し改善策を図る必要がある。</p> <p>(3)トーマツと連携した現場における経理処理状況の把握 ・今後も継続して監査を実施していく。</p>
	<p>(1)本部管財機能の見直し ・本部管財課の総務人事部組織内での位置づけ見直し</p> <p>(2)法人保有資産のCEIAシステムによる一元管理 ・今村総合病院より実施中、鹿児島市内施設についても順次登録開始 ・モニター、ポンプ等の一元管理による有効活用</p> <p>(3)法人保有資産の保全計画策定 ・CE部門と協力し、医療機器の保全計画策定 (保守計画・更新計画)</p> <p>(4)法人保有資産の有効活用 ・法人所有の遊休資産の売却、賃貸等、有効活用の実施</p>	<p>(1)CE部門、総合病院用度との連携 CEIA管理、保守・購入の連携</p> <p>(2)CEIAシステム CE部門・総合病院用度と連携して入力継続</p> <p>(3)保全計画の策定 ⇒CE部門と連携し今村総合病院の中材機器・手術機器の保守体制の見直し実施 ⇒慈愛ビル5Fサーバー室エアコン更新・地下揚水ポンプ更新及び漏電ブレーカー更新・魚見町擁壁補修とソフトバンクアンテナとの関連調査実施</p> <p>(4)コーポ谷山101号室を「しらゆりの郷」のサテライトとして運用 ・いづろ交差点周辺街づくり勉強会参加 4回/年</p>	<p>(1)医療機器の購入・保守が多い総合病院のCE部門、用度と連携し速やかな機器導入・修理・保守・更新が実施可能。</p> <p>(2)新規導入機器・備品はほぼ登録。リース情報や本部の資産システムの資産番号も登録。古い機器の情報がなくその部分が進まなかった。 ・総合病院ではCEIA上でモニター、ポンプ等是一元管理され、機器の使用場所、予備機などが把握されている。その情報は用度課及び本部でも確認可能。</p> <p>(3)CE部門が1次対応部門になることにより故障対応速度の向上。現状にあった保守の実施 ・慈愛ビルは昨年同様に突発的な修理には早急に対応し計画的な保守は最小限に実施した。</p> <p>(4)マイアミ駐車場・慈愛ビルを含むいづろ交差点周辺の街づくりについて鹿児島市主催の勉強会へ参加し将来的な情報を得る。</p>	<p>(1)CE部門、今村総合病院の用度との連携を継続</p> <p>(2)CEIAへの登録継続</p> <p>(3)今後も建物の保全計画は後続計画が策定されるまで最小限で計画実施する。 ・医療機器の保全計画は引き続きCE部門との連携を継続</p> <p>(4)いづろ交差点周辺勉強会に今後も参加 ・法人保有資産の有効活用の検討継続</p>

中長期計画	中長期計画と2023年度事業計画 (Stage2)	実施 2023.4月～2024.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
総務人事 適正な物品管理の実施（購入、更新、配置）	(1)本部における価格交渉の定量化 ・本部における、まとめ交渉、2次交渉による適正かつ妥当な価格による取引の実施継続 ・CEIAシステムによる過去価格との比較	(1)奄美病院オーダー種追加、谷山病院生化学&尿一般他 ・リース及び割賦見積本部交渉69件	(1)本部交渉及び本部連携したことによる効果 ⇒機器関連 ▲5,146千円 ⇒リース動産保険入金 19件 11,264千円 ・リースは修理実績をもとに修理が多いものは新価特約付きへ、非課税施設の場合は割賦（精神科の機器等）など費用を削減するような見積依頼を実施。リース期間、条件は下記の使用期間データをもとに再リース継続条件か寄贈（購入）かを決定した。	(1)本部交渉及び本部と連携した購入対応を継続 ・修理実績や使用期間などの資料をもとに費用を削減するようなリース・割賦見積及び交渉の継続
	(2)医療および施設関係機器の更新計画策定 ・医療機器および施設における関係機器の適正な使用年数の決定 ・他医療機関の使用年数の資料の作成	(2)2008年以降の慈愛会の更新機器使用期間、更新後機器の使用年数一覧の作成、放射線機器・超音波検査・薬剤関連機器・生理検査機器・検体検査機器・透視関連機器・厨房機器・車両等の一覧作成 ・谷山病院の生化学検査機器更新計画と生化学試薬統合を実施	(2)(3)CEIAの登録がまだ急性期中心なので主要な機器・備品ごとに更新までの使用期間・現使用機器の使用期間がわかるよう一覧表を作成。慈愛会各病院の機器・備品の使用期間、保有台数が分かるようにした。 ・放射線機器の保有数について、慈愛会と鹿児島県主要病院、VHJ病院との比較一覧を作成。特に今村総合病院の設備は種類及び保有数ともにトップクラスであることが分かる。	(2)慈愛会医療機器・備品の使用期間の資料作成を継続する。
	(3)医療機器の適正配置 ・法人施設における医療機器の保有、使用状況の把握 ・他医療機関の保有数把握、当法人との比較、適正化	(3)上記資料により法人の機器ごとの保有数、使用年数、更新した年数の把握 ・鹿児島県主要病院及びVHJ病院の主要機器（放射線機器関連）の保有数一覧作成		(3)放射線機器以外の機器等に関しても情報収集を行う。

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

1. 給与・人事制度の改定

- ・2024年度からの給与制度改定実施に向け、検討を実施。2023年7月にベースアップと特定職種の給与引き上げ実施。
- ・2024年度は新人事考課制度構築し一部実施予定。

2. 外部人材の受け入れ

- ・2022年4月より、株式会社鹿児島銀行職員1名の出向受け入れを実施。2023年度は、経営企画室および今村総合病院にて勤務し、3月末に帰任。
- ・2024年5月より、同行から新たな出向者を受け入れ予定。

3. 奨学金制度創設

- ・効率のかつ有効的な人材確保策として、看護学生、薬学部生に向けた奨学金制度を創設。2024年度より、看護学生1名、薬学部生1名の利用見込みあり。

4. MIC（株式会社南日本情報処理センター）との定例協議を実施

- ・J-TIS（慈愛会総合情報システム）の委託事業所であるMICとの定例協議を引き続き実施した。IT部門の状況把握・方針管理の迅速化が引き続き図られた。

5. インボイス制度開始に伴う研修会の実施

- ・2024年10月からの制度開始に向け、インボイス制度の概要、開始までに準備すべき事項、留意点等に関する説明会・研修会を実施。
- ・制度開始に伴い、会計ソフトのバージョンアップも実施。

6. 医療機器管理システムCEIAへの登録継続

- ・急性期及びクリニックを中心に登録を継続。購入価格や本部の償却資産システムの資産番号、リース情報も登録し、より情報共有ができる体制を進めた。

技能・能力向上に向けた取り組み

1. 「役職者（科長・課長・科長代理・課長代理、師長）を対象とした多面評価」の実施

2023年度役職者多面評価については、Google formを活用して実施し、評価、結果集計、フィードバックの効率化を図った。

<実施状況>

154名（看護部75名、診療支援部36名、事務部43名）

合同研修会

1. 新入職員研修会

(1) 入職式

開催日：2023年4月3日

- ・リモートによる理事長の式辞、新入職員は各配属病院・事業所にて参加

(2) 新入職員研修会

開催日：2023年4月3日

- ・リモートで実施 124名参加

<研修の目的>

- ①慈愛会職員として理念、基本方針、法人概要等の基礎知識を身につける
- ②社会人・医療人として必要なマナー・接遇について学ぶ
- ③医療安全・感染管理の基本について学ぶ
- ④健全な生活設計（消費者トラブルの対処）について学ぶ
- ⑤401kの説明
- ⑥慈愛会教育体制、キャリア開発プログラムラダー認定制度について学ぶ
- ⑦新卒同期職員の親睦を図る

2. 総務担当者合同研修会

(1) 第1回 2023年11月10日

<主なテーマ>

- ・年末調整について
- ・年末調整電子申告について
- ・労災休業補償給付請求書について
- ・短時間について

(2) 第2回 2024年3月12日

<主なテーマ>

- ・2024年4月～5月の業務スケジュール確認
- ・社会保険料額表変更について
- ・給与明細（エッジトラッカー）原本依頼廃止について
- ・2024年4月採用者に関するお知らせ・お願い
- ・採用書類印鑑不要について
- ・2024年度年間休日予定表について
- ・年次有給休暇について
- ・36協定様式変更について
- ・宿日直時に提供される食事の課税について
- ・労働契約書の改定について
- ・定額減税について

業 績 一 覧

【論文】

今村総合病院 事務部

<和文>

1. 有島尚亮：病院の事業譲渡の留意点—地域医療構想調整会議における制度内容の認否. 病院 82(5)：412-417, 2023

【学会発表】

今村総合病院 事務部

<国内>

1. 鈴木大輔, 有島尚亮：品質向上会議の実績報告とその効果について. 第25回日本医療マネジメント学会学術総会, 2023年6月23-24日, 横浜

今村総合病院 診療情報管理室

<国内>

2. 前田雄介：診療情報管理士キャリアラダーの構築. 第49回日本診療情報管理学会学術大会, 2023年9月14-15日, 青森

今村総合病院 総務課

<国内>

3. 男澤美和：医療機関へのカウンセラー採用による職員支援について－精神的支援による働き方改革への提言－. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島

今村総合病院 医事課

<国内>

4. 吉永聖子, 黒岩妃都美：職員診療費の未収金改修に対する取り組み報告～職員への通知方法変更による生産性向上の事例から～. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島

今村総合病院 医師事務補助課

<国内>

5. 大迫真由美, 日高奈津美, 上栗明郁, 東雅美：コミュニケーションツールの作成とその成果について～ウイズコロナ時代の新たな取り組み～. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島
6. 東雅美, 大迫真由美, 日高奈津美, 上栗明郁：共通マニュアル「虎の巻」創刊～DAにとって最強の1冊～. 日本医師事務作業補助者研究会 第12回全国学術集会, 2023年10月20日, 大阪

いづろ今村病院 医事課

<国内>

7. 赤尾美咲, 川路由茄, 今蘭美保：発熱外来における未収金へのアプローチ. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月1日, 鹿児島

【研究会・講演会】

今村総合病院 事務部

1. 鈴木大輔：慈愛会の歩みと今後の病院経営. 鹿児島国際大学 経営史Ⅰ, 2024年1月10日, 鹿児島

【受賞】

いづろ今村病院 医事課

1. 赤尾美咲：「発熱外来における未収金へのアプローチ」ポスター発表優秀賞. 第3回慈愛会学会学術集会, 2023年7月

部門別 事業報告(PDCA) 総括

医療情報室 慈愛会総合情報システム (J-TIS)

中長期計画	中長期計画と2023年度事業計画 (Stage2)	実施 2023.4月～2024.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
J-TISの安定稼働	(1)J-TIS基盤の更新 ・J-TISハードウェア基盤の更新に伴い、ホスティングサービスの利用を検討し、クラウド運用への移行を推進する。	・J-TISハードウェア基盤の更新に掛かる費用の積算 ・次期電子カルテシステムに必要な機能の検討	・更新するJ-TISハードウェア基盤の構成を検査中である。 ・電子カルテを更新するにあたり、医療DXにつながる必要な機能を検討している。また、電子カルテ更新に伴う、部門システム更新の影響範囲の洗い出しに時間が掛かっている。	
	(2)システムの最新化 ・医事システム (MegaOakIBARS)の更新 ・電子カルテシステム (LIVE、MIRAI)の更新 ・慈愛会職員管理システムの更新 ・勤怠管理システム、財務・経理システムの更新	・電子カルテシステム更新に伴う部門システムの更新影響範囲の洗い出し ・慈愛会メールサーバ容量増強 ・番号表示呼出ツールの開発・運用開始 ・勤怠管理システム更新に向けた構成内容検討	・慈愛会メールサーバの空き容量が確保され安定稼働している。 ・いづろ今村病院の番号呼出ツールを開発し会計業務の改善に繋がった。	・勤怠管理システムは2024年度中の更新を予定している。
	(3)慈愛会ネットワークの強化 ・VPNワイド網のレスポンス品質改善に向けて、VPN網更新やセキュリティを含めたネットワークの強化を行う。 ・かごしまオハナビル内ネットワーク機器の更新 ・高麗町クリニック内ネットワーク機器の更新 ・七波クリニックLAN環境の整備 ・慈愛会クリニックLAN環境の整備 ・老健-谷山間ネットワーク環境の整備	・かごしまオハナビル～データセンター間のNTTダークファイバ敷設 ・かごしまオハナビル内ネットワークルータの機器更新 ・奄美病院WAN環境の整備検討 ・WindowsUpdate対策としてWSUSサーバを構築 ・高麗町クリニックWAN環境の整備検討	・かごしまオハナビルに関してネットワークの遅延は解消された。 ・奄美病院WAN環境について、一時的に改善は見られたが、まだ、ネットワークの遅延が発生する。 ・高麗町クリニックWAN環境について、MS社のWindowsUpdate時に発生するネットワーク遅延に関しては、まだ、解決に至っていない。	・データセンター側のネットワーク環境の調査を行う。 ・NTT VPNワイド→NTT VPNプライオ (v6) への切替を検討する。 ・NTTダークファイバの敷設を検討する。
	(4)セキュリティの強化 ・IT資産管理環境整備 ・サイバーセキュリティ対策	・EDR製品の情報収集&検討 ・バックアップソリューション製品の情報収集	・エンドポイント対策以外のセキュリティツールの導入はしていない。	・次期電子カルテ更新に合わせてエンドポイント対策の強化を行い、EDRやMDRなどのセキュリティ対策ツールの導入を検討する。
	(5)仮想端末環境の拡充 ・仮想端末の拡充に向けたハードウェアの強化 ・セキュリティを担保したネットワーク基盤の構築	・慈愛会Webサーバーのセキュリティ強化対策としてWeb Application Firewall (WAF)を導入。	・慈愛会WebサイトでWebサーバーのCPU使用率が90～100%と高騰する状況が数回発生。ファイアウォールのセキュリティ対策に加えて、新たな脅威への対応としてWAFを導入した。	・Webサーバーの状況に応じてWAFの設定を変更することで、適切にセキュリティレベルを管理している。
DWHの活用拡大	(1)急性期電子カルテと介護システムの連携 ・急性期電子カルテ「MIRAI」と介護システム「寿」で、相互にデータを閲覧できる環境を検討 ・セキュリティを担保しながら情報共有できる環境を整備	・奄美・徳之島について、医事およびオーダーリング情報は共有され、DWHへ取り込む環境が構築されている。	・徳之島病院でもDWHを利用して、データの抽出を行っている。	・MIRAIと寿のデータ連携については、電子カルテ更新時に環境を構築していきたい。
	(2)精神科基盤のDWH構築 ・精神科電子カルテ情報・医事情報をDWHへ取り込む環境の整備を進める。	・奄美病院のオーダーリング機能追加。 ・奄美・徳之島を含め、DWHの情報を活用できる環境が整っている。	・DWHを利用して、統計データの抽出を行う部署が増えている。	・精神科カルテ情報、医事情報をDWHへ取り込む環境構築について電子カルテ更新時に環境を構築できるか検討していく。
	(3)介護・福祉基盤のDWH構築 ・介護情報をDWHへ取り込む環境の整備を進める ・「科学的介護情報システム」LIFEデータ活用の検討			
	(4)DWHの利活用拡大 ・精神・介護を含めたDWHの構築と活用方法の検討 ・標準化に対応したデータ出力機能の検討 ・国が進める医療DXに沿ったデータの標準化を意識したDWHの構築	・介護情報システム (老健の「寿」)を今村総合病院データマネージメント室で操作できる環境の構築 ・リアルワールドデータへDWHを利用してデータを提供	・統計用データ出力など、自動化できる業務をRPAなど利用してルーチン業務の効率化を行い、業務改善につながっている。	・引き続き、自動化できる業務を洗い出し、業務の効率化を進めていく。
人材育成	(1)職員教育 ・SE会議の開催 ・国が進める医療DXに関して情報の共有と意見交換を行い、各施設でのDX推進に貢献できるようにする。	・毎月1回のSE会議を行い、情報を共有している。 ・SE間での週報情報の共有ツールを作成して運用を開始。	・Excelで管理していた週報をインターネットへのデータ登録に変更し、管理・閲覧が容易になった。	
	(2)スキルの向上 ・勉強会の開催 ・慈愛会ネットワーク図と各施設内LAN構成図を作成し、現在のネットワーク状況を把握し、ネットワークに関するスキルの向上を目指す。	・VHJ-IT部会への参加		

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

1. J-TIS基盤ハードウェア更新検討

J-TISの基盤となるハードウェアの更新時期について検討。

次期J-TIS基盤について、

- ・ホスティングサービスを利用した、月額利用サービスへの移行を検討。
- ・データセンタを継続利用することで、データセンタ～慈愛会間の高速専用線サービス（ダークファイバサービス）も継続利用が可能。

2. 次期電子カルテシステム更新検討

J-TIS基盤ハードウェアの更新に伴い、電子カルテシステムも最新の電子カルテ機能を検討。導入範囲や新規に必要な機能について洗い出して検討を進めている。また、電子カルテシステム更新に伴う部門システムについても更新等の影響範囲の洗い出しを行い、システム更新に備える。

3. 奄美病院オーダリング機能追加

従来稼働している処方オーダ、食事オーダ、入退院オーダに加え、下記、各種オーダ機能を追加し、業務効率化を図った。2023年9月キックオフ。2023年12月稼働。

- ・検体検査オーダ
- ・画像・生理オーダ
- ・注射オーダ
- ・汎用オーダ
- ・予約オーダ
- ・病名オーダ
- ・リハビリオーダ
- ・文書作成機能
- ・精神科特有機能

4. 慈愛会ネットワーク品質改善対策

慈愛会ネットワーク(WAN)に関して、Windows Updateが行われる毎月第2水曜日を中心にVPN利用の施設でネットワーク遅延の報告があり対策についての検討を継続して行っている。

- ・かごしまオハナクリニック、法人事業本部
かごしまオハナビル～データセンター間に専用回線（ダークファイバ）を敷設し、ネットワーク遅延は解消された。
- ・奄美病院

Windows Update対策としてWindows Server Update Service (WSUS) サーバを構築したが改善されず。奄美大島では、専用線(ダークファイバ)の敷設が不可であることから、データセンタ側のネットワーク輻輳状況の調査を予定。NTTフレックスVPNプライオ回線(IPv6、ベストエフォート型)への変更等を検討中。

・高麗町クリニック

高麗町クリニック～データセンター間のダークファイバ敷設およびネットワーク機器の更新を検討。

5. 慈愛会サーバ環境改善

- ・慈愛会メールサーバのディスク容量増強。
- ・慈愛会Webサーバのセキュリティ強化対策としてWeb Application Firewall (WAF) を導入。(2023年8月運用開始)

6. オンライン資格確認「医療扶助対応」

慈愛会の病院・クリニック9施設で、医事システムに対しオンライン資格確認の「医療扶助対応」になった。(2023年3月運用開始)

7. 業務支援・システム構築

○いづろ今村病院

- ・医事課向け「査定・返戻データ作成支援ツール」プログラム作成。2023年4月運用開始。
- ・「番号呼出し表示ツール」プログラム作成。(2023年12月運用開始)

○今村総合病院

- ・イントラネット「図書管理ツール」寄贈図書管理機能を追加。(2024年3月運用開始)
- ・SCU用病棟管理日誌作成（電子カルテ）

○SE間情報共有ツール作成

- ・慈愛会各施設のSEで「業務情報共有ツール」を作成。(2023年9月運用開始)

○いづろ今村病院・今村総合病院

- ・電子カルテの入院患者一覧にDPC情報の表示機能を追加。(2023年9月運用開始)
- ・看護記録分析用データ抽出（随時）
電子カルテの看護記録に入力されたデータを解析して、データが入力された時間帯や入力文字数、入力の即時性などの分析資料を作成。
- ・リアルワールドデータへDWHを利用してデータを提供

部門別 事業報告(PDCA) 総括

教育開発センター

中長期計画	中長期計画と2023年度事業計画 (Stage2)	実施 2023.4月～2024.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
医療の達人プロフェッショナル育成 教育開発センター	(1)職員能力開発プログラムの活用推進 ・全職種キャリア開発プログラム活用 ・キャリア開発ラダーレベル申請率向上	(1)職員能力開発プログラムの活用促進 ①職員能力開発プログラムの見直しと修正 ・7月キャリア開発推進委員研修で、キャリア開発ラダーの見直しと修正について協議 ②職員能力開発プログラム（キャリア開発ラダー）、申請・認定状況の把握 ・診療支援部、事務部のラダー申請、認定状況についてキャリア開発推進委員へ入力依頼（共有フォルダを活用） ・ラダーレベル認定者の把握（キャリア開発推進委員へ氏名入力を依頼） *2023年度診療支援部、事務部のキャリア開発ラダー申請率/認定率（4月26日現在） ・リハビリテーション部） 申請率：84.2% 認定率：75.4% ・臨床検査部） 申請率：65.4% 認定率：88.2% ・ソーシャルワーカー） 申請率：80.0% 認定率：88.2% ・視能訓練士） 申請率：25.0% 認定率：100% ・事務部） 申請率：95.7% 認定率：100% 未入力部門：薬剤部、管理栄養部、画像診断部、臨床工学部	・診療支援部・事務部にキャリア開発ラダーが導入（運用開始）され3年目となり、活用する中で気付いた点について各部門で修正見直しが行われている。 ・認定方法（評価の基準）について、キャリア開発推進委員研修で課題として提案し、協議を行い、各部門で変更修正が行われている。 ・2021年度能力開発プログラムの運用開始後、見直しがなされていない部門がある。申請・認定状況も未入力で確認できないため、個別に関わっていくことが必要である。 ・キャリア開発ラダーの認定状況については、4月末で未入力の部門・職種がある。	(1)職員能力開発プログラムの活用推進 ・キャリア開発ラダーを作成している部門・職種において、活用推進。申請率向上 ・キャリア開発ラダー未導入の職種について、能力開発プログラムの作成支援
	(2)スペシャリスト、ジェネラリストの育成 ・資格取得支援	(2)スペシャリスト、ジェネラリストの育成 *キャリア開発推進委員へ、現状把握と今後の育成計画のために、スペシャリスト（資格）について入力を依頼。 ・介護部、リハビリテーション部（PT・OT・ST）、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、視能訓練士が資格について入力 ・キャリア開発推進委員会共有フォルダで、他職種の情報について閲覧可能	・各職種のスペシャリスト（資格）も詳細について情報を提供してもらい、キャリア開発推進委員会で共有できた。職種間の相互理解と多職種協働につながることも期待される。 ・資格取得者の詳細情報（氏名、取得資格）を得て、キャリアアップ支援セミナーの経験談発表を依頼した。	(2)スペシャリスト、ジェネラリストの育成 ・資格取得についての情報発信（キャリアアップ支援セミナー開催） ・資格取得希望者への支援
	(3)多職種共同研修 ・新採用・中途採用者研修 hop 4/3 step 5/20 jump 12/2 ・ラダーレベルⅣ申請者多職種合同研修 6/14 7/20 8/5 ・初期キャリア支援研修 7/7 →管理者のマネジメント力向上	(3)多職種合同研修 ①新入職者オリエンテーション（研修）開催 ・4/3（月）新入職者オリエンテーションⅠ（hop） ・5/20（土）新入職者オリエンテーションⅡ（step）	・キャリアアップを目指す職員の支援として、キャリアアップ支援セミナーを初開催した。職員が参加しやすい時間帯として、昼食休憩時間の45分間で計画した。資格取得者・見込者、進学経験者（既卒・在籍中）の経験談を聞き、直接質問できる時間を設けた。 ・キャリアアップ支援セミナーの参加者アンケート結果から、進学、資格取得を希望する者にとって、具体的な話を聞くことで情報を得る機会となり、意欲を高めることができていた。昼食休憩時間の参加が難しいという意見もあり、開催時間について検討していく。 ・新入職者オリエンテーションは、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを“hop・step・jump”とし、各々の段階に合わせて研修内容を企画した。また、オリエンテーションⅡとⅢは集合研修で開催し、同期入職者が一堂に会し、絆を深める機会となった。 ・オリエンテーションⅡ（step）は、心に届く慈愛の物語を紡ぐ会への参加を研修内容に含み、エピソード発表（朗読）を聞いて感じたことを発表・共有し、慈愛の心について考える機会となった。同期で語り合う時間を主とし、ファシリテーターを1グループ（5～6人）に2名配置した。入職後1カ月が経過した時期の研修開催であり、各々が感じ、抱えている思いや気持ちを共有する機会となった。ファシリテーターの関わりにより、1か月で成長した自分を認めることができ、思いを表出することができていた。	(2)ランチョンセミナー開催 ・1/15、1/22、1/29 (2)進学、資格取得者数の増加 ・大学（放送大学含む）、大学院への進学者、卒業者の把握 ・資格取得者の把握（キャリア開発推進委員に協力依頼）

中長期計画	中長期計画と2023年度事業計画 (Stage2)	実施 2023.4月～2024.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)	
医療の達人プロフェッショナル育成 教育開発センター	・ミドルマネジメント研修 12/9 →管理者のマネジメント力向上	<p>・12/2(土) 新入職員オリエンテーションⅢ (jump) ※P207参照</p> <p>②中途入職者研修会 * 偶数月の第4木曜日開催 (全6回) 対象: 中途入職者 (会場) かごしまオハナビル3階大会議室+リモート (Zoom) 開催日: 4/27、6/22、8/24、10/26、12/21、2/22 延べ参加人数: 93名 部門) 看護部51名、診療支援部20名、事務部22名 施設) いづろ今村8、今村総合33、谷山12、奄美14、徳之島11、慈愛会CL1、かごしまオハナビル3、愛と結の街4、在宅支援部1、看護学校2、本部4</p> <p>③ラダーレベル研修会 * 全3回開催 [第1回]6/14(水) [第2回]7/20(木) [第3回]8/5(土) ※P204参照</p> <p>④キャリア開発推進委員研修会開催 対象) キャリア開発推進委員、受講希望者 (現場で人材育成・指導に携わっている者) 7/11(火) かごしまオハナビル3階大会議室、Zoom 参加者33名 (キャリア開発推進委員21名、希望参加者12名) 部門) 看護部4名、診療支援部26名、事務部3名 職種) 11職種 (看護師3、介護福祉士1、PT6、OT6、ST2、診療放射線技師2、臨床検査技師4、精神保健福祉士4、公認心理師1、支援相談員1、事務3)</p>	<p>・オリエンテーションⅢ (jump) は12月の開催であり、2年目に向けて気持ちを高める機会となるよう、内容を計画した。研修前課題として、所属長から部署目標とBSCについて説明を受けることを提示し、チャレンジプランとの関連や、具体的なシートの記載方法について学ぶ機会とした。2年目に取り組みたいことを、具体的に文字や言葉にすることで前向きな気持ちを持つことができたこと考える。また、8か月間の臨床経験の中で、心に残った場面を「慈愛の物語」として文字に起こし、グループ内で発表し共有した。ファシリテーターの関わりにより、自分自身の成長を認めることにつながっていた。</p> <p>・ラダーレベル研修の企画にあたり、キャリア開発推進委員会において、ラダーレベル研修の受講対象者について協議し、昨年度に続きラダーレベルⅣ取得を目指す者を対象とすることを決定した。</p> <p>・ラダーレベル研修会では、慈愛会フィロソフィ version1作成時に教示を受けた奥健一郎先生を講師として招き、「慈愛会フィロソフィの意義」について説明を受けた。グループワークでは、具体的な周知方法について話し合い、全グループが発表を行った。ラダーレベルⅣ取得者は職場においてリーダーとなる者であり、慈愛会フィロソフィの周知・活用において重要な役割を担ってくれることが期待できる。</p> <p>・キャリア開発推進委員研修会を昨年度に続き開催した。ラダーレベルⅣ取得を目指す者への関わり方について講義を受け、意見交換を行った。診療支援部・事務部においては、能力開発プログラム運用開始後3年目であり、現状について多職種で意見交換し、見直し・修正が必要な箇所について話し合いを行った。アンケートから、平日開催では参加が難しいという意見があり、次年度は土曜日開催で計画する。</p> <p>・離島施設 (徳之島病院) からは、キャリア開発推進委員 (作業療法士) 1名が参加した。キャリア開発ラダーについて、他施設の職員と意見交換する時間が確保できたことが有意義であったという反応があった。リモートでのグループワークで意見交換がしやすい環境を整えていく。</p>	<p>Ⅲ (jump) 12/7(土) ②中途入職者研修会 * 偶数月の第4木曜日開催 (全6回) 4/25、6/27、8/22、10/24、12/26、2/27 ③ラダーレベル研修会 * 全2回開催 6/22(土)、8/3(土) ④キャリア開発推進委員研修会開催 * 土曜日開催 7/13(土)</p>	
	(4)一人ひとりのスタッフの付加価値を上げる ・チャレンジプラン活用推進 ・人事考課と給与反映によるやりがい感向上	<p>(4)チャレンジプラン活用推進 ・全職種にチャレンジプランシートが導入されて2年目である。今年度は、新入職員オリエンテーションⅢ (jump) において、チャレンジプランの説明が行われた。</p>	<p>・チャレンジプランシートの全職種導入に向けては、2021年度のミドルマネジメント研修で説明が行われた。管理者任用候補者選考における研修でも、慈愛会の目標管理の講義が実施される。今年度は、新入職員オリエンテーションⅢ (jump) でも説明が行われた。目標管理についての理解が広がり、深まっていくと考える。</p> <p>・やりがい感の向上については、引き続き検討と取り組みが必要である。</p>	<p>(4)一人ひとりのスタッフの付加価値を上げる ・チャレンジプラン活用推進 ・人事考課と給与反映によるやりがい感向上</p>	
	(5)多職種協働チームケア実践 (重症化予防、患者満足度向上) ・キャリア開発推進委員会定期開催 ・多職種協働チーム編成検討	<p>(5)多職種協働チームケア実践 ①キャリア開発推進委員会定期開催 * 奇数月の第2火曜日定期開催。但し、7月はキャリア開発推進委員研修とした。 5/9、9/12、11/21、1/9、3/12 ・能力開発プログラム (キャリア開発ラダー) の取り組み状況について報告・協議 ・多職種合同研修の内容検討、開催後の振り返り</p>	<p>・キャリア開発推進委員会において、能力開発プログラムの取り組み状況について報告し、多職種で意見交換することで、修正・見直しにつなげることができている。</p> <p>・キャリア開発推進委員が、多職種合同研修のファシリテーターを務める機会が増えた。教育の重要性、人材育成の必要性について考える機会となっている。</p> <p>・2カ月に1回の会議開催であり、時間も限られている。協議事項の事前提示や、意見取りまとめなど、会議時間を有効に使い充実していく必要がある。</p>	<p>(5)多職種協働チームケア実践 (重症化予防、患者満足度向上) ・キャリア開発推進委員会定期開催 ・多職種協働チーム編成検討</p>	
	(6)スタッフプロファイリング管理とキャリア支援 ・継続検討				<p>(6)スタッフプロファイリング管理とキャリア支援 ・継続検討</p>

中長期計画	中長期計画と2023年度事業計画 (Stage2)	実施 2023.4月～2024.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
医療の達人プロフェッショナル育成 教育開発センター	(7)心に届く慈愛の物語を紡ぐ会 ・運営委員会定期開催 ・2023.5/20(土)開催 かがしま県民交流センター ・エピソード募集 2023.1/13～3/3	(7)心に届く慈愛の物語を紡ぐ会 ①運営委員会開催 4/10、6/5、9/11、1/22、3/4 ②第4回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会に関する事 ・エピソード応募期間：2023.1/13～3/3 ・エピソード応募数：100 部門：看護部69、診療支援部21、事務部6、看護学生4 施設：いづろ今村16、今村総合20、谷山18、奄美12、徳之島9、愛と結の街11、在宅支援部5、看護学校4、法人事業本部5 ・選考：選考委員19名。1次選考で100作品から32作品を選出。2次選考を実施。4/7選考会にて、2次選考の上位15作品を入賞と決定。 ・5/20(土)第4回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会開催 会場：かがしま県民交流センター県民ホール 参加者：276名(会場参加236、Zoom参加40) 選考委員長三角みつ紀先生、来場。 入選15作品の朗読。選考委員長講評、表彰式 ・第4回心に届く慈愛の物語 冊子発行 発行数1,100冊、慈愛会内の各施設、全部署へ配布 ・メッセージ交換、「慈愛の便り」発出入賞者へ、新入職員からのメッセージカードを送付入賞者から、メッセージに対する返信コメントを受領、「慈愛の便り」として作成 ③第5回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会に関する事 ・エピソード応募期間：2023.12/1～2024.2/29 ・エピソード応募数：93 部門)看護部67、診療支援部18、事務部6、看護学生2 施設)いづろ今村10、今村総合19、谷山18、奄美17、徳之島11、愛と結の街6、在宅支援部5、看護学校3、法人事業本部4 ・選考：選考委員21名。1次選考で93作品から30作品を選出。2次選考を実施。 *以下、2024年度実施内容 4/8選考会にて、2次選考の上位13作品を入賞と決定。	・看護部の取り組みとして始まった「心に届く慈愛の看護を語る会」は、第3回から「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」と名称を変更し、慈愛会全体(全職種)の取り組みとなった。2022年11月には運営委員会が発足し、委員の熱心な働きかけにより、第4回のエピソード応募数は100作品となった。 ・5/20「第4回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」を、選考委員長の三角みつ紀先生に來鹿、來場いただき、かがしま県民交流センター県民ホールで開催した。多数の参加者が来場し、盛大な催しとなった。しかし、インターネット接続トラブルにより、リモート参加者に会場の音声が届かない事態が生じた。「第5回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」も、同じくかがしま県民交流センターで開催する。十分な準備、事前確認を行う。 ・運営委員会で協議し、エピソード応募期間を1カ月前め、12月から募集を開始した。 ・第5回のエピソード応募数は93作品となった。運営委員の協力により、全施設から多職種の応募があったが、診療部(医師)の応募は0であった。運営委員として副院長が参加していることから、医師への働きかけについて、今後会議で検討していく。	(7)心に届く慈愛の物語を紡ぐ会 ・運営委員会定期開催 ・2024.5/18(土)第5回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会開催 会場：カクイックス交流センター(かがしま県民交流センター)2階大ホール ・第6回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会、開催に向けてエピソード募集(目標100エピソード)
	(8)慈愛会フィロソフィバージョンアップ ・創設90周年に向け検討スタート	(8)慈愛会フィロソフィバージョンアッププロジェクト メンバー：委員長(今村理事長)、副委員長(帆北理事長補佐) 委員16名(いづろ今村2、今村総合3、谷山2、奄美1、徳之島1、愛と結の街1、在宅支援部1、看護学校1、本部4) *診療部の委員2名(いづろ今村1、今村総合1)は、9月より参加 ①プロジェクト会議 1回/月開催、会場：かがしまオハナビル3階中会議室、各施設リモート(Zoom)参加 会議：5/31、6/21、7/13、8/17、9/28、10/19、11/16、12/21、1/18、2/15、3/21 ②慈愛会フィロソフィバージョンアッププロジェクト理事長講話 11/13(月) かがしまオハナビル3階中会議室・Zoom 理事長講話「慈愛会フィロソフィについて 理事長の考え」 出席者：副委員長、委員8 *欠席の委員は、別日に録画データを視聴	・慈愛会フィロソフィ version1は、2015年8月1日に発行された。今村理事長以下、19名の検討委員により、27回の委員会で検討を重ね、35項目がまとめられている。2024年5月に慈愛会創設90周年を迎えるにあたり、慈愛会フィロソフィバージョンアッププロジェクトが、今村理事長以下、帆北修一理事長補佐が副委員長となり、委員16名と共に2023年4月に始動した。 ・慈愛会に所属している2400名を超える職員が、心をつにし、同じ方向(目的)に向かって進んでいくための「考え方」を目に見える形としてまとめ、慈愛会フィロソフィ version1を礎として、2024年8月に慈愛会フィロソフィ version2を発行予定である。	(8)慈愛会フィロソフィバージョンアップ ・慈愛会フィロソフィ version2、8/1発行 ・周知と活用
管理者(マネジャー)のマネジメント力向上	(1)管理者任用候補者選考研修質向上 ・11/14・15・22・24 筆記試験 12/12(火)	(1)管理者任用候補者選考研修質向上 ①管理者任用候補者選考制度、対象者の基準見直し ・7/6、対象者・プログラム・講師について総務人事部と検討 [対象者基準] *追加項目：中途入職者等で、対象者基準の(1)～(6)に該当しない者を推薦する場合は申し込み前に教育開発センター長へ要相談 ②管理者任用候補者選考制度について、連絡・発信など ・7/18、事務連絡の発出 選考制度、プログラム、受講者案内、各様式、各施設対象者リスト 参加申込締め切り：8/18(金) ・7/31、講師依頼文書送付 選考制度、プログラム、テキスト作成・試験問題作成について テキスト原稿締め切り：8/28(月) ・10/12、研修テキスト発送 研修資料(テキスト)、案内文書の発送	・管理者任用候補者選考制度は、慈愛会の昇任制度として定着してきている。2024年度は中途入職者が申し込みやすいように、対象者条件を見直し、追加を行った。3.5日間の研修受講と、3つの評価試験(多面評価、筆記試験、面接試験)に6割以上の得点で合格することの条件に変更はない。2023年度の申込者数は65名(再受験者3名を含む)、合格者は55名で合格率は84.6%であった。合格者の延べ人数は、2014年から制度開始された看護部は265名、2017年から開始された診療支援部199名、事務部111名となっている。合格者は各々昇任し、現場で活躍している。今後も、管理者任用候補者選考制度が、法人内の管理者を目指す職員にとってのキャリアアップの支援となるよう、計画・実施していく。	(1)管理者任用候補者選考研修質向上 ・11/12・13・21・22 計3.5日間 筆記試験 12/10(火)

中長期計画	中長期計画と2023年度事業計画 (Stage2)	実施 2023.4月～2024.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
管理者（マネジャー）のマネジメント力向上 教育開発センター	②ミドルマネジメント研修 ・12/9 (土) ③初期キャリア支援（昇任者研修） ・7/7 (金) ④看護部他管理者育成プログラム（マネジメントラダー）作成検討・活用	③管理者任用候補者選考における研修実施 参加者63名：かごしまオハナビル3階大会議室（鹿児島市内施設51）リモート（奄美11、徳之島1） 11/14（火）8：30-17：00 講師8名、受講者63名（午前1名欠席） 11/15（水）8：30-17：00 講師6名、受講者63名 11/22（水）8：30-17：00 講師7名、受講者62名（1名欠席） 11/24（金）8：30-12：30 講師2名、GW発表、受講者62名（1名欠席） ＊欠席者については、個別に対応 ④管理者任用候補者選考 選考に関する事項 [多面評価] 評価対象者：65名（再受験者3名含む） ・11/8（水） 評価者へ依頼文書発出（評価期間11/14-11/30） [筆記試験] 受験者：62名（看護部21、診療支援部21、事務部20） ・12/12（火）8：30～ ・試験会場及び受験者人数：かごしまオハナビル3階大会議室（鹿児島市内施設）50、奄美11、徳之島1 [面接試験] 対象者：63名（看護部22、診療支援部21、事務部20） ・看護部 12/12（火）10：20～ ＊筆記試験終了後 ・診療支援部/事務部 12/4-12/11 ⑤管理者任用候補者選考 判定会議：合否通知 ・12/27（水）14：00～ 判定会議 対象者：65名（看護部22、診療支援部23、事務部20） ＊再受験者3名を含む ＊判定結果：合格55名、不合格10名 ・1/11（木） 合否通知文書発送 施設長・事務長・看護部長宛て、個人宛て ⑥管理者任用候補者選考 理事長面談 ・2/5（月）10：00～ ・会場：かごしまオハナビル3階大会議室、各施設とリモート（Zoom）接続 対象：2023年度管理者任用候補者選考合格者55名 ⑦管理者任用候補者選考 合格証書発送 ・2/5、合格証書発送 ・合格者：55名 部門 診療支援部19、看護部21、事務部15 施設 いづろ今村13、今村総合19、谷山10、奄美6、徳之島2、オハナCL1、愛と結の街2、在宅支援部1、法人事業本部1 ②ミドルマネジメント研修 ・12/9（土）、鹿児島市町村自治会館4階ホール ・対象者：130名、部門別）看護部61、診療支援部36、事務部：33 施設別）いづろ今村18、今村総合55、七波CL1、谷山/事業所20、奄美/事業所11、徳之島/事業所5、愛と結の街6、在宅2、看護学校3、本部8、社会福祉法人1 ・参加者：109名、ファシリテーター 17名 ・外部講師：株式会社清友 代表取締役 宮之原 明子先生 テーマ：魅力学「人に好かれる人になる」ミドルマネジメント者に求められる役割 ・グループワークテーマ：「多職種協働による働き方改革の提案」～多職種チームでの活動、タスクシフト/タスクシェア～ ③初期キャリア支援（昇任者研修） ＊対象者：2022.7/1以降の新昇任者 ・7/7（金）かごしまオハナビル3階大会議室 ・対象者：44名（2022年度研修未受講者5名含む） ・参加者：40名（看護部11名、診療支援部19、事務部10） 施設別：いづろ今村13、今村総合13、谷山6、奄美1、愛と結の街7 職種：16職種（看護師8、介護福祉士3、薬剤師2、管理栄養士1、調理師1、PT3、ST1、視能訓練士1、診療放射線技師1、臨床検査技師2、PSW1、社会福祉士2、介護支援専門員3、臨床心理士1、事務一般職8、施設管理係2）	③評価・検証 (CHECK) ・多職種チームでのタスクシフト・タスクシェアとして、3施設3職種の方に実際の取り組みを発表してもらい共有した。グループワークでは、事前レポートに記載していた「今後取り組んでいきたいこと」について具体的に計画できたチームもあり、改めて多職種協働について意見交換する時間・場となっていた。 ・外来講師による「魅力学」の講演聴講を計画した。グループ意見交換と合わせ、日頃の自分自身の態度を振り返り、ミドルマネジメント者として「まずは人に好かれる人になること」が大切であるということ、改めて意識できたようである。 ・初めて昇任した者を対象として研修を開催し、今年度で2回目の開催となった。研修内容は、管理について、目標管理とチャレンジプラン、財務状況の把握について、先輩の語りを計画した。グループワークでは、昇任して思うこと、役職者として取り組んでいきたいことを話し合い、新任役職者としての不安な思いや目標を共有した。初めて昇任した者同士での意見交換ができ、不安解消にもつながったと考える。	改善 (ACTION) (2)ミドルマネジメント研修 ・9/14 (土) (3)初期キャリア支援（昇任者）研修 ・8/9 (金) (4) 看護部他職種の管理者育成プログラム（マネジメントラダー）作成検討・活用
	①スペシャリスト派遣・人事交流 ・スペシャリスト活動支援 ・放送大学、進学、長期研修受講支援	＊前掲、キャリアアップ支援セミナー開催		

中長期計画	中長期計画と2023年度事業計画 (Stage2)	実施 2023.4月～2024.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
多職種協会協働開発および普及	(1)慈愛会クリティカルパス整備 ・慈愛会クリティカルパス作成・運用状況把握 ・クリティカルパス活用推進委員会立ち上げ ・クリティカルパス運用率アップ (2)慈愛会連携パス作成による連携推進 ・慈愛会連携推進会議と協働作成検討			
	(1)学会運営 ・慈愛会学会学術集会を2023.7/1に開催予定 ・慈愛会学会運営委員会定期開催	(1)慈愛会学会運営委員会 会議開催 4/11、5/23、6/13、7/19、9/3、10/17、1/16、2/26、3/25 (2)慈愛会学会理事会 ・6/28承認 慈愛会学会規程の一部変更（かごしま慈愛会ジャーナル編集委員について） 第5回学術集会大会長の変更について（いづろ今村病院「院長」から「名誉院長」へ） ・7/20承認 第3回慈愛会学会学術集会 優秀発表演題の表彰について (3)第3回慈愛会学会学術集会について ・日時：7/1（土） 会場：鹿児島県市町村自治会館4階ホール、会議室403号 ・大会長：介護老人保健施設愛と結の街 野村秀洋 施設長 ・テーマ：地域医療構想と地域包括ケアシステムの体制構築 ・演題発表数 口演発表23題、ポスター発表45題 部門）診療部2、診療支援部30、看護部29、事務局7施設）いづろ今村18、今村総合24、谷山11、奄美4、徳之島3、愛と結の街1、看護学校1、法人事業本部3、社会福祉法人3 ・第49回フローレンス・ナインテーン記章 受章記念 「今村節子先生のご功績」中重敬子理事長室顧問 ・特別講演 「慈愛会フィロソフィの意義」奥健一郎先生 ・パネルディスカッション テーマ「地域医療構想における慈愛会在宅医療の今後の在り方について～オール慈愛会で取り組む在宅医療～」 パネリスト：高麗町クリニック 木原浩一院長 かごしまオハナクリニック 林恒存院長 いづろ今村病院 土井敦 リハビリテーション部主任 今村総合病院 米澤美智代 看護師長 コーディネーター：今村総合病院 佐藤浩子 皮膚科医長 今村総合病院 地頭所孝之 医療福祉相談部科長 ・参加者 482名（会場372名、Zoom110名） ・優秀発表演題の決定と表彰 口演発表：最優秀賞1、優秀賞3、ポスター発表：最優秀賞1、優秀賞5、特別賞：1、今村節子賞（新設、看護師発表より選出）：1、奨励賞（口演発表5、ポスター発表4） 表彰式 7/24（月） (4)第4回慈愛会学会学術集会について ・日時：2024.7/27（土） 会場：かごしま県民交流センター2階大ホール、展示ロビー ・テーマ：Jiaikai2040～いまこそ未来へつなぐ創造力を～ ・大会長：常盤光弘先生（今村総合病院院長） ・開催案内ポスター決定と表彰 表彰式 10/30（月） ・演題募集と登録状況 登録演題数70題 部門）診療部5、診療支援部26、看護部28、事務局11 施設）いづろ今村14、今村総合32、谷山13、奄美2、徳之島1、かごしまオハナCL1、愛と結の街2、在宅支援部1、看護学校1、法人事業本部1、社会福祉法人2	・慈愛会学会運営委員会を開催し、学術集会に関する事項について協議・決定した。 ・慈愛会学会理事会において、慈愛会学会に関する必要事項の承認を得ながら進めた。 ・7月1日に第3回慈愛会学会学術集会を開催した。演題発表は68題行われ、参加者は482名と盛会となった。フローレンス・ナインテーン記章受章記念の講演、特別講演、パネルディスカッションもプログラムに計画され、充実した内容となった。タイトなスケジュールで計画されており、タイムコントロールが重要であった。とくにパネルディスカッションでは、意見交換の時間が確保できなかった。次回開催に向けての課題である。 ・多職種から演題発表が行われた。質疑応答も活発に行われ、慈愛会内の多職種の取り組みを知り、共有できる機会として、学術集会が位置付けられてきている。	(1)慈愛会学会運営 ・第4回慈愛会学会学術集会 2024.7/27に開催予定 ・慈愛会学会運営委員会定期開催
慈愛会学会学術集会継続開催	(2)かごしま慈愛会ジャーナル発行 ・第2巻 4/30発行 ・かごしま慈愛会ジャーナル編集委員会定期開催	(1)かごしま慈愛会ジャーナル編集委員会 会議開催 4/10、6/5、8/21、11/6、2/5、3/18 (2)かごしま慈愛会ジャーナル第2巻発行について ・4/30発行 掲載内容）学会報告2、トピックス2、論文16（学術集入賞15、一般投稿1） ・発行数：1,000冊 全部署・全部門へ2冊ずつ配布 連携施設467箇所へ発送 ・慈愛会ウェブサイトで公開（PDF） (3)かごしま慈愛会ジャーナル第3巻発行について ・2024.4/30発行予定 ・掲載内容）第3回慈愛会学会学術集会大会長挨拶、トピックス4、論文14（学術集入賞13、一般投稿1）	・かごしま慈愛会ジャーナル編集委員会を開催し、冊子発行に関する詳細事項を協議・決定した。 ・かごしま慈愛会ジャーナル第2巻を4月30日に発行した。第1巻は、全部門・部署に1冊ずつの配布であったが、全職員の目に触れる機会を増やすため、2冊ずつの配布となった。第2巻では、学会報告、トピックスも掲載され内容がさらに充実したと考える。連携施設への発送を行い、慈愛会の取り組みについて知ってもらえる機会となっている。第3巻は2024年4月に発行予定である。	(2)かごしま慈愛会ジャーナル発行 ・第3巻 4/30発行

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

2023年度は、主な事業として「職員（診療部を除く）のキャリア開発推進支援」「管理者任用候補者選考」「管理者研修」「入職者研修」「慈愛会学会」「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」、「慈愛会フィロソフィバージョンアッププロジェクト」について活動した。

キャリア開発推進支援として、「キャリア開発推進委員研修」及びラダーレベルⅣを目指す者を対象とした「ラダーレベル研修」の2つの多職種合同研修会を開催した。「ラダーレベル研修」は計3回開催し107名が参加した。慈愛会全体の多職種で学び合うこと、多職種を理解し協働推進できるリーダー育成のために、次年度も研修を計画する。また新たな取り組みとして、キャリアアップを目指す職員の支援を目的に、「キャリアアップ支援セミナー」を開催した。職員が参加しやすい時間帯として、昼食休憩時間の開催とし、資格取得者・見込者、進学経験者（既卒・在籍中）の経験談を聞き、直接質問できる時間を設けた。参加者アンケート結果から、進学、資格取得を希望する者にとって、具体的な話を聞くことで情報を得る機会となり、意欲を高めることができていた。昼食休憩時間の参加が難しいという意見もあり、次年度は開催時間と開催時期について検討する。

「管理者任用候補者選考」は法人内の昇任・昇格制度として定着している。これまでに多数の職員が研修を受講し、現場において管理者として活躍している。

「管理者研修」では、新任昇任者を対象とした「初期キャリア支援研修」と「ミドルマネジメント研修」を開催した。「初期キャリア支援研修」では、管理、人事考課制度、目標管理、経営の視点についての講義と、『先輩管理者の語り』を聴講した後、“昇任して思うこと”をテーマにグループワークを行った。新任役職者同士で意見交換を行うことで、目標の共有と、不安の軽減につながったと考える。「ミドルマネジメント研修」では、多職種チームでのタスクシフト・タスクシェアとして、3施設3職種の方に実際の取り組みを発表してもらった。その後のグループワークでは、「今後取り組んでいきたいこと」について意見交換し、具体的な計画が挙げられていた。また、外来講師による『魅力学』の講演を聴講し、ミドルマネジメント者として自己を振り返り「まずは人に好かれる人になること」が大切であるということを学んだ。

「入職者研修」は、新入職者を対象とした「オリエンテーションⅠ（hop）」「オリエンテーションⅡ（step）」「オリエンテーションⅢ（jump）」と、中途入職者を対象とした「中途入職者研修（全6回）」を開催した。5月のstep研修は「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」を研修内容に含め、“語り合い”（グループワーク）を中心とした内容とし、入職1カ月後の現状と悩みを共有する機会とした。jump研修は12月に開催し、2年目に向けて気持ちを高める機会となるよう内容を計画した。研修前課題として、所属長から部署目標とBSCについて説明を受けることを提示し、チャレンジプランとの関連や、具体的なシートの記載方法について学ぶ機会とした。2年目に取り組みたいことを、具体的に文字や言葉にすることで前向きな気持ちを持つことができたと考える。また、8カ月間の臨床経験の中で心に残った場面を「慈愛の物語」として文字に起こし、グループ内で発表し共有した。ファシリテーターの関わりにより、自分自身の成長を認める場となっていた。今後も、同期入職者の絆が深まること、業務継続の意欲が高まること、更には慈愛会内の連携推進を図る機会となるよう、研修内容を企画していく。

「慈愛会学会」では、2023年7月1日に第3回慈愛会学会学術集会を開催した。2024年4月には、学術集会の優秀演題等を掲載した“かごしま慈愛会ジャーナル第3巻”を発行予定である。

「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」は2022年11月に運営委員会が立ち上がり、委員の取り組みにより、多施設多職種からエピソード100作品が寄せられた。2023年5月20日には、選考委員長の三角みづ紀先生に来鹿・来場いただき、かごしま県民交流センター県民ホールにおいて「第4回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」を開催した。開催後には、入賞作品を掲載した冊子を発行し、各施設・各部署へ配布した。2023年12月からは、第5回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会の開催に向けて、取り組みを開始している。慈愛会職員の“慈愛の心”を共有できる場として定着している。

2024年慈愛会創設90周年に向けて、2023年4月から「慈愛会フィロソフィバージョンアッププロジェクト」が、今村英仁理事長以下、帆北修一理事長補佐が副委員長となり、委員16名と共に始動した。慈愛会フィロソフィver.1は、2015年8月1日に発行された。慈愛会に所属している2400名を超える職員が、心を一つにし、同じ方向

(目的) に向かって進んでいくための「考え方」を目に見える形としてまとめ、慈愛会フィロソフィ ver.1を礎

として、2024年8月に慈愛会フィロソフィ ver.2を発行予定である。

職員のキャリア開発推進支援

1. キャリア開発推進委員会 会議と活動内容

*2023年度委員：43名

(施設：いづろ今村9、今村総合20、谷山5、奄美1、徳之島1、愛と結の街3、看護学校1、本部3)

(部門：診療支援部28、事務部8、看護部6、教育部1)

日時	討議内容	備考 (活動内容)
5月9日 15:00-16:00	<ol style="list-style-type: none"> 2023年度 キャリア開発推進委員会の目標 多職種合同ラダーレベル研修会について 多職種合同キャリア開発推進委員研修について 	<ul style="list-style-type: none"> 2022年度ラダーレベル認定者状況、2023年度申請者状況の入力依頼。 ラダーレベル研修会のファシリテーター協力依頼。
9月12日 15:00-16:00	<ol style="list-style-type: none"> 多職種合同研修報告・研修予定 <ol style="list-style-type: none"> キャリア開発推進委員研修：アンケート報告 ラダーレベル研修：全3回アンケート報告 職員のキャリアアップ支援について <ul style="list-style-type: none"> キャリアアップ支援セミナーの企画検討 「心に届く慈愛の物語」について 	<ul style="list-style-type: none"> 専門職の資格情報の未入力部門へ、入力を依頼 各部門新入職者へ「心に届く慈愛の物語」入賞者へのメッセージ記載を依頼。
11月21日 15:00-16:00	<ol style="list-style-type: none"> 研修報告 <ol style="list-style-type: none"> キャリアアップ支援セミナー <ul style="list-style-type: none"> 第1弾アンケート報告 第2弾開催について検討 研修予定 <ol style="list-style-type: none"> 新入職員オリエンテーションⅢ (jump) ミドルマネジメント研修 次年度 (2024年度) の多職種合同研修について検討 投稿募集 <ul style="list-style-type: none"> 慈愛会 学会学術集会演題 心に届く慈愛の物語エピソード 	<ul style="list-style-type: none"> 新入職員オリエンテーションⅢ (jump) のファシリテーター協力依頼 各部門の指導者へ、新入職者へのメッセージ記載を依頼 (jump研修で手渡す)
1月9日 15:00-16:00	<ol style="list-style-type: none"> 研修報告 <ul style="list-style-type: none"> 新入職員オリエンテーションⅢ (jump) アンケート キャリアアップ支援セミナー <ul style="list-style-type: none"> 第2弾開催について協力依頼 投稿募集 <ul style="list-style-type: none"> 慈愛会学会学術集会演題 心に届く慈愛の物語エピソード キャリア開発ラダーについて <ul style="list-style-type: none"> 能力開発プログラムの修正/追加依頼 	
3月12日 15:00-16:00	<ol style="list-style-type: none"> 研修報告 <ul style="list-style-type: none"> キャリアアップ支援セミナー第2弾アンケート報告 2023年度研修報告 2024年度研修計画 能力開発プログラム <ol style="list-style-type: none"> 2023年度認定状況入力依頼 能力開発プログラムの見直しについて 多職種合同研修ラダーレベル研修 	<ul style="list-style-type: none"> 能力開発プログラムの見直し依頼 2024年度多職種合同ラダーレベル研修会の開催を2回とするため、参加者人数の振り分け調整を依頼。

2. 多職種合同キャリア開発推進委員研修

- 1) 目的：将来を見据えて人材を積極的に育成支援する力を養う
- 2) 内容
 - (1) キャリア支援・能力開発プログラムの活用について（講義、グループワーク）
 - (2) コーチング、ラダーレベルⅣ申請者への支援（講義、グループワーク）
- 3) 対象：キャリア開発推進委員
- 4) 日時：2023年7月11日（火）13:30-17:30
- 5) 会場：かごしまオハナビル3階大会議室
- 6) 受講者：33名
 （施設：いづろ今村病院6名、今村総合病院14名、谷山病院・併設事業所8名、徳之島病院1名、愛と結の街3名、法人事業本部1名）
 （部門：診療支援部27名、事務部3名、看護部3名）

3. 多職種合同ラダーレベル研修

- 1) 目的：リーダーに求められる役割を知り、リーダーシップを発揮するための能力を習得する
- 2) 内容
 - (1) キャリア開発ラダーレベルⅣに求められること（講義）
 - (2) 慈愛会フィロソフィの意義について、慈愛会組織のリーダーに期待すること（講演） 講師：奥健一郎先生
 - (3) リーダーになる自分たちに求められている役割と課題について（グループワーク）
 - (4) 慈愛会フィロソフィの意義について、慈愛会フィロソフィの周知と活用（グループワーク）
- 3) 対象：キャリア開発ラダーレベルⅢ取得者、レベルⅣを目指す者

4) 日時と研修会場、受講者 *3回開催

	日時	研修会場	受講者	施設別受講者人数	部門別人数
第1回	6月14日（水） 8:30-17:30	かごしまオハナビル 3階大会議室	22名	いづろ今村病院（8） 今村総合病院（7） 谷山病院・併設事業所（7）	診療支援部（3） 事務部（2） 看護部（17）
第2回	7月20日（木） 8:30-17:30	鹿児島県市町村自治会館 4階ホール リモート（Zoom）：奄美 病院、徳之島病院	53名	いづろ今村病院（10） 今村総合病院（21） 谷山病院・併設事業所（7） 愛と結の街（5） 奄美病院（2） 徳之島病院（3） 法人事業本部（5）	診療支援部（9） 事務部（17） 看護部（27）
第3回	8月5日（土） 8:30-17:30	かごしまオハナビル3階 大会議室 リモート（Zoom）：奄美 病院、徳之島病院	32名	いづろ今村病院（6） 今村総合病院（15） 谷山病院・併設事業所（3） 愛と結の街（2） 奄美病院（4） 徳之島病院（2）	診療支援部（8） 事務部（5） 看護部（19）

4. キャリアアップ支援セミナー

- 1) 目的：職員のキャリアアップ支援
- 2) 内容
 - (1) 進学者・資格取得者の経験談
 - (2) 個別相談・質問
- 3) 日時、会場、体験談発表者、対象、参加者
 - (1) 第1弾（全3回）
 - ①10月18日12:05-12:50
 会場：かごしまオハナビル3階大会議室
 対象：今村総合病院職員

- 経験談：進学2名）大学院（理学療法士）、放送大学（事務員）
 資格2名）専門理学療法士、特定看護師
 参加者：15名（看護師5、介護福祉士1、PT 3、OT 3、事務3）
- ②10月25日12:05-12:50
 会場：いづろ今村病院会議室
 対象：いづろ今村病院職員
 経験談：進学2名）大学院（理学療法士）、放送大学（事務員）

資格1名) 特定看護師/認定看護師
 参加者: 15名 (看護師7、OT 1、管理栄養士2、薬剤助手1、事務4)
 ③11月1日12:05-12:50
 会場: 谷山病院会議室、離島施設リモート (Zoom)
 対象: 谷山病院・愛と結の街・在宅支援部職員、奄美病院・徳之島病院職員
 経験談: 進学2名) 大学院 (作業療法士)、大学院 (看護師)
 資格2名) 認定作業療法士、認定看護師
 参加者: 谷山病院16名 (看護師8、OT 5、PSW 3) 奄美病院13名 (看護師9、准看護師1、OT 1、PSW 1、相談支援専門員1) 徳之島病院2名 (OT 2)

(2) 第2弾
 日時: 2月1日12:10-12:55
 会場: かがしまオハナビル3階大会議室、各施設リモート接続 (Zoom)
 対象: 慈愛会職員
 経験談: 進学1名) 放送大学 (事務員)
 資格3名) 認定理学療法士、感染管理認定看護師、看護学校専任教員
 *放送大学についての説明
 参加者: 今村総合病院11名 (看護師1、薬剤師1、PT 6、OT 1、ST 1、事務1) いろ今村病院7名 (看護師6、ケアマネ1) 谷山病院2名 (看護師1、PSW 1) 奄美病院4名 (看護師4)、徳之島病院1名 (OT 1)

管理者任用候補者選考

1) 研修日時

2023年11月14日 (火)・15日 (水)・22日 (水) 8:30-17:30、11月24日 (金) 8:30-12:30

2) 選考内容、選考日

- (1) 多面評価、11月14日 (火) ~ 11月30 (木)
- (2) 筆記試験、12月12日 (火)
- (3) 面接試験、12月4日 (月) ~ 12月12日 (火)
- (4) 理事長面談 (合格者のみ)、2月5日 (月)

3) 研修受講者・選考受験者

- (1) 研修受講者: 63名 (診療支援部21名、事務部20名、看護部22名)
- (2) 選考受験者 (再受験者含む): 65名 (診療支援部23名、事務部20名、看護部22名)

4) 選考結果

合格者55名 (合格率: 84.6%)

施設名	研修受講者数			選考受験者数		
	診療支援部	事務部	看護部	診療支援部	事務部	看護部
いろ今村病院	2	4	7	2	4	7
今村総合病院	11	6	5	12	6	5
谷山病院	3	2	4	4	2	4
奄美病院・併設事業所	2	5	4	2	5	4
徳之島病院	1			1		1
高麗町クリニック		1			1	
かがしまオハナクリニック		1			1	
愛と結の街	1		1	1		1
在宅支援部	1			1		
法人事業本部		1			1	
鹿児島中央看護専門学校			1			-

部署別	受験者	合格者	合格率
診療支援部	23	19	82.6%
事務部	20	15	75.0%
看護部	22	21	95.5%
計	65	55	84.6%

管理者研修

1. 初期キャリア支援研修

1) 目的

新任昇任者が役職者（副主任・主任・副看護師長）としての役割と責任を自覚し、資質の向上を図る

2) 内容

- (1) 管理者に求められるもの（理事長講話）
- (2) 管理とは、管理者に求められる資質・管理者に必要な能力、人材育成（講義）
- (3) 人事考課について、チャレンジプラン（講義）
- (4) 自院の財務状況の把握（講義）
- (5) 先輩（副主任、主任）の語り
- (6) 昇任して思うこと～慈愛会役職者として取り組んでいきたいこと～（グループワーク）

3) 日時：2023年7月7日（金）8:30-12:30

4) 会場：かごしまオハナビル3階大会議室、リモート（Zoom）

5) 対象者：2022年7月以降の新任昇任者（副主任・主任・副看護師長）、2022年度の研修未受講者

6) 受講者：40名

（施設：いづろ今村病院13、今村総合病院13、谷山病院6、奄美病院1、愛と結の街・併設事業所7）
（部門：診療支援部19、事務部10、看護部11）

2. ミドルマネジメント研修

1) 目的

管理者としてのマネジメントとリーダーシップを図るための中間管理者の育成

2) 内容

- (1) 「一人ひとりのスタッフとご利用者（患者）を大事にする組織づくりと、リーダーへの期待」（理事長講話）
- (2) 講演：魅力学「人に好かれる人になる」講師：宮之原明子 先生
- (3) 組織内のコミュニケーションを円滑にするための自己の役割について考える（グループワーク）
- (4) チームとして最大のパフォーマンスを生み出すマネジメント
 - ①働き方改革 慈愛会各組織の実践（3施設の取り組み報告）
 - ②多職種協働による働き方改革の提案「多職種チームでの活動、タスクシフト/タスクシェア」（グループワーク）

3) 日時：2023年12月9日（土）8:30-17:30

4) 対象者：診療部を除く部署の部署長：監督1級以上
看護部：看護師長、介護福祉士長
事務部：課長または課長代理、室長
診療支援部：科長または科長代理、室長

5) 研修会場・研修受講者・ファシリテーター

研修会場	施設名	研修受講者数：109			ファシリテーター：17	
		診療支援部 25	事務部 30	看護部 (教育部) 54	事務部	看護部 (教育部)
鹿児島県市町村自治会館4階ホール	いづろ今村病院	5	4	7	1	2
	今村総合病院	13	12	21	1	2
	七波クリニック			1		
	谷山病院・併設事業所	4	2	9	1	2
	愛と結の街	1	1	1		
	在宅支援部			2		1
	看護学校		1	2		1
	法人事業本部		5	3	2	1
リモート	奄美病院・併設事業所	1	3	6	(1)	2
	徳之島病院・併設事業所	1	2	2	(1)	1

入職者研修

1. 新入職者研修：オリエンテーションⅠ (hop)・Ⅱ (step)・Ⅲ (jump)

1) 目的

慈愛会職員としての役割意識を高め、職場適応を支援する

2) 内容

(1) オリエンテーションⅠ (hop)

- ・慈愛会の概要説明
- ・慈愛会フィロソフィ
- ・社会人・医療人として求められるマナー・接遇について
- ・医療安全
- ・感染管理
- ・健全な生活設計、消費者トラブルの対処
- ・401k説明
- ・慈愛会教育体制、キャリア開発プログラム、ラダー認定制度

(2) オリエンテーションⅡ (step)

- ・理事長講話
- ・グループ討議①「看護部キャリア開発ラダーレベルⅤ実践報告」を聞いて

ルⅤ実践報告」を聞いて

・グループ討議②「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」に参加して

・グループ討議③「入職後1カ月経過した今思うこと」を語り合う

・グループ活動（多職種交流）「慈愛会クイズ」

・研修まとめ「今日感じたこと、思ったこと」「1年後の自分へのメッセージ」

(3) オリエンテーションⅢ (jump)

・グループ活動（多職種交流）①「入職後8カ月経過し、今思うこと」を語り合う

・グループ活動（多職種交流）②「私の働いている職場と、部署目標の紹介」

・講義・ワーク：目標管理とチャレンジプラン

・グループ活動（多職種交流）③「慈愛会クイズ」

・グループ活動（多職種交流）④「心に届く慈愛の物語」

・ワーク：チームで働く力（チームワーク）を伸ばそう

3) 研修日時と会場、受講者人数

研修	日時	研修会場	受講者	施設名（受講者人数）
I (hop)	4月3日（月） 10:40-17:30	かごしまオハナビ ル3階大会議室、 リモート（Zoom）	118名 （研修医10名含む）	いづろ今村病院（17）、今村総合病院（80）、 谷山病院（15）、奄美病院（4）、愛と結の街（2）、
II (step)	5月20日（土） 9:20-17:00	かごしま県民交流 センター大ホール	102名	いづろ今村病院（18）、今村総合病院（66）、 谷山病院（12）、奄美病院（4）、愛と結の街（2）
III (jump)	12月2日（土） 8:30-17:00	鹿児島県市町村自 治会館4階ホール	102名	いづろ今村病院（19）、今村総合病院（65）、 谷山病院（12）、奄美病院（4）、愛と結の街（2）

2. 中途入職者研修

1) 目的

- (1) 慈愛会の理念を知り、受講者それぞれの職種・業務において何を実践すべきか考える
- (2) 就業規則・各種規程を通じ、職員として身に付けるべき就業上の知識・ルールを学ぶ
- (3) 慈愛会の組織・各施設の概要について理解する
- (4) 基本的な接遇・ビジネスマナーについて学ぶ
- (5) メンタルヘルスケア（セルフケア）について学ぶ
- (6) 「慈愛会フィロソフィ」について知る

(7) 「現状と将来のビジョン」について考える

2) 内容

- (1) 理事長講話
- (2) 慈愛会の概要について
- (3) 人事制度について
- (4) 慈愛会の教育支援体制について
- (5) 就業規則のポイント
- (6) 接遇について
- (7) メンタルヘルスケア（セルフケア）について
- (8) 入職後の自身の現状と将来のビジョンについて

3) 研修会場

かごしまオハナビル3階大会議室、リモート (Zoom)

4) 研修日時と受講者

研修	日時	人数	受講者詳細 (施設、部門)
第1回	4月27日 (木) 8:30-17:30	12名	【施設】 いづろ今村病院 (1)、今村総合病院 (5)、奄美病院 (4)、徳之島病院 (2) 【部門】 診療支援部 (4)、事務部 (1)、看護部 (7)
第2回	6月22日 (木) 8:30-17:30	12名	【施設】 いづろ今村病院 (2)、今村総合病院 (4)、奄美病院 (2)、徳之島病院 (1)、 愛と結の街 (1)、在宅支援部 (1)、法人事業本部 (1) 【部門】 診療支援部 (1)、事務部 (5)、看護部 (6)
第3回	8月24日 (木) 8:30-17:30	19名	【施設】 慈愛会 CL (1)、今村総合病院 (7)、かごしまオハナ CL (1)、谷山病院 (3)、 奄美病院 (3)、徳之島病院 (2)、看護学校 (1)、法人事業本部 (1) 【部門】 診療支援部 (5)、事務部 (4)、看護部 (10)
第4回	10月26日 (木) 8:30-17:30	15名	【施設】 いづろ今村病院 (1)、今村総合病院 (4)、かごしまオハナ CL (1)、谷山病院 (2)、 奄美病院 (3)、徳之島病院 (2)、看護学校 (1)、愛と結の街 (1) 【部門】 診療支援部 (5)、事務部 (2)、看護部 (8)
第5回	12月21日 (木) 8:30-17:30	14名	【施設】 今村総合病院 (3)、かごしまオハナ CL (1)、谷山病院 (1)、奄美病院 (1)、 徳之島病院 (4)、愛と結の街 (2)、法人事業本部 (2) 【部門】 診療支援部 (3)、事務部 (5)、看護部 (6)
第6回	2月22日 (木) 8:30-17:30	11名	【施設】 いづろ今村病院 (2)、今村総合病院 (5)、谷山病院 (4) 【部門】 事務部 (3)、看護部 (8)

慈愛会学会

1. 慈愛会学会運営委員会 会議と活動内容

日時	討議内容	備考 (活動内容)
4月11日 15:30-16:30	<ol style="list-style-type: none"> 応募演題の発表形式決定 口演発表23題、ポスター発表46題 口演発表座長の決定 発表者案内の決定 プログラム・タイムスケジュールの検討 <ol style="list-style-type: none"> 特別講演の時間確保 昼食休憩時間の動画共有について パネルディスカッション 学術集会大会長の担当順について確認 第4回は今村総合病院常盤光弘院長 参加者募集について 	<ul style="list-style-type: none"> 各施設へ、口演発表座長推薦を依頼 パネリストの変更と依頼 参加者募集と申込みの取りまとめを各施設総務担当者へ依頼
5月23日 15:30-16:30	<ol style="list-style-type: none"> 口演発表セッション分けと担当座長の決定 ポスター発表、掲示順の決定 プログラム <ol style="list-style-type: none"> 特別講演 (60分)：慈愛会フィロソフィの意義 奥健一郎先生 パネルディスカッション (60分) 打ち合わせ内容報告 昼食休憩時間の動画共有について 今村総合病院の取り組み紹介 抄録集の構成について 係・担当者と、審査者について 	<ul style="list-style-type: none"> 抄録集掲載の理事長挨拶、大会 長挨拶、次期大会長挨拶につい て原稿依頼 係・担当者、審査者の決定と氏 名入力を依頼

日時	討議内容	備考（活動内容）
6月13日 15:30-16:30	<ol style="list-style-type: none"> プログラム・タイムスケジュールの最終決定 <ol style="list-style-type: none"> プログラムの追加：「今村節子先生のご功績」 昼食休憩時間の動画共有 今村総合病院の取り組みを動画で紹介（25分） パネルディスカッション打ち合わせ内容報告 学術集会運営について <ol style="list-style-type: none"> 運営委員の担当役割決定 運営マニュアルについて検討 会場座席数について検討 抄録集について 第5回学術集会大会長の変更について いづろ今村病院 院長から、名誉院長へ変更 	<ul style="list-style-type: none"> 会場座席数を前回より50席増やすことに決定。サテライト会場の設営を決定。
7月19日 15:30-16:30	<ol style="list-style-type: none"> 優秀発表の決定 <ol style="list-style-type: none"> 最優秀賞、優秀賞、特別賞、奨励賞 今村節子賞の新設と受賞者の決定 表彰式について 第3回学術集会開催の振り返り 第4回学術集会について <ol style="list-style-type: none"> 大会長 今村総合病院 常盤光弘院長 運営委員について 常盤委員が大会長となるため、新委員を推薦頂く 開催日時・会場 予定) 2024年7月28日（土）、29日（日） 会場) かごしま県民交流センター 2階大ホール、展示ロビー 	<ul style="list-style-type: none"> 優秀発表表彰式の出席依頼（7月24日9時～）。 新運営委員に、今村総合病院 神田直昭副院長が決定 会場は、慈愛会90周年記念事業の実施を考慮し2日間予約中。いずれかで学術集会を開催予定。
9月5日 15:30-16:30	<ol style="list-style-type: none"> 第4回学術集会に向けて <ol style="list-style-type: none"> 大会テーマの決定「Jiaikai2040」 サブテーマについて検討・協議 プログラムにパネルディスカッションを計画する 開催案内ポスターの募集について サブテーマの決定後、募集案内を発信 演題募集について 	<ul style="list-style-type: none"> 委員へサブテーマの意見を募る 開催案内ポスター募集の周知依頼
10月17日 15:30-16:30	<ol style="list-style-type: none"> 第4回学術集会開催案内ポスターの決定 演題募集について 学術集会の開催日程について 2024年7月27日（土） 	<ul style="list-style-type: none"> 開催案内ポスター表彰式の出席依頼（10月30日9時～）
1月16日 15:30-16:30	<ol style="list-style-type: none"> 第4回学術集会演題応募状況について プログラム（パネルディスカッション）検討 コーディネーター：常盤光弘 大会長 パネリスト：検討 会場配置と準備について 	<ul style="list-style-type: none"> 各施設の演題応募目標数の確認と演題提出依頼
2月26日 15:30-16:30	<ol style="list-style-type: none"> 第4回学術集会演題応募状況について プログラム・タイムスケジュールについて <ol style="list-style-type: none"> 開始時刻、終了時刻の検討 パネルディスカッションの時間確保について検討 運営協力について <ol style="list-style-type: none"> 口演発表座長の推薦依頼 係・担当者の協力依頼 	<ul style="list-style-type: none"> 各施設の演題応募目標数の確認と演題提出依頼

日時	討議内容	備考（活動内容）
3月25日 15:30-16:30	1. 第4回学術集会演題登録と発表形式について 1) 登録演題数70題 2) 口演発表30題、5セッションで計画 2. 発表者案内について検討 3. プログラム・タイムスケジュールについて 開始9:15、終了17:10で調整	

2. 第3回慈愛会学会学術集会

- 1) 日時：2023年7月1日（土）8:45-17:30
- 2) 会場：鹿児島県市町村自治会館4階ホール、会議室
401号、会議室403号
- 3) 発表演題数と詳細
 - (1) 演題数68題（口演発表23題、ポスター発表45題）
 - (2) 詳細

（施設別演題登録数）

いづろ今村病院	18
今村総合病院	24
谷山病院	11
奄美病院	4
徳之島病院	3
愛と結の街	1
看護学校	1
慈愛会本部	3
社会福祉法人慈愛会	3

（職種別発表演題数）

診療部	2
診療支援部	30
薬剤部	3
栄養部	4
リハビリテーション部	11
診療放射線技師	4
臨床検査技師	2
臨床工学技士	1
MSW・PSW	4
視能訓練士	1
看護部	28
保健師	1
看護師	25
介護福祉士	2
事務部	7
事務員	5
保育士	2
専任教員	1

4) 学術集会参加数

482名（会場参加372名、各施設リモート参加110名）

3. かがしま慈愛会ジャーナル編集委員会

1) 会議と活動内容

日時	討議内容	備考（活動内容）
4月10日 15:00-16:00	1. 第2巻掲載内容について最終確認 1) 学会報告2編、トピックス2編 2) 論文16編 2. 発行日・発行数について ・発行日2023年4月30日 ・1,000冊。各部門・部署へ2冊ずつ配布 3. 投稿規程の見直し	

日時	討議内容	備考（活動内容）
6月5日 15:00-16:00	<ol style="list-style-type: none"> 第2巻発行について <ol style="list-style-type: none"> 慈愛会内配布512冊 連携施設発送467冊 第2巻についての意見等 慈愛会ウェブサイトでの公開について <ol style="list-style-type: none"> PDF形式で公開 施設長、事務長、看護部長へPDFデータを送付 編集委員の交代と追加について <ol style="list-style-type: none"> 事務部委員1名交代 診療部委員1名追加、看護部委員1名追加 第3巻発行までのスケジュール確認 	<ul style="list-style-type: none"> 第3回学術集会で、一般投稿募集を周知する。 第3回学術集会ポスター会場でジャーナル冊子（創刊号・第2巻）を展示公開。
8月21日 15:00-16:00	<ol style="list-style-type: none"> 第3巻発行に向け新委員を加え委員10名体制 <ul style="list-style-type: none"> 編集副委員長の選出 第3回学術集会表彰者への原稿投稿依頼について 投稿規程の一部見直し トピックス依頼について 一般投稿原稿募集について 	<ul style="list-style-type: none"> 各施設への一般演題募集の周知。
11月6日 15:00-16:00	<ol style="list-style-type: none"> 寄稿・投稿状況について <ol style="list-style-type: none"> トピックス3題、執筆者4名へ依頼 学術集会の最優秀賞、優秀賞、特別賞、今村節子賞の受賞者は投稿を了承 奨励賞受賞の2名が投稿を了承 第3回学術集会大会長へ学会報告の寄稿を依頼する 投稿/寄稿原稿の確認について 第3巻発行までのスケジュール確認 	<ul style="list-style-type: none"> 投稿/寄稿原稿の確認依頼者の推薦。
2月5日 15:00-16:00	<ol style="list-style-type: none"> 原稿確認状況について <ol style="list-style-type: none"> 外部確認者 編集委員による校正終了後、論文構成を調整 投稿規程について <ul style="list-style-type: none"> 記載方法の見本作成について検討 第3巻発行数について検討 	<ul style="list-style-type: none"> 編集委員による寄稿投稿原稿の内容確認と校正。
3月18日 15:00-16:00	<ol style="list-style-type: none"> ジャーナル第3巻誌面・校正について最終決定 <ol style="list-style-type: none"> 第3回学術集会大会長「挨拶」 トピックス4題、執筆者4名 論文掲載順の決定 巻頭言の執筆依頼、編集後記の執筆依頼 ジャーナル発行数・外部送付の決定 ジャーナル投稿規程について 慈愛会ウェブサイトでのジャーナル公開について <ul style="list-style-type: none"> 公開形式と閲覧数確認について経営企画室へ相談 	

2) かごしま慈愛会ジャーナル第2巻の発行

(1) 掲載内容

- ・学会報告2編
- ・トピックス2編
- ・論文16編

(2) 発行日

2023年4月30日

(3) 発行部数

1000部

(4) 配布及び送付先

慈愛会内施設：512部（各部門・部署へ2冊ずつ配布）

外部施設（連携施設等）：467部

心に届く慈愛の物語を紡ぐ会

1. 第4回「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」

- 1) 日時：2023年5月20日（土）9:20-11:50
- 2) 会場：かごしま県民交流センター県民ホール
参加者276名（会場参加236、リモート参加40）
- 3) エピソード応募数と詳細
エピソード応募数：100編

（施設別応募数）

いづろ今村病院	16
今村総合病院	20
谷山病院	18
奄美病院	12
徳之島病院	9
愛と結の街	11
在宅支援部	5
看護学校	4
慈愛会本部	5

（職種別応募数）

診療支援部	21
薬剤部	3
栄養部	2
リハビリテーション部	7
診療放射線技師	2
臨床検査技師	1
臨床心理士	1
MSW・PSW	3
介護支援専門員	1
視能訓練士	1
看護部	69
看護師	56
介護福祉士	12
ナースエイド	1
事務部	6
事務員	4
施設管理係	1
保育士	1
看護学生	4

4) 選考経過

- 一次選考：選考委員により32作品を選出
 二次選考：選考委員により15作品を選出
 選考会：入選作品15編を決定、うち理事長賞1編を決定
 選考委員長：入選作品の中から、最優秀作品1編、優秀作品2編を選出

2. 心に届く慈愛の物語を紡ぐ会運営委員会

- (1) 運営委員：21名
 （施設別：いづろ今村病院4、今村総合病院5、谷山病院3、奄美病院3、徳之島病院1、愛と結の街1、在宅支援部1、看護学校1、法人本部2）
 （部門別：診療部2、診療支援部6、事務部4、看護部8、教育部1）

(2) 会議と活動内容

日時	討議内容	備考（活動内容）
4月10日 14:00-15:00	1. 選考会報告 2. 第4回「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」開催について 1) 開催までのスケジュール確認 2) プログラム内容検討 3) 選考委員代表挨拶順の決定 4) 参加者募集について	・参加者募集の周知依頼
6月5日 14:00-15:00	1. 第4回「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」開催報告 1) 運営に関すること 2) 参加者募集に関すること 2. 心に届く慈愛の物語 冊子発行について 3. 第5回「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」について 1) 日時、会場予約状況 2024年5月18日（土）かごしま県民交流センター大ホールを予約 2) エピソード募集について	

日時	討議内容	備考（活動内容）
9月11日 14:00-15:00	1. 第4回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会 1) 冊子発行報告、発行数1000冊 2) 入賞者へ、新入職員からのメッセージを送付 3) 慈愛の便り発行について 2. 第5回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会 1) エピソード募集について	・エピソード募集の周知と取りまとめを依頼
1月22日 14:00-15:00	1. 第4回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会 ・慈愛の便り発行（11月20日） 2. 第5回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会 1) エピソード応募状況について 2) 選考について 3) 心に届く慈愛の物語を紡ぐ会開催について ・プログラム内容の検討	・エピソード募集の呼びかけを依頼
3月4日 14:00-15:00	1. 第5回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会 1) エピソード応募状況について 2) 選考について ・選考委員の決定 3) 心に届く慈愛の物語を紡ぐ会開催について ・プログラム内容の決定 ・参加者募集の案内発出	・参加者募集の周知と取りまとめを依頼

3. 第5回「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」

- 1) 日時：2024年5月18日（土）9:20-11:30開催予定
- 2) 会場：かごしま県民交流センター大ホール
- 3) エピソード応募数と詳細

エピソード応募数：93編

（施設別応募数）

いづろ今村病院	10
今村総合病院	19
谷山病院	18
奄美病院	17
徳之島病院	11
愛と結の街	6
在宅支援部	5
看護学校	3
慈愛会本部	4

（職種別応募数）

診療支援部	18
薬剤部	4
栄養部	3
リハビリテーション部	4
診療放射線技師	2
臨床検査技師	1
MSW・PSW	3
視能訓練士	1
看護部	67
看護師	52
准看護師	2
介護福祉士	11
ナースエイド	1
専任教員	1
事務部	6
事務員	6
看護学生	2

4) 選考経過

3月6日～3月22日一次選考：30作品が選出

3月26日～4月5日二次選考：*選考中

慈愛会認定看護師会 活動支援

1. メンバーと領域

(1) メンバー数：26名（認定看護師21名、教育課程修了者4名、認定看護管理者1名）

(2) 認定看護分野（人数）

がん性疼痛看護(1)、感染管理(4)、緩和ケア(3)、救急看護(2)、集中ケア(1)、糖尿病看護(1)、脳卒中リハビリテーション看護(1)、皮膚排泄ケア(2)、精神科(4)、がん放射線療法(1)、認知症看護(1) *教育課程修了者：感染管理(2)、認知症看護(1)、在宅ケア(1)

(3) 活動チーム

・救急分野チーム

名称：クリティカルケアチーム

メンバー：濱崎、小濱、中村、平川

・がん分野チーム

名称：チームつん

メンバー：長野、長瀧、中窪、水流、前田

・精神科チーム

名称：チームIYASI

メンバー：内田、加藤、平江、杉田

・組織横断チーム

名称：DEKITA彦チーム

メンバー：川畑、尾堂、櫻井、吉森、切手、米澤、福留、厚地、中尾、小湊、五反田、川畑

2. 会議開催状況

開催月日	討議内容	人数
5月19日 13:00-14:30 (全体会)	1. 認定看護師会 委員長・副委員長の交代 2. 新メンバー（教育課程修了者）紹介 3. 各チームの今年度の活動計画 ・各チームで討議、発表 ・全体討議 4. 認定看護師ラダーの取得状況、申請状況 5. 共有事項 ・認定看護師の活動をコロナ禍前に戻すことを検討	19名
10月20日 13:00-14:30 (リーダー会)	1. 各チームの活動進捗状況と中間評価 1) 救急分野「クリティカルケアチーム」 ・11月に研修を実施予定 2) 精神科「チームIYASI」 ・市民向け広報誌の発行 ・精神科看護セミナーを2回実施 3) 組織横断「DEKITA彦チーム」 ・3分野（糖尿病看護・皮膚排泄ケア・感染管理）の動画配信を準備中 4) がん分野「チームつん」 ・ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラムを実施 2. 認定看護師ラダーの申請状況確認	7名
3月19日 15:00-17:00 (全体会)	1. 4チームの活動報告 2. 個人の活動状況報告 3. 協議事項 組織横断チームについて、次年度2チームに分かれて活動することを決定 4. 2024年度活動計画について	21名

一年のあゆみ

1. 慈愛会の新型コロナ対応

慈愛会各施設の新型コロナウイルス感染症対応状況	
2023年 4月	<p>【高麗町クリニック】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問診療枠の拡大（水曜日午前枠）
5月	<p>感染症法の分類が2類感染症相当から5類感染症へ（5/8）</p> <p>【今村総合病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面会再開。火木日の14～16時に家族のみ2名以下10分以内（5/8） <p>【谷山病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点医療機関を辞退し「その他の受け入れ医療機関」へ。外来は「かかりつけ患者のみ」から「他院や相談センターからの案内を受けた患者も受診できる医療機関」へ変更。感染対応向上加算3継続（5/8） <p>【いづろ今村病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスワクチン春接種開始（毎週金曜日12名） ・職員向け新型コロナウイルスワクチン接種（5/13・18・25） ・院内新型コロナウイルス感染予防対策：（Ver. 2023-0515） <p>【高麗町クリニック】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来・訪問診療患者 新型コロナウイルスワクチン接種（6回目接種開始） <p>【慈愛会クリニック】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスワクチン春接種開始（5/8-6/30） <p>【七波クリニック】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスワクチン春接種開始（5/8-8/8）
6月	<p>【今村総合病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け入れ病床数変更。[フェーズ1] 即応0, 準備2 [フェーズ2] 即応2, 準備2 [フェーズ3] 即応4, 準備4 [フェーズ4] 即応8 [フェーズ5] 即応8 [フェーズ6～8] 即応25（6/1） ・受け入れ病床数変更。フェーズ2から3への6/27付移行に伴い、C4病棟：2床→4床（6/28） ・職員の新型コロナワクチン接種（6/16・22・30）
7月	<p>【今村総合病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け入れ病床数変更。フェーズ3から4への移行に伴い、C4病棟：4床→8床（7/5） ・フェーズ4から5へ移行（受け入れ病床数変更なし）（7/13） <p>【谷山病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者受け入れ再開（結核患者退院により）即応5床（7/10）
8月	<p>【今村総合病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け入れ病床数変更。フェーズ5から6への7/27付移行に伴い、C4病棟：8床→A7東病棟：25床（8/4） <p>【いづろ今村病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症マニュアル改訂

慈愛会各施設の新型コロナウイルス感染症対応状況	
9月	<p>【今村総合病院】 ・新型コロナウイルス感染症の5類移行後の対応変更(10月からの対応について9/25メール配信)(9/25)</p> <p>【いづろ今村病院】 ・院内新型コロナウイルス感染予防対策：(Ver. 2023-0919) ・コロナ陽性者・疑い患者、及び要入院患者対応フロー Ver. 03</p> <p>【慈愛会クリニック】 ・新型コロナウイルスワクチン秋接種開始(9/20-12/11)</p> <p>【七波クリニック】 ・新型コロナウイルスワクチン秋接種開始(9/20-1/31)</p>
10月	<p>【今村総合病院】 ・10/1以降フェーズ1～7までの7段階から、フェーズ0からⅢまでの4段階に変更。ICUでの中等症Ⅱ以上の受け入れは、フェーズⅠは1床、フェーズⅡ・Ⅲは2床。 ・受け入れ病床数変更。フェーズ6からⅠへの10/1付移行に伴い、A7東病棟：25床→ICU：1床(10/3) ・職員の新型コロナウイルスワクチン接種<XBB対応ワクチン>(10/27・31、11/2)</p>
11月	<p>【今村総合病院】 ・受け入れ病床数変更。フェーズⅠから0への移行に伴い、ICU：1床→0床(11/1)</p> <p>【いづろ今村病院】 ・新型コロナウイルスワクチン秋接種 職員のみ実施(11/8・15・17)</p> <p>【高麗町クリニック】 ・外来・訪問診療患者 新型コロナウイルスワクチン接種(7回目接種開始)</p>
12月	
2024年 1月	<p>【今村総合病院】 ・受け入れ病床数変更。フェーズ0からⅠへの移行に伴い、ICU：0床→1床(1/24)</p> <p>【谷山病院】 ・対面での面会を再開(1/10)</p> <p>【いづろ今村病院】 ・新型コロナウイルスワクチン秋接種 一般向け1/19より再開(～3/31)</p>
2月	<p>【今村総合病院】 ・受け入れ病床数変更。フェーズⅠから0への移行に伴い、ICU：1床→0床(2/7)</p> <p>【いづろ今村病院】 ・クリーンパーテーション使用方法の変更を行う。また、クリアカーテンを撤去</p> <p>【七波クリニック】 ・新型コロナウイルス感染症(オミクロン)ワクチン終了(2/6)</p>
3月	<p>【いづろ今村病院】 ・院内新型コロナウイルス感染予防対策：(Ver. 2024-0301) ・新型コロナウイルス感染症入院患者の配膳容器を紙容器から普通食器へ変更</p>

2. 新型コロナウイルス感染症陽性患者(入院)、診療・検査医療機関(発熱外来)の受け入れ、ワクチン個別接種への対応

	入院受け入れ数	診療・検査医療機関 (発熱外来) 診療実績	ワクチン個別接種
今村総合病院 [受け入れ病床数] 県病床フェーズ2： 2床 県病床フェーズ3： 4床 県病床フェーズ4・5： 8床 県病床フェーズ6・7： 25床	49名 (2020.7/4～2021.3/31)	453名 (2020.11/1～2021.3/31)	901名 (2021.3/8～2021.3/31)
	167名 (2021.4/1～2022.3/31)	2,347名 (2021.4/1～2022.3/31)	14,013名 (2021.4/1～2022.3/31)
	186名 (2022.4/1～2023.3/31)	4,202名 (2022.4/1～2023.3/31)	4,779名 (2022.4/1～2023.3/31)
	<u>155名</u> (2023.4/1～2024.1/31)	<u>2,544名</u> (2023.4/1～2024.1/31)	<u>378名</u> (2023.4/1～2024.1/31)
	【2023.10/1～陽性患者の入院受け入れ体制】各病棟個室にて対応、中等症Ⅱ以上はICUにて対応(フェーズⅠ：1床、フェーズⅡ・Ⅲ：2床)		
谷山病院 [受け入れ病床数] 県病床フェーズ2～： 5床 (結核病床・A2病棟個室)	12名 (2020.7/1～2021.3/31)	9名 (2020.11/1～2021.3/31)	20名 (2021.3/12～2021.3/31)
	37名 (2021.4/1～2022.3/31)	23名 (2021.4/1～2022.3/31)	1,084名 (2021.4/1～2022.3/31)
	57名 (2022.4/1～2023.3/31)	107名 (2022.4/1～2023.3/31)	953名 (2022.4/1～2023.3/31)
	<u>6名</u> (2023.4/1～2024.1/31)	<u>81名</u> (2023.4/1～2024.1/31)	<u>553名</u> (2023.4/1～2024.1/31)
	【2023.10/1～陽性患者の入院受け入れ体制】A2病棟結核病床にて対応		
いづろ今村病院	/	223名 (2020.11/1～2021.3/31)	
		1,203名 (2021.4/1～2022.3/31)	6,295名 (2021.4/1～2022.3/31)
		2,160名 (2022.4/1～2023.3/31)	3,067名 (2022.4/1～2023.3/31)
		<u>1,112名</u> (2023.4/1～2024.1/31)	<u>412名</u> (2023.4/1～2024.1/31)
		【2023.10/1～陽性患者の入院受け入れ体制】軽症～中等症Ⅰ以下 地域包括ケア病棟の個室にて対応	

【2023.10/1～陽性患者の入院受け入れ体制】

奄美病院・徳之島病院：軽症～中等症Ⅰ以下は各病棟にて対応、中等症Ⅱ以上は急性期病院へ転院
 老健愛と結の街：軽症～中等症Ⅰ以下は各療養棟にて対応、中等症Ⅱ以上は急性期病院へ転院

3. 地域医療機関支援等コロナ対応にかかる人材派遣 2023年度分

(1) 今村総合病院 感染管理認定看護師 吉森みゆき

鹿児島県新型コロナウイルス感染症対策本部

「感染症チーム」「介護・福祉施設班」「医師会運営の相談窓口チーム」各委員

【鹿児島県の要請による派遣実績と活動概要】

- ①鹿児島市の特別養護老人ホーム 2023.4/8
新型コロナウイルス感染症によるクラスター支援
- ②都城市の医療機関 2023.10/12
感染対策の現状確認とアップデートおよび指導

4. 能登半島地震被災地支援にかかる人材派遣

(1) 今村総合病院 医師 大塚暢（救急・総合内科部長）、副看護師長 中村倫丈（クリティカルケア認定看護師・特定看護師）、副看護師長 平川あゆみ（救急看護認定看護師）、総務課課長 福留亮（2024.1.19-1/23）

【活動概要】

被災地医師会からの要請に基づき、鹿児島市医師会から被災地の各避難所、救護所へ、日本医師会災害医療チーム（Japan Medical Association Team：JMAT）として派遣。発熱外来の設置、JMAT支部（情報共有のための対策本部）立ち上げ、等。

(2) 今村総合病院 理学療法士 桑野大介（2024.2/27-2/29）

【活動概要】

日本災害リハビリテーション支援チーム（Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team：JRAT）の一員として派遣。金沢市内の体育館でリハビリアージ、ADL改善目的の環境調整、福祉用具の選定や指導等。

(3) 愛と結の街 介護福祉士 中馬健一（2024.2/25-2/29）、介護福祉士 谷川みつる（2024.3/10-3/14）、支援相談員（介護福祉士）濱田郁代（2024.3/17-3/21）

【活動概要】

鹿児島県老人保健施設協会からの要請に基づき災害派遣福祉チーム（Disaster Welfare Assistance Team：DWAT）の一員として派遣。金沢市内の1.5次避難所で生活する方々の介助、福祉用具や生活物資提供の調整、介護相談対応等。

5. 慈愛会各施設の一年のあゆみ

	主なできごと
2023年 4月	<p>【今村総合病院】 新院長に常盤光弘医師が就任 (4/1)</p> <p>【いづろ今村病院】 新院長に長野真二郎医師が就任 (4/1)</p> <p>【慈愛会】 第74期入職式 (4/3)</p> <p>【鹿児島中央看護専門学校】 3年課程第21期生45名入学式 (4/4)</p> <p>【今村総合病院】 プレスリリース / 成人T細胞白血病リンパ腫(ATL)におけるゲノム情報と臨床情報を統合したリスクモデルの開発に成功 (4/10) 回復期病棟についてのホームページ開設 (4/26)</p> <p>【慈愛会クリニック・七波クリニック】 第24回歩いて学ぶ糖尿病ウォークラリー in kagoshimaに参加 (4/23)</p>
5月	<p>【鹿児島中央看護専門学校】 今村節子顧問が第49回フローレンス・ナイチンゲール記章受章者に選出される (5/12)。授与式 (7/27) には代理として長男の今村英仁慈愛会理事長が臨席</p> <p>【徳之島病院】 職場体験の受け入れ (亀津中学校 5/10-5/12)</p> <p>【今村総合病院】 職場体験の受け入れ (西紫原中学校 5/17・18、鴨池中学校 5/24・25)</p> <p>【慈愛会】 第4回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会 (5/20)</p>
6月	<p>【今村総合病院】 膠原病・リウマチ内科開設 (6/1) 消防訓練実施 (6/6)</p> <p>【鹿児島中央看護専門学校】 イブニングガイダンス開催 (6/23)</p> <p>【徳之島病院】 訪問看護ステーションわたりどりオープニングセレモニー (6/28)</p> <p>【いづろ今村病院】 大腸・肛門外科 6/30 までで閉科</p>
7月	<p>【慈愛会】 第3回慈愛会学会学術集会 (7/1)</p> <p>【徳之島病院】 訪問看護ステーションわたりどりオープン (7/1)</p> <p>【今村総合病院】 体外衝撃波結石破碎装置 ドルニエ社「Delta III」を導入 腎臓病教室開催 (7/1) 第6回モニター会議開催 (7/14) 救急カンファレンス開催 (7/20) ホームページ採用情報リニューアル ふれあい看護体験開催 (7/29、8/19)</p> <p>【鹿児島中央看護専門学校】 1年目サポートキャンパス開催 (7/15) オープンキャンパス開催 (7/29、8/5) 21期生民泊体験 (7/20・21)</p> <p>【奄美病院】 ふれあい看護体験開催 (7/29)</p> <p>【慈愛会クリニック】 糖尿病川柳募集、いづろ今村病院広報誌・にじ「夏号」に掲載</p>



フローレンス・ナイチンゲール記章を受章した
鹿児島中央看護専門学校 今村節子顧問



皇后陛下より章記を賜る今村英仁慈愛会理事長
(写真提供：日本赤十字社)



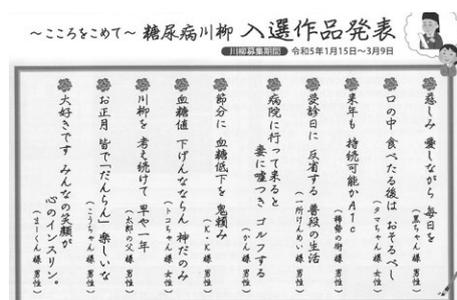
第4回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会



訪問看護ステーションわたりどりオープニングセレモニー



奄美病院ふれあい看護体験



慈愛会クリニック 糖尿病川柳の取り組み

	主なできごと
8月	<p>【今村総合病院】 第22回 高校生・受験生を対象とした病院薬局見学会を開催 (8/1) かもいけ夏まつり救護班として参加 (8/5) リビングかごしま 8/26号「医療ホットライン」に脳神経内科記事掲載 ホームページ精神科病棟新設</p> <p>【七波クリニック】 栄養の日体験型教室「そうめんを量ってみよう」(8/4)</p> <p>【鹿児島中央看護専門学校】 3年目サポートキャンパス開催 (8/19)</p> <p>【いづろ今村病院】 病院機能評価受審 (8/21・22)</p>
9月	<p>【今村総合病院】 入院セット導入・取り扱い開始 (9/1) 令和5年度救急医療功労者表彰、救急医療功労者団体表彰をダブル受賞 (9/6) プレスリリース /HTLV-1抗体陽性患者における同種移植後の予後に関して調査結果を発表 (9/27)</p> <p>【鹿児島中央看護専門学校】 イブニングガイダンス開催 (9/15) 社会人限定ガイダンス (9/30)</p> <p>【いづろ今村病院】 消防訓練(机上)実施 (9/22)</p>
10月	<p>【徳之島病院】 病棟毎に秋祭り実施 (10/4)</p> <p>【今村総合病院】 燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会へ、救護医師、鹿児島県チーム帯同理学療法士、理学療法士協会コンディショニングサポートとして参加 (10/8-10/28) リビングかごしま 10/21号「医療ホットライン」に泌尿器科記事掲載 第2回かもいけ健康まつり開催 (10/21) じあいの時間(清掃ボランティア活動)実施 (10/23) 谷山北中職場体験の受け入れ (10/24・25) 第2回腎臓病教室開催 (10/28)</p> <p>【いづろ今村病院】 第11回健康まつり開催 (10/14) 2023年度受療行動調査 (10/18)</p> <p>【慈愛会クリニック】 いづろ今村病院健康まつりサポート参加 (10/14)</p> <p>【奄美病院】 認知症ナイトカフェ開催 (10/17)</p> <p>【鹿児島中央看護専門学校】 2024年度推薦入学選考試験 (10/21) 21期生燃ゆる感動かごしま大会ボランティア参加 (10/27-30)</p>



七波クリニック 栄養の日体験型教室



鹿児島中央看護専門学校 3年目サポートキャンパス



徳之島病院 病棟秋祭り



今村総合病院第2回かもいけ健康まつり



いづろ今村病院第11回健康まつり



奄美病院 認知症ナイトカフェ

	主なできごと
11月	<p>【慈愛会・各施設】 第72回おはら祭夜まつりに参加 (11/2)</p> <p>【鹿児島中央看護専門学校】 第21期生戴灯式 (11/6) 2024年度入学選考試験 (11/25)</p> <p>【今村総合病院】 JMECC開催 (11/11) 日本輸血・細胞治療学会九州支部会第70回総会・第91回例会を血液内科部長 宮園卓宜医師を会長として開催 (11/25) 消防訓練実施 (11/28)</p> <p>【七波クリニック】 糖尿病教室「パンを食べたら血糖値どうなるの？」(11/8)</p> <p>【愛と結の街】 第1回介護マルシェ開催 (11/19)</p>
12月	<p>【今村総合病院】 救急カンファレンス開催 (12/5) 保育所の園児を招いてクリスマスツリー設置 (12/9) 鴨池中学校職場体験 (12/5・6) 鴨池小学校総合学習講師 (感染管理認定看護師切手康加副看護師長) (12/14) 垂水中央中学校講演会 (スポーツ整形リハビリテーション部) (12/14) 鴨池校区餅つき大会救護班として参加 (12/17)</p> <p>【鹿児島中央看護専門学校】 19期生ケーススタディ発表会 (12/14・15)</p> <p>【谷山病院】 島唄コンサート (12/22)</p>
2024年 1月	<p>【今村総合病院】 循環器内科肥後主任部長、副院長へ就任 (1/1) 鹿児島国際大学講演 (鈴木事務長補佐) (1/10) 高校生を対象とした肩肘健診 (1/28～計4回)</p> <p>【いづろ今村病院】 医療監視 (1/16) 消防訓練実施 (1/26)</p>
2月	<p>【今村総合病院】 薬剤部 Instagram アカウント開設 鹿児島市の介護講習会講師としてリハ部理学療法士を派遣 (2/2)</p> <p>【鹿児島中央看護専門学校】 2024年度入学選考試験 (2次) (2/3) 第113回看護師国家試験3年課程42名、2年課程既卒生76名受験 (2/11)</p> <p>【いづろ今村病院】 人間ドック機能評価受審 (2/22)</p>
3月	<p>【鹿児島中央看護専門学校】 2024年度入学選考試験 (3次) (3/2) 卒業式19期生42名 (3/4) 看護師国家試験合格発表、3年課程41名、2年課程既卒生6名合格 (3/22)</p> <p>【今村総合病院・いづろ今村病院】 かごしまマラソン2024に救護スタッフとして医師・看護師を派遣 (3/3)</p> <p>【今村総合病院】 タスク・シフト/シェア研修実施</p>



第72回おはら祭夜まつり参加



鹿児島中央看護専門学校 第21期生戴灯式



第1回介護マルシェ (愛と結の街)



谷山病院 島唄コンサート開催



高校生対象の肩肘健診 (今村総合病院)



鹿児島マラソンに医療サポート班を派遣

編集後記

慈愛会年報作成委員会 副委員長
公益財団法人慈愛会今村総合病院 名誉院長兼臨床研究センター長
宇都宮 與



慈愛会創設90周年の記念すべきこの年に、第8巻となる慈愛会年報を刊行することができ、喜ばしい限りです。8年前に今村英仁理事長先生の指示のもと法人年報が発刊されました。それまでは長年の歴史を誇る慈愛会に法人全体の活動記録としての法人年報がなく、法人のスタッフ全体での情報共有が十分ではありませんでした。最初は手探りで、各施設間でも実績の集計や活動内容の報告に差がみられましたが、年報作成委員会の粘り強い取り組みを通して年を追うごとに内容が充実・統一化されました。今回の年報は内容として各施設の総括から始まり概要、病院施設指標、業績一覧、部門別事業報告、年度のトピックや1年のあゆみが詳細に記載され、法人全体の1年の取り組みが手に取るようにわかります。実績として伸びた施設もあれば、苦戦した施設もみられますが、全体としては十分なアクティビティが示されています。法人にとってうれしいニュースとして今村節子先生のフローレンス・ナイチンゲール記章の受章も紹介されています。一人でも多くの人に慈愛会年報を読んでいただければ幸いです。

慈愛会年報作成委員会

委員長 納光弘（公益財団法人慈愛会 会長）

副委員長 宇都宮 與（公益財団法人慈愛会今村総合病院 名誉院長 兼 臨床研究センター長）

委員 栗ヶ窪 みゆき（今村総合病院）、福留 浩美・山名 舞子（いづろ今村病院）、松山 匡博（谷山病院）、白原 弘紀（奄美病院）
芳 あずさ（徳之島病院）、前田 有架（愛と結の街）、濱下 千浪（鹿児島中央看護専門学校）、黒瀬 寛（高麗町クリニック）
三反田 直子（慈愛会クリニック）、米元 拓子（七波クリニック）、木原 翔（かごしまオハナクリニック）
瀬地山 寛史・今村 英香・瀬涯 里花（法人事業本部）

公益財団法人慈愛会 年報

— 第8号 —

発行日 2024年9月
発行者 今村 英仁
発行所 公益財団法人慈愛会
鹿児島県鹿児島市鴨池新町6番4号
TEL 099(256)0311
編集 慈愛会年報作成委員会
制作・印刷 株式会社イースト朝日
鹿児島県鹿児島市南栄3丁目30-7
TEL 099(266)5522

医療の原点は慈愛にあり